

# 演習林年報

2019年度活動報告等

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林  
2020.9



はじめに

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林は、1894年設置のわが国最古の大学演習林である千葉演習林をはじめ、気候帯や地域特性に応じて全国7か所に合計32,300haの森林を有しています。演習林には25名の専任教員、約70名の事務職員・技術職員と非常勤職員や研究員が所属しており、地域の自治体や市民のご理解ご協力のもとで、教育研究の場として「教育研究計画2011-2020」（2010年度策定、2015年度見直し）に沿って、全演および各地方演それぞれの取り組みを進めてきました。

全演的な取り組みとしては、「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」により、演習林が保有する古い画像資料（乾板写真、大型図面など）や森林成長に関する長期観測データをデジタル化し、WEB上に順次公開しています。国際的な教育活動としては、海南大学（中国）および国立台湾大学からサマースクールを受け入れたほか、海南大学に教職員と学生を派遣して体験活動プログラムを実施しました。国際的な研究交流活動としては、東京大学戦略的パートナーシップ構築事業による国立台湾大学との合同シンポジウムを東京大学において12月に開催し、日本学術振興会Core-to-Coreプログラムの第2期プロジェクト「環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点：データ・知・人材の協創」（2019-2022年度）の第1回シンポジウムを、海南大学において11月に開催するなど、充実した活動がなされました。学内の教育活動としては、教養学部で42科目を開講したほか、教育研究センターでは演習林所属の学生が引き続き25名を超えて過去最大となるなど、順調に推移しています。

将来計画については昨年度に引き続き、次期計画策定委員会を定期的に開催し、「教育研究計画2021-2030」の策定に向けて、現行の教育研究計画の総括と各演の森林の現況調査を遂行し、次期の全演計画、地方演計画の方向性を明確にしつつあります。

一方、2019年9月から10月にかけて相次いで上陸した台風により千葉演習林と秩父演習林が相次いで大規模な災害に見舞われました。千葉演習林では、倒木や法面崩壊ですべての林道が随所で寸断された上に、停電、断水、通信の途絶が生じ、一部の教職員の自宅も被災しました。秩父演習林では、林道、歩道、モノレールが破壊され、気象観測施設の埋没や川俣学生宿舎への土砂の流入など、過去に例のない規模の被害が発生しました。両演習林とも、教職員が一丸となって被災箇所の把握と応急措置、災害復旧予算や国大協保の申請などを迅速に進めました。さらに「東京大学の森」育成資金において緊急の支援金募集を行ったところ、のべ250件以上のご寄附を賜りました。

ご支援いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。引き続き、早期の研究教育機能の復旧のため、全力を挙げて取り組んでまいりますので、今後とも演習林へのご支援をお願いいたします。

2020年5月

東京大学大学院農学生命科学研究科  
附属演習林長 福田健二





# 目次

はじめに

## I. 演習林の概要

1. 組織
2. 全演での取り組み
3. 演習林活動の統計

## II. 演習林の活動

1. 常置委員会
  - 1) 基盤データ整備委員会
  - 2) 研究推進委員会
  - 3) 教育推進委員会
  - 4) 環境安全管理委員会
  - 5) 広報情報委員会
  - 6) 国際交流委員会
  - 7) 森林病虫害委員会
  - 8) 「東京大学の森」育成資金委員会
2. 地方演習林
  - 1) 千葉演習林
  - 2) 北海道演習林
  - 3) 秩父演習林
  - 4) 田無演習林
  - 5) 生態水文学研究所
  - 6) 富士癒しの森研究所
  - 7) 樹芸研究所
3. 教育研究センター
4. その他の活動
  - 1) 演習林技術職員等試験研究・研修会議

## III. 資料

1. 教育
  - 1) 大学院講義等
  - 2) 学部講義等
  - 3) 他大学の非常勤講師
  - 4) その他の講義・実習対応
  - 5) 4研究室の所属メンバー
  - 6) 所属学生の学位論文
  - 7) 森林生態圏管理学大講座ゼミ
  - 8) 演習林教育研究センターゼミ
  - 9) 実習等
2. 研究
  - 1) 教職員の論文等

- 2) 学会発表等.....
- 3) 著書.....
- 4) 演習林を利用して行った論文等.....
- 5) 受賞・特許等.....
- 6) 外部資金によって行われた研究.....
- 3. 社会連携
  - 1) 学外各種委員会等委員.....
  - 2) 小中高等学校への対応.....
  - 3) 公開講座・セミナー等.....
  - 4) 学会・研究・市民教育等における講師等(招待講演を含む).....
  - 5) 演習林報告・演習林.....
  - 6) 科学の森ニュース.....
  - 7) 新聞・雑誌・放送等.....
- 4. 環境安全管理
  - 1) 安全・防災のための講習会等.....
  - 2) 資格取得のための講習等.....
  - 3) 災害発生状況・山火事予防活動.....
- 5. 国際交流
  - 1) 交流事業・国際シンポジウム・国際共同研究.....
  - 2) 海外渡航.....
  - 3) 外国人研究者・学生等の来訪.....
- 6. 管理
  - 1) 管理面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種.....
  - 2) 立木伐採量.....
  - 3) 育林実行量.....
  - 4) 素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況.....
  - 5) 予算配分収入.....
  - 6) 演習林林産収入細分表.....
- 7. 研修
  - 1) 技術職員.....
  - 2) 事務職員.....
- 8. 組織図
  - 1) 千葉演習林.....
  - 2) 北海道演習林.....
  - 3) 秩父演習林.....
  - 4) 田無演習林.....
  - 5) 生態水文学研究所.....
  - 6) 富士癒しの森研究所.....
  - 7) 樹芸研究所.....
  - 8) 企画部・教育研究センター.....

- 9. 人事.....
- 10. 委員会・会議等
  - 1) 演習林規則に則って開催された委員会・会議.....
  - 2) その他委員会・会議.....
- 11. 利用状況
  - 1) 千葉演習林.....
  - 2) 北海道演習林.....
  - 3) 秩父演習林.....
  - 4) 田無演習林.....
  - 5) 生態水文学研究所.....
  - 6) 富士癒しの森研究所.....
  - 7) 樹芸研究所.....
- 12. 各演習林所在地および連絡先.....



# I. 演習林の概要

---

1. 組織 ……1
2. 全演での取り組み ……3
3. 演習林活動の統計 ……7

# I. 東京大学演習林の概要

## 1. 組織

1890年に東京農林学校が帝国大学と合併して農科大学となり、1894年にはその附属施設として日本で初めての大学演習林が房総半島の南東部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林の始まりである。引き続いて、教育研究目的や森林の生態的な特性を考慮しながら、北海道演習林(1899年)、秩父演習林(1916年)、生態水文学研究所(1922年)、富士癒しの森研究所(1925年)、樹芸研究所(1943年)、田無演習林(1929年(演習林への移管は1982年))が設置され、さまざまな森林帯にわたる約32,000haの広大な面積の、世界的にも貴重で多様な森林資源を守り育ててきた。さらに、2000年度には大学院重点化が行われ、従来から関係の深い森林科学専攻ならびに関連分野の研究者との教育・研究協力関係を一段と発展させながら、大学院農学生命科学研究科のほかの附属施設(農場、牧場、水産実験所、動物医療センター、緑地植物実験所)とともに生圏システム学専攻の協力講座として新たなスタートを切り、大学院教育にも主体的に参画している。現在、東京大学演習林は7つの地方演習林と企画部・教育研究センターで構成されている。各地方演習林は、演習林全体としての共通理念に立脚しつつ、独自の教育研究計画に基づいて活動を行っている。

千葉演習林は、暖温帯に位置する総面積約2,200haの日本で最初の大学演習林である。スギ、ヒノキ、マツ類などの主要造林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を120年余にわたって実施してきた。また、モミ、ツガや広葉樹からなる貴重な天然林を有し、学内外のさまざまな分野の研究・教育に大きく貢献している。近年では、特に自然史や生態系に関する調査・研究を幅広く行っている。

北海道演習林は、亜寒帯に位置する総面積約23,000haの、東京大学では2番目に古い演習林である。択伐施業の実証的・理論的研究によって、林学と北方林業の発展に寄与してきた。各種の試験林が造成される一方、奥地天然林には11,000haの鳥獣保護区が設けられるなど北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。特に1958年以降、北海道演習林の天然林全域を対象として、北方林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る一大森林施業実験「林分施業法」を実施しており、その成果は国内外から高い評価を受けている。

秩父演習林は、冷温帯に位置し、総面積約5,800haと東京大学では2番目、青森県以南の大学演習林では最大の面積を有する演習林である。険しく多様な山岳地形の中にあるため、森林植生は変化に富み、生物相も多様である。大面積にわたる貴重な天然林を対象に森林生態系に関する調査・研究を数多く行っている。また、急傾斜の山岳林における人工林施業法、映像情報による森林情報の収集・蓄積・利用などに関する研究も行っている。

田無演習林は、本学農学部にもっとも近い西東京市に設けられている総面積約9haの演習林である。アクセスの良さや、土地が平坦なことから、圃場を中心とした造林学実験、森林動物学実験、フィールド農学応用実習、緑地環境実地実習といった生物系の実習や、都市林であることを生かした教養学部前期課程学生向けの全学ゼミナールに利用されている。樹木生理や解剖観察、微生物培養、DNA分析などの

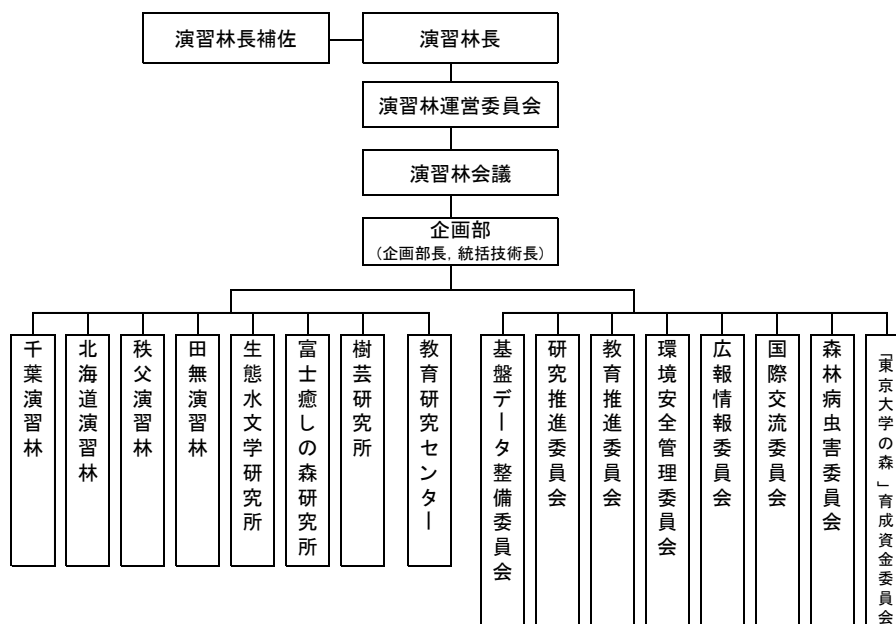
ための実験設備も整備している。

生態水文学研究所は、愛知県の尾張東部・北部丘陵に位置する総面積約 1,300ha の演習林である。林種は、荒廃山地(ハゲ山)から砂防植栽等により回復し、遷移した天然生林(76%)とヒノキやスギの人工林(24%)となっている。1922年の設置後まもなく、演習林内の山地流域からの水流出量の観測が順次開始され、3流域については現在まで観測が継続している。それらの長期水文データを基礎として、森林生態系に流入・循環・移動・流出する水、栄養塩、炭素、土壌、土砂、エネルギーの収支や時間変化、プロセス、メカニズムに関するさまざまな研究が行われている。また、森と水の自然科学教育、森と水と人の関係についての人文・社会科学教育の拠点となっている。

富士癒しの森研究所は、富士山麓山中湖畔に位置する総面積約40haの演習林である。立地条件を生かして森林の保健休養機能の解析や景観評価、環境教育に関する研究を行っている。また、演習林の一部には東京大学の学生・教職員の休養施設が設置され活用されている。

樹芸研究所は、伊豆半島南端の温暖な地にある総面積約250haの演習林である。樟脳生産のために1900年初頭に植栽されたクスノキ林と1980年代に現地適応試験のために植栽されたユーカリ属70種の生き残りが特徴の一つである。一方、組織の大きな特徴はエフォートの50%を教育に割くことである。教養学部前期課程の1,2年生向けの全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」と国際開発農学専修3年生向けの森林実習を担当している。どちらも興味の中心が必ずしも森林ではない学生に対して、森林・林業のことを自分事として捉えるキッカケを与えることを大切に考えている。ユーカリとクスノキはそれらの重要な教材となっている。

農学部(弥生)キャンパスに設置されている企画部・教育研究センターは、東京大学演習林の教育研究活動をつなぐ拠点として、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援している。さらに、多方面の演習林利用希望者の便宜をはかること、共同研究の企画調整、各地方演習林の気象等観測結果のデータベース化と観測・研究成果の公表の場としての「演習林報告」および「演習林」の編集・発行、インターネット等を利用した情報公開促進・広報等、東京大学演習林全体に関わるさまざまな役割を担っている。



## 2. 全演での取り組み

2019年度は東京大学演習林の「教育研究計画2011-2020」後半5年間の4年目にあたる。2015年度に実施した外部評価の結果を踏まえて上記計画の部分的な見直しを行い、次期教育研究計画をも視野に置いた活動をスタートさせた。見直し結果の詳細は演習林59号に報告しているが、このうち「全演的な取り組み」に関する「見直しの基本方針」は表1に示した通りである。

表1 「教育研究計画 2011-2020」後半に向けての修正(全演の取り組み)

項目	見直しの基本方針等
全体	<p>「基本的な理念」に掲げたミッション、キーワードを演習林運営の基本的な姿勢として後半5年間も堅持する。7演習林体制を基礎に全演横断的な活動を常置委員会を中心として行っていく体制を後半5年間も維持する。</p> <p>【基盤データ委員会水文・水質部門】2011～2020年計画にのっとり水文・水質部門の基盤データ整備を行ってきた。後半5年間も計画に沿ってデータ取得、整備を進める。</p> <p>【基盤データ整備委員会気象部門】組織、バックアップを含む機器といった観測体制については整備が進んでいる。今後は、部門で確認した「気象観測指針」に基づき観測、機器および露場のメンテナンスを確実に実行し、精度の維持・向上を図る。また、データ保存状況を確認し、保存、公開、修正の体制を整える。</p> <p>【広報情報委員会】外部向けの発信力を高めるために、全演ホームページをさらに充実させる。また、研究科や大学本部の広報とも連携し、速報性のある情報をより外部に発信できる仕組みを検討する。演習林の活動をよりアピールするため、演習林年報の構成を変え、前半に当該年度の演習林全体のトピックス、視覚的な統計データなどが見えるようにする。</p>
教育	<p>これまで積極的に取り組んできた教養学部前期課程の全学体験ゼミナールや全学的に実施されている学生の体験活動プログラム等のフィールド体験教育を今後も推進する。</p> <p>【教育推進委員会】全国大学演習林協議会が行っている「公開森林実習」について、7番目の項目として位置づけ、企画部・教育研究センターと連携しつつ取り組む。アジア大学演習林コンソーシウムに参加している大学の学生等を対象とした国際トレーニングワークショップ、若手研究者育成プログラム等の企画・実施について、8番目の項目として位置づけて取り組む。</p>
研究	<p>教員の研究活動の活性化に向けエフォート管理の充実やサバティカル制度の活用について検討する。地方演習林がその役割分担を果たすべく核として行っている研究活動への全演的なバックアップ体制について検討する。</p> <p>【国際交流委員会】国際交流への取り組みを積極的に進める。具体的にはアジア大学演習林コンソーシウムや台湾大学とのパートナーシップ強化などこれまで進めてきた国際交流活動をより活性化させ共同研究へと結びつけていく。また新たな国際共同研究のパートナーの開拓や共同研究者の受け入れ等の活動も他の業務とのバランスを考慮しつつ積極的に取り組んでいく。</p> <p>【広報情報委員会】ホームページ等で研究成果を早く、アピールするための仕組みを検討する。</p> <p>【基盤データ整備委員会生物部門】昆虫分野については、当初は2008年度から2010年度までの3年間で公表する予定となっていたが、同一地点での採集を2012年度まで5年間続けているため、5年間でリストを公表することにした。しかし、現在のところ、後半2年分の同定が済んでおらず、同定終了後に公表する予定である。</p> <p>【研究推進委員会】研究推進委員会の活動方針を明文化する。</p>



<p>社会連携 ・貢献</p>	<p>研究成果の社会への発信を含め広報活動をより活発化させる。特に学外向けの広報には新たなメディアの開拓を含めコスト増をおさえつつ効果を上げられる広報活動を検討する。</p> <p>【広報情報委員会】科学の森ニュース編集委員会の役割を明確にし、より魅力的な記事が掲載できる仕組みを作る。利用実績の集計について検討を行い、よりの確なデータを効率的に取得できるようなシステムを構築する。</p>
<p>管理・運営</p>	<p>「技術職員削減」への対応についても附属演習林の任務を果たすために必要なポストや人材の確保に取り組んでいく。特に安全衛生管理面からは必要不可欠な人員の確保に取り組んでいくとともに、災害を防ぐための活動をこれまで以上に進めていく。</p> <p>【基盤データ整備委員会水文・水質部門】観測精度維持のため、観測機器の定期的な更新や、観測方法の講習を検討する。</p> <p>【環境安全管理委員会】今計画期中に千葉演習林で死亡事故が発生した。このことからこれまでの安全管理体制が完全なものではないことが明らかとなった。研究科環境安全管理室との連携の下、再発防止を含めたリスク管理の検討を行った。フィールドには危険があること、どういう所にどういった危険があるかについて演習林は利用者に対して注意喚起する責任があることが確認された。</p>
<p>その他</p>	<p>【教育推進委員会】教員総会に関する記述について、計画当時とは位置づけが変更されているので、必要な修正を行う。</p>

表1に関連した2019年度の主な全演的な取り組みを以下に挙げる。

#### (1)2019年度東京大学デジタルアーカイブズ構築事業

東京大学学術資産等アーカイブズ委員会によって推進されている「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」に2019年度は研究科から「研究室・附属施設が保有する画像資料のデジタルアーカイブズ化」と「森林成長に関する長期観測資料のデジタルアーカイブ化」の2件を応募し、2件とも採択された。このうち「研究室・附属施設が保有する画像資料のデジタルアーカイブズ化」においては、附属演習林秩父演習林所蔵のガラス乾板写真(戦前期)221枚、千葉演習林所蔵の大判図面201枚、絵図13枚、管理図面87枚、生態水文学研究所所蔵のガラス乾板写真(戦前期)315枚および戦前期植民地に存在した東京帝国大学演習林の写真44枚をデジタル化した。これらの資料を農学生命科学研究科ホームページに「農学コンテンツ」として公表する作業を現在進行させている。

秩父演習林所蔵のガラス乾板写真については、内容の不明な写真も含まれていたが、デジタル化した結果、過去の作業風景や建物の変遷、演習林周辺の様子を鮮明な画像で見ることができるようになった。生態水文学研究所所蔵の写真については、ガラス乾板をデジタル化したことにより、これまで公開していた印画写真画像よりも鮮明なものに置き換えることができ、かつ新規画像も発掘されたことにより「生態水文学研究所アーカイブズ」のコンテンツを拡充することが出来た。また、現在ソウル国立大学南部演習林となっている東京帝国大学旧演習林のうち全羅南道演習林に関する写真も「生態水文学研究所アーカイブズ」へ追加し、戦略的パートナーシップ事業で生態水文学研究所に3週間滞在されたソウル国立大学のイム教授にこの写真を提供することができ、共同研究の進展につながる成果があった。千葉演習林所蔵の大判図面、絵図、管理図面については、いずれも内容が未整理であったが、デジタル化によって整理分析の利便性が大きく向上し、大判教材など順序が不明となっていた資料の体系化を進めることができた。過去にあった古い図面に対する研究利用を促進する効果も期待できる。

「森林成長に関する長期観測資料のデジタルアーカイブ化」については、基盤データ整備委員会固定試験地部門が担当し、かねてより課題であった固定試験地データベースの整備と公開に向けた作業

を本格的に推進した。成果の詳細は後述する。

なお2020年度東京大学デジタルアーカイブズ構築事業には研究科として「附属施設(演習林)が保有する大判図面のデジタルアーカイブズ化」ほか1件を応募した。

## (2) サマースクール

2019年度は海外の学生を対象としたサマースクールを2つ開催した。1つは海南大学学部生・大学院生を対象とした「東京大学演習林で学ぶ森林管理～動植物・文化・研究」(2019年7月22日～2019年7月30日)で千葉演習林、富士癒しの森研究所、弥生キャンパスにて行われ、10名の学生が参加した。もう1つは国立台湾大学学部生・大学院生を対象とした「東京大学演習林-国立台湾大学実験林を利用した相互補完的な森林・林業・林産教育」(2019年8月29日～9月4日)で、田無演習林、富士癒しの森研究所、弥生キャンパスにて行われ、森林科学専攻・生物材料科学専攻の学生と交流を行い、5名の学生が参加した。これらはいずれも、2019年度国際短期プログラムとして実施された。

## (3) 演習林の被災と支援金

関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で9月9日に上陸した台風15号(令和元年房総半島台風)により、千葉県を中心に甚大な被害が出た。千葉演習林では、台風通過直後から、事務所、作業所、学生宿舎などが軒並み停電となり、また、強風によって発生した倒木と土砂崩れで主要な林道のすべての入口が閉塞し、入ることができなくなった。鉄道、バスはストップし、固定電話、携帯電話、インターネットがすべて不通になった。その後の10月12日の台風19号、10月25日の台風21号に伴う大雨によって被害が拡大した箇所もあった。

東日本および東北地方の広範囲に記録的な豪雨をもたらした、多摩川や千曲川、阿武隈川といった主要河川の氾濫・堤防決壊を引き起こした台風19号(令和元年東日本台風)に伴う豪雨により、秩父演習林は甚大な被害を受けた。入川、大血川両林道とも路肩崩壊、橋床流出、土砂堆積等多数で、車両の通行ができなくなり、川俣学生宿舎も土砂流入による損壊のため使用できなくなった。林道や川俣学生宿舎の復旧までには相当な時間がかかることが想定された。

こういった甚大な被害状況にかんがみ、社会連携部の力添えを受け、広く支援金を募ったところ、2020年2月17日時点で千葉演習林194件5,553,955円、秩父演習林55件1,832,600円(いずれも東大基金取り分を含まない)のご支援をいただいた。

## (4) 戦略的パートナーシップ大学プロジェクト

演習林は、戦略的パートナーシップ大学プロジェクトに、国立台湾大学およびソウル国立大学として参画している。国立台湾大学との間では持ち回りで毎年Joint Conferenceを開催しており、今年度は東大で12月9～10日に行われた。9日は弥生講堂で、午前に全学レベル、午後に研究科レベルのセッションが行われ、演習林の長期モニタリングネットワークを紹介した。10日は弥生講堂アネックスセイホクギャラリーで森林系のセッションが開催され、約80名が参加した。午前には森林レクリエーションと森林セラピーに関する講演会、午後は学生のポスター発表と懇親会が開催され、学術交流と友好をより一層深めることができた。

## (5) 施設整備費補助金概算要求事業

2020年度の施設整備費補助金概算要求事業で「森林生物多様性国際教育研究施設」として提案した秩父演習林影森地区の教育研究施設の新築要求については、採択には至らなかったが、2021年度

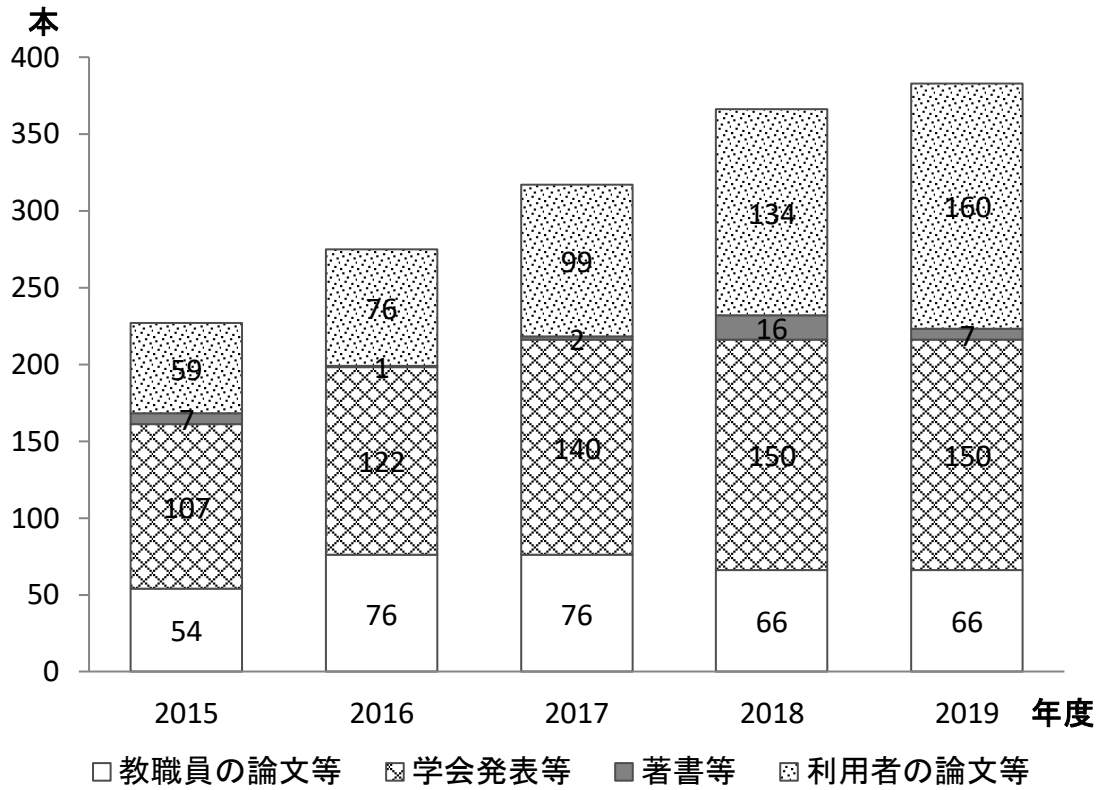
の概算要求では「森林生物多様性国際教育研究ミュージアム」という名称で要求を提出した。これまで平屋建てであった施設を2階建てとし、植物標本収蔵スペースを拡張し、所蔵試料の展示公開のためのスペースを新たに設けた。

なお、2020年度の施設整備費補助金概算要求事業では同時に「川俣宿泊施設の耐震補強」を要求したが、2つある建物の工事を一括して要求することが認められず、各建物の要求金額は要求の下限額を下回っていたため、審査されずに却下された。前述したように、川俣宿舎は台風19号により被災したため、災害復旧プロセスが進行中である。

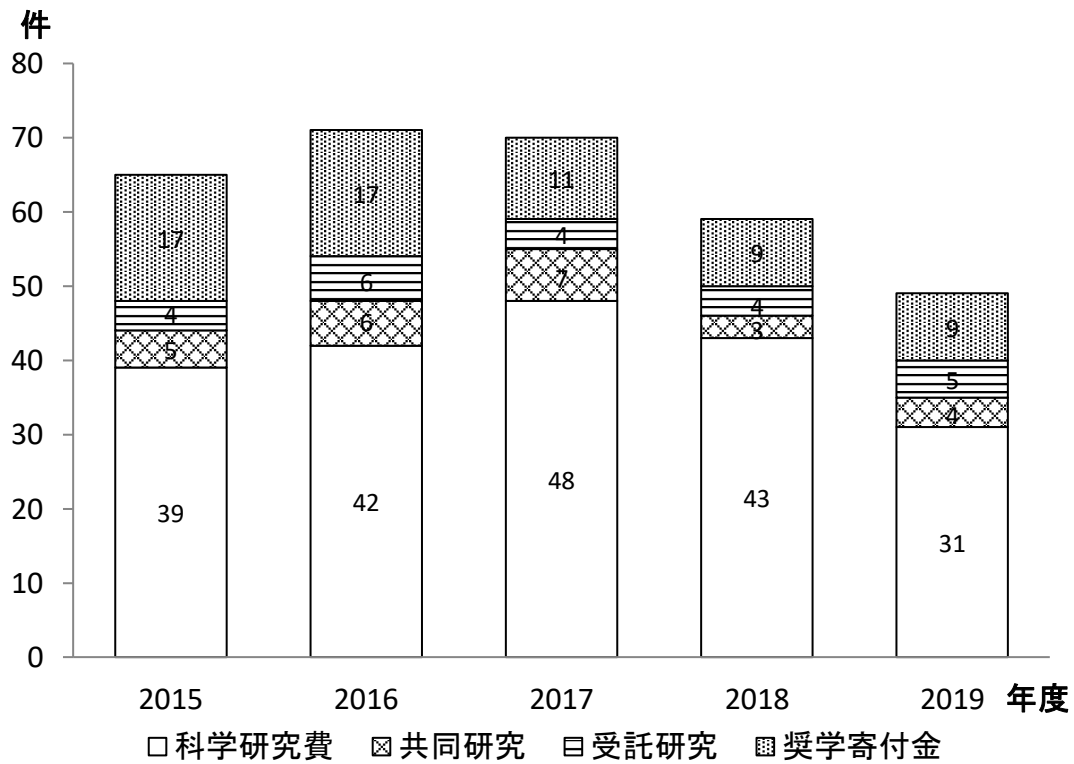
#### (6) 次期計画策定委員会

現在の教育研究計画は2020年3月までの計画であり、2020年4月から次期計画期間となる。次期計画を策定する作業を進めるため、2018年度に次期計画策定委員会を立ち上げた。メンバーは林長(委員長)、企画部長、統括技術長、地方演習林長、常置委員会委員長、教育研究センター技術主任である。2019年度は2018年度に引き続き、4月、6月、10月、12月、2月の5回、会議を開催した。このうち10月の会議は教員総会と合同で行い、次期計画策定プロセスへの全教員の参画を試みた。

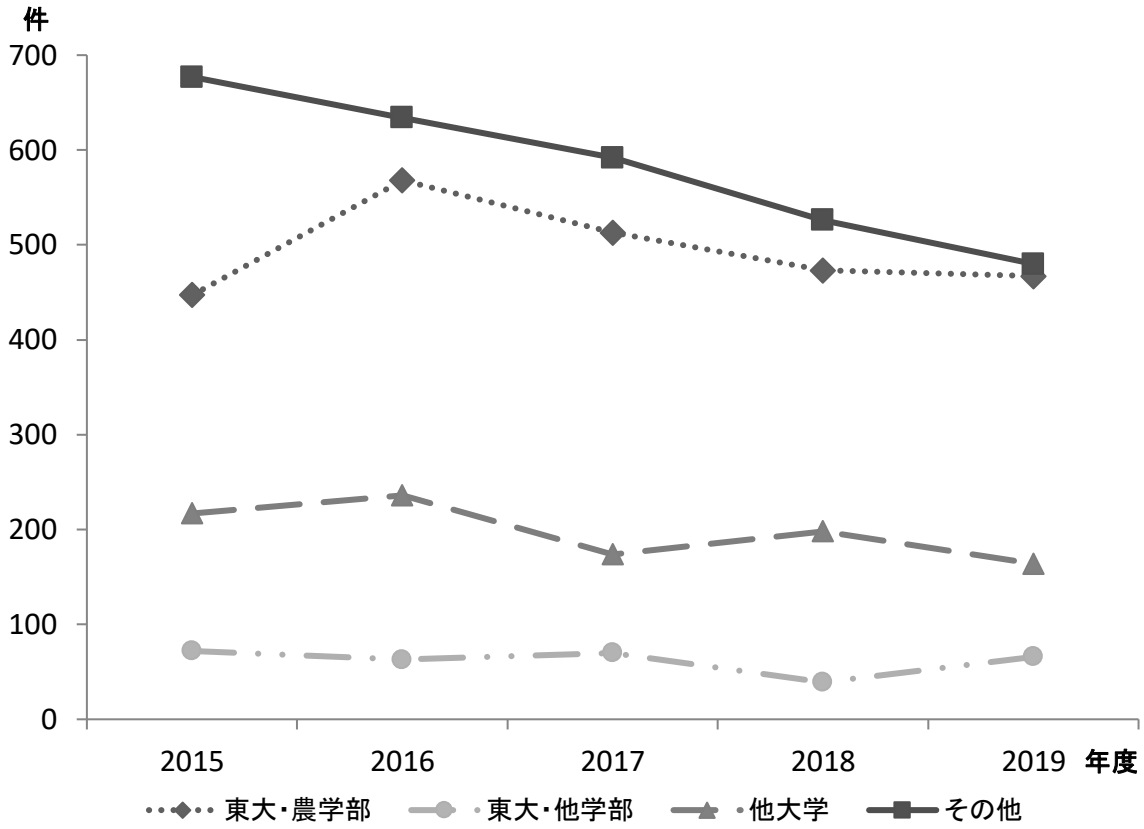
### 3. 演習林活動の統計



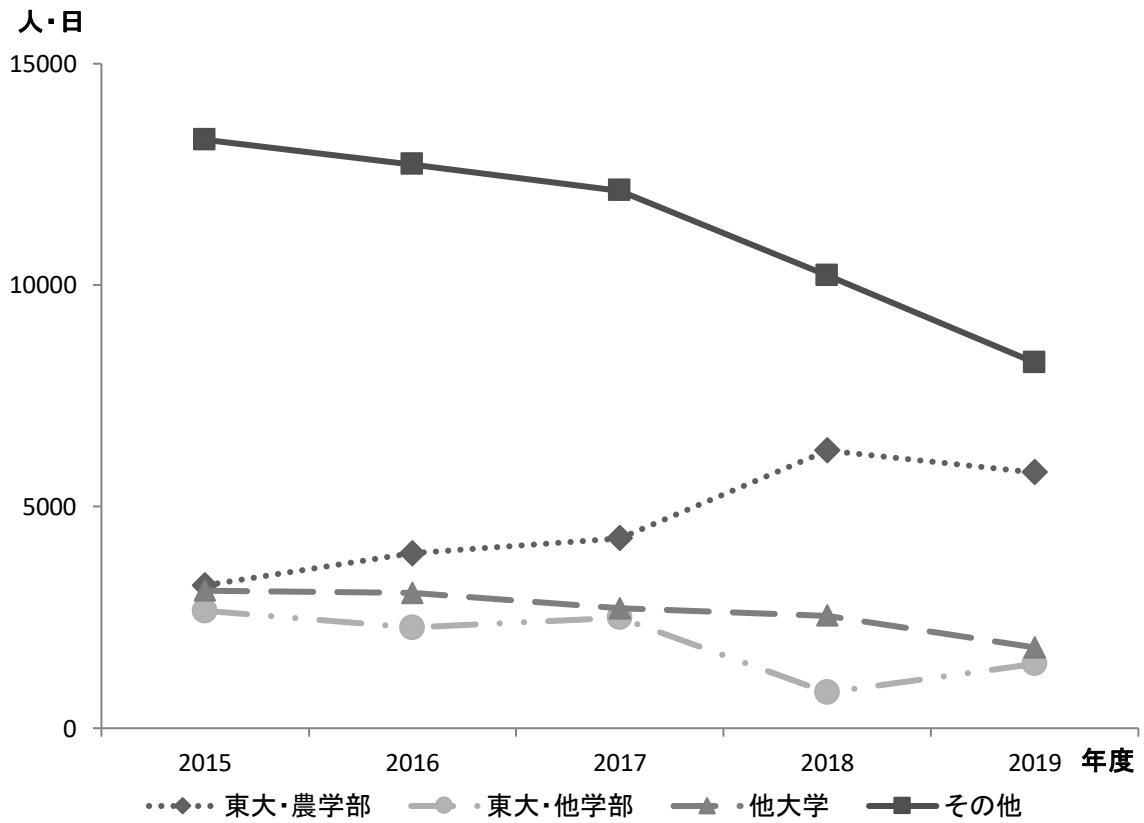
#### 教職員の論文・学会発表・著書等の本数



#### 外部研究費の獲得数



利用件数



利用者のべ人数

ただしロードレース大会利用人数(富士癒しの森研究所 2019年度は11303名)を除く



## II. 演習林の活動

---

1. 常置委員会 ……12
2. 地方演習林 ……31
3. 教育研究センター ……45
4. その他の活動 ……47







<生物部門>

○植物分野

演習林内に生育する維管束植物(自生種・導入植栽種)をリストアップし、同時にさく葉標本を1種につき3点作成する。2033年度に全演の植物目録を更新することを目標に資料の収集にあたっている。2019年度は、標本のデータベース入力作業を継続すると共に、完全標本作成(標本台紙への貼り付け、ラベルの作成および台紙への貼り付け)を進めた。

**2019年度の各演習林の活動**

千葉演習林:I種の活動は、標本採集1種3点と未採集希少種のリストアップを行った。II種の活動は、過去に千葉県立中央博物館と行った植物相調査の野帳整理を進めた。

北海道演習林:I種の活動は、106林班において特殊植物保護区設定に向けた植生調査と19林班のアカエゾ純林・無伐採林の保存林設定に向けた植生調査を行った。II種の活動は、通常業務として樹木フェノロジー調査を行った。

秩父演習林:I種の活動は、標本のデータベースの入力作業と標本整理を行った。II種の活動は、2016年より行っているクマガイソウ保全調査を継続して行った。

田無演習林:I種の活動は表の通り。II種の活動は、樹木園において自動撮影カメラによるフェノロジー調査を行った。

生態水文学研究所:I種の活動は、保管された標本リストと重複標本の確認を行った。

II種の活動は行わなかった。

富士癒しの森研究所:I種の活動は標本整理、データ入力を6.5日(6.5人工)行った。

II種の活動は行わなかった。

樹芸研究所:I種の活動は標本作製および重複標本ならびに欠損標本の整理、データベースの入力作業を行った。II種の活動は行わなかった。

演習林名	調査日数	調査人員	2019 採取 標本種数	2019 採取 標本点数	2019 年度末 総標本種数
千葉演習林	0※	0.0※	1	3	926
北海道演習林	2	8.0	14	16	945*
秩父演習林	0	0.0	0	0	942
田無演習林	6.0	6.0	19	49	305
生態水文学研究所	0	0.0	0	0	1,202
富士癒しの森研究所	0	0.0	0	0	416
樹芸研究所	0	0.0	0	0	628

※ 他の通常業務中に行った。

\* 昨年度の報告には未同定種が含まれていたため、今年度の報告は未同定種を除いた。

## ○脊椎動物(鳥類を除く)分野

本年度も脊椎動物のリスト化を目的として、以下に示すI種およびII種の各調査を実施した。I種調査のうち、生態水文における自動撮影カメラ調査では、前年と比べてニホンジカの撮影数が増加した。また、田無と富士においてコウモリ捕獲調査を実施した。II種調査のうち、秩父ではライトセンサスの調査野帳を電子化した。その一方で、9月に発生した台風豪雨の被害により、千葉と秩父では一部の調査を中止するなどの影響が生じた。2020年2月には担当者会議を開催し、今期計画の総括および次期計画の立案について議論した。

演習林名	千葉	北海道	秩父	田無	生態水文	富士	樹芸
I種 自動撮影カメラ調査	○ 10	○ 11	○ 11	○ 2	○ 13	○ 10	○ 6
コウモリ調査				○ 1		○ 3	
II種 目撃情報記録	○ 11	○ 8	○ 6	○ 5	○ 13	○ 7	○ 3
ライトセンサス		○ 5	○ 3				
自動撮影カメラ調査	○ <sup>※</sup> 11						

○は実施した調査を、数値は確認種数を示す

※:ニホンジカ区画法調査の代替として試行

## ○昆虫分野

### (1)全演共通の調査を実施

本年度もピットフォールトラップを用いた地表徘徊性甲虫相調査を実施した。2008年から各地方演習林共通の方法による定期的・定量的採集を行っており、採集された標本は北海道演習林に集められている。千葉演習林、北海道演習林、秩父演習林、田無演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所では、2013年より2017年まで調査地を移動し、2018年から当初の調査地に戻して実施した。富士癒しの森研究所では別の調査地がないため当初から同じ場所で行っている。なお、千葉演習林では3回目(8月)の、秩父演習林では4回目(10月)の調査が天候不順や台風の影響により行えなかった。

2008～2010年の標本については同定結果が出ている。昨年、2011～2017年の末同定分について同定を依頼した。

2011～2012年、2013～2017年の同定が済んだところで、それぞれ、あるいはまとめて、雑誌「演習林」へ投稿する。同定の進行によるが、2008～2012年の初期5年分を2020年度中に公表、以降5年毎の公表を目標とする。

### (2)各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化

各地方演習林を利用した研究論文からの昆虫相のリスト化は各地方演習林で進め、2021年度の公表を目標とする。

## ○鳥類分野

今年度もこれまでと同様に、各演においてI種、II種調査を行った。なお、繁殖期ポイントセンサス調査については、I種調査員のいない演習林(今年度は田無演習林と富士癒しの森研究所)では隔年で他演から調査員を派遣して実施するという計画のもと、今年度の派遣による調査は行っていない。2019年4月から12月までの確認種数と調査回数は下記表の通りである。秩父演習林、樹芸研究所の2演習林で3種を新たに記録した。

2019年2月に開設したWebサイト「東京大学演習林の鳥たち」について、今後の管理運営に関する打ち合わせを、担当者2名とアドバイザーとして参加した教員1名とで10月に行った。Webサイトに関する基礎的な学習やページ作成作業を実践し、今後の管理運営の方法や現状の課題、新企画などについて検討した。

社会貢献活動として、千葉演習林では鴨川市との交流事業「巣箱をかけよう!」を4月と12月に開催した。生態水文学研究所では犬山市の今井小学校と城東小学校にて開催された探鳥会の講師を6回担当した。

演習林名	確認種計		調査回数		調査人員		調査別確認種数	
	科	種	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査	公式調査	任意調査
千葉	26	46	10	102	10	104	22	44
北海道	30	67	12	58	24	58	47	56
秩父	27	56	10	45	10	49	36	50
田無	8	8	0	7	0	7	0	8
生態水文	31	66	4	33	4	39	23	64
富士	33	72	5	71	5	71	38	69
樹芸	26	47	4	24	4	24	25	40

確認種の分類は日本鳥類目録改訂第7版(日本鳥学会2012)に従った

確認種数には演習林隣接地域での記録も含む

任意調査とは公式調査(ポイントセンサス)以外の野外業務の際に一時的に任意で行った調査・観察

## <水文・水質部門>

千葉演習林、北海道演習林、秩父演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所において、降水量と流出量の観測を行うとともに、降水と渓流水の水質分析を行った。千葉演習林での観測・分析は森林理水及び砂防工学研究室の協力を得た。観測・分析結果を生態水文学研究所に集約し、雑誌「演習林」で公表した。データは各演習林と生態水文学研究所で保管・管理している。今年度の観測体制と観測地点、活動内容の詳細は以下である。

### 1, 降水量・流出量観測

北海道演習林、秩父演習林、生態水文学研究所、樹芸研究所では各演習林にて、千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水量と流出量を観測し、日降水量・日流出量へ整理したデータを生態水文学研究所に報告した。流出量観測地点は袋山沢 A(千葉演習林)、丸山沢(北海道演習林)、バケモノ沢(秩父演習林)、白坂本谷(生態水文学研究所)、3号沢(樹芸研究所)、降水量観測地点は、新田(千葉演習林)、東郷ダム(北海道演習林)、ワサビ沢(秩父演習林)、白坂(生態水文学研究所)、青野(樹芸研究所)である。バケモノ沢は台風 19 号で被災したため 2019 年 10 月以降観測を中断している。

### 2, 降水・渓流水の試料採取と分析

北海道演習林、秩父演習林、生態水文学研究所では各演習林にて、千葉演習林では森林理水及び砂防工学研究室にて降水と渓流水を月に 1 度採取して pH と EC を計測し、分析担当者へ送付した。秩父演習林では水試料の pH と EC の計測はサントリーグローバルイノベーションセンター株式会社水科学研究所で行った。降水、渓流水の採取地点は 1 の降水量と流出量の観測地点とそれぞれ同じである。樹芸研究所では、加納観測地点での降水量 1 mm 以上の降水を出勤日毎に採取するとともに、3 号沢の渓流水を月に 1 度採取して pH と EC を計測し、分析に供した。

水試料の分析は次の研究室で行った。千葉演習林の水試料は森林理水及び砂防工学研究室で、北海道演習林と樹芸研究所は樹芸研究所で行った。秩父演習林及び生態水文学研究所の降水試料は樹芸研究所で、秩父演習林と生態水文学研究所の渓流水試料は生態水文学研究所で行った。

分析項目は渓流水については  $\text{Na}^+$ 、 $\text{K}^+$ 、 $\text{Mg}^{2+}$ 、 $\text{Ca}^{2+}$ 、 $\text{SO}_4^{2-}$ 、 $\text{NO}_3^-$ 、 $\text{Cl}^-$ 、pH、EC の 9 項目、降水については、上記 9 項目に  $\text{NH}_4^+$ を加えた 10 項目とした。

分析結果については、千葉演習林については森林理水及び砂防工学研究室から、それ以外の試料については水試料を採取した各演習林の担当者がとりまとめ、生態水文学研究所に報告した。

### 3, 観測結果のとりまとめと公表

日降水量、日流出量、降水と渓流水の水質分析結果を生態水文学研究所がとりまとめた。今年度は 2017 年 1 月～12 月の観測結果を雑誌「演習林 62 号」で公表した。



## <GIS 部門>

本年度より GIS 部門第 5 期活動期間(2019-2021 年度)が開始した。前期の成果をさらに発展させるべく、①GIS データの整備と活用、②GIS 操作技術の向上、の 2 つを当期における GIS 部門の活動方針とした。

活動方針①に関して、前期に引き続き、タブレット端末を利用した森林資源調査の効率化に一層取り組むこととし、本年度も防水タブレット端末(iPad Pro)を全演共用機材として追加導入した。ウェブページ上に公開(内部限定)した全演共用機材のリストを更新し、演習林内での情報共有と利用を促進した。また、各地方林が保有する GIS データのリスト(研究推進委員会主導のメタデータ)を更新した。千葉演習林では小型無人航空機(UAV)によるオルソフォトを用いたナラ枯れ被害発生の把握、新植地図面の作成、GIS による台風災害復旧予算資料、森林現況調査図面の作成を行った。北海道演習林では UAV 空撮画像を用いた施業計画立案の資料作成と植栽予定地面積の算定、航空レーザー測量の実施(約 3,900 ha)と CS 立体図の作成、現地検討会や伐採監護への GIS データ閲覧システム(ArcGIS online, タブレット端末と Collector for ArcGIS)の活用を行った。秩父演習林では UAV 空撮画像を用いた台風災害地の現地確認資料作成、GIS による台風災害復旧予算資料作成、試験地の立木位置図作成・更新、林道・歩道等のシェープファイルの更新、林内における携帯電話各社の電波受信状況の図化を行った。田無演習林では ArcGIS による下刈り予定地や工事区域の図面作成と面積算定を行ったほか、全木調査にて、樹木園、外国産マツ見本林等の GIS 樹木配置図を活用した。生態水文学研究所では GIS による伐採届の図面作成、Collector for ArcGIS による森林現況調査、学生実習、ボランティア団体活動のナビゲーション、Survey123 for ArcGIS による電子野帳の活用、レーザーコンパスによる試験地の立木位置図作成を行った。富士癒しの森研究所では GIS による危険木処理や除雪にかかる情報整備や許可申請、UAV による広報用写真撮影を行った。樹芸研究所では GIS により林小班境界や試験地データの修正・補完を行った。教育研究センターでは、全演共用機器の保守管理、研究者の野外調査に動向することによる Collector for ArcGIS の実践的活用を行った。

活動方針②に関して、GIS 技術指導を担う職員を対象に、2019 年 7 月 8-10 日に生態水文学研究所にて、GIS 技術指導者養成研修会を開催した。千葉演習林の軽込勉技術専門職員と秩父演習林の原口竜成技術専門職員を技術指導者として、北海道演習林の犬飼慎也技術専門職員と生態水文学研究所の岸本光樹技術職員を将来的な技術指導者候補として、ArcGIS online および Collector の操作技術の向上をテーマに、研修を行った。そして、軽込勉技術専門職員が 2019 年 10 月 8-9 日に樹芸研究所にて、原口竜成技術専門職員が 10 月 7-8 日に富士癒しの森研究所にて、それぞれ操作技術・データ整備指導研修を行った。樹芸研究所では、ArcGIS online, Collector, 高精度 GNSS を活用した林道・作業道ポイントデータ取得をテーマに、富士癒しの森研究所では、ArcGIS online, Collector を活用した危険木の情報収集と行政機関への申請書類の効率化をテーマに、それぞれ研修を行った。

## <固定試験地部門>

本年度から部門長が尾張に交代するとともに、鈴木が部門長補佐に就任し、新たな体制の下で活動を開始した。本年度は、昨年度に申請・採択された「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」の「森林成長に関する長期観測資料のデジタルアーカイブ化」事業として、かねてより課題であった試験地データベースの整備と公開に向けた作業を本格的に推進した。はじめに、2011年度に作成したファイルメーカーによる試験地データベースを土台として、今後整理・アーカイブすべき情報の検討を担当教員(尾張・鈴木・當山・藤原・前原)で行った。次に、部門全体会議を2019年6月21日に開催し、各地方演習林の当部門担当者、に対して、試験地データベース作成方針の説明および意見聴取、各地方演習林における試験地データ整備の状況に関する情報交換を行った。7月にはデータベースのフォーマットを確定し、各地方演習林でのデータ入力を開始した。2020年3月末時点で全地方演習林の試験地の基本情報(メタデータ)の入力が完了し、6つの地方演習林の調査履歴に関する入力も完了した(情報が不明なものは除く)。なお、北海道演習林に関しては調査履歴が膨大であるため、入力は完了していない。合わせて、秩父演習林と千葉演習林では、紙資料(野帳等)のスキャン、電子化されているデータのチェック、電子化されていないデータの入力等を進めた。これまでに、約800回分の調査野帳をPDF化し、約400回分の測定データを電子化した。以上の過程により整備した試験地データベースから、公開用データベース(名称:The University of Tokyo Forests Experimental and Ecological forest Plots (UTFEEP) 日本語名:「東京大学演習林毎木調査試験地データベース」)を外部委託によって作成し、2020年3月31日に学内限定の試験運用を開始した。公開用データベースは、内部管理用の試験地データベースのうち、外部公開可能なもののみを掲載するものである。また、本データベースは「農学コンテンツ」のひとつとして公開する予定である。本データベースは2020年度中の英語化を予定している。



図 UTFEEP(毎木調査試験地データベース)のトップページ案(2020年2月末時点)



## 2) 研究推進委員会

第1回委員会を4月19日に開催し、当委員会の活動方針と活動体制および前年度の活動報告を確認するとともに、本年度の活動計画について議論を行った。活動方針として、前年度までと同様、PDCAサイクルによる研究推進を掲げ、研究推進方策の企画(研究プロジェクトの企画と外部資金獲得、演習林データの論文化促進)、および研究等実績の評価と公開(研究業績および外部資金獲得状況の定量的分析、演習林を利用した研究成果の公表)を2本柱として活動を進めることを確認した。活動体制として、前年度体制から、委員長、副委員長、企画班長、一部委員が交代となったことを確認した。以上の方針に従い、委員会内に設置された企画班と評価班において、それぞれ活動計画に従い、以下の活動を実施した。

企画班では、前年度に作成したメタデータ(基盤データ整備委員会各部門が収集するデータ、および各地方演習林の試験地等データを対象としたリスト)の定期更新を行い、演習林の教職員・学生向けのホームページよりダウンロードできるようにした。演習林のデータ(主にメタデータに記した基盤データと各演データ)を研究成果に結びつけるための取り組みとして、データ解析研究会の募集を行い、気象データ・水文水質データ・動物データを利用したデータ解析研究会の立ち上げと打ち合わせ旅費の支援を行った。また、演習林内の研究活動を促進するための取り組みとして、複数の地方演習林を活用した研究活動のスタート支援を募集し、2件の研究テーマについて現地下見・打ち合わせ旅費の支援を行った。

評価班では、演習林教員の外部資金獲得および論文・学会発表等業績の情報を収集・リスト化し、演習林年報に掲載する研究活動資料として広報情報委員会に情報提供した。また、全演 HP に掲載された論文掲載情報(速報)をリスト化し、演習林会議で報告した。

また、前年度までと同様、日本学術振興会(JSPS)研究拠点形成事業(B. アジア・アフリカ学術基盤形成型)において、3つの研究分科会(RG1:水・気候, RG2:生態系・多様性, RG3:持続的管理)にサポート要員を配置した。また、国内打ち合わせ旅費の支弁、ウェブサイト(<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/c2c-2019/> 図参照)の更新・保守等を通じて分科会運営を支援した。

その他、大学法人評価に係る顕著な研究成果(2016-2018年度におけるSSおよびS評価の業績5件)の説明資料を作成した。次期全演計画策定のため今期10年計画の総括資料(業績数・外部資金件数・表彰件数等の時系列データとりまとめを含む)を作成した。国際共同研究に関する利用申請への対応案(2件あり)を検討した。

# 環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点 ：データ・知・人材の協創

English

- トップページ
- 概要
- メンバー
- セミナー
- 研究分科会
- 研究成果



## 環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点 ：データ・知・人材の協創

### お知らせ

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林による研究交流課題「環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点：データ・知・人材の協創」（コーディネーター：鎌田直人教授）が、平成31年度日本学術振興会研究拠点形成事業（B. アジア・アフリカ学術基盤形成型）に採択されました。本課題は、平成28年度同事業の研究交流課題「アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築」を通じて形成した多国間研究協力ネットワークを強化・拡大するものです。演習林等の森林フィールドを有する8か国（日本、台湾、韓国、タイ、マレーシア、中国、インドネシア、スリランカ）の大学が協働して、アジア森林圏の環境変動と生態系応答にかかる新たな知を創出するとともに、信頼性と連続性のある長期森林観測の研究拠点を形成し、データ収集・解析と国際連携、人材の確保・育成を進めていきます。

### 新着情報

- ▶ 2019年12月3日 [海南大学で行われた国際シンポジウムが同大学のウェブサイトで紹介されました](#)
- ▶ 2019年11月18日 [海南大で行われた国際シンポジウムのプロシーディングスを公開](#)
- ▶ 2019年11月6日 [平成31年度実施計画書を公開](#)
- ▶ 2019年8月21日 [海南大学で行われる国際シンポジウムの第1回お知らせ](#)
- ▶ 2019年8月1日 [主な長期試験地のリスト（RG3）を更新しました](#)
- ▶ 2019年6月11日 [サイトをオープンしました](#)

◆ このページの先頭へ

JSPS-C2C (2019-2021)  
環境変動と生態系応答の  
長期森林観測フィールド  
研究拠点：データ・知・人  
材の協創

JSPS-C2C (2016-2018)  
アジア森林圏の環境変動と  
生態系応答を把握する  
長期観測フィールドの  
ネットワーク構築

Japan Society for the Promotion of Science  
日本学術振興会

東京大学大学院  
農学生命科学研究科  
演習林

東京大学大学院農学生命科学研究科  
附属演習林

〒113-8657  
東京都文京区弥生1-1-1  
TEL 03-5841-5497

copyright©2019 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

図：日本学術振興会研究拠点形成事業「環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点：データ・知・人材の協創」（コーディネーター：鎌田直人教授）ウェブサイト (<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/c2c-2019/>)

### 3)教育推進委員会

#### 1. 委員会の開催

2019年6月27日(木), 10月25日(金), 2020年2月21日(金)の3回開催した。

#### 2. 活動報告

##### 2-1. 教養学部講義の組織的取り組み

演習林では、2006年度より、教養学部における講義の開講に積極的に取り組んできた。近年は、年に30以上の科目が開講され、2019年度は44科目が企画されたが、新型コロナウイルスの影響で42科目の開講となった。これらの講義を通じて演習林を訪れ、森林・農山村の現状を学ぶ機会を持った学生は毎年300~400人にのぼる。2019年度は423人が受講した。「教育研究計画2011~2020」に例示された「演習林として戦略的な題目の設定」を目指して検討した結果、2015~16年度に総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林)として開講してきた科目を、2017年度に総合科目「森林環境資源学」(ダムと森林、森と癒し、森の最終形)という科目名に変更し、生態水文学研究所、千葉演習林、富士癒しの森研究所で行うことで、講義内容の充実と受け入れ可能学生数の増加を実現できた。

また、教養学部前期課程2年次の学生向けに開講されている農学総合科目および農学基礎科目は、研究科全体で農学部における初年次教育と位置づけられており、これらの講義を担当することは農学部(研究科)全体への貢献として、演習林として組織的に取り組む必要がある講義等に該当すると考えられるので、これらの科目は駒場キャンパスで行う講義に準ずる扱いとすることとした。2019年度は農学基礎科目「森林環境科学汎論」、「森林資源と木材利用」を実施した。

##### 2-2. 教育推進委員会予算

演習林として組織的に取り組む教育活動に関わる費用負担が職種、指導学生の多少、講義数の多寡等によって大きく偏らないようにするために、教育推進委員会予算として、現有教員の教員経費の2%と欠員教員の教員経費の半額を原資とし、運営費からの補てん分を加え、教養学部前期課程の教育(全学体験ゼミ等)にかかる経費(遠隔地教員の講義のための旅費については研究科負担)、演習林ゼミに出席するための最低限の旅費、「演習林」として講義の担当を受け持っているオムニバス講義のための旅費、国際交流の教育プログラムに関わる経費等を支弁した。料金体系が多様化した宿泊施設利用に対応するため、旅費減額規定を改正した。また、2015年度以降研究科から配分されている学部教育改革経費について、地方演からの要望に合わせて、学部教育の向上に資するよう備品・消耗品・謝金等に支弁した。

##### 2-3. 広報情報委員会との連携

演習林ホームページにおいて公開森林実習の情報を発信した。また公開森林実習のポスターを作成し、農学系の大学に送付して広報につとめた。

##### 2-4. 演習林ゼミ

演習林ゼミは、教育目的で、卒業論文、修士論文および博士論文の作成に必要な指導を行うための「特別演習」「特別実験」等の科目の一部として行われている。2019年度は4研究室ごとのアレンジおよび卒論、修論の発表で計10回開催した(新型コロナウイルスの影響により3月は中止)。

##### 2-5. 学生の確保

教養学部講義担当と協力し、演習林で学ぶためにはどのような学部・専修を選択すればよいかをわかりやすく示した資料として「森林のことを専門的に学ぶには?」を教養学部の講義・ゼミで受講生に配付した。また、進学・大学院受験等のガイダンスの場で「科学の森で学ぼう」パンフレット(PDFで発行)を印刷して配布した。体験ゼミ参加者が進学してきた事例があることから、教養学部講義の実施と合わせ、一定の効果を上げていると評価

できる。

## 2-6. 教員総会

今年度の教員総会では教育推進委員会の担当はなかった。

## 2-7. 公開森林実習

全国大学演習林協議会(全演協)では、各大学が持っている演習林相互の有効活用を促進することを目的に教育関係共同利用として「公開森林実習」を実施している。東京大学は、他大学の学生に東大演習林で学ぶ機会を提供するとともに、本学学生に他大学の演習林で行われるさまざまな「公開森林実習」に参加する機会を提供するため、単位の取得にかえて「成績証明書・履修証」を発行することで、全演協の「公開森林実習」に参加している。

2019年度は、森林系2専修およびフィールド科学専修の「森林科学総合実習」、「森林保全学実習」のうち演習林で行われる部分、および国際開発農学専修の「森林実習」を「公開森林実習」として位置づけ、それぞれ「森林科学総合実習—北海道の天然林生態系とその持続的管理—」、「森林と土砂と溪流の実習—山から川に流れ出る土砂を測ろう—」、「伊豆の公開森林実習—人と森林のあり方について考える—」として開講した。その結果、「森林科学総合実習」は岐阜大から1名、「森林と土砂」は参加者なし、「伊豆の公開森林実習」は京都大から1名、島根大から1名の参加者があった。

## 2-8. 国際交流

7月22日から28日にかけて、千葉・富士・弥生で海南大学サマープログラムを実施し、学生・大学院生10名と教員2名を受け入れた。8月5日から8月13日にかけて、海南大学にて体験活動プログラムを実施して、学生10名と教職員3名が参加した。8月29日から9月5日にかけて、富士・田無・弥生で台湾大学サマースクールを実施し、学生5名を受け入れた。

## 2-9. その他

千葉、北海道、田無演習林(生態調和農学機構と共同で実施)、生態水文学研究所、富士癒しの森研究所、樹芸研究所、海南大学で体験活動プログラムを実施した。坂上委員の異動に伴い、北演の福井助教がオブザーバーとして委員会に11月より加わった。

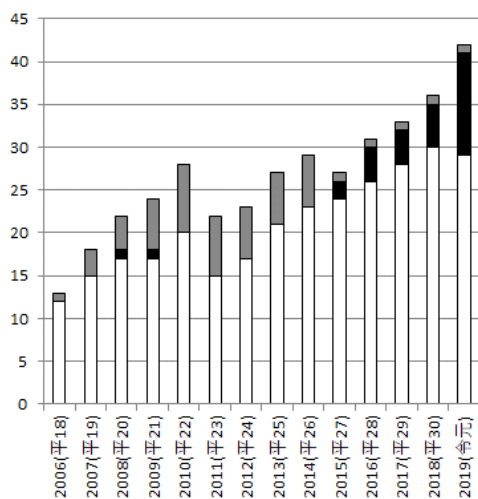


図-1 演習林における教養学部開講科目数の推移

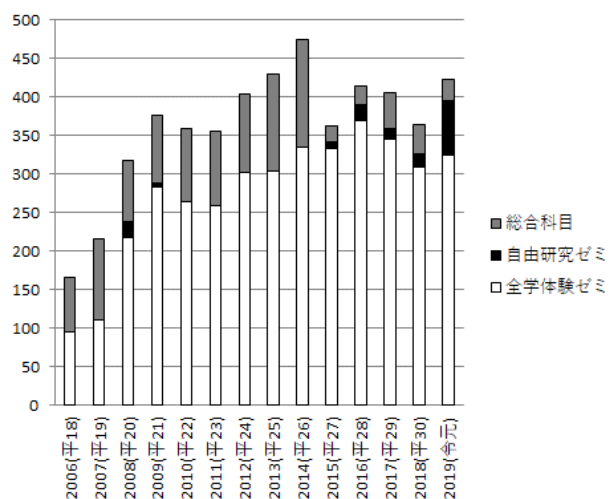


図-2 教養学部開講科目日受講者数の推移  
(2006~07年は未集計科目含む)

#### 4)環境安全管理委員会

毎月開催される農学部の環境安全管理室会議に出席して、情報の収集にあたり、演習林会議を通して情報の共有をはかっている。特定化学物質障害予防規則等の改正への対応など組織で対応すべき事案が多くなっており、弥生キャンパスの研究室とは異なる立場・環境にある演習林の対応について環境安全管理室会議にて質問・説明すること、それらを演習林に持ち帰ることは本委員会の重要な活動の一つである。

教育研究安全衛生マネジメントシステムを2007年度より研究部(現教育研究センター)および各地方演習林をそれぞれユニットとして実施している。2019年度も継続して、各ユニットで安全衛生計画等の作成、定期的なミーティング、リスクアセスメントと対策の検討、安全衛生に関わる各種研修、講習を行った。演習林外部の研修・講習へ職員が参加するとともに、演習林内部でも実施している。教育研究安全衛生マネジメントシステムのまとめや機械等自主検査結果の報告等は各演習林で自律的に実施して、100%の提出率を達成している。100%の提出は当たり前なことではあるが、演習林は常に高い意識を持って安全に配慮していることを示すものである。

2015年度に実施した外部評価では、2014年2月4日に千葉演習林で死亡事故が起きた現実を重視して、安全への一層の取り組みが必要であることと、人員削減によるリスク増があることから組織的に人材確保に取り組むべきことの重要性が指摘された。このことを受けて演習林独自の安全への取り組みを行うことを検討した。その一つとして地方演習林の安全管理体制の視察を行い、地方演習林職員と職場の安全環境に関する交流を行うこととした。今年度は北海道演習林を訪ね、昨年度人身事故のあったスノーモビルの安全講習会と同日に開催された安全衛生会議を視察した。北海道演習林では安全講習会のマンネリを避けるためプログラムに新味性が盛られるなど、参加者の意欲を増す工夫があった。

細心の注意を払っても事故災害は起こり得るので、実際に事故災害が起こった時にしっかりと検証・点検を行って安全性を高めていく努力がとても重要である。

8月には樹芸研究所で実施している全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」のナイトウォークというアクティビティ実施中に、受講生が町道から川に転落する事故が発生した。ナイトウォークでは、ホテル観察などを行う際に懐中電灯を消した状態で歩くことがあった。事故は懐中電灯を消灯した状態で、町道から川まで落差が2.7mある危険箇所を歩かせてしまったことが原因であった。懐中電灯を消して観察を行う場合は、赤色LEDで観察する範囲を明示し、その区間を懐中電灯を点灯した状態で安全を点検した上で実施することにより、再発を防止することとした。観察以外の行動では、常に懐中電灯を点灯して、一列に並び間隔を広げずに歩くことで安全を確保するという基本が確認された。

今年度はハチ刺され、ダニ咬傷の報告は少なかった。しかし、どちらもアレルギー症状を引き起こし、時に重篤になる恐れがあるので常に注意が必要な案件である。特にダニの場合は、調査等で山林から帰還したあとにチェックを入念に行うことで、咬傷のリスクを大きく低減することができるので、学生や来訪者への周知が大切である。

## 5) 広報情報委員会

・演習林会議の前に、図書館会議室の TV 会議システムを利用して 8 回の会議を行い、弥生地区の委員のみで打合せを 3 回行った。6 月、9 月、12 月、3 月には科学の森ニュース編集委員会と合同で会議を行い、科学の森ニュースで取り上げるトピックス等について検討した。

### 【広報活動】

・演習林編集委員会と連携して、雑誌「演習林報告」141 号・142 号、「演習林」62 号を編集した。また、2 年ごとに発行している演習林「概要」のほか、科学の森ニュース 86 号～89 号、「科学の森で学ぼう」の編集、印刷、出版と配布を行った。科学の森ニュースは 87 号から誌面をリニューアルした(4 コマ漫画スタート: 図 1)。

・全演ホームページについて、千葉演習林、秩父演習林台風被害支援金募集の告知、各地方演習林の英語ページの更新を行った。

・毎月の専攻長・附属施設長会議に演習林の活動を資料として提出したほか、各地方演習林と協力して、広報誌(学内広報、淡青、弥生など)への原稿の投稿、情報の提供を行った。

・出版局では、10 月の消費税増税に伴う価格改定を行った。

・2019 年 4 月～2020 年 3 月の演習林出版局の出版物(ポストカード含む)の販売実績は、農学部生協店で 99 冊、生協駒場書籍部で 17 冊、多摩六都科学館ミュージアムショップ 9 冊、神林書店 45 冊、地方演習林合計で 1,232 冊、全体では 1,402 冊、合計 1,032,111 円(消費税込)となった。

### 【情報活動】

・利用者実績データベースに関する取りまとめとメンテナンスを行い、演習林年報に利用する地方演習林における教育研究活動のデータ収集を支援した。

・技術職員等試験研究・研修会議報告について、とりまとめや編集、発行を行った。

・演習林年報について、「外部資金によって行われた研究」の精査再考、項目順序の変更を行った。

・広報情報委員会の下部組織である演習林ネットワーク委員会では、メールアカウントの管理業務・演習林サイボウズ・Web/データベースサーバの管理・部局 CERT における担当を行った。

・コンピュータセキュリティに関する業務、地方演習林のインターネット接続・コンピュータネットワークに対する支援などを行った。

・メーリングリストの更新とリスト担当者の役割の議論を行い、「メーリングリスト担当者」を、共通の基準で区分し、担当者を定めた。

・マルチメディア委員会に出席し、農学部が検討している附属施設の VPN 化についての説明を受け、マルチメディア委員らと意見交換を行った。

・「演習林サイボウズの管理体制」に従ってサイボウズの運用を行った。

・地方演習林で発生した情報セキュリティインシデントに対し、地方演習林担当者と協力し、対応に当たった。

・UTokyo-CERT 説明会と総務省情報セキュリティ統一研修を受講し、全学の情報セキュリティの動向や管理体制、技術的基盤に関する情報収集を行った。

・Windows Server の購入とセットアップを行った。

・クラウドサービスをベースにした新メールホスティングサービスの利用説明会と全学ファイアーウォールに移行する詳細説明が行われた UTNET Meeting に担当者が出席した。



# 演習林のおじと 001



今号から演習林は紙製新聞紙の4コマ漫画の連載を開始します。紙製新聞紙により演習林の活動をより身近に感じてもらうことを目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

# 演習林のおじと 002



# 演習林のおじと 003



図 1. 科学の森ニュース 87 号から連載を始めた 4 コマ漫画

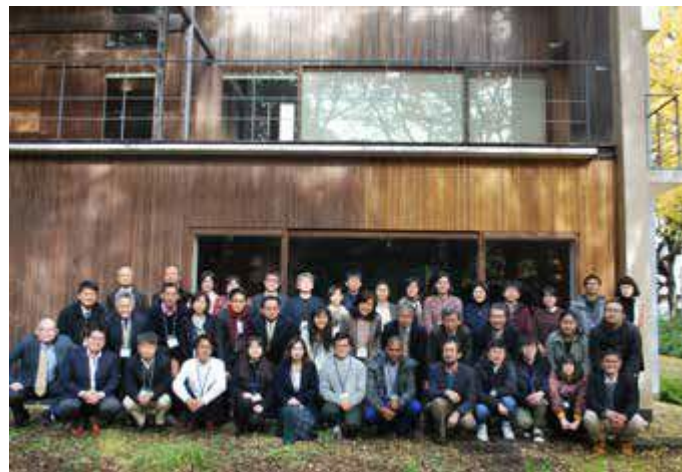
## 6)国際交流委員会

演習林国際交流委員会は、おもに、各国の大学演習林との交流計画の作成・実施を任務としている。2018年度に JSPS-C2C WG が中心となって申請し、2019 年度から採択となった、日本学術振興会 (JSPS) 研究拠点形成事業 (B.アジア・アフリカ学術基盤形成型)「環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点:データ・知・人材の協創(代表:鎌田直人教授, 2019-2021 年度)」を中心に活動を行った。2019 年 11 月には海南大学で第 1 回アジア長期森林観測研究国際シンポジウムを海南大と共同で主催した。東大と海南大のほか、国立台湾大学(以下、台湾大)・ソウル国立大学校(以下、ソウル大)・カセサート大学・マレーシアサバ大学(以下、UMS)・ガジャマダ大学・スリジャヤワルダナプラ大学(以下、USJ)から参加があった。9-10 月にブラジルで開催された第 25 回 IUFRO 世界大会では、演習林教員 3 名が参加して JSPS 研究拠点形成事業の紹介を行った。研究分科会 RG1 の WS を 5 月にソウル大で、RG2 の WS を 9 月に台湾大で、RG3 の共同研究打合せを 10 月に台湾大で、それぞれ開催した。また、同経費により、7 月に USJ の Singhakumara 教授を招聘し、秩父演・田無演・北演の見学と共同研究打合せ、および森林科学セミナーでの講演を企画・開催した。台湾大 Guan 教授が、共同研究のため北演に 3 ヶ月間客員教授(旧客員III種)として滞在した(客員教授招聘期間は 6-7 月の 2 ヶ月間のみ)。滞在期間中には、農学系キャンパスにおいて、森林科学セミナーでの講演を企画・開催した。7 月には台湾大実験林創立 70 周年の記念式典に福田林長と蔵治企画部長が出席した。また、7 月に UMS が主催した国際熱帯森林科学会議(ICTFS)に演習林教員 2 名が参加し、鎌田教授が招待講演で北演の林分施業法について紹介を行った。12 月に東大で開催された UTokyo-NTU Joint Conference 2019 では、森林系のセッションを主催し、東大から 66 名(うち、演習林から学生を含め 23 名)、台湾大から 12 名の参加者があった。セッションの一部として、台湾大 Ko 教授と Chu 教授の森林科学セミナーを企画・開催した。2020 年 1-2 月には中国の東北林業大学 Shu 准教授が JSPS 二国間交流事業で北演に滞在し、林分施業法ほか北演の森林管理について情報収集と相互の情報交換を行った。同時期にソウル大 Im 教授(森林科学専攻長)が、戦略的パートナーシップ予算で生水研に滞在し、観測体制などに関する情報収集を行った。滞在中には、樹芸研も訪問して JSPS 研究拠点形成事業 RG1 のミーティングに参加するとともに、気象・水文観測サイトを見学した。インターンシップとしてマレーシアから 2 名、フランスから 1 名の学生を受け入れた。





海南大学における JSPS 拠点形成事業の第1回シンポジウム(2019年11月11日)



UTokyo-NTU Joint Conference 2019(弥生講堂アネックス 2019年12月10日)

## 7) 森林病虫害委員会

森林病虫害委員会は森林管理において支障となる病虫害が発生し各地方演習林で対応が困難な場合に専門的な立場から管理指針を助言することになっている。

2017 年度に千葉演習林をはじめ房総半島南部でマテバシイを中心にブナ科樹木萎凋病(通称ナラ枯れ)の発生が確認された。千葉演習林では千葉県内各機関と協議して状況の把握, 対応に取り組んでおり, 本委員会でも千葉演習林と情報の共有を図っている。ナラ枯れについては、富士癒しの森研究所においても単木的なミズナラの枯死被害が発生した。その他、埼玉県、東京都、千葉県北部にも被害が拡大したが、秩父、田無の両演習林への侵入は確認されていない。

生態水文学研究所 74 林班ではマツ枯れに対する薬剤散布を継続しており、生態水文学研究所が調査した被害状況の報告を受けている。被害は抑えられていることから、今後も経過観察を続け枯死が多発した場合には対応策を検討する。2019 年度は例年に比べやや枯死が多かったが、2010 年度に実施したマツ枯れ予防樹幹注入試験地(注入木約 130 本)についても 2019 年度は枯死木がなかったため、調査は実施していない。本試験地では注入後数年間、予防効果について経過観察し、注入木で枯死が多発した場合には薬剤の分布調査を行うことになっている。なお、本林班の枯死木の伐倒駆除法について相談があり助言を行った。マツ枯れについては富士癒しの森研究所からも枯死木処理について相談があり助言を行った。

その他に対応が必要な病虫害発生案件はなかった。

## 8) 「東京大学の森」育成資金委員会

「東京大学の森」育成資金の目的は以下の通りである。

- 1) 管理作業: 教育研究フィールドとして、多様な森林環境を保全管理する。そのために森林管理作業全般を行う。
- 2) 観測・調査: 森林の生態や動態に関する科学的データを収集整備し、それらを提供する。そのために、継続的な観測・調査を行う。
- 3) 社会教育: 森林・環境に関する理解を深める社会教育の場・機会・プログラムを提供する。

10 万円以上の寄付をした個人と 50 万円以上の寄付をした法人のうち希望者は「記念樹への銘板の設置」「記念樹見学会(以下、寄付者イベント)への参加」という特典が与えられる。また 1 万円以上の寄付をした方には「記念品(ポストカード)」が贈呈される。

育成資金の趣旨を、手に取っていただく方にとってわかりやすいものにするため、案内パンフレットを 2018 年度末に大幅に刷新した。2019 年度には、このパンフレットの内容に合わせて東大基金ホームページおよび演習林ホームページ内の育成資金ページを刷新した。

2019 年度の寄付受入状況は 2 月 18 日報告分までで 8 件、1,540,000 円(うち東大基金取り分 231,000 円)であり、寄付件数、寄付額とも 2018 年度を下回った。

一方、2019 年度は台風 15 号、19 号等で千葉演習林と秩父演習林が甚大な被害を受けたことから、東大基金の全面的な協力を得て、「東京大学の森」育成資金を受け入れ口として支援金を募ったところ、2 月 17 日時点で千葉演習林支援金 195 件 6,544,017 円(うち東大基金取り分 981,603 円)、秩父演習林支援金 55 件 2,156,000 円(うち東大基金取り分 323,400 円)のご支援をいただいた。

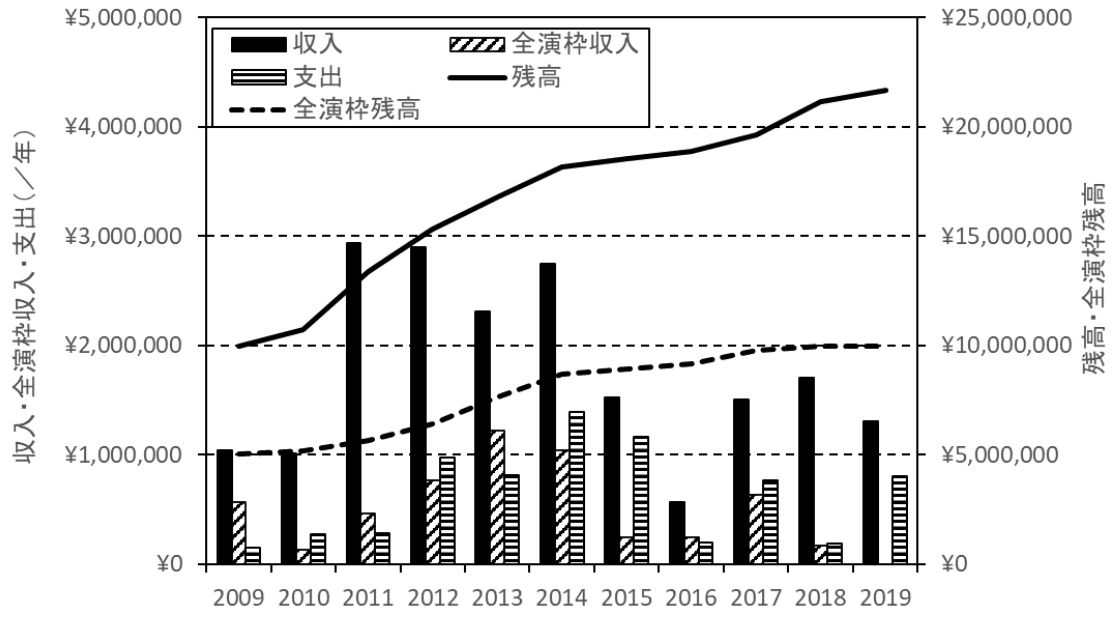


図 寄付金収入(支援金を除く), 全演粋収入(内数), 支出、残高, 全演粋残高(内数)

## 2. 地方演習林

### 1) 千葉演習林

本年度は9月の台風15号と10月の台風19・21号によって林道等に多数の被害が生じ、年度後半の活動全般が大きな影響を受けた。森林被害の全容は未だ不明であり、林道復旧後に調査予定である。

#### 【教育】

専門教育として、複数科目が統合し新設された森林科学基礎実習Ⅰを含む農学部2科目(同左, 森圏管理学), 理学部1科目(地球環境科学科野外調査実習Ⅰ), 大学院農学生命科学研究科1科目(生圏システム学特論), 大学院新領域創成科学研究科1科目(自然環境学野外総合実習)の計5科目を実施し、学生数でのべ343人日の利用があった。また、他大学の実習5科目(宇都宮大学, 京都大学, 千葉大学, 東京学芸大学)でのべ326人日の利用があった。例年秋以降の実習利用は少ないために台風被害による影響は小さく、本年度の利用人日数は昨年度比で7%減にとどまった。教養教育として、全学体験ゼミナール4科目(危険生物の知識(春編), 君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編), フィールドで考える野生動物の保護管理, 房総の森と生業(なりわい)を学ぶ), 総合科目1科目(森林環境資源学), 体験活動プログラム1件(演習林の教育研究を支えよう! ~日本最初の大学演習林で体験する三つの縁の下~), および海南大学サマープログラムを実施した。これらの現地実習は様々なフィールド学習や課題解決型学習等の内容を含み、最長3泊4日で行われ、のべ189人日の利用があった。学生の研究活動として、卒論研究3件, 修論研究9件, 博論研究3件の利用があり, 安全管理, 観測補助, フィールド情報等提供, データ提供などの研究支援活動を行った。

#### 【研究】

当演習林の組織研究や基盤データ整備の活動も台風被害の影響によって縮小・内容変更を余儀なくされた。研究課題のうち、①「持続可能な人工林経営を实践する理論と技術の高度化」では、成長測定試験地の観測や成長傾向の解析、蓄積した過去データの整理、集約的管理を行うモデル林の運営を行った。②「林木の育種と増殖技術の開発」では、千葉演習林で選抜した抵抗性クロマツ候補6系統の一次検定を千葉県森林研究所と行い、2系統が合格となった。抵抗性アカマツ候補12家系と5家系について、林木育種センターでそれぞれ一次検定と二次検定を行い、8家系と1家系が合格となった。コンテナを利用したアカマツ苗の生産試験では、Mスターコンテナの使用により苗高の大きな苗を2年程度で生産できることを示した。③「絶滅危惧植物の保全に関する研究」では、千葉県ヒメコマツ保全協議会の活動として繁殖量調査を行うとともに、天然個体への高芽接ぎの試験を継続した。④「房総丘陵における暖温帯林生態系の保全・管理」では、カメラトラップ法でのシカ生息数調査を実施し、広葉樹二次林試験地における植生調査を実施した。檜ノ木台長期生態系プロットでは5年に一度の毎木調査を実施した。研究利用実績として、23件(学生の研究活動を除く)の利用課題があり、様々な研究支援活動を行うとともに、中核的共同研究として主体的に関与した課題もあった。研究利用課題数は台風被害の影響で昨年度比20%減となり、10月以降の新規利用申請は1件のみであった。基盤データ整備として、気象部門では清澄の湿度チップを更新した。水文・水質部門では森林理水及び砂防工学研究室と連携し台風被害にあった観測施設の復旧に努めた。生物部門の植物分野では標本採集と未採集希少種のリストアップを行い、千葉県立中央博物館と共同で行った植物相調査の紙野帳整理を進めた。脊椎動物分野では自動撮影カメラ調査と脊椎動物目撃情報の収集を行った。コウモリ捕獲調査と魚類相調査は台風災害等のため実施できなかった。鳥類分野では繁殖シーズンの早朝ポイントセンサスと日常業務中の任意調査を実施し26科46種を確認した。昆虫分野では地表徘徊性甲虫調査を進めたが、台風被害の影響で3回のみとなった。昆虫相調査

では県初記録となるヤマトセスジムシを採集した。GIS 部門では昨年度 UAV 空撮画像によりナラ枯れ枯死個体の探索を行った区域において GIS アプリ collector を用いた現地調査を行い、探索手法の信頼性を確認した。固定試験地部門では試験地データベース公開のためのメタデータ(試験地基本情報と調査履歴)の情報整理を行った。

#### 【社会連携】

4 月に「春の一般公開」として郷台林道と郷台作業所を一般公開した。また、2 月には博物資料館を一般公開した。7 月には千葉大学海洋バイオシステム研究センターとの共催で「高校生のための森と海のゼミナール」を開催した。4 月と 12 月に鴨川市との共催事業「野鳥の巣箱をかけよう」と 11 月に交流事業「東京大学・小石川植物園見学ツアー」を実施した。また、天津小湊小学校 5 年生とその保護者を対象とした体験型イベント「総合的な学習の時間」を実施した。本イベントは本年度で 22 年連続の開催となった。千葉演習林ボランティア会 Abies とは緊密に連携をとりながら活動を行い、一般公開や総合的な学習の時間等のイベントに協力していただいた。その他、6 月に千葉県立君津青葉高校「校外実習」が行われた。台風被害の影響により、9 月の坂畑小学校フィールドミュージアム「自然観察会」と 11 月の学内特別ガイド「千葉演習林で楽しむ紅葉とランチ」は開催を中止した。台風被害からの速やかな災害復旧と教育研究機能回復のため、東京大学基金を通じて「東京大学の森」育成資金(千葉演習林支援金)を募集し、計 195 件、5,562,414 円の寄附を得た。

#### 【施業管理】

人工林の保育作業として地拵え・新植 0.48 ha(うち実習地 0.04 ha)、下刈り 1.39 ha(同 0.32 ha)、除伐 0.05 ha(同 0.05 ha)を実施した。昨年度に主伐を行った 10 林班 C4 小班の面積の約半分では植栽と合わせて一部に防獣柵を設置し、C4-3 小班として分筆した。本年度 TSCP 促進事業として J クレジットプロジェクトへの参画費(事業期間:18 年間)が予算化され、クレジット取得の条件となる森林経営計画の策定に向けた準備作業を行った。なお、保育間伐は当初予定地が J クレジットプロジェクトの対象地に含まれる可能性があったために本年度の実施を見送った。また、次期教育研究計画策定にかかる森林現況調査を行った。

#### 【その他】

台風 15 号(9 月 9 日)の影響により林道 9 路線が通行止めとなり、計 141 箇所(建物 14、林道 127)が被害を受けた。天津事務所では 13 日夜まで停電が続き、清澄・札郷作業所でも停電・断水が生じた。台風 19 号(10 月 12 日)は林道被害 33 箇所をもたらし、うち数箇所では同一地点で被害が拡大した。台風 21 号(10 月 25 日)の通過に伴う大雨により、林道 94 箇所被害が生じた(重複箇所を含む)。林道・建物被害箇所復旧のため、文科省および国大協保険に災害復旧申請を行った。本年度の事故災害報告は 0 件であった。労働安全衛生規則の改正に伴い、チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育を受講した。ダニの発生増加に対応してダニ取り器を常時携行するようにした。4 月から事務補佐員を、6 月から職域限定職員(技術員)をそれぞれ採用した。研究科の施設整備準備金により清澄浄化槽取設他工事、清澄学生宿舎外壁改修他工事、天津事務所男子トイレ改修工事を行った。また、市町村交付金により天津事務所境界フェンス改修工事と仙石林道災害復旧工事を行った。

## 2)北海道演習林

### 【教育】

学部・大学院の専門教育として、農学部授業科目「森林科学総合実習」を担当実施し、全演協の公開森林実習として他大学(岐阜大)の学生も受け入れた。大学院の授業科目 1 件(新領域創成科学研究科)およびゼミ 1 件(筑波大)を受け入れた。卒業論文研究 6 件(帯畜大, 農工大, 静大, 名大), 修士論文研究 15 件(東大, 北大, 北教大, 新大, 首都大, 名大), 博士論文研究 4 件(東大)を受け入れてこれらの実行を支援した。その他, 東京環境工科専門学校の実習に準ずる活動を受け入れた。教養教育として, 1 件の全学体験ゼミナールの実施を支援した。体験的な機会の提供として, 体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」を実施して教育学部生 1 名を受け入れたほか, マレーシアサバ大からインターンシップ 2 名を受け入れた。ICT を活用したフィールド遠隔教育として, 弥生キャンパスで行う農学部授業科目等で 1 回の遠隔ライブ講義と 1 回のビデオ配信講義を実施した。初等・中等教育支援として, 文部科学省 SSH 事業による校外研修(札幌啓成高)を受け入れ, プログラムを作成・提供するとともに指導を行った。帯広農業高(森林科学科), とわの森三愛高(獣医・理数コース)の 2 件の研修を受け入れ, 指導を行った。技術者教育として, 国際協力機構(JICA)1 件をはじめ, 官公署・国有林, 林業団体・企業等の研修会・視察見学等計 15 件を受け入れ, それぞれ指導を行った。

### 【研究】

「汎針広混交林帯における森林生態系の持続的・順応的管理」を課題として掲げ, 森林生態, 森林経営, 森林生態系保全の 3 分野の研究を推進した。

森林生態分野では, 大面積長期森林生態系観測に関して, 岩魚沢プロット設定 25 年後の定期測定を行った。微生物・昆虫の生態と生物間相互作用に関して, カラマツハラアカハバチ, クスサンとともに発生数は少なかった。また, 好低温性である暗色雪腐病菌の病原性規定要因について, 病徴発現に及ぼす環境要因と菌糸伸長速度の面から明らかにした。野生動物の生態に関して, エゾシカのライトセンサスと自動撮影装置による野生動物モニタリングを継続実施するとともに, コウモリ類の音声モニタリングを実施した。森林生態系の基礎情報の収集に関して, 全演基盤データ整備委員会の活動と連携しながら, 気象観測, 水文・水質観測, 主要樹種のフェノロジー観測, 動植物の生物相・分布域など生物情報の収集を継続した。気象観測については山部(樹木園)の新露場と旧露場の並行観測を継続した。

森林経営分野では, 林分施業法の科学的・技術的基盤の強化に関して, 択伐林分における 1 回帰年前後の標準地データを比較し, 林分構造の変化を調査した。前山地区約 3,900ha の航空機 LiDAR データを取得して DSM および DTM を作成した。UAV 空撮画像を使った施業計画立案の資料作成と植栽予定面積の算定を行った。多様な人工林施業技術の開発に関して, 精密植栽技術の実証試験として, ヨーロッパトウヒ高齢級造林地でコンテナ苗を伐根周辺に植林した。広葉樹優良木の管理・育成手法に関して, 樽材用のミズナラ優良木の空間分布に関する調査を継続した。エゾマツ苗生産システムの確立に関して, 夏期に発生する立枯症状の発生機序について, 熱傷害の可能性と接種試験による暗色雪腐病菌の関与を検討した。安全で効率的な森林作業技術の開発に関して, 現地検討会や伐採監護への GIS データ閲覧システム(ArcGIS online, タブレット端末と Collector for ArcGIS)の開発・活用を行った。屋根型盛り土, シート状の盛り土補強などの土木技術の開発・試行を行った。

森林生態系保全分野では, 移入種の生息状況把握と管理手法に関して, 自動撮影装置によるアライグマの

生息実態モニタリングを実施した。

### 【社会連携】

一般公開事業として、短時間セミナー「ぶらり 東大の森さんぽ～新緑の「カツラの谷」を訪れる～」、公開セミナー「水源の森を巡る～森林環境の保全と長期観測～」、大麓山ハイキング登山会、および神社山自然観察路一般公開「五感を通して楽しみ学ぶ秋の里山」を開催した。富良野市との地域交流協定に基づき教育委員会が演習林内で展開する森林学習プログラム推進事業に全面的に協力し、プログラムの監修と森林学習サポーターの認定研修を担当した。2019年度は市内の計8校(小学校7校, 中学校1校)でプログラムが実施され, 計184名の児童・生徒および延べ78名の森林学習サポーターが参加した。また, 南富良野町教育委員会の委託事業を受け入れた。

### 【施業管理】

立木伐採は資材量で19,340 m<sup>3</sup>(天然林12,753 m<sup>3</sup>, 人工林6,587 m<sup>3</sup>)を実行し, うち1,659 m<sup>3</sup>について素材生産・販売を行った(直営1,056 m<sup>3</sup>, 再生林請負392 m<sup>3</sup>, 委託販売211 m<sup>3</sup>)。立木および素材の販売額は合計67,497,316円で, 立木が34,844,590円, 素材(委託販売を除く)が19,355,201円, 委託販売(銘木市売)が13,297,525円であった。山出苗生産本数は14,116本(トドマツ5,345本, エゾマツ6,696本, アカエゾマツ2,075本), 地拵, 植付, 下刈の実行面積はそれぞれ17.8, 16.3, 29.2ha, 林道改良距離は64.45kmであった。森林保護に関して, 春期に山火予消防活動(監視および啓発)を, 春と秋に野鼠発生予察調査を, 冬期に北海道猟友会富良野支部および富良野市と共同でエゾシカの有害獣駆除(1回)を, 森林被害巡林調査を計3回, それぞれ実施した。特定試験林(試験地)の測定を計画に則って実行した。

不動産(土地)については, 2件の土地売却(布部川特対改修工事用地7,881.40 m<sup>2</sup>, 道道麓郷山部停車場線地道債(公安)工事用地164.01 m<sup>2</sup>)を行った。不動産(構築物)については, 異動報告無し。2012年度より開始された地籍調査事業は, 昨年度に境界確認を終えた22筆(20,003 m<sup>2</sup>)の登記が完了した。土地の貸付契約は, 新規1件(大島忠男氏157.94 m<sup>2</sup>)と変更契約2件(北海道電力電柱敷地の面積減10.2 m<sup>2</sup>, 富良野市南扇山水道施設の面積増0.9 m<sup>2</sup>)があった。

### 【その他】

環境安全管理について, 事故災害はハチ刺され災害1件のみで, 前年度(9件)に比して大幅に減少した。今年度は欠員1名分の技術職員数が新採用で補充されたことにより, 十分な余裕をもって作業を行うことができたことが原因のひとつと思われる。

### 3) 秩父演習林

#### 【教育】

##### 1. 学位研究の受け入れ

本学の学部課程 4 名, 修士課程 9 名, 他大学の修士課程 1 名が学位取得のための研究を行い, 研究指導, 研究計画助言, 研究地への送迎, 野外調査補助, 試験地の維持管理などの協力を行った。

##### 2. 大学実習の受け入れ

学部の実習 2 件, 森林科学基礎実習Ⅲ, バイオマス科学実習・森林科学実習(生物素材化学専修・木質構造科学専修)を受け入れた。秩父演習林として全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」, 「秋の奥秩父を巡る」を開講した。他大学では, 首都大学東京動物系統学野外実習, 東京農業大学植物採集会(実習)を受け入れた。なお, 台風 19 号被害のためフィールド科学専修森圏管理学実習は受け入れを中止した。

#### 【研究】

##### 1. 冷温帯森林生態系に関する研究

2018 年に計測したケヤキ人工林試験地の毎木調査の資料を『演習林』に投稿した。定期調査として, 人工林固定試験地の毎木調査(矢竹沢 7 箇所), 環境省モニタリングサイト 1000 調査(毎木:ウダイカンバ林・矢竹沢, 9 月までのリタートラップ, 地表徘徊性昆虫。台風 19 号の影響で, 毎木:ブナ・イヌブナ林, 秋季のリタートラップ, 地表徘徊性昆虫は未実施)を実施した。1995 年から継続していたシオジ天然林のリタートラップ調査は終了し, 本年度から回収済試料の仕分け作業のみ実施することとした。また, 民間企業との連携によるシカ排除柵試験地(30 箇所×内外 2 調査区)の植生・土壌調査, センサーカメラによる哺乳類調査, 渓流水の水質モニタリングなど, 植生保護・生態系管理に関する実証研究を行った。

##### 2. 情報工学分野との融合研究

前年度に続き, ライブモニタリングシステムによる森林景観と樹木フェノロジーの映像・音声記録, 鳥類相の遠隔調査, 環境教育教材の開発に関する研究が行われた。

##### 3. 基盤データ整備

全演基盤データ整備委員会と連携し, 気象観測, 水文・水質観測を行った。台風 19 号でバケモノ沢の量水堰堤が被災し観測が中断した。気象部門では 2018 年の観測結果を, 水文水質部門では 2017 年の観測結果(流出量・水質)をそれぞれ『演習林』に投稿した。GIS 部門では技術指導者養成研修(生水研)を受講、操作技術・データ整備指導研修(富士)に講師として参加した。また、既存の GIS データの整備更新とタブレット端末での GIS データ活用についての勉強会を実施した。生物部門植物分野では標本の整理とデータベース化を行った(I種)。鳥類分野では繁殖期のポイントセンサス(I種), 越冬期に影森地区ポイントセンサスと大血川地区(台風 19 号により栃本地区は中止)ラインセンサス(II種)を行った。昆虫分野では例年通りピットフォール調査および埼玉昆虫談話会と連携してライトトラップ調査を実施した(台風 19 号により 10/12 以降の調査は中止)。脊椎動物分野では自動撮影カメラ調査を行い, ライトセンサスでは電子野帳を導入し調査を実施した。固定試験地部門では試験地のメタデータを整備し, データの電子化を進めた。

##### 4. 利用者ガイダンス・利用者発表会

利用者ガイダンス・発表会を開催し, 教育・研究の促進と利用者間の調整を行った。



## 【社会連携】

公開講座「東大の森林で昆虫採集」(7月, 参加者 14名)とガイドツアー「新緑の大血川溪畔林を歩こう」(5月, 11名)を開催したほか, 秩父地域の木材業・森林・林業の普及啓発を目的とする「木が香る秩父フェスティバル」(5月・11月, 道の駅ちちぶ)に参加した。なお, 台風19号に関する復旧対応や安全性の確保の難しさから, 公開講座1回, ガイドツアー1回, 影森祭を中止した。小中高校への対応として, 埼玉県立秩父農工科学高校の樹木採集実習(7月), 埼玉県立蕨高校・東京都立江北高校・文化学園大学杉並中学高校の研修(8月)に協力し, 秩父市中学生社会体験チャレンジ事業では, 秩父第二中学校(8月), 秩父第一中学校(11月), 影森中学校(12月)から生徒を受け入れ演習林業務を体験してもらった。その他, 埼玉県立川の博物館と茨城県自然博物館には展示に使用する画像データや試料の提供を行った。また, 秩父演習林ボランティア会「しおじの会」は, シカ防除柵の点検補修, 歩道巡視, お土産づくり(木工品), 樹木園保全などの活動にのべ191名(1月31日時点)が参加した。

学外各種委員会では, 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員会, 埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会, 埼玉県環境科学国際センター客員研究員, 甲武信ユネスコエコパーク保全活用委員会, 秩父地域森林林業活性化協議会・幹事会, 秩父地域鳥獣害対策協議会, モニタリングサイト1000検討会, JaLTER運営委員会, 同代表者委員会に参加した。

## 【施業管理】

育林実行量は, 獣害対策がクマ剥皮防除樹皮ガード保守管理1箇所(1.28ha), シカ防護柵保守管理4箇所(2.41ha)であった。また, 埼玉県の水源の森事業により, 枝打ち1箇所(0.63ha)を実施した。土木実行量は車道維持が16,686m, 歩道維持が36,568m, モノレール維持が3,067m(3路線)であった。また, 民間企業との協定による森林整備で, 25林班皆伐地にシカ防護柵(パタ柵1.00ha)を設置, 31林班で作業道(300m)を延長した。その他, 樹木園のシカ防護柵の保守管理を4回実施した。工事は, 東谷林道改良工事(ケヤキ平回転場工事, 要倉沢林道取付部改修工事), 矢竹沢橋防護排水工事, 入川林道舗装工事(始点から218m), 東谷林道改良工事に係る測量設計等業務を実施した。土地資産に関する変動はなかった。

災害関連では, 10月12日の台風19号により甚大な被害が発生した。林道・作業道等が土砂流出による堆積52箇所, 路面洗堀・路肩崩落等54箇所, 倒木31本, 橋等構造物損壊24箇所ではほぼ全線が通行不能となった。建物・施設等では学生宿舎の一部損壊, 量水観測施設埋没2箇所, モノレールの浸水及び支柱洗堀が2箇所, いずれも使用不能となった。文部科学省と国立大学法人総合損害保険へ災害復旧費を申請し予算化され, 現在, 林道等の災害復旧の測量・設計業務が進行中である。この災害に際して11月1日より, 「東京大学の森」育成資金(秩父演習林支援金)を募集し, 令和2年2月17日時点で64件の申込みをいただいた。

## 【その他】

環境安全管理について, 今年度はハチ刺され災害が1件あった。4月に普通救命講習, 4・12月に公用車自主点検, 5・2月に教育研究安全衛生マネジメントシステム会議, 8・1月に消防訓練, 1月に交通安全講話を実施した。災害時の非常食は賞味期限をもとに適宜更新した。

また, 新たに「東京大学の森」育成資金に2件の寄付をいただき, 記念樹を設定した。

## 4) 田無演習林

### 【教育】

農学部の実習等を 5 件、教養学部の実習(全学体験ゼミナールおよび全学自由研究ゼミナール)を 3 件、全学部生対象の体験活動プログラムを 1 件実施した。農学部実習には連携する生態調和農学機構による実習が 1 件、大学院環境調和農学特別コースによる見学が 1 件含まれる。全学体験ゼミナールの 2 件は田無演をはじめ千葉演、富士研の教職員が主体的に関わって実施した。小中学生に対する指導体験を通じて樹木に関する知識とコミュニケーション力の向上を図ることを目標とする「都市の緑のインタープリター」、森のエネルギーを体感し森林管理の観点からその流通利用における問題点について学ぶことを目標とする「森のエネルギーを使いこなす」である。体験活動プログラムは生態調和農学機構と共同で実施した。受講者は都市林管理の実務を体験することにより、散策利用者の視点とは異なった森林管理者の視点があることを学んだ。卒業論文研究等では卒業論文 2 件(うち本学 1 件)、修士論文 4 件(うち本学 2 件)、博士論文 2 件(うち本学 2 件) の利用があった。

### 【研究】

単回・通年利用を含め 33 件の申請があり、延べ 796 人(うち外国人 87 人) の研究利用があった。内容別には生物の生態的特性に関する研究が約 7 割、生理に関する研究が約 2 割、森林情報の収集技術等工学的研究が約 1 割などとなっている。分野の異なる利用者との交流を深め、研究可能性をさらに広げることを目的とした研究利用者交流会を 6 月 10 日に開催し、8 題の口頭報告のほか、5 件の要旨による報告がなされた。2018 年の台風 24 号による被害で利用不能となっていた観測鉄塔を、8 月 26 日から 9 月 10 日にかけて請負にて解体撤去した。

### 【社会連携】

小中学生向け講座を 2 件、休日公開を延べ 5 日間実施した。近隣の中学校から 2 件、延べ 6 日間職場体験を受け入れたほか、演習林資源を有効活用できるように学内教職員向けのリース作り講習会を 1 件実施した。地元小中学校による校外学習を 4 件指導したほか、地元の公民館、科学館、非営利団体による利用 7 件に対応した。樹木剪定作業により生じた枝葉を花材・園芸資材として東京都板橋市場にて販売した。見学者の学習のため、カエデ見本林とブナ科見本林の説明看板を 2 月に設置した。

### 【施業管理】

実習および研究用としてアカマツ、クロマツ、スギ、ヒノキの実生苗の育成を行った。そのほか、研究者から委託された苗木育成のための苗畑管理(灌水や除草)を技術職員と特任専門職員で行った。また、試験地として実験用に植栽されたフィールドの適切な管理を行うため、下草刈り等の作業を行った。田無演習林は、年間を通して多数の一般利用者が来演するため、一般利用者の安全を考え、散策路沿いや樹木園の休憩場所の枯損木の伐採を小径木については直営で、大径木(ポプラ 1 本)については請負で行った。枯損枝・掛り枝は、スローラインや高所作業車を用いて直営で除去した。また、強風時には一般見学を中止とした。9 月 9 日に通過した台風 15 号の強風により、倒木 8 本程度と幹折れ、大枝折れの他、落枝多数が発生したが、外部への被害はなかった。散策路方向にポプラとソメイヨシノの大径木が傾斜したため前後の散策路を通行止めとし、9 月 24、25 日に請負で伐採した。10 月 12 日に通過した台風 19 号の降水により東側散策路が冠水し、その後も雨量が

多かったため、3週間程度断続的に通行止めとした。土嚢を積み、碎石を敷く対策を行った。敷地境界からはみ出した枝の処理や境界沿いの小径木の伐採は直営で適宜行った。また、第4期教育研究計画で示した、隣接する民地にかかる支障樹木(シラカシ2本、ヒノキ1本、カラスザンショウ1本)の伐採を請負で行った。伐採計画木以外にも支障となると判断したプラタナス2本、アカマツ1本も併せて伐採した。伐採した材は、総合研究実験棟のフローリングにも提供する予定であるほか、学生実習の薪割り材として利用した。その他、散策路柵の修繕を定期的に行い、重機を用いて、雨水の溜りやすい場所への碎石敷や下草刈りの支障になる丸太の運搬を実施した。施設整備(修繕)準備金にて、民家と近接する北側部分(227m)の老朽化した万年塀の撤去およびフェンス設置工事が12月3日～2月18日に行われた。



従来の万年塀(左)と新たに設置したフェンス(右)

#### 【その他】

11月5～6日に技術職員等試験研究・研修会議を開催した。機構からも含め30名が参加し、共通テーマ「苗畑」、自由テーマ含め11題の研究発表がなされ、日頃の業務について意見交換等を行った。2014年度以来となる全木調査を5年ぶりに実施した。進界木の影響により本数が増加したこと、慣れない電子デバイスを試行的に入力端末として利用したこと等の影響により、前回より調査の必要人工が大幅に増加した。6月に開催した利用者交流会や、利用者が来演する都度、田無演から環境安全管理についての情報提供を行い、利用者の安全管理に努めた。5月に環境整備をアジア生物資源環境研究センターと共同で実施した。11月に機構と防災訓練を共同で実施し、消火器取扱い訓練や通報訓練を行った。毎月定例会の前に行っている安全衛生マネジメントシステム会議では、他で発生した災害発生報告や、熱中症やハチ刺され対策など季節に応じた注意喚起を行った。「東京大学の森」育成資金に1名、1法人の方から寄付いただいた。「武蔵野に大学の森をたずねて～東京大学田無試験地の80年～」を16冊、「森たび」東京大学演習林のみどころ100」を28冊、「気持ちよく納められる森林環境税とは？」を739冊販売した。

## 5)生態水文学研究所

### 【教育】

農学部森林生物科学専修・森林環境資源科学専修の生物環境物理学実習、森林科学基礎実習IIの現地実習を、田中を含む各実習の引率教員がそれぞれ6月11日～14日、8月26～30日に行い、それぞれ6名、15名の農学部生が参加した。教養学部前期課程Sセメスター総合科目D人間・環境「森林環境資源学」のフィールドワーク、Aセメスター全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」を代表教員の蔵治教授と共に6月8日～9日と2月29日～3月2日に、Sセメスター全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林ー林業・風景計画の視点から」を6月29日～30日に行い、それぞれ7名、17名、10名の学部生が参加した。本学体験活動プログラム「森・水・土砂の長期モニタリング調査体験～世界の水文研究を支える90年を全身で感じてみよう～」において、教養学部前期課程の学部生1名を9月10日～13日の間、受け入れた。田中らが、農学生命科学研究科の集中講義「森林圏水循環機能学」の現地講義を12月4日～5日に行い、5名の大学院生が参加した。水内・田中が、造園学会中部支部との共催でデザインワークショップ「サマースタジオ2019」を行い、近隣大学の大学生7名、大学院生2名が参加した。国際教育として、フランスのグランゼコールENGEESよりインターン生1名(5月8日～8月8日)を受け入れた。また、石橋が体験活動プログラム「中国・海南島の自然保護区管理を知る」(8月5日～12日)に学部学生10名を引率して参加した。澤田が中国・海南大学を訪問(11月11日～15日)し東京大学演習林の技術職員の業務に関する集中講義を行った。

### 【研究】

白坂・穴の宮・東山・犬山において気象、水文観測、雨水・渓流水サンプリング、水質分析を継続した。長期生態系プロットにおいて毎木調査、リター調査、種子調査、地上徘徊性昆虫調査、鳥類調査、ティーバッグの埋土分解実験を継続した。研究所に保管されている明治末期から昭和初期の古い写真・地図を対象に、デジタルアーカイブ化を行い、その成果を、農学部のホームページ「農学コンテンツ」の一部として公表した。白坂の2016年の日降水量・日流出量、降水と渓流水の水質データが、基盤データ整備委員会水文水質部門によって「演習林」に掲載された。田中が主著者および共著者とする、タイの長期水文・気象データおよび白坂・穴の宮の長期水文データを用いた研究に関する総説が、書籍「Developing a Network of Long-term Research Field Stations to Monitor Environmental Changes and Ecosystem Responses in Asian Forest(東京大学演習林出版局)」に、林内雨滴の形成プロセスに関する論文がHydrol. Process.誌に、将来の気候変動と土地利用変化が洪水発生に与える影響予測に関する論文がJ. Clim. Change誌に、水内による明治神宮林苑に関する論文がランドスケープ研究誌に、佐藤を共著者とする、赤津研究林等で実施されたリター分解に関する論文がEcol. Res.誌に、ナイナルを共著者とする、オイルパーム林研究に関する総説がFront. For. Glob. Change誌に、犬山研究林のライシメータで実施されたヒノキ間伐実験の結果がHydrol. Res. Lett.誌に、レーザーを用いた土壌侵食量測定に関する技術論文がJ. Water Clim. Change誌に掲載された。田中・ナイナルが、ヨーロッパ地球科学連合において、赤津研究林と犬山研究林の流出量データの解析結果を発表した。田中が、ソウル国立大学で開催された「環境変動と生態系応答の長期森林観測フィールド研究拠点:データ・知・人材の協創(以下、JSPS C2Cプロジェクト)」の分科会1(気候・水)のワークショップにおいて、白坂と穴の宮の流出量データの弾力性解析の結果を発表した。ナイナルが、中国海南島で開催されたJSPS C2Cプロジェクトのシンポジウム1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asiaにおいて、犬山研究林の流出量データの解析結果を発表した。第9回中部森林学会において、澤田がスタジイのナラ枯れ実態について、井上がコナラのナラ

枯れ実態について、岸本が穴の宮で行った皆伐実験の結果について発表した。技術職員等試験研究・研修会議において、澤田が白坂苗圃の概要および記録について発表した。第 131 回日本森林学会において、石橋がカラマツの系統別生長解析について、佐藤がヒノキ人工林の表面流について、澤田が過去三回の森林現況調査の結果について、岸本が長期生態系プロットの種子調査について発表した。国際研究交流として、本学戦略的パートナーシップ活動の一貫でソウル国立大学の Im Sangjun 教授を受け入れた(2月3～18日)。また JSPS C2C プロジェクトの一貫として、マレーシアサバ大学の Maznah Mahali シニア講師と同大技術職員 1 名を受け入れた(3月4～24日)。利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会を5月31日に開催し、52名の参加者と19件のポスター発表があった。データ利用規則に基づき、ソウル国立大学の Im Sangjun 教授、森林総合研究所の森貞和仁氏、豊田工業高等専門学校 of 江端高德氏にデータ利用申請を許可した。

### 【社会連携】

犬山市立今井小学校および城東小学校でそれぞれ4回、3回開催された「探鳥会」に梁瀬が講師として参加した。東京大学赤津研究林サポーターズクラブ「シデゴブシの会」、「犬山研究林利用者協議会」による赤津研究林、犬山研究林での主催行事、見学団体ガイド等がそれぞれ9件、40件行われた。市主催のイベントでは、9月に瀬戸市主催の赤津研究林内の見学・講義で30名が利用したほか、4月と11月に犬山市主催の自然観察会でそれぞれ16名と29名が犬山研究林を見学した。その他に他団体主催で一般向けの公開講座を2件、中高生の実習を3件対応している。12月には瀬戸市内の中学生2名の職場体験を受け入れた。瀬戸市環境審議会、「せと環境塾」運営委員会、犬山市環境審議会に石橋が、瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区選定委員会に田中が委員として参加した。

### 【施業管理】

第5期生態水文学研究所教育研究計画において4つにゾーニングした研究林を、それぞれの施業方針に従って管理した。愛知県の小規模治山事業(森林機能回復緊急整備)により3.74ha、森林ボランティアにより0.50haの間伐を実施した。危険の未然防止の観点から、犬山市の公道にはみ出した枝の除去、犬山市および瀬戸市の公道沿いにある危険木を伐採した。また犬山市美化センターとの境界沿いの道路に覆いかぶさった危険木を伐採した。74林班においてマツ枯れ対策として湖西市と協働で地上からの予防散布(5月19日)、年越し枯死木の調査(3月28日に調査、被害本数5本)と、それら枯死木の静岡県によるマツ枯れ被害木の伐採搬出(材積9.29 m<sup>3</sup>)、枯死木調査(11月20日、被害本数25本、うち今年度被害25本、材積19.3 m<sup>3</sup>)を行った。次期教育研究計画策定に向け基礎資料を得るべく10年毎に行う森林現況調査(175プロット、計48,290 m<sup>2</sup>)を実施した。2019年度施設整備(修繕)準備金と市町村交付金の支援により、東山林道の暗渠改修と横断溝12基設置を実施した。

### 【その他】

これまで年に数件程度であったダニの発見件数が、今年度は10件(肌に吸いついた状態での発見2件を含む)と多かった。先の北海道演習林での学生実習時の停電による宿泊施設足止め事例を受け赤津宿泊施設利用学生分の非常食を備蓄した(パスタ40kgミートソース24缶)。今後は屋外での炊き出しにも対応するため、薪の備蓄やかまどの用意もする予定である。職員用は3日間の備蓄あり。

## 6) 富士癒しの森研究所

平成 31/令和元年度は、医学部附属病院との連携を模索したほか、科研プロジェクトや森林環境譲与税を用いた森林整備の協議などを通じて村行政との連携を深めた。第 5 期教育研究計画の本格的な検討を行なった。

### 【教育】

大学の実習として、農学部の実習 5 件、教養学部 7 件、工学部 1 件、大学院の実習 4 件を受け入れた。ANESC の留学生プログラム 1 件を受け入れた。学生体験活動プログラムは参加者なく実施されなかった。海南大学サマープログラム、台湾大学サマースクールを受け入れた。森林風致計画学研究室のゼミに参加し、卒業論文・修士論文の研究サイトとしての利用を呼びかけた。「癒しの森プロジェクト」にもとづく教養学部開講科目として、全学体験ゼミ「癒しの森を創る(夏)(冬)」を開講・実施した。ゼミ合宿を誘致した。2 件の他大学実習等を受け入れた。運動会学生との共同作業で、山中寮駐車場の整備を行った。当研究所を利用した卒業論文研究 1 件が行われた。ICT を活用した遠隔教育の実践を全学体験ゼミナール内で行った。

### 【研究】

林内気象データを蓄積した。地域住民参加型で第 5 回下層植生調査を実施し、今後の管理計画を立てた。湖畔広場の教育研究活動と地域貢献の両立を目指した園地デザイン計画について、I-10 小班の現地調査と危険木伐採を行うとともに今後の方針を検討した。科研費「地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民のニーズの把握」について国内学会で2件の発表を行なった。調査結果の住民フィードバック、先進地の事例視察、住民参加型空間情報収集の試行を行なった。取りまとめのため科研費の補助事業期間を 2020 年度まで延長した。次期共同研究プロジェクトについて検討した。フットパスに関する情報収集をした。特別ガイドにおけるアンケート調査を行った。富士癒しの森研究所の苗畑に関する資料整理を行い技術職員等試験研究・研修会議で発表を行った。I林班での気象データの回収、蓄積を行った。キノコ放射性物質調査に参加し、サンプリングを行った。動物センサーカメラ調査、昆虫調査、鳥類調査、コウモリ調査を実施した。

### 【社会連携】

村との協定に基づき、科研プロジェクトを村との共同事業として遂行した。これに関連し、村の健康推進に関する打ち合わせを 2 回行った。森林環境譲与税を活用した森林整備について協議する機会を 2 回設けた。村の担当者と連携してクマ対策を協議し、対策の啓蒙を行なった。科研プロジェクトの住民参加イベントを実施した。年度内に得られた研究成果を報告する公開講座を企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、これに代えて資料による成果報告をした。癒しの森の会の運営を支援し、共同で講義室のウッドデッキを整備した。やまなし木質バイオマス協議会の活動に参画した。村内住民団体の設備整備事業に対して、間伐材を提供した。ブログの定期的な更新を行なった。ドローンを用いたプロフィール映像を収集した。一般社会向け書籍の執筆・編集作業を進めた。

### 【施業管理】

次期教育研究計画策定のための林況調査は教育研究センターからの作業協力を得て完了した。

### ○森林整備

刈払いは計画通りに実施した。各建物付近の枯死木の処理とII林班林林道沿いの危険枝、危険木処理を市



町村交付金相当額予算で実施した。その他の枯損木、危険木等については整備の緊急性にかんがみて予定外の区や大風や雪に対応した処理作業を各所で行った。III-8 小班の伐採木の搬出作業は今年度中に完了できなかった。I-10 小班の危険木処理を市町村交付金相当額予算にて急遽実施した。実証林整備は次年度に持ち越した。

### ○施設整備

歩道、車道共に全線の整備を行った。II林班国道沿い境界のロープ柵の設置を市町村交付金相当額予算で実施した。経年劣化していた各所の掲示板の改修を外注にて行った。薪材備蓄を計画的に実施するために台帳を作成した。パネル式看板の底の設置とII林班のパネル式看板のパネル取付に取り組んだが完了には至らなかった。昨年度購入した碎石を用いた車道整備は実行できなかった。I林班フェンス塗装、木材置場改修、機械倉庫の新設、III林班境界ロープ柵、高所作業車で危険枝処理については予算獲得がかなわなかった。

### 【その他】

体育チームおよび山中寮との三者打ち合わせを定期的に行った。附属病院主催のリトリート企画を支援するなど医学分野との連携を進めた。基盤データ整備委員会 GIS 部門の研修を受け入れた。計画通り、東大教職員向け特別ガイドを春・秋・冬の3回実施した。新たに1名の寄付者があった。寄付者に研究所活動の報告を送付した。記念樹の銘板作りを開始した。こまめな情報の更新はできたが、当初予定していた抜本的なウェブサイトの改訂はできなかった。



山中湖村と共催で実施した科研プロジェクトでのイベント  
「お散歩日記で健康づくりとまちづくり」

附属病院主催の「東大こころのリトリート」で提供したり  
フレッシュプログラム

## 7) 樹芸研究所

樹芸研究所第4期教育研究計画は大胆なスリム化と資源の集中を念頭において立て、これまで優先して実施してきた事業を更に推進して、教育と研究の特色がきらりと光る組織を目指すこととした。

第4期教育研究計画において樹芸研究所では教育分野にエフォートを大きく割く(50%)こととした。特に2006年度に開始した前期教養課程の主題科目・全学体験ゼミナールの充実に注力している。全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会においては見えにくい「プロセス」を、体験を通して気付かせる仕掛けであることを基本としながら、大学受験を終えたばかりの学部1, 2年生に「学ぶ」ということの原点を問うことに重きを置く講義である。「体験ゼミ」とは言うものの、考えることを最重視することを強調している。温室をメイン舞台として展開するゼミ「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」の中のカカオノキからカカオを収穫してチョコレートを製造するというアクティビティを発展させる格好で、チョコレート会社と共同研究を行っている。温室では、カカオ以外にも原料植物の現物を用いる教育プログラム開発に意欲的に取り組んでいる。バニラはその代表で、簡便なキュアリング法開発に取り組み、品質向上を実現した上で特許申請を行いたい。

その他、研究ではおよそ30年前に実施したユーカリ適応試験の遺産を活かして材の加工特性や製品化の方向性を探る取り組みを進め、並行して林分単位での生産性を明らかにする目的であらたに植栽試験を進めている。この様に当所では材質に適った利用方法を明らかにした上でユーカリを林業樹種として提案したいと考えている。その目的に合致する格好で、今年度から森林総合研究所内で発足した早生樹材のデータベースを構築するプロジェクトに加わることになり、ロブスタ種、マイデニー種、ビコスタータ種の3種を伐採・製材した。複数の課題担当者にそれら3種の試験体を提供するとともに、樹芸研では今年度は生材の比重等の基礎データをとった。新たに植栽した有望なユーカリたちは非常に好い成長を示し、見学した学生に日本林業の可能性を示し関心を持ってもらう魅力的な教材となっている。この様にデータをとるばかりではなく、見せる「ユーカリ林分」を造成することを重視している。

ユーカリ以外の樹種では、これまで手が回らなかった油糧植物アブラギリに関して伝統工芸木炭生産技術保存会と安定供給に関する共同研究を進めている。桐油を絞る取り組みと、磨き炭を焼く取り組みを行った。磨き炭焼きから発展させた全学の体験活動プログラムを実施した。

第4期計画半ばに実施した外部評価では、全学体験ゼミナール等の教育に特化した取り組みとあらたな林業を見据えたユーカリ事業に関して全ての評価委員から高い評価を受けた。演習林総体の中で、実験的な取り組みを行うことを樹芸研究所の使命の一つと捉えてきた。第4期計画の終局において、それらは概ね達成できている。大学での学びを学生に意識させることを目指している「伊豆に学ぶ」シリーズでは、今年度は夏学期の受講者数が冬学期の受講者数を上回った(冬が減少)。一年を通して一年生受講生が少し多かった。

### 【教育】

・農学部 国際開発農学専修3年生

「森林実習」(他大学生に開放し、全演協「公開森林実習」としている。)

・教養学部前期課程1, 2年生 主題科目 全学自由研究ゼミナール

「伊豆に学ぶプラス」

「ジビエを通して獣害問題と向き合う」

「ビーントゥバーチョコレート作り体験から学ぶべきこと」



- ・教養学部前期課程1, 2年生 主題科目 全学体験ゼミナール  
「伊豆に学ぶ(夏)1」, 「伊豆に学ぶ(夏)2」, 「伊豆に学ぶ(夏)3」,  
「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」  
「伊豆に学ぶ1」, 「伊豆に学ぶ2」, 「伊豆に学ぶ3」
- ・東京大学体験活動 「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」

南伊豆地域で竹林や獣害問題に向き合うNPOの方々と連携して実物の問題に当たる

### 【研究】

1. 適応試験で選抜されたユーカリ10種を林業樹種として再検討
  - ・E. robusta の萌芽再生試験地を設置(木質バイオマス発電向け)
  - ・E. robusta, maidenii, bicostata を伐採し, 物理特性調査・データベース構築に資する  
(森林総研プロジェクトに参画)
  - ・E. elata, piperita のクローン試験地の成長調査(日本製紙)
  - ・E. smithii, saligna の実生試験地の成長調査を継続して実施した。
2. 樹芸研究所産カカオ・バニラの利用法の検討
  - ・カカオ・バニラの増殖
  - ・チョコレート製造・販売。(メリーチョコレートカムパニーと共同研究)
  - ・バニラのキュアリング新手法の特許申請に向け, 改良
3. 油糧植物の植栽地整備と利用方法の検討
  - ・アブラギリの間伐試験を継続。(伝統工芸木炭生産技術保存会と共同研究)
  - ・桐油しぼり試験

### 【社会連携】(市民向け公開講座)

- ・「チョコレートづくりを体験しよう」(メリーチョコの協力を得た)
- ・「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」

### 【施業管理】

- ・町道付設温泉管改修工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・加納構内温泉管改修工事を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・下賀茂寮周辺の危険木処理を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・青野作業所構内および岩樟園林道の危険木処理を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。
- ・山下林道舗装整備を, 市町村交付金相当額を充当して実施した。

### 【その他】

- ・2名の非常勤職員を障害者雇用枠で雇用している。

### 3. 教育研究センター

#### 【教育】

週 1 回のゼミ(演習林ゼミと教育研究センターゼミ)と指導教員との連携による個別指導を通じて、演習林に所属する学生(博士課程学生 7 名、修士課程学生 11 名、4 年生 3 名、研究生 8 名、合計 29 名)の卒論、修論、博論研究等の指導・支援を行うとともに、学生生活全般のケアを行った。今年度は博士課程で 1 名、修士課程で 4 名が修了し、学部課程では 3 名が卒業した。学部・大学院のガイダンス等で演習林における教育研究の説明を行った。演習林教員で担当している講義のスケジュール調整、教養学部講義、演習林ゼミ等の教育推進に関わる経費管理等を通じて、演習林の教育活動を支援した。

広報情報委員会と連携し、地方演習林の教育利用実績を取りまとめた。また、教育目的での演習林利用希望者に対して、当該地方演習林との連絡調整を行い、必要な情報を提供した。教育推進委員会と連携し、全国大学演習林協議会の公開森林実習の受付、諸手続きを支援した。

12 月 9 日、10 日に開催された NTU-UTokyo ジョイントカンファレンスの森林系セッションにおける会場設営、受付、懇親会の準備等の支援を行った。

#### 【研究】

演習林編集委員会と連携し、「演習林報告」、「演習林」の編集作業を行った。演習林内の委員会活動が円滑にできるよう、農学系事務との連絡調整を行うとともに、経費執行等の支援をした。広報情報委員会と連携し、各地方演習林の研究利用実績を取りまとめた。

研究目的で演習林を利用する利用者に情報を提供し、全演習林の研究活動を支援した。演習林教職員による投稿論文(英文要旨含む)の英文、演習林報告の目次、地方演習林の各種施設等の英文チェックを行った。

その他、所属する教員がそれぞれ関連するプロジェクト、および、そのデータ解析に向けた準備を行った。また、各自の科研費、運営費等で、個別テーマの研究に取り組んだ。

#### 【社会連携】

広報情報委員会と連携し、ホームページ、科学の森ニュース、学内広報・弥生等の機関紙を通じて、演習林の社会貢献に関する広報活動を行った。また、各地方演習林の広報活動を取りまとめ、専攻長・附属施設長会議に毎月報告した。さらに、演習林の活動報告の情報を取りまとめ、演習林年報を発行した。一般公開、教職員向け特別ガイドの補助・支援を行った。

外国人教員として 3 月から、海南大学の張飛教授が演習林教員として着任する予定である。11 月 9 日にソウル大学の Im 教授および技術職員 3 名が来訪した。7 月 22 日～27 日の海南大学サマープログラム、29 日の東大キャンパス見学および研究室訪問の対応を行った。

#### 【施業管理】

学生数の増加に伴い、雑誌の整理を行うとともに、学生スペースの図書キャビネットを撤去させるなどして、学生スペースの拡充を行った(写真 1)。

#### 【その他】

農学系事務からの各種問い合わせに対応するとともに、連絡調整を行った。安全衛生活動として、地震時の緊急避難について、教職員、学生と緊急避難場所を 1 号館と 2 号館の間のヒマラヤスギの近くに一次避難した後、農学部グラウンドに集合することを確認した。

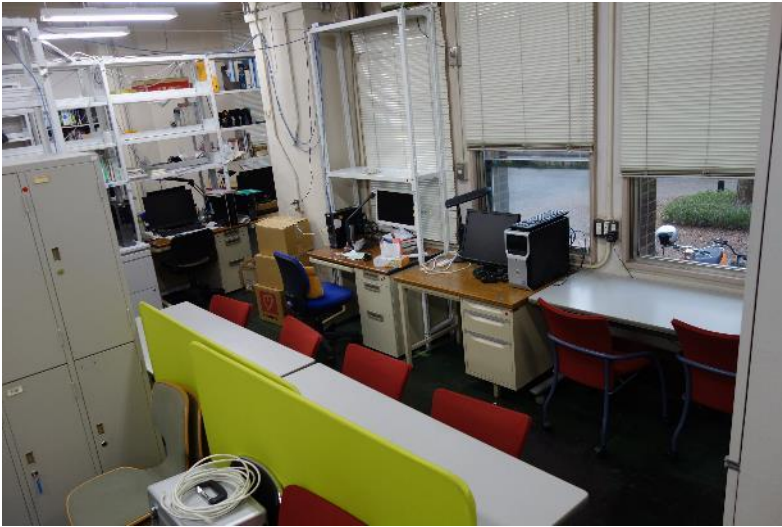


写真 1 学生スペース拡充のために 116 号室のレイアウトを変更

## 4. その他の活動

### 1) 演習林技術職員等試験研究・研修会議

2019年11月5日(火)・6日(水)に田無演習林で開催され、演習林本部林長をはじめ、企画部と教育研究センター、すべての地方演習林と生態調和農学機構から計28名(技術職員・事務職員24名、教員4名)が参加した(表-1)。

11月5日(火)は田無演習林講義室で試験研究発表会が行われ、共通テーマ『苗畑』には、地方演習林から合わせて6件の報告があった(表-2)。各地方演習林の特色を生かした研究や、科学研究費助成金奨励研究で取り組んだ研究課題は、自由テーマとして4件発表があった(表-3)。

11月6日(水)は田無演習林講義室で、竹本周平助教による講義「分類学と学名について」が行われ、そのほか、生態調和農学機構から3件の報告があった。その後、田無演習林と生態調和農学機構の見学が行われ、説明・意見交換がされた。

表-1 参加者一覧

演習林名	参加者
林長・企画部	福田健二・蔵治光一郎・五十嵐勇治
千葉演習林	米道 学
北海道演習林	福岡 哲・小林徹行
秩父演習林	大村和也・齋藤俊浩・才木道雄
田無演習林	安村直樹・竹本周平・相川美絵子・栗田直明・尾林文男・石浦恭子
生態水文学研究所	澤田晴雄・井上 淳
富士癒しの森研究所	西山教雄・辻 和明
樹芸研究所	辻 良子
教育研究センター	近澤静恵
生態調和農学機構	久保田浩史・白井深雪・市川健一郎・手島英敏・工藤新司・石塚 暖・大岡 聡



表-2 共通テーマ『苗畑』

試験研究報告	発表者全氏名(○発表者)
富士癒しの森研究所における苗畑の沿革	○辻 和明・西山教雄(富士癒しの森研究所)
秩父演習林影森苗畑の変遷と今後のあり方	○齋藤俊浩・高野充広・大村和也(秩父演習林)
北海道演習林の苗木生産と今後の課題	○福岡 哲・木村徳志・小川 瞳(北海道演習林)
田無演習林における苗畑の利用と管理の変遷	○相川美絵子・栗田直明(田無演習林)
千葉演習林における苗木生産の課題と展望	○米道 学・塚越剛史・軽込 勉(千葉演習林)
生態水文学研究所白坂苗畑の概要および記録-1999年度から2014年度廃止まで-	○澤田晴雄・井上 淳(生態水文学研究所)

表-3 自由テーマ

試験研究報告	発表者全氏名(○発表者)
地下に埋もれていた演習林: 棚から顔写真	○近澤静恵・丹羽悠二(教育研究センター)
田無演習林の作業機械類の使用状況	○栗田直明・相川美絵子(田無演習林)
秩父演習林で発生した森林火災がカミキリムシ類に与えた影響	○才木道雄(秩父演習林)
伐採監護作業におけるタブレット端末の利用事例について～モバイル用 GIS アプリ(Collector for ArcGIS)を用いて～	○小林徹行・小池征寛・松井理生(北海道演習林)



## III. 資料

---

1.	教育	・・・51
2.	研究	・・・69
3.	社会連携	・・・100
4.	環境安全管理	・・・113
5.	国際交流	・・・116
6.	管理	・・・122
7.	研修	・・・128
8.	組織図	・・・129
9.	人事	・・・134
10.	委員会・会議等	・・・135
11.	利用状況	・・・136
12.	各演習林所在地 および連絡先	・・・183

# 1. 教育

## 1) 大学院講義等

### 生圏システム学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人 久本洋子	後藤 晋 福井 大	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生態学
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学演習
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学演習
石橋整司					森林生態圏管理学特論
安村直樹	齋藤暖生	當山啓介			国際森林学特論
石橋整司	安村直樹	齋藤暖生			森林圏生態社会学演習
蔵治光一郎	浅野友子	田中延亮			森林圏水循環機能学
蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学演習
内山憲太郎 深野祐也 大黒俊哉	深澤圭太 菊地 潔 内田 圭	齋藤 修 尾張敏章 小林浩幸	高田まゆら 當山啓介 佐野光彦	本多親子 楠本 大	生圏システム学特論
鎌田直人 鴨田重裕 安村直樹	山田利博 後藤 晋 楠本 大	石橋整司 廣嶋卓也 齋藤暖生	尾張敏章 平尾聡秀	蔵治光一郎 浅野友子	生圏システム学実験・研究

### 森林科学専攻修士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人 久本洋子	後藤 晋 福井 大	平尾聡秀	鈴木智之	前原 忠	森林圏生態学
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学
安村 直樹	齋藤暖生	當山啓介			国際森林学特論
石橋整司					森林生態圏管理学特論
蔵治光一郎	浅野友子	田中延亮			森林圏水循環機能学
鎌田直人 鴨田重裕 齋藤暖生	山田利博 尾張敏章 廣嶋卓也	石橋整司 安村直樹 浅野友子	蔵治光一郎 平尾聡秀	後藤 晋 楠本 大	森林科学特別実験
鎌田直人 鴨田重裕 齋藤暖生	山田利博 尾張敏章 廣嶋卓也	石橋整司 安村直樹 浅野友子	蔵治光一郎 平尾聡秀	後藤 晋 楠本 大	森林科学特別演習
鎌田直人 鴨田重裕 齋藤暖生	山田利博 尾張敏章 廣嶋卓也	石橋整司 安村直樹 浅野友子	蔵治光一郎 平尾聡秀	後藤 晋 楠本 大	森林科学セミナー I

### 農学国際専攻修士課程

教 員 名	講 義 名
鎌田直人	森林昆虫生態学 (Forest Insect Ecology)



## 生圏システム学専攻博士課程

教 員 名				講 義 名	
鎌田直人	後藤 晋	平尾聡秀			森林圏生態学特別演習
山田利博	鴨田重裕	楠本 大			森林生物機能学特別演習
石橋整司	安村直樹	齋藤暖生			森林圏生態社会学特別演習
蔵治光一郎	尾張敏章	廣嶋卓也	浅野友子		森林流域管理学特別演習
鎌田直人	山田利博	石橋整司	尾張敏章	蔵治光一郎	生圏システム学特別実験・研究
鴨田重裕	後藤 晋	廣嶋卓也	平尾聡秀	浅野友子	
安村直樹	楠本 大	齋藤暖生			

## 森林科学専攻博士課程

教 員 名					講 義 名
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別演習I
楠本 大					
石橋整司	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別演習II
浅野友子	齋藤暖生				
鎌田直人	山田利博	後藤 晋	鴨田重裕	平尾聡秀	森林生態圏管理学特別実験I
楠本 大					
石橋整司	蔵治光一郎	尾張敏章	安村直樹	廣嶋卓也	森林生態圏管理学特別実験II
浅野友子	齋藤暖生				

## アジアセンター

教 員 名					講 義 名
鴨下顕彦	則定真利子	小島克己	河鱒実之	山田 晋	農林水畜産業と環境負荷
齋藤暖生	竹本周平	高野哲夫	藤原章雄	練 春蘭	
岩滝光儀	則定真利子	小島克己	齋藤暖生	高野哲夫	農林水畜産業と生態系攪乱
藤原章雄	練 春蘭				

## 2) 学部講義等

### 農学部講義・演習・実験実習

教員名			講義名	学部:課程(専修)等	開講年次・ターム
白石則彦 仁多見俊夫 堀田紀文 蔵治光一郎	尾張敏章 龍原 哲 古井戸宏通	熊谷朝臣 廣嶋卓也 安村直樹	森林環境科学汎論	農学基礎科目	2年次・A1-A2
白石則彦 古井戸宏通	仁多見俊夫 安村直樹	稲山正弘 井上雅文	森林資源と木材利用	農学総合科目	2年次・A2
蔵治光一郎、他11名			農学リテラシー	農学共通科目	2年次・W(集中)
鎌田直人 蔵治光一郎 安村直樹 楠本 大	山田利博 後藤 晋 尾張敏章 廣嶋卓也	石橋整司 嶋田重裕 平尾聡秀 浅野友子	森林生態圏管理学	応用生命科学課程・環境資源 科学課程	3年次・S1-SP
古井戸宏通	芳賀和樹	安村直樹	森林政策学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-SP
丹下 健	益守眞也	後藤 晋	造林学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-SP
後藤 晋			森林遺伝育種学	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・SP
福田健二 黒河内寛之 加賀谷 隆 龍原 哲 久保田耕平 益守眞也	白石則彦 楠本 大 久本洋子 中島 徹 當山啓介 竹本周平	丹下 健 松下範久 藤原章雄	森林科学基礎実習I	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-SP
福田健二 龍原 哲 益守眞也 黒河内寛之	白石則彦 松下範久 鈴木智之 加賀谷 隆	丹下 健 久保田耕平 中島 徹	森林科学基礎実習III	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-SP
古井戸宏通 熊谷朝臣	安村直樹 下村彰男	芳賀和樹 齋藤暖生	森林科学基礎実習IV	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・S1-SP
古井戸宏通 芳賀和樹	安村直樹	齋藤暖生	森林政策学演習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・A1-A2
嶋田重裕	露木 聡	八木信行	森林実習	国際開発農学専修	3年次・SP
下村彰男	山本清龍	藤原章雄	森林風景計画実習	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	3年次・A1-A2
丹下 健 鈴木智之	益守眞也	黒河内寛之	森林土壌学実験	森林生物科学専修・森林環境 資源科学専修	4年次・S1-SP

## 教養学部講義・演習

教員名			講義名	開講ターム
蔵治光一郎 水内佑輔 齋藤暖生 三浦直子	石橋整司 佐藤貴紀 尾張敏章	田中延亮 藤原章雄 當山啓介	総合科目D(人間・環境)「森林環境資源学(森の最終形、ダムと森林、森と癒し)」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS1」	S1
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスS2」	S2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ジビエを通して獣害問題と向き合うS1」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ジビエを通して獣害問題と向き合うS2」	S2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきことS1」	S
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきことS2」	S2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスA1」	A1
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラスA2」	A2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ジビエを通して獣害問題と向き合うA1」	A
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ジビエを通して獣害問題と向き合うA2」	A2
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきことA1」	A
鴨田重裕			全学自由研究ゼミナール「ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきことA2」	A2
石橋整司 久本洋子	井上広喜 前原 忠	齋藤暖生	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	S1
楠本 大	安村直樹	竹本周平	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	S
石橋整司 當山啓介	尾張敏章 福井 大	久本洋子 鈴木 牧	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	S
山田利博	平尾聡秀	鈴木智之	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	S
石橋整司 佐藤貴紀	水内佑輔	田中延亮	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林ー林業・風景計画の視点から」	S
鴨田重裕	鎌田直人	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)前編」	S
鴨田重裕	鎌田直人	平尾聡秀	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)後編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1前編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1後編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2前編」	S2
鴨田重裕			全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2後編」	S2

教員名		講義名	開講ターム
石橋整司 藤原章雄	浅野友子 齋藤暖生	後藤 晋 全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	S2
石橋整司 安村直樹 當山啓介	蔵治光一郎 藤原章雄 久本洋子	尾張敏章 齋藤暖生 全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編)」	S2
石橋整司 久本洋子	井上広喜 前原 忠	齋藤暖生 全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	A1
石橋整司	露木 聡 藤原章雄	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～」	A1
安村直樹	齋藤暖生 當山啓介	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	A1
山田利博 鈴木智之	平尾聡秀 浅野友子	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	A
蔵治光一郎 石橋整司	田中延亮 水内佑輔	菊池 潔 佐藤貴紀 全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	A
石橋整司	露木 聡	全学自由研究ゼミナール「古典落語から知る江戸の自然・文化」	A
浅野友子 三浦直子	齋藤暖生 藤原章雄	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	A2
鎌田直人 鈴木智之	廣嶋卓也 福井 大	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	A2
尾張敏章 當山啓介	楠本 大 久本洋子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	A2
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(森林・林業を意識しながら歩く低山)」A1	A1
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「森に学ぶ(森林・林業を意識しながら歩く低山)」A2	A2
鴨田重裕	下村彰男	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1ー前編」	A2
鴨田重裕	下村彰男	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1ー後編」	A2
鴨田重裕	下村彰男	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2ー前編」	A2
鴨田重裕	下村彰男	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2ー後編」	A2
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3ー前編」	A2
鴨田重裕		全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3ー後編」	A2
鴨田重裕	井上広喜	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー前編」	A2
鴨田重裕	井上広喜	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー後編」	A2

### 3) 他大学の非常勤講師(委嘱あり)

教員名	講義名	対象学部	学科等	学年	大学名
石橋整司	環境論	電気通信学部	総合文化講座	1	電気通信大学
鈴木智之	生物環境論	社会情報学部	情報社会学科	2・3・4	群馬大学
山田利博	樹木医演習	生命科学部	応用植物科学科	2	法政大学
鎌田直人	森林病虫害論(虫害)	農学部	森林科学科	3・4	宇都宮大学

#### 4) その他の講義・実習対応(学内で担当教員以外で対応した場合/他大学で委嘱のない場合)

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
大石諭・鶴見康幸・里見重成	総合科目D(人間・環境)「森林環境資源学(森の最終形、ダムと森林、森と癒し)」	教養学部	全科類	1・2	東京大学
塚越剛史・阿達康眞・村川功雄・柴田ゆう子	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
栗田直明・相川美絵子	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
楠本大・塚越剛史・三次充和・羽若部理會	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
大村和也・中川雄治・高德佳絵・千嶋武・吉田弓子	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
澤田晴雄・井上淳・里見重成・岸本幸樹・梁瀬桐子・平野圭二・柴田ゆう子	全学体験ゼミナール「人の手で造り管理する森林ー林業・風景計画の視点から」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
犬飼 浩・木村徳志・小川瞳	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
鈴木祐紀・塚越剛史・藤平晃司・羽若部理會	全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編)」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
阿達康眞・村川功雄・柴田ゆう子	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
柴田ゆう子	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
栗田直明・西山教雄・辻和明	全学体験ゼミナール「森のエネルギーを使いこなす」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
大村和也	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
澤田晴雄・井上淳・梁瀬桐子・里見重成・岸本光樹	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
犬飼 浩・及川 希・木村恒太・松井理生・井口和信・木村徳志・小川 瞳・大川あゆ子・犬飼慎也・江口由典・佐藤晴樹・平間睦樹・高橋功一・小池征寛・福岡 哲・井上 崇・磯崎靖雄・遠國正樹	全学体験ゼミナール「雪の森林に学ぶ～北海道演習林」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
鶴見康幸・大石諭・鈴木祐紀・塚越剛史・阿達康眞・村川功雄・米道学・加瀬清己・岡田康則・羽若部理會・吉田明子	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1ー前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ1ー後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2ー前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2ー後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3ー前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3ー後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー前編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー後編」	教養学部	全科類	1, 2	東京大学
木村恒太・犬飼慎也・井上崇・福岡 哲・遠國正樹・江口由典・小林徹行・丹羽悠二	森林環境科学汎論(遠隔授業)	農学部	農学基礎科目	2	東京大学
鎌田直人・廣嶋卓也・坂上大翼・福井 大・犬飼 浩・福岡 哲・遠國正樹・井口和信・小林徹行・笠原久臣・廣田善己・小池征寛・磯崎靖雄・井上 崇・高橋功一・木村恒太	森林科学総合実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修・フィールド科学専修	3	東京大学
辻 和明	森林政策学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
井上 淳・岸本光樹	森林科学基礎実習Ⅱ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3	東京大学
千嶋武・齋藤俊浩・高野充広	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部	生物素材化学専修・木質構造科学専修	3	東京大学
辻 和明	森林科学基礎実習Ⅳ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
齋藤暖生	野外実習	理学部		3	京都大学
尾張敏章・大石 諭・鈴木祐紀・塚越剛史・阿達康眞・鶴見康幸・村川功雄・三次充和・米道 学・藤平晃司・栗田直明・相川美絵子	森林科学基礎実習Ⅰ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
高野充広・中川雄治・吉田弓子・千嶋武・齋藤俊浩・高德佳絵・原口竜成・才木道雄	森林科学基礎実習Ⅲ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3	東京大学
澤田晴雄・井上淳・里見重成・岸本光樹	生物環境物理学実習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4	東京大学
藤原章雄	環境設計演習	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	4	東京大学
當山啓介・鶴見康幸	森圏管理学	農学部	フィールド科学専修	3	東京大学
鶴見康幸	生圏システム学特論	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	東京大学
竹本周平・坂上大翼	森林生物機能学	大学院農学生命科学研究科	生圏システム学専攻・森林科学専攻	修士課程	東京大学
千嶋 武・齋藤俊浩	【台風19号のため中止】森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3	東京大学

教職員名	講義名	対象学部等	学科等	学年	大学名
原口竜成・才木道雄	森林圏水循環機能学	大学院農学生 命科学研究科	生圏システム学専攻・森 林科学専攻	修士・博 士課程	東京大学
安村直樹	農林水畜産業と環境負 荷	大学院農学生 命科学研究科	環境調和農学特別コース	修士・博 士課程	東京大学
福井 大・犬飼 浩・大川あ ゆ子・犬飼慎也	陸域景観学実習I	大学院新領域 創成科学研究 科	自然環境学専攻	修士・博 士課程	東京大学
楠本 大・久本洋子・三次 充和	樹木学実習	農学部	森林科学科	1	宇都宮大学
水内佑輔	自然と人間8	全学部	教養講義科目	1, 2	名古屋市立 大学
齋藤暖生	森林についての実習	経済学部	応用経済学科	3	兵庫県立大 学
水内佑輔	デザイン実技iii 自然と 人をつなぐデザイン	美術学部	デザイン専攻	3	愛知県芸術 大学
広嶋卓也・小池征寛	林政学分野大学生・大 学院生実習	大学院生命環 境科学研究科	生物資源科学専攻	学部、大 学院生	筑波大学



## 体験活動プログラム

応募者	担当者	団体名	活動場所	プログラム名	日程
北海道演習林	福井 大・犬飼 浩・松井理生・江口由典・佐藤晴樹・平間睦樹・小池征寛・笠原久臣・廣田善己・小林徹行・井口和信・大川あゆ子・岡平卓巳・岡村行治・井上 崇・磯崎靖雄・高橋功一・木村恒太・及川 希・遠國正樹・福岡 哲・木村徳志	北海道演習林	北海道演習林	森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー	2/5～2/19
河鱈実之	安村直樹・相川美絵子・栗田直明		田無演習林	都内でも農林作業フィールドワーク体験	SP
安村直樹	相川美絵子・栗田直明		田無演習林	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	SP
鴨田重裕		南伊豆湯けむりの会	樹芸研究所	伊豆の体験活動 南伊豆というー地域との連携に学ぶ ジェエ編	A
鴨田重裕		南伊豆湯けむりの会・いしい林業	樹芸研究所	伊豆の体験活動 南伊豆というー地域との連携に学ぶ 林業体験編	A
鴨田重裕		伝統工芸木炭生産技術保存会・笑楽窯	樹芸研究所	伝統工芸木炭生産技術保存会とともに伝統工芸に必要な駿河炭を焼く	A
石橋整司	水内佑輔・田中延亮・佐藤貴紀・澤田晴雄・井上淳・梁瀬桐子・里見重成・岸本光樹	生態水文学研究所	生態水文学研究所	森林・水・土砂の長期モニタリング調査体験～世界の水文研究を支える90年を全身で感じよう～	9/10～13
尾張敏章	鈴木祐紀・塚越剛史・阿達康眞		千葉演習林	演習林の教育研究を支えよう！～日本最初の大学演習林で体験する3つの縁の下～	8/28～30
石橋整司	石橋整司・齋藤暖生・久本洋子	附属演習林	海南島	中国・海南島の自然保護区管理を知る	8/5～13

## 5) 4研究室の所属メンバー

### 森林圏生態学研究室

教授	鎌田 直人
准教授	後藤 晋
講師	平尾 聡秀
助教	前原 忠
助教	久本 洋子
助教	鈴木 智之
助教	福井 大
博士3年	サイフル・アムリ・サラギー
博士3年	ペン・ヨン
修士2年	田中翔大
修士2年	山崎 有
修士1年	谷川 鴻介
修士1年	野中 佳祐
修士1年	林 子愷
学部4年	塚本 宝
学部4年	吉田 拓矢
研究生	陳 淑芬
研究生	パイン・エー・ミヤツ・ミヤツ
研究生	崔 惟怡

### 森林圏生態社会学研究室

教授	石橋 整司
准教授	安村 直樹
講師	齋藤 暖生
助教	藤原 章雄
助教	當山 啓介
博士3年	陳 元君
修士2年	韋 珉傑
修士2年	李 昕曄
修士1年	陸 黎駿
修士1年	厲 園園
修士1年	劉 立航
学部4年	渡邊 尚貴
研究生	徐 喬逸
研究生	陳 田
研究生	劉 馨遙

### 森林生物機能学研究室

教授	山田 利博
准教授	嶋田 重裕
講師	楠本 大
助教	坂上 大翼
助教	井上 広喜
助教	竹本 周平
博士3年	アンネ・カロリナ
修士1年	須谷 未菜
研究生	戴 健平

### 森林流域管理学研究室

教授	蔵治 光一郎
准教授	尾張 敏章
講師	広嶋 卓也
講師	浅野 友子
助教	田中 延亮
助教	三浦 直子
助教	水内 佑輔
助教	佐藤 貴紀
博士2・3年	チョー・トゥー・モー
博士2年	ヴィージェナイカ・パビトラ・ランガニー
博士1年	ペイ・フィチン
研究生	潘 濟楚

## 6) 所属学生の学位論文

### 博士論文

学生氏名	研究課題
陳 元君	先住民居住地域に設置された自然保護区の管理手法に関する研究 ～中国海南省鸚哥嶺自然保護区を事例に～

### 修士論文

学生氏名	研究課題
韋 珉傑	中国の集団林権改革の成果とその評価に関する考察—南方集団林区を中心とした分析—
李 昕曄	森林の遷移に伴う河川流出量の変動に関する検討—水源涵養機能評価への応用可能性
山崎 有	標高適応を示すトドマツにおける形態生理特性の遺伝的支配
田中 翔大	森林の攪乱体制に基づく萌芽発生とその機能の解明

### 卒業論文

学生氏名	研究課題
塚本 宝	シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に及ぼす影響
渡邊 尚貴	訪日観光客の関心から見た自然観光地におけるインバウンド観光施策—TripAdviserの頻出ワード分析と行政機関の施策の評価—
吉田 拓矢	隔離分布する石灰岩植物チチブミネバリの遺伝構造と分布形成過程の解明

## 7) 森林生態圏管理学大講座ゼミ

第1回 (2019年4月19日(金) 13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
アナン・ナイ ナール	生態水文学研究所	隣接するヒノキ人工林と広葉樹林における流出特性の比較
佐藤貴紀	生態水文学研究所	ヒノキ人工林の土壌表面における細根層が土砂流出及び表面流に与える影響
三浦直子	教育研究センター	UAVライダーで草本植物の垂直構造を明らかにすることは可能か?
田中延亮	生態水文学研究所	ヒノキ樹幹流下量の再検討
蔵治光一郎	企画部	生態水文学研究所内の宮試験流域における地表面被覆と地表面流の関係
第2回 (2019年5月17日(金) 13:00-17:00/森林圏生態社会学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
齋藤暖生	富士癒しの森研究所	森林と文化ー森とともに生きる民俗知のゆくえー
當山啓介	千葉演習林	レビュー試案「計画とは、森林計画とは何か」
石橋整司	生態水文学研究所	university-wide seminars
藤原章雄	富士癒しの森研究所	サイバーフォレスト研究の概要とこれからの展開
第3回 (2019年6月21日(金) 13:00-16:30/森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
鎌田直人	北海道演習林	ブナと種子食性昆虫の相互作用
後藤 晋	教育研究センター	温暖地域に移植した北方針葉樹3種の生残と成長
執行宣彦	秩父演習林	冷温帯林の落葉分解における土壌微生物群集の固有性
福井 大	北海道演習林	コウモリの食性
第4回 (2019年7月19日(金) 13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
山田利博	秩父演習林	樹木の非破壊腐朽診断の発展に向けて
梅林利弘	秩父演習林	木本植物における樹液圧力サイクルと成長パターンの関係
楠本 大	千葉演習林	樹木の保護と管理: 樹幹注入剤の光と影
アンネ・カロリ ナ	森林D3	Different impact of methyl jasmonate and ethephon application on resin/gum duct formation in the broad-leaved trees and conifer: An experiment of traumatic resin duct induction in akamatsu seedlings
竹本周平	田無演習林	白紋羽病菌の初発表文に模式標本の要件をさぐる
第5回 (2019年9月20日(金) 13:00-17:00/森林流域管理学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
ウイジェナイ カ・パピトラ・ラ ンガニー	森林D2	Survival analysis of a natural forest stand with the effect of natural disturbances
広嶋卓也	北海道演習林	県別人工林伐採性向の生存時間解析による類型化
水内佑輔	生態水文学研究所	明治神宮の風致を探る: 現在の風致評価と設計思想に関する調査
チャー・ トウ・モー	森林D2	Application of remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan
ペイ・フィチン	IPADS D1	海口市における緑の建築と緑化システムの総合研究
尾張敏章	千葉演習林	アジアの近自然森林施業: 地理空間技術が実用化を促進する

第6回 (2019年10月25日(金)13:00-17:00/森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
ペン・ヨン	森林D3	Host-insect relationship in bark and ambrosia beetles communities in Hokkaido
サイフル・アムリ・サラギー	森林D3	Fungi isolated from ambrosia beetles and dieback branches of maple, and their virulence on maple logs and seedlings
平尾聡秀	秩父演習林	下層植生の衰退が森林土壌の抗生物質耐性微生物叢に及ぼす影響
久本洋子	千葉演習林	温暖地域に移植した 北方針葉樹の温暖化 ストレスに関わるRNA-seq解析
第7回 (2019年11月22日(金)13:00-17:00/森林圏生態学社会学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
安村直樹	田無演習林	緑地と地価の関係
陸 黎峻	生圏M1	野生山菜と茸類の誤食防止手法の検討
劉 立航	生圏M1	神農架林区管理手法
竹内啓恵	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所を利用した森林散策カウンセリング事例報告
レ 園園	森林M1	森林浴がもたらすストレス軽減効果
齋藤 馨	新領域・自然環境	サイバーフォレストと生物音響
第8回 (2019年12月20日(金)12:45-17:30/修士論文発表・卒業論文発表)		
発表者	所属・学年	演題
吉田拓矢	フィールド科学B4	石灰岩地に隔離分布する絶滅危惧種チチブミネバリの系統地理
塚本 宝	森林B4	シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に与える影響
渡邊尚貴	森林B4	日本インバウンド観光産業成長に基づく外国人観光客向け森林活用
山崎 有	生圏M2	トドマツの高山適応に関連する形態生理特性の解明
李 昕曄	生圏M2	水源涵養機能評価のための森林成長に伴う流出量の変動に関する分析
田中翔大	生圏M2	森林の萌芽動態における攪乱体制と機能形質の役割
韋 珉傑	森林M2	中国の集団林をめぐる改革とその方向性の検討
第9回 (2020年1月17日(金)13:00-17:00/森林生物機能学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
須谷未菜	森林M1	国産ユーカリの活用に向けた物理的・生理的特性の評価
井上広喜	樹芸研究所	<i>Eucalyptus smithii</i> のクローン増殖
嶋田重裕	樹芸研究所	樹芸研究所にまつわるイソプレノイドの話
坂上大翼	秩父演習林	北海道のアメリカトネリコ植栽木に発生した集団衰退枯死とその原因
福田健二	森林植物学研究室	樹幹木部の通水速度マッピング:年輪内、年輪間の通水機能の差異
第10回 (2020年2月21日(金)13:00-17:00/森林流域管理学研究室・森林圏生態学研究室)		
発表者	所属・学年	演題
浅野友子	秩父演習林	入川・滝川流域の降雨一流出特性と 秩父演習林における流量観測の課題
谷川鴻介	森林M1	森林棲中大型哺乳類の生息場所選択における空間構造
野中佳祐	生圏M1	秩父演習林ブナ産地別試験地におけるブナカイガラタマバエのフェノロジカルシフト
林子 愷	森林M1	台湾亜熱帯林における14樹種を寄生するキクイムシの多様性調査
鈴木智之	北海道演習林	食性マーカーとしての脂肪酸

※第1,2,4~6回は農学部1号館2階森林科学専攻会議室、第3回は農学部フードサイエンス棟中島記念ホール、第7~10回は農学部図書館3階ゼミナール室1で開催された。第11回はコロナウィルス感染拡大予防対策のため中止された。

## 8). 演習林教育研究センターゼミ

月	日	発表者氏名	発表タイトル
4	5	全員	ガイダンス・安全衛生について
	12	全員	プレゼンのミニ講習(自己紹介)
	26	全員	論文作成 引用の仕方講習
5	10	山崎 有	トドマツの高山環境への遺伝的適応: 光合成活性とカロチノイドに着目して
		野中佳祐	高オゾン環境下における落葉分解と中型土壌動物(卒業論文)
	24	チョー・トゥー・モー	Growth of High-value Broadleaf Timber Species in Natural Forest in The University of Tokyo Hokkaido Forest, Japan
		吉田拓矢	隔離分布種チチブミネバリの遺伝構造
	31	韋 珉傑 林 子愷	所有制度から見る中国の集団林 台湾の亜熱帯林におけるキクイムシと寄主植物の群集構造
6	7	李 昕曄	森林の違いが水源涵養機能に与える影響の評価ー穴の宮流域のデータ分析
		田中翔大	森林の萌芽動態における攪乱体制と機能形質の役割
	14	陸 黎峻 渡邊尚貴	野生山菜と茸類の誤食防止手法の検討 日本森林レクリエーション～戦前から現代までの流れ～
	28	レ 園園 劉 立航	森林がもたらすストレス軽減効果 神農架林区および神農架公益林の管理手法
	5	アンネ・カロリナ	Pine Resin in Indonesia and an experiment of traumatic resin duct formation in Akamatsu seedlings
7	5	ヴィージェナイカ パ ビトラ ランガニー	Survival analysis of a natural forest standing The university of Tokyo Hokkaido Forest
	12	サイフル・アムリ・ サラギー	Trap captures of ambrosia and bark beetles and their attack on maple in relation to tree condition
		谷川鴻介	シカ食害による森林環境の変化が葉食者及びその捕食寄生者の宿主選択に及ぼす影響
9	6	全員	ガイダンス・安全衛生について
	13	山崎 有	トドマツの高山環境への遺伝的適応: 光合成活性とカロチノイドに着目して
	27	ヴィージェナイカ パ ビトラ ランガニー	「自然災害の影響を加味した天然林の生存時間解析
10	4	李 昕曄	穴の宮流域の流況データを用いた、森林成長に伴う流出量の変動に関する分析
		渡邊尚貴 劉 立航	日本インバウンド観光産業成長に基づく外国人観光客向け森林活用 神農架林区の管理手法
	11	野中佳祐	ブナ開芽時期の違いがフェノロジカルウィンドウを介してゴール形成性タマバエ羽化時期にもたらす影響
	18	韋 珉傑 林 子愷	中国の集団林をめぐる制度改革とその方向性の検討ー文献調査と広東省のデータ分析を中心に 台湾におけるキクイムシの群集類似度と系統距離の関係
	6	サイフル・アムリ・ サラギー	Metagenomics to determine microflora community inside the mycangia of ambrosia beetle
11	15	チョー・トゥー・ モー	Assessing the performance of unmanned aerial vehicle derived crown competition indices in individual tree growth of high-value broadleaf tree
		レ 園園	森林がもたらすストレス効果
	29	吉田拓矢 谷川鴻介	石灰岩地に隔離分布する絶滅危惧種チチブミネバリの遺伝構造 シカ食害によるシデ類葉形質及びハマキガ類の密度と寄生蜂寄生率への影響
12	6	陸 黎峻 塚本 宝	野生山菜と茸類の誤食防止手法の検討 シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に及ぼす影響
	13	須谷 未菜	国産ユーカリの活用に向けた物理的・生理的特性の評価

## 9) 実習等

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
千葉演習林	東京大学	自然環境学野外総合実習	新領域創成科学研究科	自然環境学専攻		36	4月	1
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	8	5月	1
千葉演習林	東京大学	総合科目「森林環境資源学」	教養学部		1・2年	19	6月	2
千葉演習林	東京大学	森林科学基礎実習Ⅰ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3・4年	23	6月	5
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか?(入門編)」	教養学部		1・2年	2	6月	2
千葉演習林	宇都宮大学	樹木学実習	農学部	森林科学科	1年	36	6月	2
千葉演習林	海南大学	海南大学サマープログラム「東京大学演習林で学ぶ森林管理」			1・2年	10	7月	4
千葉演習林	東京大学	地球環境科学科野外調査実習(1)	理学部	地球環境科学科		18	8月	7
千葉演習林	京都大学	地質調査実習	理学部	地質学・鉱物学教室	修士課程	13	8月	6
千葉演習林	東京大学	体験活動プログラム「演習林の教育研究を支えよう!～日本最初の大学演習林で体験する3つの縁の下～」				1	8月	3
千葉演習林	千葉大学	地質学野外実験Ⅱおよび地殻構造学野外実験Ⅰ	理学部	地球科学	3・4年	26	9月	6
千葉演習林	東京大学	生圏システム学特論	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	修士課程	20	10月	1
千葉演習林	東京大学	森圏管理学実習	農学部		修士課程	11	11月	1
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「フィールドで考える野生動物の保護管理」	教養学部		1・2年	4	12月	2
千葉演習林	千葉大学	ナチュラリスト	理学部	生物学科	3・4年	2	12月	1
千葉演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」	教養学部		1・2年	19	2月	4
北海道演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「森に学ぶ(ふらの)」	教養学部		1・2年	9	8月	4
北海道演習林	東京大学	森林科学総合実習	農学部	森林系2専修	学部生	10	9月	4
北海道演習林	筑波大学	筑波大学林政学分野大学生・大学院生実習	生命環境系	森林資源経済学研究室	大学院生・4年	19	9月	4
北海道演習林	東京大学	新領域・自然環境学専攻 陸域景観学実習	新領域創成科学研究科	自然環境景観学分野	大学院生	5	9月	3
北海道演習林	東京大学	体験活動プログラム「森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー」	教育学部		4年	1	2月	15
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	5	5月	2
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	5	6月	2
秩父演習林	東京大学	森林科学基礎実習Ⅲ	農学部	森林生物科学専修・森林環境資源科学専修	3・4年	20	7・8月	5
秩父演習林	首都大学東京	動物系統学野外実習	理学部	生命科学科	3年	15	8月	4
秩父演習林	東京大学	バイオマス科学実習・森林科学実習	農学部	生物素材化学専修・木質構造科学専修	3年	17	8月	3
秩父演習林	東京農業大学	秋の植物採集会(実習)	地域環境科学部	森林総合科学科	研究室	39	9月	1
秩父演習林	東京大学	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」	教養学部		1・2年	3	10月	3
秩父演習林	東京大学	森林圏水循環機能学	農学生命科学研究科		大学院生	5	12月	2
田無演習林	東京大学	森林科学基礎実習Ⅰ	農学部	森林系2専修	3年	16	4・5・9月	3
田無演習林	東京大学	森林科学基礎実習Ⅲ	農学部	森林系2専修	3年	16	5・9月	2
田無演習林	東京大学	森林土壌学実験	農学部	森林系2専修	4年	5	4月	1

演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
田無演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	教養学部		1・2年	3	5・6月	3
田無演習林	東京大学	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	東京大学		学部生	3	9月	1
田無演習林	東京大学	全学自由研究ゼミナール 「昆虫と節足動物の生物学」	教養学部		1・2年	8	8月	1
田無演習林	東京大学	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	農学部		大学院生	15	11月	1
田無演習林	東京大学	全学体験ゼミナール 「森のエネルギーをいこなす」	教養学部		1・2年	8	12月	1
田無演習林	東京大学	緑地環境実地実習	農学部	緑地環境学専修	3年	7	1月	1
生態水文学研究所	愛知県芸術大学	デザイン実技3 人と自然をつなぐデザイン	美術学部		3年	4	6月	1
生態水文学研究所	東京大学	総合科目「森林資源管理学」フィールドワーク(ダムと森林)	教養学部		1・2年	5	6月	2
生態水文学研究所	東京大学	生物環境物理学実習	農学部		4年	6	6月	4
生態水文学研究所	東京大学	全学体験ゼミナール 「人の手で造り管理する森林」				10	6月	2
生態水文学研究所	東京大学	森林科学基礎学実習2	農学部	森林系2専修	3年	15	8月	5
生態水文学研究所	東京大学	東京大学体験活動プログラム				1	9月	4
生態水文学研究所	東京大学	大学院「森林圏水循環機能学」集中講義			修士	5	12月	2
生態水文学研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	教養学部		1・2年	18	2月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(春編)」	教養学部		1・2年	15	5月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	森林生態圏管理学特論	農学生命科学研究科	森林科学専攻	大学院生	12	5月	1
富士癒しの森研究所	東京大学	環境設計演習	農学部	森林系2専修	4年	9	6月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	森圏管理学実習	農学部	フィールド科学専修	3・4年	10	6月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	総合科目D「森林環境資源学」フィールドワーク「森と癒し」	教養学部		1・2年	7	6月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール 「癒しの森と地域社会(夏)」	教養学部		1・2年	6	7月	3
富士癒しの森研究所	海南大学	海南大学サマープログラム			大学院生・学部生	10	7月	4
富士癒しの森研究所	東京大学	フィールド科学総論	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	大学院生	19	7月	2
富士癒しの森研究所	国立台湾大学	国立台湾大学サマースクール				10	8月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	森林科学基礎実習IV	農学部	森林系2専修		15	8月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	フィールド演習	工学部	社会基盤学科	3年	53	9月	4
富士癒しの森研究所	京都大学	野外実習第1部、第2部	理学部			8	9月	1
富士癒しの森研究所	東京大学	森林風景学実習	農学生命科学研究科	森林科学専攻		7	9月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	森林圏生態社会学演習	農学生命科学研究科	生圏システム学専攻	大学院生	5	9月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール 「危険生物の知識(秋編)」	教養学部		1・2年	12	10月	2
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール 「森のエネルギーをいこなす」	教養学部		1・2年	3	10月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	森林政策学演習	農学部	森林系2専修	3年	4	11月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	国際短期プログラム「生物資源環境学の展開」および環境調和特別演習「農林畜水産業と環境負荷」及び「農林水畜産業と生態系攪乱」	農学生命科学研究科	環境調和農学特別コース	大学院生	10	11月	1



演習林名	学校名	科目名	学部等	学科等	学年	学生数	実施月	日数
富士癒しの森研究所	茨城大学	特別野外実習	理学部	地球環境科学コース		24	11月	4
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング」	教養学部		1・2年	3	11月	3
富士癒しの森研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	教養学部		1・2年	8	12月	3
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		2年	7	8月	10
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)1」	教養学部		1・2年	14	8月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)3」	教養学部		1年	12	8月	5
樹芸研究所	東京大学	森林実習	農学部	国際開発農学専修	3年	20	9月	4
樹芸研究所	全国大学演習林協議会	公開森林実習			1・3年	2	9月	4
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部		2年	3	9月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏)2」	教養学部		1・2年	16	9月	5
樹芸研究所	東京大学	体験活動プログラム「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学		1・2・4年	12	10・11月	4
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部				2月	10
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	教養学部		1年	9	2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	教養学部				2月	5
樹芸研究所	東京大学	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	教養学部				3月	5
樹芸研究所	東京大学	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	教養学部				3月	5
樹芸研究所	東京大学	体験活動プログラム「南伊豆という一地域との連携に学ぶ」	東京大学				3月	3

## 2. 研究

### 1) 教職員の論文等

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Shigyo N, Umeki K, Hirao T	Plant functional diversity and soil properties control elevational diversity gradients of soil bacteria	FEMS Microbiology Ecology	95(4)	fiz025	2019
Miura N, Koyanagi TF, Yokota S, Yamada S	Can UAV LiDAR derive vertical structure of herbaceous vegetation on riverdike?	ISPRS Annals of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences	IV-2/W5	127-132	2019
Tsunoda T, Hyodo F, Sugiura D, Kaneko N, Suzuki SN	How can we quantitatively study insects whose larvae live beneath the forest floor? A case study at an experimental long-term log-removal site in Japan	Entomological Science	22	275-282	2019
Heim O, Puisto AIE, Fukui D, Vesterinen EJ	Molecular evidence of bird-eating behavior in <i>Nyctalus aviator</i>	Acta Ethologica	22	223-226	2019
Arai S, Aoki K, Son N-T, Tu V-T, Kikuchi F, Kinoshita G, Fukui D, Thanh H-T, Gu SH, Yoshikawa Y, Tanaka-Taya K, Morikawa S, Yanagihara R, Oishi K	Đakrông virus, a novel mobatvirus (Hantaviridae) harbored by the Stoliczka's Asian trident bat ( <i>Aselliscus stoliczkanus</i> ) in Vietnam	Scientific Reports	9	10239	2019
Nakamura KW, Fujiwara A, Kobayashi HH, Saito K	Multi-Timescale Education Program for Temporal Expansion in Ecocentric Education: Using Fixed-Point Time-Lapse Images for Phenology Observation	Education Sciences	9(3)	190	2019
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S, Hirata Y	Potential of UAV photogrammetry for characterization of forest canopy structure in uneven-aged mixed conifer-broadleaf forests	International Journal of Remote Sensing	41(1)	53-73	2019
Shigyo N, Umeki K, Hirao T	Seasonal dynamics of soil fungal and bacterial communities in cool-temperate montane forests	Frontiers in Microbiology	10	1944	2019
Okada M, Hirao T, Kaji M, Goto S	Role of fallen logs in maintaining the species diversity of understory vascular plants in a mixed coniferous and broad-leaved forest in Hokkaido, northern Japan	Forest Ecology and Management	448	249-255	2019
Kuraji K, Gomyo M, Nainar A	Thinning of cypress forest increases subsurface runoff but reduces peak storm-runoff: a lysimeter observation	Hydrological Research Letters	13(3)	49-54	2019
Suzuki SN, Ataka M, Djukic I, Enoki T, Fukuzawa K, Hirota M, Hishi T, Hiura T, Hoshizaki K, Ida H, Iguchi A, Iimura Y, Ise T, Kenta T, Kina Y, Kobayashi H, Kominami Y, Kurokawa H, Makoto K, Matsushita M, Miyata R, Muraoka H, Nakaji T, Nakamura M, Niwa S, Noh NJ, Sato T, Seino T, Shibata H, Suzuki RO, Takahashi K, Tsunoda T, Ustumi T, Watanabe K	Harmonized data on early stage litter decomposition using tea material across Japan	Ecological Research	34	575-576	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Wijenayake PR, Hiroshima T, Yamamoto H	Comparative study on commercial log production managed under different conditions-Evaluating plantation grown teak of Sri Lanka-	Journal of Forest Planning	25	27-37	2019
Volf M, Klimeš P, Lamarre GPA, Redmond CM, Seifert CL, Abe T, Auga J, Anderson- Teixeira K, Basset Y, Beckett S, Butterill PT, Drozd P, Gonzalez-Akre E, Kaman O, Kamata N, Laird-Hopkins B, Libra M, Manumbor M, Miller SE, Molem K, Mottl O, Murakami M, Nakaji T, Plowman NS, Pyszko P, Šigut M, Šipoš j, Tropek R, Weiblen GD, Novotny V	Quantitative assessment of plant-arthropod interactions in forest canopies: A plot-based approach.	PLoS ONE	14. 10	e022211 9	2019
Taneda H, Funayama- Noguchi S, Mayr S, Goto S	Elevational adaptation of morphological and anatomical traits by Sakhalin fir ( <i>Abies sachalinensis</i> )	Trees	34	507-520	2019
Umeki K, Abrams MD, Toyama K, Nabeshima E	A model for longitudinal data sets relating wind-damage probability to biotic and abiotic factors: a Bayesian approach	Forest Systems	28(3)	e019	2019
Asano Y, Uchida T, Tomomura M	A novel method of quantifying catchment- wide average peak propagation speed in hillslopes: fast hillslope responses are detected during annual floods in a steep humid catchment	Water Resources Reseach	56	e2019W R02507 0	2019
Fukasawa Y, Ando Y, Suzuki SN, Aizawa M, Sakuma D	Climate influences the effect of fungal decay type on regeneration of <i>Picea jezoensis</i> var. <i>hondoensis</i> seedlings on decaying logs	Canadian Journal of Forest Research	50	73-79	2019
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Comparing individual tree height information derived from field surveys, LiDAR and UAV- DAP for high-value timber species in northern Japan	Forests	11(2)	223	2020
Kitamura K, Uchiyama K, Ueno S, Ishizuka W, Tsuyama I, Goto S	Geographical gradients of genetic diversity and differentiation among the southernmost marginal populations of <i>Abies sachalinensis</i> Revealed by EST-SSR Polymorphism	Forests	11(2)	233	2020
Carolina A, Kusumoto D	Gum duct formation mediated by various concentrations of ethephon and methyl jasmonate treatments in <i>Cerasus × yedoensis</i> , <i>Prunus mume</i> and <i>Liquidambar styraciflua</i>	IAWA Journal	41(1)	98-108	2020
Hoyt JH, Langwig KE, Sun K, Parise KL, Li A, Wang Y, Huang X, Worledge LJ, Miller H, White JP, Kaarakka HM, Redell JA, Görföl T, Boldogh SA, Fukui D, Sakuyama M, Yachimori S, Sato A, Munkhnast D, Jargalsaikhan A, Batbayar N, Yovel Y, Amichai E, Natradze I, Frick WF, Foster JT, Feng J, Kilpatrick AM	Environmental reservoir dynamics predict global infection patterns and population impacts for the fungal disease white-nose syndrome	Proceedings of the National Academy of Sciences	117(13 )	7255- 7262	2020

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Imamura N, Levia DF, Nanko K, Tanaka N, Ohte N	Geographic factors explain the variability of atmospheric deposition of sulfur and nitrogen onto coniferous forests within and beyond the Tokyo Metropolis	Water, Air, & Soil Pollution	231	105	2020
Tamas G, Fukui D, Csorba G	The taxonomic reassessment of a reportedly extinct bat, <i>Pipistrellus sturdeeii</i> (Chiroptera: Vespertilionidae)	Zootaxa	4755(1)	163-170	2020
橋谷拓武・前島有沙・山本紳兵・太田祐子・服部力・山下香菜・井道裕史・山田利博・西岡泰久・柳澤賢一・戸田堅一郎	カラマツカタワタケにより腐朽したカラマツ材の物理的特性	樹木医学研究	23(2)	96-97	2019
山田利博・渡辺直明	2003～17年の樹木医研修受講生の診断・治療に関する経験と情報	樹木医学研究	23(2)	118-119	2019
邸帥豪・前田啓・信田聡・鴨田重裕・齋藤周逸	国産コウヨウザンの乾燥特性(第1報)－基礎物性の測定と人工乾燥スケジュールの推定－	木材工業	74(4)		2019
當山啓介・山本嵩久・有賀一広	森林経営計画制度における主伐量上限制限の妥当性－栃木県民有林全域での試算	日本森林学会誌	101(2)	61-69	2019
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡・井上広喜・鴨田重裕	<i>Eucalyptus saligna</i> ・ <i>E. smithii</i> 造林試験の経過報告－2017年気象イベントによる影響－	中部森林研究	67	19-20	2019
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田善隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジウカラの繁殖特性についての検討	中部森林研究	67	43-46	2019
尾張敏章	書評:柿澤宏昭・山浦悠一・栗山浩一編「保持林業－木を伐りながら生き物を守る－」	林業経済	72(3)	23-27	2019
水内佑輔	日本近代砂防の祖・諸戸北郎博士の設計による溪間工事建造物群	林野	147	14-15	2019
楠本大・長瀬利文	異なる樹幹注入殺虫剤によって生じる広葉樹3種の辺材変色の特徴	樹木医学研究	23(3)	143-147	2019
前島有沙・橋谷拓武・山本紳兵・太田祐子・山下香菜・井道裕史・山田利博	スギ人工腐朽材における音速と強度との関係	樹木医学研究	23(3)	158-159	2019
山本紳兵・岩上和磨・橋谷拓武・前島有沙・太田祐子・山下香菜・井道裕史・山田利博	サクラ腐朽木の横断面内における音速と強度特性	樹木医学研究	23(3)	160-161	2019
原口竜成・大村和也・千嶋武・高野充広・才木道雄・木村恒太	剥皮害を受けたヒノキ人工林における間伐後の再被害発生状況とその防除	関東森林研究	71(1)	69-72	2020
山田利博・村川功雄・井口和信・大村和也・五十嵐勇治・齋藤俊浩・高德佳絵・齋藤暖生・小林奈通子・田野井慶太郎・中西友子	東京大学演習林における福島原発事故後7年間の野生キノコ中放射性セシウム濃度の推移	関東森林研究	70(1)	81-84	2019
安村直樹・立花敏・齋藤奈央子	北海道における林業用苗木生産の季節性と緩和策	林業経済	72(5)	1-16	2019
水内佑輔	明治神宮造営において構想された風致の空間的要素と設計思想の転換	ランドスケープ研究(オンライン論文集)	12	50-61	2019
邸帥豪・前田啓・信田聡・鴨田重裕・齋藤周逸	国産コウヨウザンの乾燥特性(第2報)－板材の天然乾燥特性と人工乾燥特性－	木材工業	74(9)		2019
大谷忠・花園香帆・東原貴志・井上真理子・荒木祐二・藏治光一郎・伊神裕司	生物育成に関する技術における林木の収穫の授業実践	日本産業技術教育学会誌	61(3)	195-202	2019
水内佑輔	風景計画の現在と自然公園	国立公園	776	23-26	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
後藤晋	【特集】林木育種の視点からみたコンテナ苗の現状と課題 今、なぜ森林遺伝育種学会で、コンテナ苗なのか。	森林遺伝育種	8(4)	164-166	2019
Takemoto S, Minoshima A, Hirooka Y, Kubono T, Chapuis L, Torii M, Yamada T	Canker of Voss's laburnum caused by <i>Diaporthe eres</i> , in comparison to the pathogenicity of accompanying <i>Schizophyllum commune</i>	樹木医学研究	23(4)	203-214	2019
水内佑輔	『明治神宮御境内林苑計画』第一章「林苑の設計」から見えてくるもの(明治神宮史関係資料翻刻『明治神宮御境内林苑計画』総説・第一章)	神園	22	164-170	2019
水内佑輔	明治神宮の位相：東京大学演習林を通じて見た一〇〇年の森	神園	22	176-180	2019
山田利博	樹木腐朽を客観的に診断する	山林	1627	10-17	2019
陳元君・石橋整司	中国海南島鸚哥嶺自然保護区における自然保護政策下での先住民の生活実態	東京大学農学部演習林報告	141	1-31	2019
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・犬飼浩	天然林択伐施業の選木作業における立木外観指標間の関連性：ベイジアンネットワークを用いた分析	日本森林学会誌	101(6)	278-288	2019
野尻太郎・福井大・小薮大輔	ヒナコウモリおよびキクガシラコウモリの新生子における姿勢	哺乳類科学	60	1	2020
中村和彦・斎藤馨・藤原章雄・大塚啓太・奥山賢一	森林体験活動を教室内学習へ持続的に反映させる方法論の検討；一小学校第5学年の調べ学習単元における振り返り映像の視聴を事例として一	日本森林学会誌	102(1)	77-82	2020
木村恵・竹内啓恵・高山範理	日本森林学会の年大会における参加者の託児室の利用について	日本森林学会誌	102(1)	91-93	2020
遠國正樹・福井大・及川希・小川瞳・後藤晋	シナノキとオオバボダイジュの萌芽発生状況一伐採翌年と13年後の比較一	北方森林研究	68	57-59	2020
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子	穂木の処理と固定方法の異なるクロマツ・アカマツの接ぎ木の試み	関東森林研究	70(2)	161-164	2020
尾張敏章	安藤直人・白石則彦 企画・編集「概説 森林認証」	森林技術	935	36-37	2020
澤田晴雄・辻良子・渡邊良広・千井野聡・井上広喜・辻和明・小林徹行・鎌田直人	伊豆半島南部暖温帯二次林におけるスダジイのナラ枯れ実態	中部森林研究	68		2020
井上淳・澤田晴雄・佐藤貴紀・村瀬一隆・鴨田重裕・松井理生・鎌田直人	暖温帯二次林におけるコナラのナラ枯れ実態一愛知県瀬戸市と静岡県南伊豆町の比較一	中部森林研究	68		2020
村川功雄・尾崎煙雄	珍菌アンドンタケを模式産地において90年ぶりに確認	千葉菌類談話会通信	36	4-5	2020
橋本晋太・尾張敏章・軽込勉・千嶋武・三次充和・鶴見康幸・鈴木祐紀・米道学・塚越剛史・阿達康真・村川功雄・大石諭・當山啓介	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状	東京大学農学部演習林報告	142	17-36	2020
Goto S, Yonemichi T, Hisamoto Y, Saito T, Hirao T, Kimura N, Fukuoka S, Ujino-Ihara T, Taneda H	Timing of bud flush and bud set of seedlings of <i>Abies sachalinensis</i> , <i>Picea glehnii</i> , and <i>P. jezoensis</i> transplanted to warm sites	演習林(東大)	62	1-13	2020
Sanguansub S, Buranapanichpan S, Saowaphak T, Beaver RA, Kamata N	List of wood-boring beetles (Coleoptera: Bostrichidae, Curculionidae; Platypodinae, and Scolytinae) captured by ethanol-baited traps in a lower montane forest in northern Thailand	演習林(東大)	62	15-59	2020

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
原口竜成・高德佳絵・才木道雄・藤平晃司	秩父演習林におけるケヤキ人工林成長試験地毎木調査資料(2018年)	演習林(東大)	62	61-91	2020
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2017年1月至2017年12月)	演習林(東大)	62	93-113	2020
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2018年1月至2018年12月)	演習林(東大)	62	115-161	2020

#### 2019年度以前に発表し、これまでの年報に未掲載の論文

発表者全氏名	題目	誌名	巻-号	頁	年
Morimoto J, Umebayashi T, Suzuki SN, Owari T, Nishimura N, Ishibashi S, Shibuya M, Hara T	Long-term effects of salvage logging after a catastrophic wind disturbance on forest structure in northern Japan	Landscape and Ecological Engineering	15(2)	133-141	2019
斎藤真己・後藤 晋	マイクロカッティング技術を応用した無花粉スギの苗木生産量の倍増法	森林遺伝育種	8(1)	1-7	2019
田一鳴・前川卓也・天方大地・原隆浩・松本祥子・依田憲・藤岡慧明・濱井郁弥・福井大・飛龍志津子	マルチモーダル移動行動データからの高速な頻出共起ルール抽出手法	情報処理学会論文誌	60(3)	859-869	2019

## 2) 学会発表等

発表者全氏名	題目	誌名	巻—号	頁	年
Owari T, Okamura K, Takuma R, Kimura N, Fukuoka S	Pinpoint planting in logging gaps with <i>Abies sachalinensis</i> seedlings after single-tree selection harvest in northern Japan	Book of Abstracts for IUFRO 1.01.09 Ecology and Silviculture of Fir Conference (Abies 2019)		61	2019
Miura N, Koyanagi TF, Yokota S, Yamada S	Can UAV LiDAR derive vertical structure of herbaceous vegetation on riverdike?	ISPRS Geospatial Week 2019	Volume IV-2/W5	127-132	2019
Sanguansub S, Kamata N, Buranapanichpan S, Beaver RA, Busarakam K	Spatial and species variation in ambrosia and bark beetle communities on <i>Pterocarpus macrocarpus</i> Kurz and their associated fungi	43rd New Phytologist Symposium: Interaction networks and trait evolution		94	2019
Saito H, McKean M, Mitsumata G, Kohyama S	Increasing public access to natural landscapes where individually exclusive property ownership reigns supreme: cases from North Carolina in the United States	The 17th Biennial IASC Conference			2019
Kamata N	Sustainable forest management of the University of Tokyo Hokkaido Forest	Programme Book: International Conference on Tropical Forest Science—Forest for Sustainable Development Goals		14	2019
Kim B, Kim SS, Choi YS, Fukui D	Characterization of daily roost in <i>Myotis rufoniger</i>	18th International Bat Research Conference			2019
Fukui D, Matsui T	Effects of forest disturbance on bat assemblages in Japan as revealed by acoustic monitoring	18th International Bat Research Conference			2019
Hoyt JR, Langwig KE, Sun K, Parise KL, Li A, Wang Y, Huang X, Worledge L, Miller H, White JP, Kaaraaka HM, Redell JA, Gorfol T, Boldogh S, Fukui D, Sakuyama M, Yachimori S, Sato A, Dalanast M, Jargalsaiken A, Batbayar N, Yovel Y, Michael E, Natradze I, Frick WF, Foster JT, Feng J, Kilpatrick AM	Global Host and Pathogen Dynamics of White-nose Syndrome	18th International Bat Research Conference			2019
Fujioka E, Nakai G, Heim O, Fukui D, Hiryu S	GPS Tracking of the Navigation Behavior of the Birdlike Noctule during Nightly Foraging	18th International Bat Research Conference			2019
Nakai G, Fujioka E, Fukui D, Yoda K, Hiryu S	Investigation of navigation strategy of Japanese horseshoe bats during natural foraging using GPS and Acoustic-GPS data-Loggers	18th International Bat Research Conference			2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Kuraji K, Luiza M, Maznah M, Fera C, Wilter MI, Rozaidi H, Rimi R, Geofarry G, Thomas Y	Meteorological and Hydrological Data observed in the Gunung Alab, Crocker Range Park, Sabah, Malaysia	International Conference of Tropical Forest Science (ICTFS2019), Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia			2019
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Individual tree diameter growth of high-value broadleaved trees in mixed conifer-broadleaf forest in Northern Japan	Proceedings of the International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM 2019)		10	2019
Owari T, Okamura K, Takuma R, Kimura N, Fukuoka S	Survivorship, die-back and height growth of planted <i>Abies sachalinensis</i> seedlings around cut stumps after single-tree selection harvest	Proceedings of the International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM 2019)		11	2019
Arai S, Kikuchi F, Aoki K, Bawm S, Son NT, Lin KS, Tu VT, Kinoshita G, Fukui D, Thành HT, Tsuchiya K, Tanaka-Taya K, Yoshikawa Y, Morikawa S, Oishi K, Yanagihara R	Molecular phylogeny of mobatviruses (Hantaviridae) in Myanmar and Vietnam	11th International Conference on Hantaviruses			2019
Sugimoto T, Sakai Y, Haraguchi R, Hirao T, Yamada T	Evaluation of the chemical composition of <i>Chamaecyparis pisifera</i> rotten wood -- focusing the changes including the very early stage of rotting--	The 20th International Symposium on Wood, Fiber, and Pulping Chemistry			2019
Owari T, Park PS	Close-to-nature silviculture in Asia: Geospatial technology facilitates its practical application	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	24 2019
Toyama K	Re-examining of Japanese yield regulation system by recent forest growth information	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	134 2019
Owari T, Toyama K, Suzuki SN, Hiroshima T, Ishibashi S	Long-term growth records of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations at the University of Tokyo Forests, Japan: Towards a network of experimental plots in East Asia	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	207 2019
Hirata Y, Furuya N, Owari T, Sakaue D	Understanding stand characteristics of natural forest using airborne laser scanner data for sustainable forest management	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	379 2019
Kamata N, Sanguansub S, Peng Y, Saowaphak T, Buranapanichpan S, Buranapanichpan A	Ambrosia and bark beetle community along with latitudinal gradient: temporal dynamics of the community and phylogenetic effects of plants on the community	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	588 2019
Higashihara T, Kuraji K, Inoue M, Ohtani T, Araki Y, Ikami Y, Watanabe E	An experimental class on water-holding capacity in forestry using a handmade sprinkling instrument by vocational high school students.	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	674 2019
Kamata N, Owari T, Kuraji K	A network of university forests in Asia for long-term monitoring of forest ecosystems	XXV IUFRO World Congress (Pesquisa Florestal Brasileira)	39	(Specia 1 Issue)	682 2019



発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Umebayashi T, Haraguchi R, Hirao T, Yamada T	The spatial distribution of <i>Serpula</i> spp. in the decayed woods of Sawara cypress and the decay development process	Asian Mycological Congress 2019		P3-18	2019
Yamada T, Haraguchi R, Hirao T	Rapid characterization of wood-decaying fungal communities using the nanopore sequencing system	Asian Mycological Congress 2019		P3-19	2019
Haraguchi R, Hirao T, Yamada T, Umebayashi T	Detection and absolute quantification of <i>Serpula himantioides</i> in wood of <i>Chamaecyparis pisifera</i> and soil of <i>C. pisifera</i> plantation by real-time PCR	Asian Mycological Congress 2019		P3-25	2019
Hashitani H, Ota Y, Hattori T, Yamashita K, Yamada T, Nishioka Y, Yanagisawa K, Toda K	Wood decay fungi isolated from heart rots on Japanese larch plantation trees in Nagano, Japan	Asian Mycological Congress 2019		P3-30	2019
Shigyo N, Hirao T	Tree functional diversity regulates the diversity of soil fungal guilds in cool temperate montane forests	Asian Mycological Congress 2019		P4-06	2019
Kamata N	A population dynamics of the beech caterpillar, <i>Syntypistis punctatella</i> (Motschulsky)	The Interaction between Insects and Forests: The 40th Annual Meeting of Taiwan Entomological Society		49	2019
Saito H	Foraging culture of mushrooms in Japan: background and recent trends	The 10th International Workshop on Edible Mycorrhizal Mushrooms			2019
Kamata N	A long-term data in the University of Tokyo Forests and JSPS Core-to-core projec	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		2	2019
Im S, Kuraji K, Lai Y-J, Venus T	SCS Curve Number Procedure Revisited for Experimental Forests of Different Climate Zones	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		28	2019
Wong WVC, Kuraji K, Majuakim L, Cleophas F, Repin R, Mahali M	Hydro-Meteorological Monitoring in Crocker Range Park, Sabah, Malaysia	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		29	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Venus T, Wanchai A, Kuraji K, Wipaporn B	Long Term Data for Flash Flood Forecasting using Antecedent Precipitation Index in Upper Nan Watershed, Nan Province, Thailand.	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		30	2019
Chandrathilake GGT, Dassanayaka CD, Tanaka N	Rainfall redistribution by Yagirala Forest Reserves; a secondary lowland tropical wet evergreen forest in Sri Lanka	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		31	2019
Nainar A, Tanaka N, Sato T, Mizuuchi Y, Kuraji K	Possible hydrological benefits from cypress plantation forests	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		35	2019
Kuraji K, Kishimoto K, Gomyo M, Satomi S, Takahashi K	Effect of litter removal and logging trees on surface runoff in Ananomiya Experimental Watershed, Ecohydrology Research Institute, The University of Tokyo Forests	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		36	2019
Fukui D	Acoustic monitoring of bats as a forest indicator	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		38	2019
Kamata N	My long-term researches on forest insects	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		41	2019
Guan BT, Nonaka K, Kamata N, Tanaka N	Long-term Tree Species First Leafing and Flowering Trends at the Tokyo University Hokkaido Forest	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “1st International Symposium of Long- term Forest Monitoring Research in Asia”		45	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Toyama K	Academic utilization of various records in the University of Tokyo Chiba Forest	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		53	2019
Hiroshima T, Toyama K, Suzuki SN, Owari T, Nakajima T, Ishibashi S	Growth prediction variability according to observation period of long-term data in old Sugi ( <i>Cryptomeria japonica</i> ) planted stands	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		54	2019
Owari T, Cheng CP, Guan BT	Long-term growth trends of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations at The University of Tokyo Forests and National Taiwan University Experimental Forest.	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"		55	2019
Suzuki M, Ang J, Harada K, Hisamoto Y	Deer impact on ecosystems of warm-temperate forests: especially on succession pathway	Japan-Finland Joint Seminar "Predicting Effects of Climate Change on Ecosystem Services"		18-19	2019
Kobayashi K, Matsui T, Fukui D	Development of Japanese bat species identification system by echolocation calls using deep learning and evaluation of increasing images by GAN.	The 6th Annual Meeting of the Society for Bioacoustics			2019
Kamata N, Owari T, Kuraji K	Long term research network of Asian university forests: Monitoring field centers on environmental changes and ecosystem responses.	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019
Fujiwara A	A trial of linking local forest and public health in collaboration with local society	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019
Moe KT	Quantifying tree crown competition of high-value timber species using UAV-DAP	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019
Li YY	A summary of "Forest Oxygen Bar" in China	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
Nonaka K	Phenological cascade of <i>Fagus crenata</i> and <i>Hartigiola faggalli</i> (Monzen) in the common garden experiment	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019
Paing AMM	Latitudinal cline of morphological and physiological traits in <i>B. ermanii</i> revealed by common garden experiment	UTokyo-NTU Joint Conference 2019 - Co-creating the Future Society in Asia			2019
小林啓悟・松井孝典・福井大・町村尚	CNNを用いたエコーロケーションコールドによる日本産コウモリ類の種判別システムの開発	音学シンポジウム 2019			2019
竹内啓恵・長井聡里・川畑真理子	都市公園を利用した職場のメンタルヘルス対策～若手社員を対象とした散策セミナー～	日本森林保健学会第9回学術総会要旨集		5	2019
藤原章雄・竹内啓恵・齋藤暖生・森田えみ・高山範理	山中湖村における身近な森林を活用した住民の健康づくりを目的とした調査研究「森活で健康」—アンケートによる野外活動実態調査の結果	日本森林保健学会第9回学術総会要旨集		6	2019
上原巖・竹内啓恵	映画にみるカウンセリング	日本カウンセリング学会第52回大会発表論文集		79	2019
竹内啓恵・林潔・上原巖	大学演習林を利用した地域住民との森林散策カウンセリングの事例	日本カウンセリング学会第52回大会発表論文集		83	2019
竹内啓恵	森林散策カウンセリングの概要	日本応用心理学会第86回大会発表論文集		9	2019
執行宣彦・梅木清・平尾聡秀	落葉分解のホームフィールド・アドヴァンテージと土壤微生物群集の固有性の時間的变化	日本微生物生態学会第33回大会		P2-65	2019
松村ゆかり・伊神裕司・村田光司・嶋田重裕・児嶋美穂	国産ユーカリの挽き材試験 —製品品質について—	日本木材加工技術協会第37年次大会			2019
松下海・江廷磊・呉弘植・福井大・本川雅治	北東アジアにおけるテングコウモリの地理的変異と分類の再検討	日本哺乳類学会 2019年度大会			2019
野尻太郎・Werneburg Ingmar・Vuong, Tu Tan・福井大・齊藤隆・遠藤秀紀・小藪大輔	翼手類の四肢形成の特異性と生態学的要因	日本哺乳類学会 2019年度大会			2019
竹内啓恵・玉井幸治・岩永青史・片桐奈々・木村恵・武正憲・山川博美・塚原雅美・高山範理	日本森林学会におけるダイバーシティ推進 Workshop2019開催報告	第17回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム(2019)資料集		35	2019
原口竜成・大村和也・千嶋武・高野充広・才木道雄・木村恒太	ヒノキ人工林における枝条巻付法による剥皮害防除効果の検討	第9回 関東森林学会大会講演要旨集		25	2019
辻和明・西山教雄	富士癒しの森研究所における苗畑の沿革	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		1-5	2019
齋藤俊浩・高野充広・大村和也	秩父演習林影森苗畑の変遷と今後のあり方	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		7-10	2019
福岡哲・木村徳志・小川瞳	北海道演習林の苗木生産と今後の課題	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		11-16	2019
相川美絵子・栗田直明	田無演習林における苗畑の利用と管理の変遷	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		17-20	2019
米道学・塚越剛史・軽込勉	千葉演習林における苗木生産の課題と展望—2006 2018年度の工程から—	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		21-24	2019
澤田晴雄・井上淳	生態水文学研究所白坂苗畑の概要および記録—1998年度から2014年度廃止まで—	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		25-30	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
近澤静恵・丹羽悠二	地下に埋もれていた演習林: 棚から顔写真	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		31-33	2019
辻良子・渡邊良広・村瀬一隆・千井野聡・須田常仁	樹芸研究所における温泉の利用と管理	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		35-37	2019
栗田直明・相川美絵子	田無演習林の作業機械類の使用状況	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		39-44	2019
才木道雄	秩父演習林で発生した森林火災がカミキリムシ類に与えた影響	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		45-49	2019
小林徹行・小池征寛・松井理生	伐採監護作業におけるタブレット端末の利用事例～モバイル用GISアプリ(Collector for ArcGIS)を用いて～	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		51-55	2019
竹本周平	研修資料 分類学と学名について	令和元年度技術職員等試験研究・研修会議報告		57	2019
遠國正樹・福井大・及川希・小川瞳・後藤晋	シナノキとオオバボダイジュの萌芽発生状況ー伐採翌年と13年後の比較ー	第68回北方森林学会大会		57-59	2019
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子・楠本大	アカマツの挿し木による苗木生産の可能性	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		8	2019
山崎有・種子田春彦・後藤晋	産地標高の異なるトドマツにおけるカロチノイドの季節的变化	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		9	2019
石塚航・北村系子・原登志彦・後藤晋	トドマツ葉緑体ゲノムの解読と種内変異の評価.	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		9	2019
吉田拓矢・五十嵐勇治・平尾聡秀	石灰岩地に隔離分布する絶滅危惧種チブミネバリの葉緑体ゲノム解析	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		26	2019
中村和彦・尾張敏章・坂上大翼・當山啓介・広嶋卓也	東京大学北海道演習林内のオフライン環境における天然林管理情報閲覧システムの運用実験	Research Abstracts on Spatial Information Science CSIS DAYS 2019 A11		17	2019
小林明・梶野健・石澤伸彰・徳江泉・関敏之・山下香菜・山田利博	サクラ類街路樹の診断検証事例(町田市)	樹木医学会第24回大会要旨集		27	2019
徳江泉・滝川正義・佐々木良典・高村聡・清水陸行・山田利博	高圧圧縮空気を用いた土壌改良システムの開発Ⅱーシステムの実践事例の紹介と効果観察ー	樹木医学会第24回大会要旨集		29	2019
太田祐子・関敏之・金子久美・石澤伸彰・山下香菜・山田利博	鹿島神宮におけるスギとイチヨウの腐朽診断検証事例	樹木医学会第24回大会要旨集		33	2019
梶野健・石澤伸彰・徳江泉・関敏之・山下香菜・山田利博・小林明	町田市におけるサクラ類街路樹のレーダによる診断検証	樹木医学会第24回大会要旨集		37	2019
徳江泉・関敏之・梶野健・石澤伸彰・山下香菜・山田利博・小林明	町田市におけるサクラ類街路樹のドクターウッズによる診断検証	樹木医学会第24回大会要旨集		38	2019
橋谷拓武・太田祐子・井道裕史・山下香菜・服部力・山田利博・柳澤賢一・戸田堅一郎・西岡泰久	カラマツカタワタケにより腐朽したカラマツ心材の生材状態における曲げ強度特性	樹木医学会第24回大会要旨集		39	2019
坂上大翼・松下範久	アメリカトネリコ植栽木に発生した集団衰退枯死とその原因	樹木医学会第24回大会要旨集		60	2019
澤田晴雄・辻良子・渡邊良広・千井野聡・井上広喜・辻和明・小林徹行・鎌田直人	伊豆半島南部暖温帯二次林におけるスダジイのナラ枯れ実態	第9回 中部森林学会大会プログラム・講演要旨集		25	2019

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
井上淳・澤田晴雄・佐藤貴紀・村瀬一隆・嶋田重裕・松井理生・鎌田直人	暖温帯二次林におけるコナラのナラ枯れ実態—愛知県瀬戸市と静岡県南伊豆町の比較—	第9回中部森林学会大会 プログラム・講演要旨集		26	2019
岸本光樹・五名美江・高橋功一・里見重成・蔵治光一郎	広葉樹二次林の皆伐が地表面流出量に及ぼす影響	第9回中部森林学会大会 プログラム・講演要旨集		37	2019
小林啓悟・松井孝典・福井大・町村尚	日本産コウモリの音声モニタリングシステムの開発と北海道北部での空間利用分布の予測	日本生態学会第67回大会		P1-PA-062	2020
堀田亘・森本淳子・芳賀智宏・松井孝典・鈴木智之・尾張敏章・中村太土	風倒後の倒木搬出が北方林の炭素収支に及ぼす影響—現在気候下でのシミュレーション—	日本生態学会第67回大会		P1-PC-424	2020
内田健太郎・鈴木智之・立木佑弥・鈴木準一郎	伊勢湾台風による大規模攪乱後に更新した北八ヶ岳モミ属林の成長動態と空間構造	日本生態学会第67回大会		P1-PD-490	2020
鈴木智之・角田智詞・兵藤不二夫・杉浦大輔・深澤遊・中森泰三・金子信博	60年前の風倒木が亜高山帯無脊椎動物群集に与える影響	日本生態学会第67回大会		P2-PA-020	2020
小南裕志・深澤遊・高木正博・松倉君子・田中延亮・鈴木智之・竹本周平・小林真・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎怜・山下聡・潮雅之・平田晶子・安宅未央子	ナラ枯れが森林の炭素収支に与える影響の広域評価	日本生態学会第67回大会		P2-PA-128	2020
芳賀智宏・堀田亘・森本淳子・尾張敏章・井上貴央・柴田英昭・饗庭正寛・松井孝典	道南地域での風倒後の森林バイオマス回復過程への気候変動影響の数値シミュレーション	日本生態学会第67回大会		P2-PC-220	2020
安井雅貴・小柳知代・下野綾子・山田晋・三浦直子・横田樹広	草原性植物の種内および種間におけるアーバスキュラー菌根菌相の違い: 河川堤防草地を事例に	日本生態学会第67回大会		P2-PC-374	2020
及川希	6年間の自動撮影カメラ調査で得られた成果のすべて	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		24-25	2020
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子・楠本大	マツ材線虫病抵抗性アカマツによる挿し木の試み	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		30-31	2020
村川功雄・尾崎煙雄	珍菌アンドンタケを模式産地で90年ぶりに確認	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		32-33	2020
梁瀬桐子・佐藤貴紀	生体水文学研究所におけるヤマガラ・シジュウカラ用単箱調査業務の概要	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		34-35	2020
原口竜成	非破壊診断法による針葉樹根株心腐病の診断と分子生物学的手法による病原菌の解析	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		36-37	2020
澤田晴雄・井上淳・岸本光樹	2019年度に実施した森林現況調査の結果から見える森林の変化 —生態水文学研究所 犬山研究林の19年間の変化—	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		38-39	2020
岸本光樹・澤田晴雄・井上淳・里見重成・梁瀬桐子	生態水文学研究所におけるGISの利活用	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		40-41	2020
井上淳・澤田晴雄・岸本光樹	2019年度に実施した森林現況調査の概要と調査方法	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		42-43	2020
松井理生・小池征寛・井上崇・井口和信	技術職員による北海道演習林の森づくり —林分施業法に基づく天然林における選木作業の紹介—	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		44-45	2020
笠原久臣・岡村行治・犬飼浩・福土憲司	北海道演習林が生産する優良丸太の銘木販売	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集			2020

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
井上崇・犬飼浩・福岡哲・中川雄治・遠國正樹・犬飼慎也・江口由典・木村恒太	北海道演習林における技術職員研修プログラムの紹介	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集			2020
黒岩真弓・池田正則・佐々木潔州・澤田晴雄・白井深雪・曾我竜一・高橋功一・藤田真志・堀吉満	pHで探る東京大学の水と土壌	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		74	2020
里見重成・岸本光樹・梁瀬桐子・澤田晴雄・井上淳・加藤敦美・新実夏美	生態水文学研究所における降水と渓流水の水質分析業務の紹介	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		75-76	2020
木村恒太・中川雄治・小川瞳	FileMakerプラットフォームを用いた電子野帳内製化の取り組み	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		108-109	2020
谷川鴻介・牧野結衣・三浦直子・梅木清・平尾聡秀	カメラトラップデータによる中大型哺乳類の生息場所選択モデリング	第131回日本森林学会大会学術講演集		81	2020
梅木清・平尾聡秀	不規則・不完全なデータを用いて樹木デモグラフィのパラメータを推定する	第131回日本森林学会大会学術講演集		82	2020
齋藤暖生	入会林野における機能分離と排他性に関する試論	第131回日本森林学会大会学術講演集		113	2020
韋珉傑・石橋整司・安村直樹・齋藤暖生	中国の集団林をめぐる改革とその方向性の検討	第131回日本森林学会大会学術講演集		123	2020
丹羽悠二・三浦直子・山田晋・根本正之	UAVを用いた朝霧高原火入れ茅場の景観モニタリング手法	第131回日本森林学会大会学術講演集		125	2020
厲園園・石橋整司・齋藤暖生・藤原章雄	中国における森林セラピー利用の現状	第131回日本森林学会大会学術講演集		126	2020
藤原章雄・竹内啓恵・齋藤暖生・森田えみ・高山範理	Twitterを使った住民の健康づくり推進と住民参加の空間情報収集	第131回日本森林学会大会学術講演集		127	2020
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Measuring individual tree height of high-value timber species using LiDAR, UAV-DAP, and ground survey: A comparative analysis in northern Japan	第131回日本森林学会大会学術講演集		133	2020
陸黎駿・石橋整司・齋藤暖生・當山啓介	植物性自然毒による中毒事故の発生傾向	第131回日本森林学会大会学術講演集		134	2020
李昕曄・石橋整司・田中延亮・當山啓介・藤原章雄	水源涵養機能評価のための森林成長に伴う流出量の変動に関する分析	第131回日本森林学会大会学術講演集		134	2020
劉立航・石橋整司・安村直樹・當山啓介	中国神農架林区における森林管理の歴史と現状	第131回日本森林学会大会学術講演集		134	2020
Chen S, Ishizuka W, Hara T, Goto S	Phylogenetic position estimation of Manokami larch based on complete chloroplast genome	第131回日本森林学会大会学術講演集		143	2020
吉田拓矢・五十嵐勇治・森長真一・平尾聡秀	石灰岩地に隔離分布する絶滅危惧種チチブミネバリの遺伝構造	第131回日本森林学会大会学術講演集		143	2020
Paing AMM, Chen S, Tsumura Y, Tomaru N, Honma K, Kadomatsu M, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Osumi K, Hisamoto Y, Goto S	Geographic variation of morphological and physiological traits in <i>Betula ermanii</i> revealed by common garden experiment	第131回日本森林学会大会学術講演集		144	2020
山崎有・種子田春彦・後藤晋	北方針葉樹トドマツにおけるカロチノイドの役割: 標高適応との関連に着目して	第131回日本森林学会大会学術講演集		145	2020
田中翔大・梅木清・平尾聡秀	森林の萌芽動態における攪乱体制と機能形質の役割	第131回日本森林学会大会学術講演集		152	2020
牧野結衣・梅木清・平尾聡秀	奥秩父山地におけるシカ忌避植物と環境条件の関係	第131回日本森林学会大会学術講演集		154	2020

発表者全氏名	題目	誌名	巻一 号	頁	年
塚本宝・梅木清・平尾聡秀	シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に及ぼす影響	第131回日本森林学会大会学術講演集		154	2020
野中佳祐・鎌田直人	産地試験を用いたブナとブナカイガラタマバエとのフェノロジカルカスケード	第131回日本森林学会大会学術講演集		188	2020
中村和彦・宮島衣瑛・藤原章雄・斎藤馨	フェノロジー観察学習 Web アプリケーションの開発と小学校での授業実践	第131回日本森林学会大会学術講演集		210	2020
後藤晋・大森良弘・内山憲太郎・種子田春彦	トマツ分離集団を用いたイオノームのQTL解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		223	2020
久本洋子・伊原徳子・種子田春彦・平尾聡秀・後藤晋	温暖地域に移植した 北方針葉樹3種の温暖化 ストレスに関わるRNA-seq解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		223	2020
辻祥子・中静透・蔵治光一郎・久米篤・半場祐子	熱帯林冠木における大気飽差に対する気孔反応と葉の特性に関する研究	第131回日本森林学会大会学術講演集		225	2020
楠本大・カロリナアンネ	ジャスモン酸メチルの代謝能と樹脂道形成の関係性	第131回日本森林学会大会学術講演集		227	2020
小林真・日浦勉・鈴木智之・逢沢峰昭・山本信次・深澤遊	気温上昇がコナラ丸太の初期分解へ及ぼす影響	第131回日本森林学会大会学術講演集		229	2020
浅野友子・川崎雅俊・齋藤俊浩・原口竜成・高德佳絵・才木道雄・木村恒太	山地流域における平水時比流量の空間分布と貯留・流出経路の関係	第131回日本森林学会大会学術講演集		232	2020
深澤遊・松倉君子・小林真・鈴木智之・小南裕志・高木正博・田中延亮・竹本周平・衣浦晴生・岡野邦宏・上村真由子・門脇浩明・山下聡・潮雅之	コナラ枯死木の分解初期に関わる菌類群集の地理分布	第131回日本森林学会大会学術講演集		246	2020
坂上大翼	暗色雪腐病の発病に及ぼす温度と湿度, 光の効果	第131回日本森林学会大会学術講演集		247	2020
石橋整司・藤原章雄・齋藤暖生・西山教雄・辻良和	東京大学富士癒しの森研究所カラマツ系統別試験地の成長解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		249	2020
當山啓介	民有林での面的な収穫規整のための理論的検討	第131回日本森林学会大会学術講演集		250	2020
梅林利弘・鈴木智之・山田利博	カエデ属2種における水輸送と分布特性の関係	第131回日本森林学会大会学術講演集		280	2020
岸本光樹・佐藤貴紀・澤田晴雄	東京大学愛知赤津サイトにおける種子生産年変動	第131回日本森林学会大会学術講演集		283	2020
澤田晴雄・井上淳・岸本光樹・梁瀬桐子	愛知県北部地域の天然林における約20年間の森林動態	第131回日本森林学会大会学術講演集		285	2020
佐藤貴紀・田中延亮・Nainar, Anand・蔵治光一郎・五名美江・鈴木春彦	ヒノキ人工林における3年間の表面流、土砂、リター量の経年変化	第131回日本森林学会大会学術講演集		291	2020
濱口京子・後藤秀章・升屋勇人・鎌田直人	カシノナガキクイムシのmtDNA配列に見られたダブルピークについて	第131回日本森林学会大会学術講演集		299	2020
執行宣彦・平尾聡秀	土壌菌類ギルド間の相互作用が有機物分解に及ぼす影響	第131回日本森林学会大会学術講演集		300	2020
小泉敬彦・久本洋子・尾崎煙雄	関東地方のヒメコマツ林における外生菌根菌の埋土胞子群集	第131回日本森林学会大会学術講演集		301	2020
原口竜成・平尾聡秀・梅林利弘・山田利博	サワラ根株心腐被害林における腐朽材中と土壌中の菌類群集組成	第131回日本森林学会大会学術講演集		302	2020
山田利博・原口竜成・平尾聡秀	森林マイクロバイームによる樹木腐朽病害の検出可能性の検討	第131回日本森林学会大会学術講演集		304	2020



### 3) 著書

著者名	題目	著書名	発行会社	頁	年
蛸原一平・齋藤暖生・生方史数		森林と文化:森とともに生きる民俗知のゆくえ	共立出版	288pp	2019
齋藤暖生	自然資源の共有をめぐる知恵と苦悩	勇払原野のハスカップ市民史:ハスカップとわたし 特定非営利活動法人苦東環境コモンズ(編)	中西出版	186-196	2019
福井大	超音波を用いたコウモリの種同定	生き物と音の事典 生物音響学会(編)	朝倉書店	140-141	2019
鈴木牧・齋藤暖生・西廣淳・宮下直		人と生態系のダイナミクス2森林の歴史と未来	朝倉書店	192pp	2019
萩原康夫・吉田譲・島野智之(編) 塚本勝也・前原忠(著)		土の中の美しい生き物たち	朝倉書店	161pp	2019
Antoine Guisan・Wilfried Thuiller・Niklaus E. Zimmermann(著) 久保田康裕(監訳) 楠本聞太郎・久保田康裕・小森理・三枝祐輔・佐藤恵里・塩野貴之・鈴木智之・須藤健二・田中崇行・比嘉基紀・深谷肇一・藤沼潤一(訳)		野生生物の生息適地と分布モデリング—Rプログラムによる実践—	共立出版	475pp	2020
Nanko K, Tanaka N, Leuchner M, Levia DF	Throughfall erosivity in relation to drop size and crown position: a case study from a teak plantation in Thailand	Forest-Water Interactions; Levia DF, Carlyle-Moses DE, Iida S, Michalzik B, Nanko K, Tischer A (eds.)	Springer-Verlag	279-298	2020

#### 4) 演習林を利用して行った論文等

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
Imamura N, Katata G, Kajino M, Kobayashi M, Itoh Y, Akama A	Fogwater deposition of radiocesium in the forested mountains of East Japan during the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: A key process in regional radioactive contamination	Atmospheric Environment		224	2020	秩父
Suzuki SN, Ataka M, Djukic I, Enoki T, Fukuzawa K, Hirota M, Hishi T, Hiura T, Hoshizaki K, Ida H, Iguchi A, Iimura Y, Ise T, Kenta T, Kina Y, Kobayashi H, Kominami Y, Kurokawa H, Makoto K, Matsushita M, Miyata R, Muraoka H, Nakaji T, Nakamura M, Niwa S, Noh NJ, Sato T, Seino T, Shibata H, Suzuki RO, Takahashi K, Tsunoda T, Ustumi T, Watanabe K	Harmonized data on early stage litter decomposition using tea material across Japan	Ecological Research		34	575-576	2019 秩父
Morishima K, Aizawa M	Nuclear microsatellite and mitochondrial DNA analyses reveal the regional genetic structure and phylogeographical history of a sanguivorous land leech, <i>Haemadipsa japonica</i> , in Japan	Ecology and Evolution			DOI: 10.1002/ece3.5132	2019 千葉
Fukui S, Koizumi I	Hybrids as potential mediators spreading non-native genes: Comparison of survival, growth, and movement among native, introduced and their hybrid salmonids	Ecology of Freshwater Fish		29(2)	280-288	2019 北海道
Oda T, Imamura N, Egusa T, Ohte N	The effects of canopy alteration-induced atmospheric deposition changes on stream chemistry in Japanese cedar forest	Forest Ecology and Management		448	85-93	2019 千葉
Okada M, Hirao T, Kaji M, Goto S	Role of fallen logs in maintaining the species diversity of understory vascular plants in a mixed coniferous and broad-leaved forest in Hokkaido, northern Japan	Forest Ecology and Management		448	249-255	2019 北海道
Umeki K, Abrams MD, Toyama K, Nabeshima E	A model for longitudinal data sets relating wind-damage probability to biotic and abiotic factors: a Bayesian approach	Forest Systems		28(3)	e019	2019 千葉
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Comparing individual tree height information derived from field surveys, LiDAR and UAV-DAP for high-value timber species in northern Japan.	Forests		11(2)	233	2020 北海道
Carolina A, Kusumoto D	Gum duct formation mediated by various concentrations of ethephon and methyl jasmonate treatments in <i>Cerasus yedoensis</i> , <i>Prunus mume</i> and <i>Liquidambar styraciflua</i>	IAWA Journal		41(1)	98-108	2020 田無
Jayathunga S, Owari T, Tsuyuki S, Hirata Y	Potential of UAV photogrammetry for characterization of forest canopy structure in uneven-aged mixed conifer-broadleaf forests	International Journal of Remote Sensing		41(1)	53-73	2019 北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
Ono Y, Wahyuno D	<i>Phragmidium satoanum</i> , a new rust pathogen of <i>Rosa hirtula</i> in Japan	Mycoscience	60(4)	237-245	2019	富士
Aizawa M, Iwaizumi MG	Natural hybridization and introgression of <i>Abies firma</i> and <i>Abies homolepis</i> along the altitudinal gradient and genetic insights into the origin of <i>Abies umbellata</i>	Plant Species Biology	35	147-157	2020	秩父
Isobe K, Ise Y, Kato H, Oda T, Vincenot CE, Koba K, Tateno R, Senoo K, Ohte N	Consequences of microbial diversity in forest nitrogen cycling: Diverse ammonifiers and specialized ammonia oxidizers	The ISME Journal	14	12-25	2020	千葉
Taneda H, Funayama-Noguchi S, Mayr S, Goto S	Elevational adaptation of morphological and anatomical traits by Sakhalin fir ( <i>Abies sachalinensis</i> )	Trees	34 (2)	507-520, ESM	2019	北海道
Inagaki Y, Nakanishi A, Tange T	A simple method for leaf and branch biomass estimation in Japanese cedar plantations	Trees	34	349-356	2020	千葉
Asano Y, Uchida T, Tomomura M	A novel method of quantifying catchment-wide average peak propagation speed in hillslopes: fast hillslope responses are detected during annual floods in a steep humid catchment.	Water Resources Reseach	56(1)	e2019 WR02 5070	2020	秩父
Egusa T, Kumagai T, Oda T, Gomi T, Ohte N	Contrasting patterns in the decrease of spatial variability with increasing catchment area between stream discharge and water chemistry	Water Resources Research	55(8)	7419-7435	2019	千葉
Imamura N, Levia DF, Nanko K, Tanaka N, Ohte N	Geographic factors explain the variability of atmospheric deposition of sulfur and nitrogen onto coniferous forests within and beyond the Tokyo Metropolis	Water, Air, & Soil Pollution	231	105	2020	秩父・田無
Hiroshima T, Toyama K, Suzuki SN, Owari T, Nakajima T, Ishibashi S	Growth prediction variability according to observation period of long-term data in old Sugi ( <i>Cryptomeria japonica</i> ) planted stands	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “The 1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia”		54	2019	千葉
Owari T, Cheng CP, Guan BT	Long-term growth trends of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations at The University of Tokyo Forests and National Taiwan University Experimental Forest.	Abstracts of JSPS Core-to-Core Program “The 1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia”		55	2019	千葉・秩父
Molinos JG, Ishiyama N, Sueyoshi M, Nakamura F	Development of catchment-scale statistical models for prediction of water temperatures across Japanese river networks to assess nation-wide effects of climate warming on freshwater biodiversity	AGU Fall Meeting 2019		H21B-03	2019	北海道
Kohta R, Ueda H	Transition from pelagic to continental margin settings recorded in the Sorachi Group, Hokkaido, Japan: Reconstruction of arc-back arc system in the Mesozoic NW Pacific.	AGU Fall Meeting 2019		T51E-0323	2019	北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
Iwakiri A, Matsushita N, Fukuda K	Population structure and genetic recombination of <i>Racodium therryanum</i> revealed by new microsatellite markers	Asian Mycological Congress 2019		P1-26	2019	北海道
Haraguchi R, Hirao T, Yamada T, Umabayashi T	Detection and absolute quantification of <i>Serpula himantioides</i> in wood of <i>Chamaecyparis pisifera</i> and soil of <i>C. pisifera</i> plantation by real-time PCR	Asian Mycological Congress 2019		P3-25	2019	秩父
Owari T, Okamura K, Takuma R, Kimura N, Fukuoka S	Pinpoint planting in logging gaps with <i>Abies sachalinensis</i> seedlings after single-tree selection harvest in northern Japan	IUFRO 1.01.09 Ecology and Silviculture of Fir Conference (Abies 2019)			2019	北海道
Suzuki M, Ang J, Harada K, Hisamoto Y	Deer impact on ecosystems of warm-temperate forests: especially on succession pathway	Japan-Finland Joint Seminar "Predicting Effects of Climate Change on Ecosystem Services"		18-19	2019	千葉
Owari T, Park PS	Close-to-nature silviculture in Asia: Geospatial technology facilitates its practical application	Pesquisa Florestal Brasileira		39 (Special Issue)	24	2019 北海道
Owari T, Toyama K, Suzuki SN, Hiroshima T, Ishibashi S	Long-term growth records of <i>Cryptomeria japonica</i> plantations at the University of Tokyo Forests, Japan: Towards a network of experimental plots in East Asia	Pesquisa Florestal Brasileira		39 (Special Issue), e201902043	207	2019 秩父
Hirata Y, Furuya N, Owari T, Sakaue D	Understanding stand characteristics of natural forest using airborne laser scanner data for sustainable forest management	Pesquisa Florestal Brasileira		39 (Special Issue)	379	2019 北海道
Kamata N, Sanguansub S, Peng Y, Saowaphak T, Buranapanichpan S, Buranapanichpan A	Ambrosia and bark beetle community along with latitudinal gradient: temporal dynamics of the community and phylogenetic effects of plants on the community	Pesquisa Florestal Brasileira		39 (Special Issue)	588	2019 北海道
Kamata N, Owari T, Kuraji K	A network of university forests in Asia for long-term monitoring of forest ecosystems	Pesquisa Florestal Brasileira		39 (Special Issue)	682	2019 北海道
Fujiwara A	A trial of linking local forest and public health in collaboration with local society	The 4th UTokyo-NTU Joint Conference- Forest Science and Biomaterial Science Session -				2019 富士
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Individual tree diameter growth of high-value broadleaved trees in mixed conifer-broadleaf forest in Northern Japan	The International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM 2019)		Poster 12, 10	2019	北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
Owari T, Okamura K, Takuma R, Kimura N, Fukuoka S	Survivorship, die-back and height growth of planted <i>Abies sachalinensis</i> seedlings around cut stumps after single-tree selection harvest	The International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM 2019)		Poster 14, 11	2019	北海道
塚本宝	シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に及ぼす影響	東京大学 卒業論文		19pp	2020	秩父
石田 幸輝	野生動物センサ網のための時間情報ネットワーク	東京大学 修士論文		69pp	2020	秩父
筒井幸熙	秩父演習林における原生林と再生林の長期にわたる変化の比較	東京大学 修士論文		11pp	2020	秩父
田中翔大	森林の攪乱体制に基づく萌芽発生とその機能の解明	東京大学 修士論文		41pp	2020	秩父
横山雄一	Simultaneous estimation of seasonal poplation density, abitat use, and trappingu efficiency of wildbore by the usa of camera ans harvesting records (イノシシの個体群密度、環境利用、罠捕獲効率の季節動態の同時推定-カメラと捕獲記録を用いて)	東京大学 修士論文			2020	千葉
Yueren Wu	Detection of Japanese Oak Wilt damaged trees in The University of Tokyo Chiba Forest using RGB color aerial imageries	東京大学 修士論文		86pp	2020	千葉
長岡岳	土壌浸食モデルを用いた日本の山地森林流域の土砂浸食動態の解析	東京大学 修士論文			2020	生態水文
山崎有	標高適応を示すドマツにおける形態生理特性の遺伝的支配	東京大学 修士論文		58pp	2020	北海道
遠藤理夏	ゴール形成ハバチにおけるサイトカイニン生合成酵素の機能解析	茨城大学 卒業論文		23pp	2020	千葉
宮田海	ゴール形成ハバチにおけるインドール酢酸生合成酵素の機能解析	茨城大学 卒業論文		36pp	2020	千葉
小暮奨太	昆虫におけるオーキシン生合成に関わるアルデヒドオキシダーゼに関する研究	茨城大学 修士論文		76pp	2020	千葉
地引 佳江	北海道の天然林におけるエゾモモンガの採食資源について-DNAメタバーコーディングを用いた糞からの食性分析-	帯広畜産大学 卒業論文		23pp	2020	北海道
高瀬 かえで	北海道の山間部天然林におけるヒメネズミの巣箱利用性	帯広畜産大学 卒業論文		2pp	2020	北海道
中澤拓也	地質多様性による河川環境の変化が小型コウモリ類の活動に与える影響	帯広畜産大学 卒業論文		39pp	2020	北海道
佐々木真優・北山兼弘・向井真那・高木真由	日本の森林生態系における土壌窒素純無機化速度に影響を及ぼす要因	京都大学 卒業論文			2020	生態水文
森嶋佳織	ニホンヤマビルの宿主動物のDNA道程と地理的遺伝構造から明らかになった近年の分布拡大要因と拡大範囲	東京農工大学 博士論文		132pp	2020	千葉
西尾太希	集水域の水文的特異性が河川-陸域間の捕食-被食関係に与える影響	北海道大学 修士論文		39pp	2020	北海道
藤森悠茉	RADシーケンシングを用いたブナのゲノムワイド関連解析	名古屋大学 卒業論文		66pp	2020	北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
Janine Rodulfo Tolod	Leaf decomposition and macroinvertebrate assemblages: does geological difference matter? (葉分解過程と無脊椎分解群集: 地質環境の違いは重要か?)	北海道大学 修士論文		38pp	2020	北海道
二瓶皓太	競い合いの要素を活用した体験学習は児童にどのような効果をもたらすのかー旭川市旭山動物園, 東京大学北海道演習林における事例ー	北海道教育大学 修士論文		50pp	2020	北海道
川添かのこ	北海道富良野市周辺地域に分布するトロニウム岩の岩石学的研究	山口大学 卒業論文		58pp	2020	北海道
橋本晋太・尾張敏章・軽込勉・千嶋武・三次充和・鶴見康幸・鈴木祐紀・米道学・塚越剛史・阿達康眞・村川功雄・大石諭・當山啓介	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状	東京大学農学部演習林報告	142	17-36	2020	千葉
Goto S, Yonemichi T, Hisamoto Y, Saito T, Hirao T, Kimura N, Fukuoka S, Ujino-Ihara T, Taneda H	Timing of bud flush and bud set of seedlings of <i>Abies sachalinensis</i> , <i>Picea glehnii</i> , and <i>P. jezoensis</i> transplanted to warm sites	演習林(東大)	62	1-13	2020	千葉・北海道・秩父
原口竜成・高德佳絵・才木道雄・藤平晃司	秩父演習林におけるケヤキ人工林試験地毎木調査資料(2018年)	演習林(東大)	62	75-81	2020	秩父
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会 水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2017年1月至2017年12月)	演習林(東大)	62	83-115	2020	千葉・北海道・秩父・田無・生態水文・富士・樹芸
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会 気象部門	東京大学演習林気象報告(自2018年1月至2018年12月)	演習林(東大)	62	117-147	2020	千葉・北海道・秩父・田無・生態水文・富士・樹芸
楠本大・長瀬利文	異なる樹幹注入殺虫剤によって生じる広葉樹3種の辺材変色の特徴	樹木医学研究	23(3)	143-147	2019	田無
Takemoto S, Minoshima A, Hirooka Y, Kubono T, Chapuis L, Torii M, Yamada T	Canker of Voss's laburnum caused by <i>Diaporthe eres</i> compared with the pathogenicity of accompanying <i>Schizophyllum commune</i>	樹木医学研究	23(4)	203-214	2019	田無
近藤禎二・山田浩雄・大塚二郎・磯田圭哉・山口秀太郎・生方正俊	わが国におけるコウヨウザンの成長	森林遺伝育種	9	1-11	2020	千葉
村瀬一隆・渡邊良広・辻良子・千井野聡・井上広喜・鴨田重裕	<i>Eucalyptus saligna</i> ・ <i>E. smithii</i> 造林試験の経過報告ー2017年気象イベントによる影響ー	中部森林研究	67	19-20	2019	樹芸
梁瀬桐子・水谷瑞希・佐藤貴紀・荒木田善隆・松井理生・高德佳絵・才木道雄	ヤマガラとシジュウカラの繁殖特性についての検討	中部森林研究	67	43-46	2019	生態水文
遠國正樹・福井大・及川希・小川瞳・後藤晋	シナノキとオオバボダイジュの萌芽発生状況ー伐採翌年と13年後の比較ー	北方森林研究	68	57-59	2020	北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
成田廣枝・芳賀拓真・空閑重則	日本海海底からのマツ属完新世古木とその内部に定着していた食材性二枚貝(チョウチョウキクイガイ <i>Xylophaga indica</i> )との関係についての木材化学的研究	木材保存	45(5)	212-222	2019	千葉・北海道
山田利博・村川功雄・井口和信・大村和也・五十嵐勇治・齋藤俊浩・高德佳絵・齋藤暖生・小林奈通子・田野井慶太郎・中西友子	東京大学演習林における福島原発事故後7年間の野生キノコ中放射性セシウム濃度の推移	関東森林研究	70(1)	81-84	2019	千葉・北海道・富士
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子	穂木の処理と固定方法の異なるクロマツ・アカマツの接ぎ木の試み	関東森林研究	70(2)	161-164	2020	千葉
原口竜成・大村和也・千嶋 武・高野充広・才木道雄・木村恒太	剥皮害を受けたヒノキ人工林における間伐後の再被害発生状況とその防除	関東森林研究	71(1)	69-72	2020	秩父
美濃羽靖・尾張敏章・中島徹・犬飼浩	天然林択伐施業の選木作業における立木外観指標間の関連性ーベイジアンネットワークを用いた分析ー	日本森林学会誌	101(6)	278-288	2019	北海道
中村 和彦・斎藤 馨・藤原章雄・大塚 啓太・奥山 賢一	森林体験活動を教室内学習へ持続的に反映させる方法論の検討; 一小学校第5学年の調べ学習単元における振り返り映像の視聴を事例としてー	日本森林学会誌	102(1)	77-82	2020	富士
斉藤明子・尾崎煙雄・村川功雄	千葉県におけるルイスホソカタムシの記録	月刊むし	587	51-53	2020	千葉
村川功雄・尾崎煙雄	珍菌アンドンタケを模式産地において90年ぶりに確認	千葉菌類談話会通信	36	4-5	2020	千葉
正木春彦・納庄一樹	バクテリアのコロニー形成の遺伝学事始め	バイオサイエンスとインダストリー	77(3)	221-225	2019	田無
木勢庄平・城田義友	東京大学千葉演習林での県内採集会報告(III)	房総の昆虫	65	1-9	2019	千葉
斉藤明子・村川功雄	千葉県初記録のネギオオアラハムシ	房総の昆虫	65	41	2019	千葉
斉藤明子・村川功雄・尾崎煙雄	東京大学千葉演習林の昆虫相の追加と訂正その3	房総の昆虫	65	47	2019	千葉
長岡岳・堀田紀文・田中延亮・Renschler CS	GeoWEPPを用いた日本の山地森林流域の土砂流出動態の解析	2019年度砂防学会研究発表会		179-180	2019	生態水文
中村和彦・尾張敏章・坂上大翼・當山啓介・広嶋卓也	東京大学北海道演習林内のオフライン環境における天然林管理情報閲覧システムの運用実験	Research Abstracts on Spatial Information Science, CSIS DAYS 2019		A11; 17	2019	北海道・秩父
角田裕志	カメラトラップ法によるニホンジカの警戒行動観察	第25回「野生生物と社会」学会大会		83	2019	秩父
原口竜成・大村和也・千嶋武・高野充広・才木道雄・木村恒太	ヒノキ人工林における枝条巻付法による剥皮害防除効果の検討	第9回関東森林学会大会講演要旨集		25	2019	秩父
澤田晴雄・辻良子・渡邊良広・千井野聡・井上広喜・辻和明・小林徹行・鎌田直人	伊豆半島南部暖温帯二次林におけるスダジイのナラ枯れ実態	第9回中部森林学会大会プログラム・講演要旨集		25	2019	樹芸
井上淳・澤田晴雄・佐藤貴紀・村瀬一隆・嶋田重裕・松井理生・鎌田直人	暖温帯二次林におけるコナラのナラ枯れ実態ー愛知県瀬戸市と静岡県南伊豆町の比較ー	第9回中部森林学会大会プログラム・講演要旨集		26	2019	生態水文

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
岸本光樹・五名美江・高橋功一・里見重成・蔵治光一郎	広葉樹二次林の皆伐が地表面流出量に及ぼす影響	第9回中部森林学会大会プログラム・講演要旨集		37	2019	生態水文
竹内啓恵	森林散策カウンセリングの概要	日本応用心理学会第86回大会大会発表論文集		9	2019	富士
岩切鮎佳・松下範久・福田健二	エゾマツの発芽を阻害する菌害の検討	樹木医学会第24回大会要旨集		57	2019	北海道
坂上大翼・松下範久	アメリカトネリコ植栽木に発生した集団衰退枯死とその原因	樹木医学会第24回大会要旨集		60	2019	秩父
服部友香子・木村徳志・新井文彦・白水 貴・中島千晴	北海道産樹木に見出された芽枯れ・枝枯れに関連する菌類	樹木医学会第24回大会要旨集		P-27	2019	北海道
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子・楠本大	アカマツの挿し木による苗木生産の可能性	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		8	2019	千葉
石塚航・北村系子・原登志彦・後藤晋	トドマツ葉緑体ゲノムの解読と種内変異の評価	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		9(P-7)	2019	北海道
山崎有・種子田春彦・後藤 晋	産地標高の異なるトドマツにおけるカロチノイドの季節的变化	森林遺伝育種学会第8回大会講演要旨集		9(P-8)	2019	北海道
谷川鴻介・牧野結衣・三浦直子・梅木清・平尾聡秀	カメラトラップデータによる中大型哺乳類の生息場所選択モデリング	第131回日本森林学会大会学術講演集		81	2020	秩父
藤原章雄・竹内啓恵・齋藤暖生・森田えみ・高山範理	Twitter を使った住民の健康づくり推進と住民 参加の空間情報収集	第131回日本森林学会大会学術講演集		127	2020	富士
Moe KT, Owari T, Furuya N, Hiroshima T	Measuring individual tree height of high-value timber species using LiDAR, UAV-DAP, and ground survey: A comparative analysis in northern Japan	第131回日本森林学会大会学術講演集		133	2020	北海道
李昕曄・石橋整司・田中延亮・當山啓介・藤原章雄	水源涵養機能評価のための森林成長に伴う流出量の変動に関する分析	第131回日本森林学会大会学術講演集		134	2020	生態水文
吉田拓矢・五十嵐勇治・森長真一・平尾聡秀	石灰岩地に隔離分布する絶滅危惧種チヂブミネバリの遺伝構造	第131回日本森林学会大会学術講演集		143	2020	秩父
Paing AMM, Chen S, Tsumura Y, Tomaru N, Honma K, Kadomatsu M, Yoshida T, Kobayashi H, Iio A, Osumi K, Hisamoto Y, Goto S	Geographic variation of morphological and physiological traits in <i>Betula ermanii</i> revealed by common garden experiment	第131回日本森林学会大会学術講演集		144	2020	千葉・北海道
山崎有・種子田春彦・後藤晋	トドマツにおけるカロチノイドの役割: 標高適応との関連に着目して	第131回日本森林学会大会学術講演集		145	2020	北海道
藤森悠菜・内山憲太郎・三須直也・後藤晋・高橋誠・鳥丸猛・戸丸信弘	ブナのRADシーケンシングを用いたゲノムワイド関連解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		145	2020	北海道
田中翔大・梅木清・平尾聡秀	森林の萌芽動態における攪乱体制と機能形質の役割	第131回日本森林学会大会学術講演集		152	2020	秩父



発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
牧野結衣・梅木清・平尾聡秀	奥秩父山地におけるシカ忌避植物と環境条件の関係	第131回日本森林学会大会学術講演集		154	2020	秩父
塚本宝・梅木清・平尾聡秀	シカ食害下の樹木動態と環境要因がリター生産量に及ぼす影響	第131回日本森林学会大会学術講演集		154	2020	秩父
佐々木真優・北山兼弘・向井真那・高木真由	日本列島の自然林における土壌窒素とリンの可給性を決定する要因	第131回日本森林学会大会学術講演集		157	2020	生態水文
齊藤陽子・芝野萌奈美	秩父山地におけるカエデ属 <i>Palmata</i> 節ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑の実態	第131回日本森林学会大会学術講演集		162	2020	秩父
野中佳祐・鎌田直人	産地試験を用いたブナとブナカイガラタマバエとのフェノロジカルカスケード	第131回日本森林学会大会学術講演集		188	2020	秩父
武井進也・小林憲太・高木悦郎	トドマツノキクイムシの穿入孔の空間分布	第131回日本森林学会大会学術講演集		189	2020	北海道
Daniel Janowski, Kazuhide Nara	Ectomycorrhizal fungal communities of <i>Tilia japonica</i> across its distribution range	第131回日本森林学会大会学術講演集		190	2020	北海道
後藤晋・大森良弘・内山憲太郎・種子田春彦	トドマツ分離集団を用いたイオノームのQTL解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		223	2020	北海道
久本洋子・伊原徳子・種子田春彦・平尾聡秀・後藤晋	温暖地域に移植した北方針葉樹3種の温暖化ストレスに関わるRNA-seq解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		223	2020	千葉・北海道
石塚航・後藤晋・今博計・来田和人・黒丸亮	若齢グイマツ雑種F1における空間構造を考慮した遺伝パラメータの推定	第131回日本森林学会大会学術講演集		225	2020	北海道
楠本大・アンネカロリナ	ジャスモン酸メチルの代謝能と樹脂道形成の関係性	第131回日本森林学会大会学術講演集		227	2020	田無
浅野友子・川崎雅俊・齋藤俊浩・原口竜成・高德佳絵・才木道雄・木村恒太	山地流域における平水時比流量の空間分布と貯留・流出経路の関係	第131回日本森林学会大会学術講演集		232	2020	秩父
堀田紀文・長岡岳・田中延亮	河道貯留土砂が土砂流出に与える影響に関する土壌浸食モデルを用いた検討	第131回日本森林学会大会学術講演集		235	2020	生態水文
高木悦郎・小林憲太・武井進也・大塚大・小林元	オオシラビソ丸太におけるトドマツノキクイムシの繁殖様式	第131回日本森林学会大会学術講演集		240	2020	北海道
小林憲太・高木悦郎	トドマツノキクイムシの母孔内における一夫二妻制	第131回日本森林学会大会学術講演集		240	2020	北海道
坂上大翼	暗色雪腐病の発病に及ぼす温度と湿度, 光の効果	第131回日本森林学会大会学術講演集		247	2020	北海道
石橋整司・藤原章雄・齋藤暖生・西山教雄・辻和明	東京大学富士癒しの森研究所カラマツ系統別試験地の成長解析	第131回日本森林学会大会学術講演集		249	2020	富士
岸本光樹・佐藤貴紀・澤田晴雄	東京大学愛知赤津サイトにおける種子生産年変動	第131回日本森林学会大会学術講演集		283	2020	生態水文

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
澤田晴雄・井上淳・岸本光樹・梁瀬桐子	愛知県北部地域の天然林における約20年間の森林動態	第131回日本森林学会大会学術講演集		285	2020	生態水文
執行宣彦・平尾聡秀	土壌菌類ギルド間の相互作用が有機物分解に及ぼす影響	第131回日本森林学会大会学術講演集		300	2020	秩父
小泉敬彦・久本洋子・尾崎煙雄	関東地方のヒメコマツ林における外生菌根菌の埋土孢子群集	第131回日本森林学会大会学術講演集		301	2020	千葉
原口竜成・平尾聡秀・梅林利弘・山田利博	サワラ根株心腐被害林における腐朽材中と土壌中の菌類群集組成	第131回日本森林学会大会学術講演集		302	2020	秩父
佐竹祐紀・石井裕之	自らの形状を作りつつ伸張する超軽量長尺空気圧マニピュレータの開発	第37回日本ロボット学会学術講演会		1K3-4; 2pp	2019	田無
三輪誠	埼玉県における光化学オキシダント(オゾン)によるアサガオ被害調査 - 奥秩父と加須市での調査結果の比較 -	第60回大気環境学会年会			2019	秩父
藤原章雄・竹内啓恵・齋藤暖生・森田えみ・高山範理	山中湖村における身近な森林を活用した住民の健康づくりを目的とした調査研究「森活で健康」- アンケートによる野外活動実態調査の結果 -	日本森林保健学会第9回学術総会要旨集		6	2019	富士
松山紘之・鈴木牧	マダニ類におけるリケッチア属細菌の保有率は吸血対象のシカ個体数に依存するのか?	日本生態学会第67回全国大会		E01-09	2020	千葉
中島颯大・陶山佳久・中村太士	地下水がもたらす山地溪流の環境異質性と冷水性魚類の遺伝構造	日本生態学会第67回全国大会		P1-PA-026	2020	北海道
中正大	湧水環境が魚類寄生虫群集に及ぼす影響	日本生態学会第67回全国大会		P1-PB-179	2020	北海道
佐々木真優・向井真那・北山兼弘	日本の森林生態系における土壌窒素純無機化速度に影響を及ぼす要因	日本生態学会第67回全国大会		P1-PC-204	2020	生態水文
堀田亘・森本淳子・芳賀智宏・松井孝典・鈴木智之・尾張敏章・中村太士	風倒後の倒木搬出が北方林の炭素収支に及ぼす影響 - 現在気候下でのシミュレーション -	日本生態学会第67回全国大会		P1-PC-424	2020	北海道
西尾太希・石山信雄・森本淳子・中村太士	流域の水文特性が水生昆虫の羽化パターンに与える影響とその考察	日本生態学会第67回全国大会		P2-PA-061	2020	北海道
小南裕志・深澤遊・高木正博・松倉君予・田中延亮・鈴木智之・竹本周平・小林真・衣浦晴生・上村真由子・門脇浩明・宮崎怜・山下聡・潮雅之・平田晶子・安宅未央子	ナラ枯れが森林の炭素収支に与える影響の広域評価	日本生態学会第67回全国大会		P2-PA-128	2020	秩父・田無・生態水文
Yamasaki T, Hamamoto S, Nishimura T	Calculation of water and sediment discharge from a small forested catchment for evaluating load of the particulate radioactive cesium	日本地球惑星科学連合2019年大会 (JpGU 2019) ポスター発表			2019	生態水文
幸田龍星・植田勇人	北海道富良野空知層群の層序に見られる遠洋域から大陸縁辺までの変遷 - 北西太平洋における島弧-背弧系の復元 -	日本地質学会第126年学術大会		R15-O-21; 125	2019	北海道

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻-号	頁	年	演習林
二瓶皓太・安藤秀俊	競技的要素を活用した自然体験学習の教育的効果の検証	日本理科教育学会 第69回全国大会 要旨集		506, 2T07	2019	北海道
二瓶皓太・安藤秀俊	競技的要素を活用した自然体験学習の質問紙調査および概念地図法による教育的効果の検証	日本理科教育学会 北海道支部大会発 表論文集	30	14	2020	北海道
辻和明・西山教雄	富士癒しの森研究所における苗畑の沿革	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		1-5	2019	富士
齋藤俊浩・高野充広・大村和也	秩父演習林影森苗畑の変遷と今後のあり方	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		7-10	2019	秩父
相川美絵子・栗田直明	田無演習林における苗畑の利用と管理の変遷	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		17-20	2019	田無
米道学・塚越剛史・軽込勉	千葉演習林における苗木生産の課題と展望－2006-2018年度の工程から－	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		21-24	2019	千葉
澤田晴雄・井上淳	生態水文学研究所白坂苗畑の概要および記録－1998年度から2014年度廃止まで－	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		25-30	2019	生態 水文
辻良子・渡邊良広・村瀬一隆・千井野聡・須田常仁	樹芸研究所における温泉の利用と管理	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		35-37	2019	樹芸
栗田直明・相川美絵子	田無演習林の作業機械類の使用状況	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		39-44	2019	田無
才木道雄	秩父演習林で発生した森林火災がカミキリムシ類に与えた影響	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		45-49	2019	秩父
小林徹行・小池征寛・松井理生	伐採監護作業におけるタブレット端末の利用事例～モバイル用GISアプリ(Collector for ArcGIS)を用いて～	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		51- 55	2019	北海道
福岡哲・木村徳志・小川瞳	北海道演習林の苗木生産と今後の課題	令和元年度技術職 員等試験研究・研 修会議報告		11- 16	2019	北海道
木村恒太・中川雄治・小川瞳	FileMakerプラットフォームを用いた電子野帳内製化の取り組み	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		108- 109	2020	北海道
及川希	6年間の自動撮影カメラ調査で得られた成果のすべて	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		24-25	2020	北海道
米道学・軽込勉・塚越剛史・久本洋子・楠本大	マツ材線虫病抵抗性アカマツによる挿し木の試み	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		30-31	2020	千葉
村川功雄・尾崎煙雄	珍菌アンドンタケを模式産地で90年ぶりに確認	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		32-33	2020	千葉
梁瀬桐子・佐藤貴紀	生体水文学研究所におけるヤマガラ・シジュウカラ用巣箱調査業務の概要	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		34-35	2020	生態 水文
原口竜成	非破壊診断法による針葉樹根株心腐病の診断と分子生物学的手法による病原菌解析	第3回東京大学技 術発表会 プログラ ム・予稿集		36-37	2020	秩父

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
澤田晴雄・井上淳・岸本光樹	2019年度に実施した森林現況調査の結果から見える森林の変化ー生態水文学研究所犬山研究林の19年間の変化ー	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		38-39	2020	生態水文
岸本光樹・澤田晴雄・井上淳・里見重成・梁瀬桐子	生態水文学研究所におけるGISの利活用	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		40-41	2020	生態水文
井上淳・澤田晴雄・岸本光樹	2019年度に実施した森林現況調査の概要と調査方法	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		42-43	2020	生態水文
松井理生・小池征寛・井上崇・井口和信	技術職員による北海道演習林の森づくりー林分施業法に基づく天然林における選木作業の紹介ー	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		44-45	2020	北海道
笠原久臣・岡村行治・犬飼浩・福土憲司	北海道演習林が生産する優良丸太の銘木販売	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		46-47	2020	北海道
井上崇・犬飼浩・福岡哲・中川雄治・遠國正樹・犬飼慎也・江口由典・木村恒太	北海道演習林における技術職員研修プログラムの紹介	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		63-64	2020	北海道
里見重成・岸本光樹・梁瀬桐子・澤田晴雄・井上淳・加藤敦美・新実夏美	生態水文学研究所における降水と溪流水の水質分析業務の紹介	第3回東京大学技術発表会 プログラム・予稿集		75-76	2020	生態水文

#### 2019年度以前に発表し、これまで発行の年報に未発表の論文

発表者全氏名	題 目	誌 名	巻一 号	頁	年	演習林
Nosho K, Yasuhara K, Ikehata Y, Mii T, Ishige T, Yajima S, Hidaka M, Ogawa T, Masaki H	Isolation of colonization-defective <i>Escherichia coli</i> mutants reveals critical requirement for fatty acids in bacterial colony formation.	Microbiology	164(9)	1122-1132	2018	田無
高木吉盛	地上LiDAR計測による在籍・細りの解析	東京大学 卒業論文		20pp	2018	秩父
筒井幸照	冷温帯原生林における成長量及び樹種構成の長期的な変化	東京大学 卒業論文		16pp	2018	秩父
志水俊介	不成績造林地における林型区分と直径分布の予測	東京大学 修士論文		25pp	2018	秩父
豊田早織	落葉広葉樹林とカラマツ ( <i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carriere) 壮齢人工林の樹幹遮断特性	東京農業大学 卒業論文		51pp	2018	秩父
小林 匠	冷温帯落葉広葉樹林に優占するミズナラ及びブナの蒸散特性	東京農業大学 卒業論文		52pp	2018	秩父
佐藤博紀	多摩川上流域における過去140年間の林分構造の変化に伴う広域蒸発散量の変遷	東京農業大学 修士論文		99pp	2018	秩父
崎尾均	シオジ雌雄個体の開花同調性	第65回日本生態学会札幌大会		3-49	2018	秩父
山崎琢平・濱本昌一郎・西村拓	森林小流域における土壌流亡のモデル計算と現地調査の比較	第60回土壌物理学学会大会			2018	生態水文
山崎琢平・濱本昌一郎・西村拓	GeoWEPPを用いた森林小流域からの放射性セシウム流出予測に関する研究	平成30年度農業農村工学会大会講演会			2018	生態水文

## 5) 受賞・特許等

### 2019年度日本地質学会関東支部功労賞

受賞者氏名	受賞理由
東京大学千葉演習林	関東における地質図学実習の拠点施設としての重要性とともに、関東支部が夏季に行っているフィールドキャンプへの惜しみない協力

### 全国大学演習林協議会第21回森林管理技術賞

受賞者氏名	受賞理由
<b>特別功労賞</b>	
福士憲司	天然林施業における林産物の高付加価値販売に関する調査・研究・森林管理への貢献
<b>技術貢献賞</b>	
高野充広	東京大学秩父演習林における路網維持管理技術の開発・発展に関する貢献
<b>学術貢献賞</b>	
才木道雄	東京大学演習林に生息する夏鳥の生態に関する調査研究による学術的貢献

### 令和元年度(2019年度)砂防学会論文賞

受賞者氏名	題目
浅野友子・内田太郎・西口幸希	山地河川における洪水時の河道抵抗の実態(砂防学会誌, Vol.70, No.6, p.12-23, 2018)

### 森林計画学会 黒岩菊朗記念研究奨励賞

受賞者氏名	題目
當山啓介	木質バイオマス需要と最適伐期、最適間伐体系の関係ー栃木県北地域をモデルとしてー

### (一社)日本カウンセリング学会 大会発表継続賞

受賞者氏名	受賞理由
竹内啓恵	継続した長期・意欲的な研究発表による学会への発展と向上への貢献

### 令和元年度森林防疫賞 奨励賞

受賞者氏名	題目
丹羽悠二・遠國正樹・木村恒太	マルチコプター型ドローンを使った大型哺乳類センサスの可能性

## 6) 外部資金によって行われた研究

### 科学研究費補助金

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人・ 楠本 大・ 竹本周平	基盤研究(A)(海外)	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	鎌田直人	東京大学
後藤 晋・ 久本洋子	基盤研究(A)	気候変動の影響緩和を目指した北方針葉樹の環境適応ゲノミクス	後藤 晋	東京大学
尾張敏章・ 鈴木智之	基盤研究(A)	北方林における気候変動への適応:生態系レジリエンスの保全をめざした生態系管理	森本淳子	北海道大学
広嶋卓也	基盤研究(A)	分布型水土流出モデルの長期解析に基づく流木被害軽減のための森林管理手法の検討	堀田紀文	東京大学
鎌田直人	基盤研究(B)	環境DNAを用いた森林葉食性昆虫の天敵微生物のモニタリング技術の開発	鎌田直人	東京大学
山田利博・ 平尾聡秀	基盤研究(B)	微生物群集機能に基づく樹木の材腐朽進展プロセスの解明	山田利博	東京大学
後藤 晋	基盤研究(B)	外生菌根菌 <i>Cenococcum geophilum</i> における耐塩性の分子基盤の解析	練 春蘭	東京大学
齋藤暖生	基盤研究(B)	自然アクセス制度の国際比較ーコモンズ論の新展開にむけて	三俣 学	兵庫県立大学
齋藤暖生	基盤研究(B)	里山における自然資本の意識化とネットワークのための地域参加型研究	深町加津枝	京都大学
鈴木智之	基盤研究(B)	枯死木が腐食連鎖系の群集組成と食物網構造に与える長期的影響の解明	鈴木智之	東京大学
鈴木智之・ 田中延亮・ 竹本周平	基盤研究(B)	病虫害による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響の解明	深澤 遊	東北大学
三浦直子	基盤研究(B)	多様な在来種が生育する草地植生は河川堤防法面に創出可能か?	山田 晋	東京農業大学
藤原章雄・ 齋藤暖生	基盤研究(B) 特設分野研究	地域の健康を支える資源としての森林資源のポテンシャルと住民のニーズの把握	藤原章雄	東京大学
尾張敏章・ 石橋整司・ 広嶋卓也・ 當山啓介	基盤研究(C)	森林経営史料と旧空中写真を用いたスギ高齢人工林の長期成長過程の定量的復元	尾張敏章	東京大学

氏名	研究種目	研究課題	研究代表者	代表者所属
平尾聡秀	基盤研究(C)	森林攪乱に伴う土壌の機能的コア微生物叢の改変が生態系修復に及ぼす影響の解明	平尾聡秀	東京大学
平尾聡秀	基盤研究(C)	森林の急激な環境変化が野生植物の生態的・進化的変化に与える影響	森長真一	日本大学
平尾聡秀・鈴木智之	基盤研究(C)	進化的トレードオフ・環境応答を考慮して非損傷個体からの萌芽発生の重要性を解明する	梅木 清	千葉大学
齋藤暖生	基盤研究(C)	Revitalising/Re-imagining the Commons in an era of social and environmental change: A Next step in Commons Research	Delaney Alyne	東北大学
広嶋卓也	基盤研究(C)	天然林における樹齢構造と生存時間解析に基づく伐採木の選定	広嶋卓也	東京大学
浅野友子	基盤研究(C)	豪雨時の山地河川における洪水の実態把握と予測精度向上	浅野友子	東京大学
久本洋子	基盤研究(C)	長期の無性繁殖を行うタケ類における有性繁殖の適応的意義の解明	久本洋子	東京大学
鈴木智之	基盤研究(C)	景観スケールにおける亜高山帯針葉樹林の更新に及ぼす風倒攪乱と獣害の相互作用的影響	西村尚之	東京大学
福井 大	基盤研究(C)	コウモリ類の音声モニタリングの汎用化に向けた音声データベースと識別方法の構築	福井 大	東京大学
齋藤暖生	若手研究(B)	自然資源採取・利用活動のアーカイブ化と地域における活用	齋藤暖生	東京大学
水内佑輔	若手研究	国立公園のアイデンティティの獲得に向けた昭和初期における国立公園成立史の拡充	水内佑輔	東京大学
山田利博・平尾聡秀	挑戦的研究(萌芽)	マイクロバイオームに基づく森林環境の評価手法の開発	山田利博	東京大学
福井 大	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	頭蓋骨解剖学体系の枠組みから外れた未知の新奇形質「耳舌骨」の多角的解明	小薮大輔	武蔵野美術大学
福井 大	新学術領域研究(研究領域提案型)	コウモリのアクティブセンシングによるナビゲーション行動の包括的理解	飛龍志津子	同志社大学
軽込 勉	奨励研究	ヒメコマツさし木における光合成誘導による発根促進の検証	軽込 勉	東京大学
執行宣彦	特別研究員奨励費	森林生態系における微生物間相互作用が土壌有機物の分解速度に及ぼす影響	執行宣彦	東京大学

## 奨学寄付金

氏名	寄付目的	寄付者
鎌田直人	天然林におけるミズナラ優良木の単木管理及び樽材適性評価法の開発	サントリースピリッツ株式会社
山田利博	学術研究の経費	サントリーホールディングス株式会社
山田利博	炭素循環動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
山田利博	森林動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
石橋整司	炭素循環動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
石橋整司	森林動態にかかる学術研究の経費	一般財団法人 自然環境研究センター
後藤 晋	地域住民による誰もが親しめる森林空間・関連設備の整備活動	公益財団法人 山口育英奨学会
尾張敏章	松くい虫防除に関する研究	(公社)ゴルフ緑化促進会
田中延亮	研究助成のため(水分析費)	(株)サクシード インヴェストメント

## 受託研究

氏名	研究課題名	委託機関
蔵治光一郎・田中延亮・佐藤貴紀・石橋整司	水源かん養機能モニタリング研究委託	豊田市
蔵治光一郎	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究	JST
福井 大・平尾聡秀	コウモリ情報データベースの監修及び指導	アジア航測株式会社
當山啓介	山地災害リスクを低減する技術の開発	農林水産省
三浦直子	半自然草地における草本植物の三次元分布パターン解明のためのUAV計測技術の確立	公益財団法人 市村清新技術財団

## 共同研究

氏名	研究課題名	共同研究機関
鎌田直人	環境変動下における森林生態系攪乱に対する北海道演習林の順応的管理に関する研究	王子木材緑化(株) 北海道支店
嶋田重裕	地熱を活用した熱帯原産有用植物の国内生産とその利用に関する研究	(株)メリーチョコレート カムパニー
尾張敏章・楠本大・久本洋子・當山啓介	新規ヤマビル忌避剤(テープ型)の開発	住化エンバイロメンタル サイエンス(株)
久本洋子	造園植栽地を用いた植物の域外保全に関する研究	箱根植木株式会社

## その他の外部資金

氏名	補助金等名称	研究課題	研究代表者	代表者所属
鎌田直人	研究拠点形成事業 (Bアジアアフリカ学術 基盤形成型)	環境変動と生態系応答の長期 森林観測フィールド研究拠点: データ・知・人材の協創	鎌田直人	東京大学



### 3. 社会連携

#### 1) 学外各種委員会等委員

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
尾張 敏章	千葉県森林審議会委員	千葉県
尾張 敏章	千葉県土石採取対策審議会委員	千葉県
尾張 敏章	鴨川市文化財保護審議会委員	鴨川市
尾張 敏章	鴨川市環境審議会委員	鴨川市
尾張 敏章	Journal of Forest Research 臨時編集委員	一般社団法人日本森林学会
尾張 敏章	理事	森林利用学会
尾張 敏章	企画運営委員	森林計画学会
尾張 敏章	The International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management (SFEM 2019) Organizing Committee	森林計画学会
尾張 敏章	Research Group 1.05.00: Uneven-aged silviculture, Deputy Coordinator	International Union of Forest Research Organizations (IUFRO)
尾張 敏章	Working Party 1.01.09: Ecology and silviculture of fir, Deputy Coordinator	International Union of Forest Research Organizations (IUFRO)
楠本 大	理事	樹木医学会
久本洋子	千葉県ヒメコマツ協議会委員	千葉県
久本洋子	理事(技術)	樹木医学会
久本洋子	日本樹木医学会技術部会員	一般社団法人 日本樹木医学会
久本洋子	運営委員	竹林景観ネットワーク
當山啓介	主事(林業遺産選定)	一般社団法人 日本森林学会
當山啓介	企画運営委員会委員	森林計画学会
當山啓介	広報委員会委員	森林計画学会
當山啓介	幹事(事務局)	木材利用システム研究会
村川功雄	鳥獣保護管理員	千葉県
米道 学	鳥獣保護管理員	千葉県
軽込 勉	鳥獣保護管理員	千葉県
鎌田直人	富良野市防災会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市総合戦略有識者会議委員	富良野市
鎌田直人	富良野市環境審議会委員	富良野市
鎌田直人	地域管理経営計画等に関する懇談会委員	北海道森林管理局
鎌田直人	日本昆虫学会英文誌編集部編集諮問委員	日本昆虫学会
鎌田直人	兼六園マツ等保全対策指導者	石川県
鎌田直人	北海道林木育種協会顧問	北海道林木育種協会
鎌田直人	英文誌編集委員	日本昆虫学会
鎌田直人	事務局代表補佐	森林野生動物研究会
鎌田直人	代議員	日本森林学会
広嶋卓也	カーボン・オフセット認証運営委員会委員	カーボンオフセット協会
広嶋卓也	広報担当理事	森林計画学会
広嶋卓也	プログラム編成委員会委員(経営部門)	日本森林学会
福井 大	日本生態学会 Ecological Research編集委員	一般社団法人 日本生態学会
福井 大	生物音響学会理事	一般社団法人 生物音響学会
福井 大	和歌山市専門技術委員	和歌山市
福井 大	日本哺乳類学会代議員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会保護管理専門委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会保護管理専門委員会レッドデータ作業部会員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会分類群名・標本検討委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会大会企画・将来構想委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会奨励賞選考委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会国際交流委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	日本哺乳類学会英文誌編集委員	一般社団法人 日本哺乳類学会
福井 大	北方森林学会幹事	北方森林学会
福井 大	Member of the IUCN SSC Bat Specialist Group	IUCN
鈴木智之	日本生態学会キャリア支援専門委員会	一般社団法人 日本生態学会

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
鈴木智之	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
鈴木智之	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
鈴木智之	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
山田利博	樹木医学会理事会／編集委員会／評議員会／表彰委員会	樹木医学会
山田利博	埼玉県特定鳥獣保護管理検討委員会	埼玉県
山田利博	甲武信ユネスコエコパーク保全活用委員会	山梨県
山田利博	国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用委員会	草加市
山田利博	(関東山地) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査指導委員会	埼玉県
山田利博	モニタリングサイト1000(森林・草原調査)コアサイト・準コアサイト検討会	環境省／自然環境研究センター
山田利博	善養寺影向のマツ再生事業委員会	江戸川区／善養寺
山田利博	秩父地域森林林業活性化協議会	秩父市
山田利博	秩父地域鳥獣被害対策協議会	埼玉県
山田利博	美森の大ヤマツツジ樹勢回復検討委員会	山梨県
山田利博	善福寺のイチヨウ再生事業検討委員会	港区／善福寺
山田利博	茨城県文化財保護審議会	茨城県
浅野友子	東京都森林審議会委員	東京都
浅野友子	日本森林学会誌編集委員	日本森林学会
浅野友子	Hydrological Research Letter編集委員	水文・水資源学会
浅野友子	Journal of Hydrology Guest Editor	Journal of Hydrology, Elsevier
平尾聡秀	JaLTER代表者委員会	JaLTER
平尾聡秀	JaLTER運営委員会	JaLTER
平尾聡秀	秩父地域森林林業活性化協議会幹事	秩父市
平尾聡秀	埼玉県環境科学国際センター客員研究員	埼玉県
坂上大翼	北海道林木育種協会評議員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会編集委員	北海道林木育種協会
坂上大翼	北海道林木育種協会地方連絡員	北海道林木育種協会
坂上大翼	樹木医学会理事(編集)／編集委員会幹事	樹木医学会
大村和也	秩父地域鳥獣被害対策協議会幹事会	埼玉県
大村和也	秩父地域森林林業活性化協議会分科会	秩父市
竹本周平	理事	樹木医学会
竹本周平	市民スタッフ	我孫子市鳥の博物館(教育委員会委嘱)
竹本周平	和文誌編集委員 ※2020年1月から	日本土壌微生物学会
竹本周平	和文誌編集委員	日本森林学会
相川美絵子	技術部会	一般社団法人 日本樹木医会
相川美絵子	広報委員	NPO法人 樹の生命を守る会
石橋整司	愛知県瀬戸市環境審議会委員	愛知県瀬戸市
石橋整司	愛知県犬山市環境審議会委員	愛知県犬山市
石橋整司	せと環境塾運営協議会員	愛知県瀬戸市
石橋整司	猿投の森づくりの会・理事	日本山岳会東海支部
石橋整司	瀬戸市太陽光発電設置審議会	愛知県瀬戸市
石橋整司	埼玉県河川整備計画策定専門会議委員	埼玉県
水内佑輔	編集委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	論文集委員会 幹事	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	学会賞等選考委員会 幹事	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	関東支部運営委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	学術委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	論文集委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	関東支部運営委員会	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	中部支部常任運営委員	公益社団法人 日本造園学会
水内佑輔	高等学校職業教育教科書「造園計画」審査協力委員	文部科学省
田中延亮	特定地区自然環境調査委員会	瀬戸市
齋藤暖生	公募助成事業選考委員会	公益財団法人 栗井英朗環境財団
齋藤暖生	顧問	やまなし木質バイオマス協議会

氏名	委員会等名称	委員会等所属機関
齋藤暖生	総務主事	林業経済学会
竹内啓恵	ダイバーシティ推進担当主事	一般社団法人 日本森林学会
竹内啓恵	ダイバーシティ推進委員会 委員	一般社団法人 日本森林学会
竹内啓恵	事務局担当	特定非営利活動法人 日本森林保健学会
鴨田重裕	第5号委員	一般財団法人 東京大学運動会
鴨田重裕	理事	中部森林学会
鴨田重裕	南伊豆町総合計画等審議会アドバイザー	南伊豆町
蔵治光一郎	委員・地下水分科会長	水循環基本法フォローアップ委員会
蔵治光一郎	参与	水制度改革議員連盟
蔵治光一郎	矢作川流域圏懇談会副座長・山部会部会長	国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
蔵治光一郎	大阪府森林環境整備事業評価審議会委員	大阪府
蔵治光一郎	長良川河口堰最適運用検討委員会委員	愛知県
蔵治光一郎	とよた森づくり委員会 委員	豊田市
蔵治光一郎	水循環推進協議会 委員	岡崎市
蔵治光一郎	国際委員会 委員	水文・水資源学会
蔵治光一郎	理事・編集委員会 委員	不知火海・球磨川流域圏学会
蔵治光一郎	顧問	猿投の森づくりの会
蔵治光一郎	共同代表	矢作川森の研究者グループ
蔵治光一郎	理事	NPO法人 才の木
蔵治光一郎	理事	公益財団法人 ニッセイ緑の財団
後藤 晋	理事(出版・広報委員長)	森林遺伝育種学会
後藤 晋	交付金プロジェクト「スギの基盤遺伝情報の高精度化と有用遺伝子の機能解明」評価委員	国立研究開発法人 森林総合研究所
後藤 晋	農林総合研究センター研究等評価委員	埼玉県

## 2) 小中高等学校への対応

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
久本洋子・米道 学	海岸マツ植栽事業の現地指導	千葉県立旭農業高等学校	旭市海岸林	4/11
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立今井小学校	犬山市	4/19, 6/15, 11/27
田中延亮・澤田晴雄・梁瀬桐子	森の観察と木の測定実習	名古屋経済大学市邨高等学校中学校	生態水文学研究所	4/20
田中延亮・梁瀬桐子	校外活動 自然科学コースによる施設・研究見学	早稲田大学高等学院生物科	生態水文学研究所	5/14
梁瀬桐子	探鳥会	犬山市立城東小学校	犬山市	5/23, 11/21, 2/13
安村直樹・竹本周平・栗田直明	校外学習(理科特別授業)	実践学園中学校	田無演習林	5/28
當山啓介・軽込 勉・大石 諭	千葉県立君津青葉高等学校環境系列2年生「校外実習」	千葉県立君津青葉高校	千葉演習林	6/4-5
安村直樹・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子・尾林文雄	職場体験	西東京市立青嵐中学校	田無演習林	7/10-12
才木道雄	樹木採集実習	埼玉県立秩父農工科学高等学校	秩父演習林	7/23
坂上大翼・井上 崇・犬飼慎也・江口由典・木村恒太	令和元年度スーパーサイエンスハイスクール事業道内研修「北海道の針広混交天然林の構造」	北海道札幌啓成高等学校	北海道演習林	7/31-8/2
齋藤暖生・藤原章雄	卒業研究	東京大学教育学部附属中等教育学校	富士癒しの森研究所	8/2-3
田中延亮・水内佑輔・佐藤貴紀・井上 淳・里見重成・梁瀬桐子・岸本光樹	三重中学校・三重高等学校科学技術部研究林で見学及び実習	学校法人三重高等学校三重高等学校	生態水文学研究所	8/5-7
江口由典・遠国正樹・平間睦樹	森林科学科1年 見学	帯広農業高校	北海道演習林	8/21
高德佳絵・才木道雄・吉田弓子・中川雄治	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立秩父第二中学校	秩父演習林	8/28-8/30
安村直樹・竹本周平・栗田直明・相川美絵子	校外学習	西東京市立中原小学校	田無演習林	10/8
福井 大・及川 希	1年道内研修(獣医・理数コース)	とわの森三愛高等学校	北海道演習林	10/17
竹本周平・栗田直明・相川美絵子・石浦恭子・尾林文雄	職場体験	西東京市立ひばりヶ丘中学校	田無演習林	10/24-26
田中延亮	水源かん養機能モニタリング現地案内	豊田市立小原中学校	豊田市大洞市有林	10/31
栗田直明・相川美絵子	校外学習	自由学園初等部	田無演習林	11/6
田中延亮・佐藤貴紀	水源かん養機能モニタリング現地案内	豊田市立旭中学校	豊田市大洞市有林	11/13
高德佳絵・才木道雄	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	11/18-11/20
三次充和	鴨川市立天津小湊小学校5年生「総合的な学習の時間」	鴨川市立天津小湊小学校	千葉演習林	11/22
浅野友子・高德佳絵・才木道雄・吉田弓子	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立影森中学校	秩父演習林	12/10-12/12
蔵治光一郎	高校部の進学クラス生徒の発表会における緑のダム実験の原理の講義と発表会の講評	三重中学校	三重中学校	2/25

### 3) 公開講座・セミナー等

講座名	主催	開催場所	日程
横浜住宅産業経営研究会「千葉演習林見学会」	横浜住宅産業経営研究会	千葉演習林	4/9
鴨川市・東京大学共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(観察会)」	鴨川市	千葉演習林	4/13
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	4/13
「犬山の森」春のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	4/13
休日公開	田無演習林	田無演習林	4/20
森の観察と木の測定実習	名古屋経済大学市邨高等学校 中学校	生態水文学研究所	4/20
教職員向け特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	4/20
春の一般公開	千葉演習林	千葉演習林	4/20-21
休日公開	田無演習林	田無演習林	5/5
ぶらり 東大の森さんぽ ～新緑の「カツラの谷」を訪ねる～	北海道演習林	北海道演習林	5/22
ガイドツアー「新緑の大血川溪畔林を歩こう」	秩父演習林	秩父演習林	5/22
樹木園見学	職業能力開発短期大学校東 京建築カレッジ	秩父演習林	5/25
利用者研究会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	生態水文学研究所	生態水文学研究所	5/31
第34回子ども樹木博士認定会	田無演習林	田無演習林	6/2
休日公開	田無演習林	田無演習林	6/2
とよた森林学校「森林セミナー」	豊田森林組合	生態水文学研究所	6/2
しおじの会と巡る東大秩父演習林樹木園	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	6/8
キノコ調査会	シデコブシの会	生態水文学研究所	6/16
公開セミナー「水源の森を巡る～森林環境の保全と長期観測～」	北海道演習林	北海道演習林	6/23
研修会	グリーンスピリッツ協議会	秩父演習林	6/27-6/28
大麓山ハイキング登山会	北海道演習林	北海道演習林	7/9
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	7/13
コケ観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	7/21
樹木採集実習	埼玉県立秩父農工科学高校	秩父演習林	7/23
公開講座「東大の森林で昆虫採集」	秩父演習林	秩父演習林	7/25-26
高校生のための森と海のゼミナール ～大学の先生と考える環境問題と生物多様性～	千葉演習林, 千葉大学海洋バ イオシステム研究センター	千葉演習林, 千葉大 学海洋バイオシステム 研究センター	7/29-31
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	8/10
矢田川源流の森林の歴史・保全と河川への恵みについての学習	矢田・庄内川をきれいにする 会	生態水文学研究所	8/12
樹木園の樹木観察, 植生調査・毎木調査の研修	埼玉県立蕨高校, 東京都立江 北高等学校, 文化学園大学杉 並中学・高校	秩父演習林	8/17-8/18
夏休み親子水生生物観察会	シデコブシの会	生態水文学研究所	8/17
造園学会中部支部サマースタジオ	造園学会中部支部	生態水文学研究所	8/20-23
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立秩父第二中学校	秩父演習林	8/28-30
せと環境塾「なぜ瀬戸市に? 東京大学の研究林を知ろう」	瀬戸市	生態水文学研究所	9/7
第5回「癒しの森の植生調査隊」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/11
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	9/14
キノコ調査会	シデコブシの会	生態水文学研究所	9/15
菌類勉強会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	9/25
東大教職員向け特別ガイド「きのこに親しむ」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	9/28
ウッドデッキ床はりワークショップ	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	10/2
東大こころのリトリート	東京大学医学部精神医学教 室	富士癒しの森研究所	10/5
下田市共催事業公開講座「チョコレート作りを体験しよう!」	樹芸研究所	樹芸研究所	10/5
神社山自然観察路一般公開	北海道演習林	北海道演習林	10/6
農学部セミナー「ICTで自然を見る、感じる、研究する」	農学部	弥生キャンパス	10/19
第35回「子ども樹木博士」認定会	田無演習林	田無演習林	10/20
休日公開	田無演習林	田無演習林	10/20
「森活で健康」お散歩日記で健康づくりとまちづくりイベント	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	10/31
白炭窯製作研修会	伝統工芸木炭生産技術保存 会	樹芸研究所	11/5-19
下田市共催事業公開講座 「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	樹芸研究所	樹芸研究所	11/9
あいち自然再生カレッジ オープン講座における野外活動	愛知県	生態水文学研究所	11/16
「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所	11/17
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立秩父第一中学校	秩父演習林	11/18-11/20
鴨川市・東京大学交流事業 「東京大学・小石川植物園見学ツアー」	鴨川市	千葉演習林	11/23
東大教職員向け「リース作り体験会」	田無演習林	田無演習林	12/1

講座名	主催	開催場所	日程
休日公開	田無演習林	田無演習林	12/1
標石を探そうツアー	シデコブシの会	生態水文学研究所	12/1
秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	秩父市立影森中学校	秩父演習林	12/10-12/12
鴨川市・東京大学共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(巣箱作り編)」	鴨川市	千葉演習林	12/14
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	12/14
巣箱作成	シデコブシの会	生態水文学研究所	1/19
なごや環境大学共育講座「蛇口の向こう～水源の森へ！」	日本山岳会東海支部猿投の森づくりの会	生態水文学研究所	1/25
東大教職員向け特別ガイド「冬の散歩みち」	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	2/1
森林博物資料館一般公開	千葉演習林	千葉演習林	2/3
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	2/8
公開講座「富士癒しの森研究所研究報告2019」(資料配布のみ)	富士癒しの森研究所	富士癒しの森研究所	3/4(中止)
ガイド練習会	秩父演習林しおじの会	秩父演習林	3/14
森の観察と木の測定実習	名古屋経済大学市邨高等学校 中学校	生態水文学研究所	3/14

#### 4) 学会, 研修, 市民教育等における講演(招待講演を含む)

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
當山啓介	横浜住宅産業経営研究会 見学会	横浜住宅産業経営研究会	千葉演習林	4/9
村川功雄・三次充和	鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(観察会)」	鴨川市	千葉演習林	4/13
安村直樹	薪ストーブ講演会「森林保全と木材活用」	四賀むらづくり株式会社	緑ヶ丘クライミングルテン	4/13
石橋整司・田中延亮・水内佑輔・梁瀬桐子	「犬山の森」春ふれあいの自然観察会	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	4/13
當山啓介	平成31年度千葉県森林インストラクター会宿泊研修	千葉県森林インストラクター会	千葉演習林	4/13-14
竹本周平	見学案内	市民団体(グランジオクラブ)	田無演習林	4/20
澤田晴雄	シデコブシの会総会講演	シデコブシの会	生態水文学研究所赤津研究林	4/21
三次充和	かながわ森林インストラクターの会 見学会	かながわ森林インストラクターの会	千葉演習林	5/16
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー環境とみどり講座(私たちの暮らしと環境・みどり・防災)「豊田市の森林施策」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議室	5/16
鎌田直人・井口和信	北海道演習林の林分施業法の見学	Australian Government department of Agriculture and Water Resources	北海道演習林	5/27-28
坂上大翼	森林学習プログラム推進事業 森林学習サポーター認定研修「森林研修」	富良野市教育委員会	富良野市生涯学習センター・北海道演習林	5/30
安村直樹・楠本 大・竹本周平・相川美絵子・栗田直明・石浦恭子	子ども樹木博士	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	6/2
石橋整司・田中延亮・梁瀬桐子	とよた森林学校 森林セミナー第4回「森林の持つ公益的機能」	豊田森林組合	生態水文学研究所赤津研究林	6/2
相川美絵子	森に親しむ野外講座「奥秩父－新緑の入川溪谷を辿る－」	千葉県森林インストラクター会	秩父演習林	6/4
鎌田直人・犬飼 浩・井上 崇・福岡 哲・犬飼慎也・江口由典・遠国正樹・木村恒太・岡平卓巳	令和元年度 北海道東北地区大学演習林等技術職員研修「森林におけるドローンの活用」		北海道演習林	6/10-14
木村徳志	富良野市教育研究会理科班第2回ブロック研修会	富良野市教育研究会	北海道演習林	6/11
相川美絵子・栗田直明	見学案内	小金井市公民館	田無演習林	6/12
廣嶋卓也	広葉樹の育成・利用に関する勉強会「東京大学北海道演習林における天然林管理と優良木の銘木販売」	北海道立総合研究機構・森林研究本部	北海道立総合研究機構・林産試験場講堂	6/13
山田利博・高德佳絵・齋藤俊浩	研修会	グリーンスピリッツ協議会	秩父演習林	6/27-6/28
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー環境とみどり講座(私たちの暮らしと環境・みどり・防災)「山岳保護地域の森林管理の歴史と制度」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議室	7/4
鈴木智之	ちちぶ学セミナー公開講座「奥秩父の森林とその変化」	秩父市	秩父市歴史文化伝承館	7/6
鎌田直人	The University of Tokyo Hokkaido Forest	Universiti Malaysia Sabah	Promnade hotel, Kota Kinabalu, Sabah Malaysia	7/9
竹本周平	てがたんしりとり	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	7/13

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
広嶋卓也・犬飼 浩	韓国研究者による日本の天然林施業の見学	Department of Environment and Forest Resources, Chungnam National University	北海道演習林	7/16
竹本周平	JSPS事業による海外研究者の見学	田無演習林	田無演習林	7/18
犬飼 浩	南富良野町 町民登山	NPO法人どんころ野外学校	北海道演習林	7/20
鎌田直人・犬飼 浩・松井理生	東京環境工科専門学校実習への対応	東京環境工科専門学校	北海道演習林	7/22-26
石橋整司・前原 忠・尾張敏章・楠本 大・久本洋子・當山啓介・大石 諭・鶴見康幸・村川功雄・塚越剛史・藤平晃司・浅野友子・齋藤暖生・藤原章雄	海南大学サマープログラム2019「東京大学演習林で学ぶ森林管理～動植物・文化・研究～」	海南大学	千葉演習林・富士癒しの森研究所	7/22-28
蔵治光一郎	第32回水の日・第32回水の週間記念参加行事第2回シンポジウム(水循環の恩恵と関東平野)久留里湧水の現場見学会・久留里湧水と水循環フォーラム「東京大学千葉演習林による千葉県の水循環への恩恵」	日本地質汚染審査機構	君津市農村環境改善センター・農事研究室	7/27
三浦直子	海南大学サマープログラム参加者一行の弥生キャンパス見学および研究室訪問対応	海南大学	東京大学弥生キャンパス	7/29
広嶋卓也・犬飼 浩	フィンランド・リベリア林業専門学校教員招聘による林業教育プログラムの検討	北海道水産林務部林務局林業木材課人材育成グループ(北の森づくり専門学院準備室)	北海道演習林	8/5
三浦直子	大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術 講演会	精密工学会大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会	北海道大学	8/8
竹本周平	最強の動物！クマムシを探せ	我孫子市鳥の博物館	我孫子市鳥の博物館	8/17
広嶋卓也・小川瞳・高橋功一	北海道演習林の林分施業法および各種試験研究地の見学	宇都宮大学農学部森林科学科	北海道演習林	8/19-20
田中延亮・水内佑輔・澤田晴雄・井上 淳・里見重成・岸本光樹	デザインワークショップ「サマースタジオ2019」	(公社)日本造園学会中部支部	生態水文学研究所	8/19-23
村川功雄	昆虫相調査会	千葉県昆虫談話会	千葉演習林	8/24-25
安村直樹	2019森林環境譲与税シンポジウム「都市林と私たちの暮らし」	東久留米市	東久留米市立生涯学習センター	8/25
安村直樹	2019森林環境譲与税ワークショップ「木の得意技を生かそう」	東久留米市	東久留米市立生涯学習センター	8/25
広嶋卓也・犬飼 浩・福岡 哲	国際シンポジウム「Sustainable Forest and Ecosystem Management 2019」の日帰りエクスカーション	森林計画学会	北海道演習林	8/28
広嶋卓也・犬飼 浩・松井理生	林分施業法による持続的森林管理の経験とその普及展開の可能性	JICA北海道	北海道演習林	8/29
福田健二・石橋整司・安村直樹・齋藤暖生・藤原章雄	国立台湾大学サマースクール案内	国立台湾大学・筑波大学・東京大学	富士癒しの森研究所・田無演習林・弥生キャンパス	8/29-9/5
鎌田直人・犬飼 浩	本部財務課長一行北演紹介	東京大学	北海道演習林	9/5-6
田中延亮・水内佑輔・澤田晴雄・井上 淳・里見重成・岸本光樹・梁瀬桐子	せと環境塾「なぜ瀬戸市に？東京大学の研究林を知ろう」	瀬戸市	生態水文学研究所赤津研究林	9/7
井口和信	北海道の森林観察	尾瀬ネイチャーガイドの会	北海道演習林	9/20



教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
犬飼 浩	1994年に植栽した樹木(記念樹)の生育状況についての視察	山部'94	北海道演習林	9/22
楠本 大・米道 学・鶴見康幸	広西自治区林業科学研究院松材線虫病の防除事情に関する公務研修視察	日中百人委員会	千葉演習林	10/1
浅野友子・齋藤暖生・藤原章雄・竹内啓恵・西山教雄・辻 和明	東大こころのリトリート	東京大学医学部精神医学教室	富士癒しの森研究所	10/5
山田利博	樹木医研修「幹の外科技術と機器による診断」	日本緑化センター	筑波研修センター	10/4, 10/18
田中延亮	第10回日本山岳会森づくり連絡協議会講義「尾張東部丘陵の森と水の100年の変遷」	日本山岳会東海支部	生態水文学研究所赤津研究林	10/6
坂上大翼	森林学習プログラム推進事業 森林学習サポータースキルアップ研修	富良野市教育委員会	富良野市生涯学習センター・北海道演習林	10/11
井上 崇・磯崎靖雄・高橋功一・木村恒太	森林学習プログラム推進事業 森林学習サポーター スキルアップ研修	富良野市教育委員会	北海道演習林	10/11
鎌田直人・犬飼 浩・小池征寛	JICA 2019年度課題別研修「地域住民の参加による持続的な森林管理」コース	海外林業コンサルタント協会	北海道演習林	10/16
福井 大	北海道演習林の概要	道北ブロック保健所生活衛生課環境衛生業務連絡会議	北海道演習林	10/18
廣嶋卓也・中川雄治	第57回東京大学農学部公開セミナー「先端技術が切り拓く新しい森林管理の在り方」	東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部	東京大学弥生講堂・一条ホール	10/19
安村直樹・竹本周平・相川美絵子・栗田直明・石浦恭子・五十嵐勇治・尾林文男	子ども樹木博士	西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	田無演習林	10/20
安村直樹	東大農場・演習林アクティブスクール2019	東大農場・演習林アクティブスクール2019実行委員会	田無演習林	10/20
鎌田直人	Population dynamics of the beech caterpillar, <i>Syntypistis punctatella</i> .	台湾昆虫学会	国立台湾大学実験林・溪頭自然教育センター	10/20
犬飼 浩	もりねっと森薪塾 天然林施業見学研修	もりねっと北海道	北海道演習林	10/23
蔵治光一郎	はぎの森の健康診断報告会講演「森林と災害 東海豪雨の記憶」	はぎの森の健康診断実行委員会	萩野公民館	10/26
浅野友子・齋藤暖生・藤原章雄・竹内啓恵・西山教雄・辻 和明	お散歩日記で健康づくりとまちづくり	富士癒しの森研究所・山中湖村	山中湖村老人福祉いきいきセンター	10/31
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー環境とみどり講座(持続可能な社会における環境・みどり・防災)「水源の森林づくりガイドブック」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議室	10/31
久本洋子	日本植物分類学会2019年度野外研修会	日本植物分類学会	千葉演習林	11/1-3
犬飼 浩	天然林の択伐施業について	上川北部森林管理署	北海道演習林	11/8
山田利博・楠本大・竹本周平・中川雄治・澤田晴雄	海南大学熱帯林学院講義	海南大学	海南大学	11/14
浅野友子	山地流域における洪水流出の実態	京都大学防災研究所	京都大学防災研究所・穂高砂防観測所	11/16
田中延亮	あいち自然再生カレッジ オープン講座における野外活動	愛知県環境局環境政策部自然環境課	生態水文学研究所赤津研究林	11/16
石橋整司・田中延亮・水内佑輔・梁瀬桐子	「犬山の森」秋のふれあい自然観察会	犬山市	生態水文学研究所犬山研究林	11/17
蔵治光一郎・田中延亮・佐藤貴紀	とよた森林学校(森林と災害～東海豪雨を忘れない～)第2回「間伐すれば人工林はよみがえる」	とよた森林学校(豊田市役所森林課・豊田森林組合)	小原交流館	11/23

教職員名	講演名	主催	開催場所	日程
安村直樹・竹本周平・相川美絵子・栗田直明・石浦恭子	リース作り体験会	田無演習林	田無演習林	12/1
佐藤貴紀・澤田晴雄・井上淳・梁瀬桐子・岸本光樹	職場体験	瀬戸市立祖東中学校	生態水文学研究所	12/3-5
相川美絵子・栗田直明・石浦恭子	見学案内	東京都板橋市場内仲卸業者	田無演習林	12/6
安村直樹・栗田直明	見学案内・植樹打合せ・寄付相談	IWCS国際木文化学会	田無演習林	12/6
安村直樹	見学案内	練馬区立関町リサイクルセンター	田無演習林	12/10
村川功雄・三次充和	鴨川市共催事業「野鳥の巣箱をかけよう(巣箱作り編)」講師	鴨川市	千葉演習林	12/14
當山啓介	第4回研究会「未利用木材利用可能量推計および収穫システム」	森林利用学会研究会	沖縄セルラースタジアム会議室	12/16
安村直樹	見学案内・講義	市民団体(木材コーディネーター)	田無演習林	1/8
竹本周平	西東京市小学校理科部教員研修	西東京市小学校教員研究会理科部	田無演習林	1/22
蔵治光一郎	かわさき市民アカデミー環境とみどり講座(持続可能な社会における環境・みどり・防災)「地下水を巡る法制度」	かわさき市民アカデミー	川崎市生涯学習プラザ3F 301会議室	1/23
澤田晴雄	なごや環境大学共育講座「蛇口の向こう～水源の森へ!」第2回講義「水源の森の働きについて考えてみよう!」	猿投の森づくりの会	生態水文学研究所赤津研究林	1/25
鎌田直人・広嶋卓也・犬飼 浩・福井 大・鈴木智之	東京大学演習林および北海道演習林の組織・運営・研究に関する情報収集	東北林業大学(中国)	北海道演習林	1/28-2/3
蔵治光一郎	森林・山村多面的機能発揮対策普及セミナー基調講演「森林と災害 森林ボランティアの観点から」	(公財)日本生態系協会	としま区民センター 6階小ホール	2/6
齋藤暖生・藤原章雄・竹内啓恵	公開講座「富士癒しの森研究所研究報告2019」(資料配布のみ)	富士癒しの森研究所	資料配布のみ	3/4
齋藤暖生	浜松市四大地財産区70周年式典「財産区のこれまでとこれから」	浜松市四大地財産区	浜松市四大地区会館	3/14
平尾聡秀	研究セミナー「森林における土壌微生物の生態系機能」	埼玉県環境科学国際センター	埼玉県環境科学国際センター	3/25
坂上大翼	「北海道のトドマツ・エゾマツ類の苗畑に発生する病害 -東京大学演習林における事例-」	樹木病害研究会	名古屋大学東山キャンパス	3/30中止

## 5) 演習林報告・演習林

### 演習林報告

#### 第141号(2019年12月16日 発行)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	31	陳元君・石橋整司	中国海南島鸚哥嶺自然保護区における自然保護政策下での先住民の生活実態

#### 第142号(2020年3月下旬発行予定)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	15	高田乃倫予・永田信	秩父市浦山での生活排水処理に関する実態調査
17	36	橋本晋太・尾張敏章・軽込勉・千嶋武・三次充和・鶴見康幸・鈴木祐紀・米道学・塚越剛史・阿達康眞・村川功雄・大石諭	東京大学千葉演習林における100年生超スギ人工林の現状

### 演習林

#### 第62号(2019年3月下旬発行予定)

開始頁	終了頁	著者	表題
1	13	Susumu GOTO・Takashi YONEMICHI・Yoko HISAMOTO・Toshihiro SAITO・Toshihide HIRAO・Noriyuki KIMURA・Satoshi FUKUOKA・Tokuko UJINO-IHARA・Haruhiko TANEDA	Timing of bud flush and bud set of seedlings of <i>Abies sachalinensis</i> , <i>Picea glehnii</i> , and <i>P. jezoensis</i> transplanted to warm sites
15	59	Sunisa SANGUANSUB・Sawai BURANAPANICHPAN・Teerapong SAOWAPHAK・Naoto KAMATA	List of wood-boring beetles (Coleoptera: Bostrichidae, Curculionidae; Platypodinae and Scolytinae) captured by ethanol-baited traps in a lower montane forest in northern Thailand
61	91	原口竜成・高德佳絵・才木道雄・藤平晃司	秩父演習林におけるケヤキ人工林成長試験地毎木調査資料
93	113	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会水文水質部門	東京大学演習林水文観測・水質分析報告(自2017年1月至2017年12月)
115	161	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林基盤データ整備委員会気象部門	東京大学演習林気象報告(自2018年1月至2018年12月)

## 6) 科学の森ニュース

■第86号■ 2019年6月10日発行

【表紙記事】Webサイト「東京大学演習林の鳥たち」を開発しました  
(基盤データ整備委員会)

《記事》

- ・地域住民を対象とした研究報告会(2018年度)の実施(富士癒しの森研究所)
- ・野鳥観察会で今年もたくさんの笑顔が見られました!(千葉演習林)
- ・「気持ちよく納められる森林環境税とは?」を出版しました(田無演習林・演習林出版局)
- ・演習林のイベントダイジェスト 2019年6月~2019年8月

<クローズアップ>

第8回「農学生命科学研究科技術職員研修会」

<科学の森の動植物紹介>

パニラ(樹芸研究所)

<名所・名物紹介>

マカバのテーブルとイス(教育研究センター)



■第87号■ 2019年9月10日発行

【表紙記事】森林科学基礎実習、始まりました

《記事》

- ・演習林公式サポート団体の交流会が開催されました(生態水文学研究所)
- ・ハチ対策講習会(樹芸研究所)
- ・実物の樹木サンプルを教材に使ってみませんか(田無演習林)

<クローズアップ>

演習林公式サポート団体

<四コマ漫画>

学生実習オンシーズン

<科学の森の動植物紹介>

シブカガシ(田無演習林)

<コラム>

サイバーフォレストのライブカメラ(富士癒しの森研究所 藤原章雄)



■第88号■ 2019年12月10日発行

【表紙記事】初の海外での体験活動プログラムを中国・海南島で実施しました  
(教育推進委員会)

《記事》

- ・第57回農学部公開セミナーで演習林をPR
- ・ウッドデッキ床はりワークショップ(富士癒しの森研究所)
- ・技術職員3名が森林管理技術賞を受賞(企画部)

<クローズアップ>

樹芸研究所に灯るもう一つの炭窯の火(樹芸研究所)

<四コマ漫画>

標本整理は地味作業?

<科学の森の動植物紹介>

クロノマチョウ(生態水文学研究所)

<名所・名物紹介>

ため池(生態水文学研究所)



■第89号■ 2020年3月10日発行

【表紙記事】2019年の台風15・19・21号による被害と復旧  
(千葉演習林・秩父演習林)

《記事》

- ・戦略的パートナーシップ大学プロジェクト:東京大学-国立台湾大学フォーラム(国際交流委員会)
- ・全木調査(田無演習林)
- ・中学生2名を職場体験で受け入れました(生態水文学研究所)

<クローズアップ>

海南大学における特別講義(教育推進委員会)

<四コマ漫画>

術職員の仕事って?

<科学の森の動植物紹介>

カエントケ(千葉演習林)

<コラム>

大雨時に雨水が地中を伝わる速さの定量化に成功(秩父演習林 浅野友子)



## 7) 新聞・雑誌・放送等

演習林名	メディア	日付	内容
千葉演習林	千葉日報	2019.4.12	千葉演習林が協力している県立旭農業高校の防災林再生活動(マツ植栽)の様子
千葉演習林	NHK	2019.4.12	首都圏ネットワーク 千葉演習林が協力している県立旭農業高校の防災林再生活動(マツ植栽)の様子
千葉演習林	房日新聞	2019.4.22	鴨川市との共催事業「野鳥の巣箱をかけよう！(野鳥観察会)」の様子
教育研究センター	日刊工業新聞	2019.4.23	市村清新技術財団第28回植物研究助成(三浦助教)
富士癒しの森研究所	朝日新聞(長野)	2019.6.13	財産区について(齋藤助教)
千葉演習林	イギリス王立園芸協会(RHS)会報「The Orchid Review」	2019年6月号	世界らん展組織委員会理事5名が千葉演習林を見学した際の様子
生態水文学研究所	林野No.147	2019年6月号	林業遺産溪間工事建造物群
企画部	週刊東京大学新聞	2019.7.9	教員の東大学生生活を振り返る(蔵治教授)
生態水文学研究所	グリーンシティケーブルテレビ	2019.8.15	瀬戸市の行政情報番組「せとまちTV」で生態水文学研究所の紹介
北海道演習林	北海道新聞	2019.9.4	北海道演習林での小中学生の森林学習を支援する「森林学習サポーター制度」
千葉演習林	東京大学新聞	2019.9.24	千葉演習林の台風15号による被害の様子
千葉演習林	NHK総合	2019.10.3	首都圏ネットワーク・首都圏ニュース845 千葉演習林の台風15号被害の様子
北海道演習林	北海道新聞	2019.10.10	神社山自然観察路一般公開
企画部	日本水道新聞	2019.10.17	「令和時代の水を展望するー未来への命題」樹木の適正密度への選択と集中(蔵治教授)
北海道演習林	NHK Eテレ	2019.11.2	ETV特集「巨樹の声が聴きたい 倉本聡と千年の命」
企画部	NHKラジオ第一	2019.11.20	NHKラジオ第一「三宅民夫の真剣勝負」洪水防止のために“緑のダム”再考(蔵治教授)
富士癒しの森研究所	読売新聞(山梨)	2019.12.8	「森活で健康」プロジェクトで森を散歩する魅力をSNSに発信
樹芸研究所	NHK Eテレ	2019.12.11	「シャキーン！」がっちゃんのだきドキ世界 アブラギリの油
北海道演習林	北海道新聞	2020.2.29	旭川銘木市 東大演習林マカバ市場注目
生態水文学研究所	矢作新報	2020.3.13	生態水文学研究所と豊田市の森林調査

## 4. 環境安全管理

下表のように安全・防災のための各種講習会を実施した。その他に各地方演習林の実情と必要性に応じ安全衛生のための定期的な会議や点検を実施、あるいは日常的な連絡・注意喚起のための態勢を整備している。

### 1) 安全・防災のための講習会等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	田無演習林	毎月	6
普通救命講習 I	秩父消防本部	4月	2
温泉取り扱い講習	樹芸研究所	4月	7
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	農学生命科学研究科環境安全管理室	4月	3
交通安全講習会	千葉演習林	5月	22
蜂対策講習会	北海道演習林	5月	35
林野火災消火訓練	北海道演習林	5月	37
教育研究安全衛生マネジメントシステム会議	秩父演習林	5月	14
利用者ガイダンス・発表会	秩父演習林	5月	53
運搬車, 三脚脚立, バッテリーチャージャーの安全講習	田無演習林	5月	6
安全運転管理者講習会	北海道旭川方面公安委員会	6月	1
安全衛生教育	秩父演習林	6月	3
蜂対策講習会	樹芸研究所	7月	7
林内作業安全講習会	北海道演習林	8月	37
建物火災避難訓練	北海道演習林	11月	31
交通安全講習会	北海道演習林	11月	39
防災訓練	生態調和農学機構	11月	6
バギーカー取扱講習会	北海道演習林	12月	29
スノーモビル講習会	北海道演習林	1月	25
交通安全講話会	秩父演習林	1月	15
普通救命講習I	富士五湖消防本部	1月	7

### 2) 資格取得のための講習等

研修名	開催機関等	開催月	参加人数
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	建設業労働災害防止協会 千葉県支部	6月	3
ベーシックアーボリストトレーニング-1	アーボリストトレーニング研究所	6月	1
はい作業主任者技能講習	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 北海道支部旭川分会	6月	1
高所作業車技能講習	労働技能講習協会	6月	1
安全衛生推進者養成講習	北海道労働基準協会連合会旭川支部	7月	1
ロープ高所作業特別教育, フルハーネス型墜落制止器具を用いて行う作業に係る特別教育	日本産業用ロープアクセス協会	7月	1
ロープ高所作業特別教育	東京技能講習協会	7月	1
高所作業車運転技能講習	コマツ教習所 愛知センタ	7月	1
ロープ高所作業(造園)特別教育	全国1級造園施工管理技士の会	7月	1
ベーシックアーボリストトレーニング「BAT-2」	アーボリストトレーニング研究所	7月	1
フルハーネス型墜落制止器具を用いて行う作業に係る特別教育	愛知労働基準協会	9月	1
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育	林業・木材製造業労働災害防止協会 旭川分会	10月	2
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 旭川分会	10月	1
ベーシックアーボリストトレーニング-2	アーボリストトレーニング研究所	10月	1
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 埼玉県支部	11月	5

研 修 名	開 催 機 関 等	開 催 月	参 加 人 数
フルハーネス型墜落制止器具を用いて行う作業に係る特別教育	キャタピラー教習所 埼玉教習センター	11月	2
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部	11月	18
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 埼玉県支部	12月	5
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 東京支部	1月	4
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 静岡県支部	2月	5
伐木等業務(チェーンソー)に係る特別教育(補講イ)	林業・木材製造業労働災害防止協会 山梨県支部	3月	1

### 3) 災害発生状況・山火事予防活動

2019年度は災害は8件(千葉1件、北海道2件、秩父2件、生態水文学1件、樹芸2件)発生した。内訳は森林調査・管理作業中のハチ刺され4件(千葉1件、北海道1件、秩父2件)、転落・転倒による負傷・受傷2件(生態水文1件、樹芸1件)、実習中の竹割器使用での受傷1件(樹芸1件)、車両による車庫のシャッター破損(北演1件)であった。

災害種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
重大災害			
設備災害			
通勤災害			
人的被害あり	3	4	
人的被害なし (設備災害でない機器・施設損傷あり)	1		
人的被害・機器・施設損傷なし			

#### 東京大学安全衛生管理業務月報に基づく演習林災害統計

休業種別	被災者		
	教職員(件)	学生(件)	その他(件)
休業災害(4日以上)		1	
休業災害(4日未満)			
不休災害	4	3	
合計	4	4	

### 山火事予防活動

演習林名	名 称	開催場所	日 程	参加人数
北海道演習林	巡視及び注意喚起の幟、設置と撤去	北海道演習林一円	2019/4/1～ 2019/5/31	全職員
北海道演習林	林野火災消火訓練	北海道演習林	2019/5/21	全職員
秩父演習林	消火訓練	秩父演習林	2019/8/19	18
秩父演習林	消火訓練	秩父演習林	2020/1/20	18



## 5. 国際交流

### 1) 交流事業・国際シンポジウム・国際共同研究

#### 交流事業

相手大学および 機関名	国名	協定締結の有無	交流期間	目的
海南大学	中国	有	2019/7/22- 28	サマープログラム

#### 国際シンポジウム

参加者氏名	シンポジウム名	主催	開催地	日程
尾張敏章	Abies 2019: IUFRO 1.01.09 Ecology and Silviculture of Fir Conference	IUFRO WP 1.01.09 Ecology and silviculture of fir	Krakow, Poland	2019/5/27-6/2
福田健二・蔵治光一郎	70 Anniversary Symposium of NTUEF	THE EXPERIMENTAL FOREST College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University	Xitou, Taiwan	2019/7/1
福田健二・蔵治光一郎	International Symposium on Forest Sustainability Science and Application	THE EXPERIMENTAL FOREST College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University	Xitou, Taiwan	2019/7/1-2
齋藤暖生	The XVII Biennial IASC Conference	The International Association for Study of the Commons	Lima, Peru	2019/7/1-5
鎌田直人・蔵治光一郎	International Conference on Tropical Forest Science 2019	UMS Faculty of Science and Natural Resources	Kota Kinabalu, Malaysia	2019/7/9-11
福井 大	18th International Bat Research Conference	IBRC	Phuket, Thailand	2019/7/28-8/1
尾張敏章・広嶋卓也・當山啓介	The International Symposium of Sustainable Forest Ecosystem Management, SFEM 2019	森林計画学会	北海道札幌市・富良野市	2019/8/27-8/29
鎌田直人	キクタイムシ類の長期モニタリングに関するシンポジウムおよびワークショップ	THE EXPERIMENTAL FOREST College of Bioresources and Agriculture, National Taiwan University	Xitou, Taiwan	2019/9/9-9/14
鎌田直人・尾張敏章・當山啓介	XXV IUFRO World Congress	IUFRO	Critiba, Brazil	2019/9/29-10/5
齋藤暖生	The 10th International Workshop on Edible Mycorrhizal Mushrooms	International Workshop on Edible Mycorrhizal Mushrooms	長野県諏訪市	2019/10/20-24
鎌田直人・山田利博・尾張敏章・楠本大・広嶋卓也・當山啓介・福井 大・竹本周平・前原 忠・澤田晴雄・中川雄治・アナン ナイナー	JSPS Core-to-Core Program "1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia"	College of Forestry, Hainan University The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo	Haikou, China	2019/11/11-14
福田健二・鎌田直人・蔵治光一郎・後藤晋・尾張敏章・楠本 大・久本洋子・當山啓介・藤原章雄・前原 忠・三浦直子・五十嵐勇治・丹羽悠二	UTokyo-NTU Joint Conference 2019	The University of Tokyo	東京大学	2019/12/9-10

## 国際共同研究

氏名	研究課題	共同研究者所属	氏名	国籍
鎌田直人	食物網構造を組み入れた全球的な群集の多様性創出機構の解明	南ボヘミア大学・ チェコ科学アカデミー	Vojtech Novotny	チェコ
			Martin Volf	チェコ
		南ボヘミア大学	Martin Libra	チェコ
		インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		New Guinian Binatang Research Center	Roll Lillip	バブア・ ニューギニア
鎌田直人	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価に必要な基礎データの収集	インド養蚕研究所	Rajesh Kumar	インド
		カセサート大学	Sunisa Sanguansub	タイ
		チェンマイ大学	Sawai	タイ
			Buranapanichpan	タイ
			Teerapong Saowaphak	タイ
		ガジャマダ大学	Sri Rahayu	インドネシア
		マレーシアサバ大学	Maria Lourdes	マレーシア
		フロリダ大学	Jiri Hulcr	アメリカ合衆国
		カリフォルニア大学 リバーサイド校	Richard Stouthamer	アメリカ合衆国
		鎌田直人	アジア森林圏の環境変動と生態系応答を把握する長期観測フィールドのネットワーク構築	国立台湾大学
浅野友子	気候変動下における豪雨時の山地河川での洪水予測精度向上	コロラド州立大学	Ellen Wohl	米国
齋藤暖生	behavior and norm of people who access the nature	Swiss Federal Institute for Forest, Snow and Landscape Research	Tessa Hegetschweiler	スイス
蔵治光一郎	Impact of climate change on rainfall variability in Mae Chaem Watershed and Whole Mountainous Area in the Upper Chao Phraya River Basin	タイ王立灌漑局	Nilobol Aranyabhaga	タイ
蔵治光一郎	Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah	マレーシアサバ大学	Maznah Mahali	マレーシア
後藤 晋	東南アジアにおけるヒノキ属の系統推定と産地試験	Seoul National University	Dr. Kyu-Suk Kang	韓国
		National Taiwan University	Dr. Fang-Hua Chu	台湾

## 2) 海外渡航

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシ類標本整理	2019/4/1	2019/4/4
蔵治光一郎	企画部	タイ	SATREPS「タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究」の実施	2019/4/1	2019/4/5
田中延亮	生態水文学 研究所	オーストリア	ヨーロッパ地球物理学連合2019年全体集会	2019/4/6	2019/4/15
アナン ナイナール	生態水文学 研究所			2019/4/6	2019/4/15
鎌田直人	北海道演習林	台湾	キクイムシの採集	2019/4/8	2019/4/14
田中延亮	生態水文学 研究所	韓国	JSPS C2C WG1 Workshop出席	2019/5/5	2019/5/8
蔵治光一郎	企画部				
鎌田直人	北海道演習林	台湾	キクイムシ類の採集調査のための餌木の設置	2019/5/21	2019/5/24
福井 大	北海道演習林	韓国	研究(コウモリ類の解剖学的研究)打ち合わせ	2019/5/23	2019/5/24
尾張敏章	千葉演習林	ポーランド	モミ属の生態と施業に関するIUFRO国際会議 (Abies 2019)にて研究発表のため	2019/5/27	2019/6/4
齋藤暖生	富士癒しの森 研究所	ペルー	国際コモンズ学会世界大会への参加	2019/6/29	2019/7/8
三浦直子	教育研究センター	オランダ	ISPRS Geospatial week 2019	2019/6/8	2019/6/16
福田健二		台湾	NUT実験林70周年記念シンポジウム出席・発表	2020/6/30	2020/7/3
蔵治光一郎	企画部				
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	キクイムシ類の調査、標本整理	2019/7/2	2019/7/8
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	International Conference on Tropical Forest Science 2019	2019/7/9	2019/7/11
蔵治光一郎	企画部			2020/7/8	2020/7/12
鎌田直人	北海道演習林	台湾	餌木からのキクイムシの採集	2019/7/13	2019/7/16
福井 大	北海道演習林	タイ	18th International Bat Research Conference出席・発表	2019/7/27	2019/8/3
久本洋子	千葉演習林			2019/8/5	2019/8/12
齋藤暖生	富士癒しの森 研究所	中国	体験活動プログラムの引率	2019/8/5	2019/8/13
石橋整司	生態水文学研究所			2019/8/5	2019/8/13
鎌田直人	北海道演習林	台湾	キクイムシ類の長期モニタリングに関するシンポジウムおよびワークショップ	2019/9/6	2019/9/15
尾張敏章	千葉演習林			2019/9/25	2019/10/8
當山啓介	千葉演習林	ブラジル	XXV IUFRO World Congress 2019	2020/9/28	2019/10/8
鎌田直人	北海道演習林			2019/9/27	2019/10/8
蔵治光一郎	企画部	マレーシア	共同研究「Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah」の実施	2020/9/29	2020/10/3
尾張敏章	千葉演習林	台湾	スギ人工林の長期測定データを用いた共同研究打ち合わせのため	2019/10/14	2019/10/17
當山啓介	千葉演習林			2019/10/14	2019/10/17
鎌田直人	北海道演習林	台湾	台湾昆虫学会大会招待講演	2019/10/17	2019/10/22
鎌田直人	北海道演習林	インドネシア	養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の国際的なリスク評価のための野外実験	2019/10/27	2019/10/31
竹本周平	田無演習林			2019/10/27	2019/11/1
竹内啓恵	富士癒しの森 研究所	ドイツ	1st Berlin City Conference 2019 "Forests feel good to people and the city" に参加	2019/11/8	2019/11/21
鎌田直人	北海道演習林			2019/11/8	2019/11/15
広嶋卓也	北海道演習林			2019/11/9	2019/11/15
福井 大	北海道演習林			2019/11/9	2019/11/13
尾張敏章	千葉演習林	中国	1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia	2019/11/10	2019/11/15
當山啓介	千葉演習林			2019/11/10	2020/11/13
アナン ナイナール	生態水文学 研究所			2019/11/10	2019/11/15
前原 忠	教育研究センター			2019/11/18	2019/11/25
山田利博	秩父演習林			2019/11/10	2019/11/16
楠本 大	千葉演習林			2019/11/10	2019/11/16
竹本周平	田無演習林	中国	1st International Symposium of Long-term Forest Monitoring Research in Asia (11/11)、海南	2019/11/10	2019/11/16
澤田晴雄	生態水文学 研究所		大学熱帯林学院講義(11/12-15)	2019/11/10	2019/11/16
中川雄治	秩父演習林			2019/11/10	2019/11/16

氏名	所属演習林	行き先	用務	出発日	帰着日
鎌田直人	北海道演習林	インドネシア	接種木の解剖	2019/11/20	2019/11/22
鎌田直人	北海道演習林	マレーシア	倒木からのキクイムシ類の採集等	2019/11/26	2019/12/5
福井 大	北海道演習林	ベトナム	科研費新学術領域研究(研究領域提案型)に伴う野外調査	2019/12/1	2019/12/8
鎌田直人	北海道演習林	タイ	キクイムシの研究に関する打ち合わせ	2019/12/14	2019/12/17
蔵治光一郎	企画部	タイ	SATREPS「タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究」の実施	2020/1/3	2020/1/8
尾張敏章	千葉演習林	韓国	空中写真を用いたスギ高齢人工林の成長過程復元に関する研究打合せと現地調査	2020/2/10	2020/2/13
蔵治光一郎	企画部	マレーシア	共同研究「Hydrological Monitoring in Mount Alab and Inobong, Crocker Range Park, Sabah」の実施	2020/2/20	2020/2/24
竹内啓恵	富士癒しの森研究所	ベルギー	森林林業振興助成事業「森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業」海外現地調査	2020/2/24	2020/3/1
尾張敏章	千葉演習林	台湾	空中写真を用いたスギ高齢人工林の成長過程復元に関する研究打合せと現地調査	2020/3/2	2020/3/5
蔵治光一郎	企画部	ラオス・タイ	SATREPS「タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究」の実施	2020/3/2	2020/3/10

### 3) 外国人研究者・学生等の来訪

演習林名	来訪目的	日程	国	人数
千葉演習林	森林の生物被害研修	2019/6/5	豪州	1
千葉演習林	海南大学サマープログラム「東京大学演習林で学ぶ森林管理」	2019/7/22-25	中国	12
千葉演習林	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究	2019/8/24	台湾・中国	3
千葉演習林	広西自治区林業科学研究院松材線虫病の防除事情に関する公務研修視察	2019/10/1	中国	18
千葉演習林	急傾斜地崩壊危険区域の防空壕調査	2019/12/3	中国	1
北海道演習林	研究インターン	2018/4/1-7/18	マレーシア	2
北海道演習林	北海道演習林の林分施業法の見学	2019/5/27-28	オーストラリア	1
北海道演習林	韓国研究者による日本の天然林施業の見学	2019/7/16	韓国	4
北海道演習林	JSPS C2C事業による相手国コーディネーターの招聘に伴う打合せと森林見学	2019/7/19-21	スリランカ	1
北海道演習林	フィンランド・リベリア林業専門学校招聘による林業教育プログラムの検討	2019/8/5	リベリア	2
北海道演習林	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	2019/8/26	フィリピン	1
北海道演習林	国際シンポジウムのエクスカージョン	2019/8/28	フィリピン・韓国・台湾・ウガンダ	23
北海道演習林	地域住民の参加による持続的な森林管理(JICA研修)	2019/10/16	ブルキナファソ・フィジー・インドネシア・マラウイ・ミャンマー・パプアニューギニア・フィリピン・ソロモン・トルコ・ベトナム	12
北海道演習林	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	2020/1/9-3/4	タイ	1
北海道演習林	東京大学演習林および北海道演習林の組織・運営・研究に関する情報収集	2020/1/28-2/3	中国	1
北海道演習林	研究インターン	200/2/10-3/31	マレーシア	2
秩父演習林	森林の生物害研修	2019/6/3	オーストラリア	1
秩父演習林	JSPS-C2Cに関する視察	2019/7/16	スリランカ	1
秩父演習林	研究交流	2019/9/27	イギリス	1
田無演習林	田無演習林の視察	2019/7/18	スリランカ	1
田無演習林	田無演習林の見学	2019/7/20	中国	29
田無演習林	台湾大学サマースクールによる見学	2019/8/31	台湾	5
田無演習林	広西自治区林業科学研究院松材線虫病の防除事情に関する公務研修視察	2019/9/30	中国	18
田無演習林	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1、環境負荷	2019/11/13	中国ほか	13
田無演習林	土地改良及び土地再利用技術について	2019/11/22	中国	24
生態水文学研究所	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	2019/6/4-7	フランス	2
生態水文学研究所	インターンシップ	2019/5/8-7/31	フランス	1
生態水文学研究所	調査地の見学及び相談	2019/11/17-19	アメリカ	2
生態水文学研究所	ソウル国立大学と東京大学の教育研究パートナーシップ強化	2020/1/31-2/18	韓国	1
生態水文学研究所	JSPS C2C 共同研究の推進と野外観測技術の移転	2020/3/4-3/24	マレーシア	2
富士癒しの森研究所	中国海南大学サマープログラム	2019/7/25	中国	12
富士癒しの森研究所	国立台湾大学サマースクール	2019/8/29-31	台湾	11
富士癒しの森研究所	クロスズメバチのサンプル採捕	2019/10/5-6	オランダ	1
富士癒しの森研究所	SNU演習林メンバーによる演習林見学	2019/11/4-6	韓国	4
富士癒しの森研究所	サイバーフォレスト・ライブモニタリング見学	2019/12/24	イギリス	1
樹芸研究所	日本におけるユーカリ造林地の視察	2019/5/30	オーストラリア	1
樹芸研究所	山地河道の水利特性解明、基盤データ水文水質打合せ、C2CRG1打合せおよび現地見学	2020/2/3	韓国	1
企画部	JSPS C2C RG1共同研究実施	2020/2/9～16	タイ	1

演習林名	来訪目的	日程	国	人数
教育研究センター	東南アジアにおけるヒノキ属の系統推定と産地試験打ち合わせ	2019/8/15-16	韓国	2
企画部・教育研究センター	森林科学セミナー	2019/6/21	台湾	1
企画部・教育研究センター	森林科学セミナー	2019/7/17	スリランカ	1
企画部・教育研究センター	SNU演習林メンバーによる演習林見学	2019/11/6	韓国	4

## 6. 管理

### 1) 土地面積集計表・林相別蓄積集計表・植栽樹種

#### 土地面積集計表

2019年4月1日現在 ha

演習林名	土地面積合計	立 木 地								無立木地	その他
		人 工 林				天 然 林					
		小 計	針葉樹林	針広混交林	広葉樹林	小 計	針葉樹林	針広混交林	広葉樹林		
千葉演習林	2,169	858	826	17	15	1,302		377	925	1	8
北海道演習林	22,717	3,452	3,145	142	166	18,424		14,536	3,889	22	819
秩父演習林	5,812	769	751		18	4,986	199	778	4,009		57
田無演習林	9	6	2	3	1						3
生態水文学研究所	1,294	304	302		2	949		949			41
富士癒しの森研究所	40	37	25	9	3						3
樹芸研究所	246	109	50		59	106			106		31
合 計	32,287	5,535	5,101	171	264	25,767	199	16,640	8,929	23	962

但し、「立木地」は実験林、樹木園、採穂園、採種園を含む森林の合計面積、「無立木地」は竹林、伐採跡地、未立木地の合計面積、「その他」は道路敷、林道敷、集材路、土場、河川敷、水路敷、池敷、崩壊地、荒廢地、苗畑、苗畑跡地、圃場、圃場付帯地、庁舎構内、事務所構内、作業所構内、宿舎、建物敷、馬房、露場、湖畔広場、古在ヶ原、グラウンド、貸付地、鉄塔敷、送電線、鉾山跡、採石跡、鹿柵敷、林班外の土地の合計面積(誤差を含む)とした。

#### 林相別蓄積集計表

2019年4月1日現在 m<sup>3</sup>

演習林名	計	人工林	天然林
千葉演習林	810,611	252,212	558,399
北海道演習林	5,399,894	744,115	4,655,779
秩父演習林	1,462,189	360,322	1,101,867
田無演習林	2,344	2,344	
生態水文学研究所	239,026	84,928	154,098
富士癒しの森研究所	11,462	11,462	
樹芸研究所	74,797	51,153	23,644
合計	8,000,323	8,000,323	6,493,787

#### 植栽樹種

(本)

演習林名	樹種 本数			
	スギ	ヒノキ	スギ (コンテナ苗)	
千葉演習林	1,100	300	100	
北海道演習林	トドマツ	エゾマツ	アカエゾマツ	グイマツF1
	5,345	6,696	2,075	1,051
秩父演習林				
田無演習林				
生態水文学研究所				
富士癒しの森研究所				
樹芸研究所				

## 2) 立木伐採量

m<sup>3</sup>

演習林名	主伐材積				小計	利用 間伐 材積	主伐, 間伐 合計
	人工林		天然林				
	針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹			
千葉演習林	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
北海道演習林	立木販売		6,242	4,798	11,040	6,647	17,687
	素材生産資材量		496	1,163	1,659	7	1,666
	その他						
	合 計		6,738	5,961	12,699	6,654	19,353
秩父演習林	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
田無演習林	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
生態水文学 研究所	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
富士癒しの森 研究所	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
樹芸研究所	立木販売						
	素材生産資材量						
	その他						
	合 計						
合 計	立木販売		6,242	4,798	11,040	6,647	17,687
	素材生産資材量		496	1,163	1,659	7	1,666
	その他						
	合 計		6,738	5,961	12,699	6,654	19,353



### 3) 育林実行量

#### 地拵え, 新植および補植, 下刈り, 除伐

演習林名	地拵え			新植および補植				下刈り			除伐		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	植栽本数	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉演習林	10C4-3	0.44		10C4-3	0.44	1,300		44C11-1	0.51		22C7-4	0.05	実習
	44C2-3	0.10	実習	44C2-3	0.04	200	実習	44C11-2	0.13				
								44C11-3	0.27				
								44C11-4	0.16				
								23C3-2	0.20	造林実習3年目			
								44C2-1	0.07	造林実習2年目			
								44C2-2	0.05	造林実習1年目			
北海道演習林	64 A	5.99	直営	43 A	0.59	840	直営	3 A	0.31	直営			
	72 A	3.11	請負	43 B	0.40	550	直営	3 B	0.26	直営			
	74 H	2.53	直営	64 A	4.02	4,305	請負	39 B	0.03	請負			
	98 B	4.22	請負	64 A	0.05	60	直営	40 A	2.54	請負H23			
				72 A	2.67	2,859	請負	40 A	5.39	請負H24			
				72 A	0.29	300	直営	40 B	0.09	請負H24			
				74 H	1.71	1,279	請負	40 A	5.00	請負H25			
				74 H	0.25	144	直営	40 B	1.58	請負H25			
				76 F3	2.10	223	直・伐根	41 A	0.06	請負			
				98 B	3.73	4,037	請負	73 D	1.28	請負			
				98 B	0.45	570	直営	74 C	2.34	請負			
								74 H	2.21	直営			
								75 B	2.93	請負H27			
								75 B	2.13	請負H29			
								88 B	0.02	請負H23			
								88 B	0.05	請負H24			
								92 B	2.97	直営			
								請負の後の数字は植栽年					
田無演習林								1 1	0.08				
								1 2	0.03				
								1 3	0.02				
								1 4	0.11	延面積			
								1 5	0.02				
								1 6	0.39	延面積			
								1 7	0.14	〃			
								1 8	0.18	〃			
								1 9	0.07				
								1 10	0.01				
								1 12	0.17	延面積			
								1 13	0.09	〃			
								1 14	0.02				
								1 19	0.13	延面積			
								1 20	0.15	〃			
								1 21	0.13	〃			
							1 22	0.03					
							1 23	0.22					
							1 24	0.06					
							1 25	0.19	延面積				
							1 26	0.04	〃				
合計		16.39			16.74	16,667			32.84			0.05	

生態水文学研究所, 秩父演習林, 富士癒しの森研究所, 樹芸研究所では該当する業務はなかった。

## 枝打ち, 保育間伐, 獣害対策, その他

演習林名	枝打ち			保育間伐			獣害対策(シカ柵設置など)			その他		
	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考	林小班	面積(ha)	備考
千葉演習林				44C6	0.10	実習	10C4-4	0.09				
							44C2-3	0.10	実習地			
北海道演習林				98 C	10.11	※1	51 C	0.70	野鼠毒餌			
				98 D	3.60	※1	71 D	0.54	野鼠毒餌			
							72 D	0.93	野鼠毒餌			
							73 D	0.63	野鼠毒餌			
							74 C	0.58	野鼠毒餌			
							74 H	1.00	野鼠毒餌			
							74 J	0.19	野鼠毒餌			
							74 P	0.23	野鼠毒餌			
							74 D	1.12	野鼠毒餌			
							75 B	0.63	野鼠毒餌			
							76 A	0.43	野鼠毒餌			
							87 J	0.81	野鼠毒餌			
							87 C	1.65	野鼠毒餌			
							87 K	0.30	野鼠毒餌			
												※1 請負(補助金)
秩父演習林	1	い11	0.63	2回目			3	い30	0.70	シカ柵補修		
							29	い38	0.31	シカ柵補修		
							31	い23	1.18	シカ柵補修		
							20	ち1		防獣柵点検(樹木園新設周囲1080m)		
							28	い8	1.28	樹皮ガード保守		
												※2 埼玉県水源地域の森づくり事業
生態水文学 研究所				32	い2	2.12				愛知県小規模治山整備事業		
				33	い2	0.90				〃		
				33	い3	0.36				〃		
				33	い4	0.36				〃		
				72	い11	0.50				ボランティア		
合計		0.63				17.15				13.09		

田無演習林, 樹芸研究所, 富士癒しの森研究所では該当する業務はなかった。

#### 4) 素材生産総括表・土木実行総括表・道路現況

##### 素材生産総括表

m<sup>3</sup>

演習林名	素材生産資材量			素材生産量			歩留(%)		
	計	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	平均	針葉樹	広葉樹
千葉演習林									
北海道演習林	1,666.26	502.83	1,163.43	916.20	301.13	615.07	54.99	59.89	52.87
秩父演習林									
田無演習林									
生態水文学 研究所									
富士癒しの森 研究所									
樹芸研究所									
合計	1,666.26	502.83	1,163.43	916.20	301.13	615.07	54.99	59.89	52.87

##### 土木実行総括表

m

演習林名	実行内容			
	実行数量			
千葉演習林	林道維持	歩道維持		
	17,963	2,145		
北海道演習林	車道手入	砂利敷均し	崩壊修繕	請負草刈り
	64,450	370	9箇所	191,700
				1,200
秩父演習林	林道維持	作業道維持	歩道維持	モノレール維持
	11,395	5,161	41,284	3,067
田無演習林	碎石敷均し	歩道草刈		
	90	943		
生態水文学 研究所	林道維持	歩道維持		
	6,000	4,220		
富士癒しの森 研究所	車道草刈	歩道草刈		
	600	900		
樹芸研究所	車道草刈	車道整備	歩道草刈	歩道整備
	1,979	1,203	1,708	550

##### 道路現況

m

演習林名	車道延長				歩道延長	
	林道延長	作業道延長	計	密度(m/ha)	延長	密度(m/ha)
千葉演習林	31,436		31,436	14.5	125,361	57.8
北海道演習林	484,500	448,890	933,390	41.0	7,800	0.3
秩父演習林	11,395	8,733	20,128	3.5	182,371	31.4
田無演習林					1,590	176.70
生態水文学 研究所	11,840	1,500	13,340	10.3	12,400	9.6
富士癒しの森 研究所	2,087		2,087	54.9	3,009	79.2
樹芸研究所	3,486	3,657	7,143	29.0	11,753	47.8
合計	544,744	462,780	1,007,524		344,284	

## 5) 運営費予算配分額, 収入, 外部資金

区分	内訳	金額(千円)
運営費予算配分額	年度当初配分額	250,260
	市町村交付金相当額予算	41,980
	追加配分・協力金	35,807
	その他の予算	14,872
	計	342,919
収入	演習林林産物収入	67,569
	刊行物販売等売払収入	1,032
	講習料収入	359
	その他の収入	16,387
	計	85,347
外部資金	科学研究費補助金	50,242
	奨学寄附金	7,969
	受託研究	11,894
	共同研究	4,900
	その他の外部資金	7,040
	計	82,045
合計		510,311

## 6) 演習林林産物収入細分表

演習林名	立木	素材	その他			合計
			ヒサカキ	苗木	残材等, その他	
千葉演習林	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	24 束	本	m <sup>3</sup>	14,000 円
	円	円	14,000 円	円	円	
北海道演習林	17,686.520 m <sup>3</sup>	1,107.688 m <sup>3</sup>	束	本	m <sup>3</sup>	67,519,316 円
	34,866,590 円	32,652,726 円	円	円	円	
秩父演習林	m <sup>3</sup>	41.350 m <sup>3</sup>	束	本	m <sup>3</sup>	35,200 円
	円	35,200 円	円	円	円	
合計	17,686.52 m <sup>3</sup>	1,149.04 m <sup>3</sup>	24 束	本	m <sup>3</sup>	67,568,516 円
	34,866,590 円	32,687,926 円	14,000 円	円	円	

## 7. 研修

### 1) 技術職員

研修名	開催機関	開催月	参加人数
2019年度「新規採用職員研修Ⅰ」	東京大学	4月	1
2019年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 FileMaker 17 Master Training -中級コース-	ファイルメーカー 株式会社	5月	1
2019年度北海道東北地区大学演習林等技術職員研修	東京大学	6月	1
2019年度北海道地区ハラスメント防止研修指導者養成コース 純水の最新技術と超純水の使い方のポイント(e-learning)	人事院北海道事務局 メルク株式会社	6月	1
2019年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 ベーシックアーボリストトレーニング「BAT-1」	アーボリストトレーニング 研究所	6月	1
2019年度(前期)教室系技術職員学外研修 (高所作業車運転技能講習)	コマツ教習所 愛知センタ	7月	1
第60回北海道地区中堅係員研修	人事院北海道事務局	7月	1
令和元年度北海道地区国立大学法人等中堅技術職員研修	国立大学法人 北海道大学	9月	1
2019年度(前期)教室系技術職員学外研修 (フルハーネス型安全帯使用作業特別教育)	公益財団法人 愛知労働基準協会	9月	1
2019年度(前期)教室系技術職員学外技術研修 (UAVレーザ測量講習会)	一般社団法人 日本写真測量学会	9月	1
2019年度評価者研修(副課長・係長級等)	東京大学	9月	1
点群処理基礎技術講習会	公益社団法人 精密工学会 大規模環境 の3次元計測と認識・モデ ル化技術専門委員会	9月	1
令和元年度東海地区大学演習林等技術職員研修	岐阜大学	10月	2
令和元年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林等技術職員研修	京都大学	10月	2
令和元年度関東甲信越地区大学演習林等技術職員研修	東京農工大学	10月	2
基盤データ整備委員会GIS部門研修会	東京大学農学生命科学 研究科附属演習林	10月	6
東京大学教室系技術職員研修会「森林教育プログラムにおける 技術職員の役割について-技術指導と安全管理-」	東京大学	11月	1
第28回九州地区大学演習林等技術職員研修	九州大学	11月	1
令和元年度東京大学技術職員研修「森林教育プログラムにお ける技術職員の役割について-技術指導と安全管理-」	樹芸研究所	11月	2
FileMakerカンファレンス2019	クラリス・ジャパン 株式会社	11月	1
Pix4Dmapper 基礎&応用ワークショップ	株式会社イメージワン	11月	1
東京大学大学院農学生命科学研究科技術部 機械グループ研修「機械の点検整備と作業安全に関する研修」	東京大学農学生命科学 研究科技術部 機械グループ	12月	5
ArcGIS Online & Collector for ArcGIS 講習会	東京大学 空間情報科学 研究センター	2月	3
ArcGIS Desktop 中級講習会 ~水害被害の分析~	東京大学	2月	2
第6回東京大学大学院農学生命科学研究科技術部 分析技術グループ研修 「バイオ取扱基礎技術(DNA)・マイクロペットセミナー」	東京大学農学生命科学 研究科技術部 分析技術グループWG	2月	4

### 2) 事務職員

研修名	開催機関	開催月	参加人数
2019年度新規採用職員能力開発プログラム 「新規採用職員研修Ⅰ」	本部人事育成課	4月	1
ソフトウェア等利用者講習会(e-learning)	本部情報戦略課	7月~10月	1
2019年度「新規採用職員研修Ⅰ」	東京大学	4月	1
2019年度「新規採用職員研修Ⅱ」	東京大学	4月	1
2019年度「新規採用職員研修Ⅲ」	東京大学	10月	1

## 8. 組織図

### 1) 千葉演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
林長	准教授	尾張敏章			
林長補佐	講師	楠本 大			
技術主任	技術専門職員	大石 諭			
技術副主任	技術専門職員	米道 学			
森林管理部門 部門長	技術専門職員	鈴木祐紀			
土木係	技術専門職員	塚越剛史	技術専門職員	阿達康眞	
森林管理係	技術専門職員	軽込 勉	技術専門職員	米道 学(兼)	
作業所部門 部門長	技術専門職員	鶴見康幸			
清澄作業所	技術専門職員	村川功雄		特任専門職員 加瀬清己 職域限定職員 岡田康則	
札郷・郷台作業所	技術専門職員	米道 学(兼)		特任専門職員 宮原はな 特任専門職員 吉田龍三 特任専門職員 富川勲 臨時用務員 糟谷育代(兼)	
教育研究主任	助教	久本洋子			
教育研究支援部門 部門長	助教	久本洋子			
資料管理係	技術専門職員	藤平晃司	技術専門職員	大石 諭(兼) 技術専門職員 三次充和(兼) 講師 楠本 大(兼)	
試験係	助教	當山啓介	准教授	尾張敏章(兼) 講師 楠本 大(兼) 助教 久本洋子(兼)	
利用促進部門 部門長	技術専門職員	大石 諭			
社会連携係	技術専門職員	三次充和			
利用調整係	助教	當山啓介	技術専門職員	三次充和(兼) 臨時用務員 糟谷育代(兼) 一般職員 吉田明子(兼) 特任専門職員 羽若部理會	
事務室係長		田山勝則			
事務係	主任	野山 智	一般職員	吉田明子	事務補佐員 高橋恵
					2019/4/1～10/31まで 藤後紗和子 2019/11/1から
施設係	係長	田山勝則	技術専門職員	鶴見康幸(兼) 技術専門職員 村川功雄(兼) 技術専門職員 米道 学(兼)	
管財係	係長	田山勝則			

## 2) 北海道演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	鎌田直人				
林長補佐	講師	広嶋卓也				
教育研究主任	助教	福井 大				
	助教	坂上大翼				
	助教	鈴木智之				
主査	主査	川辺幸一				
	主査	加藤康洋				
技術主任	技術専門員	犬飼 浩				
技術副主任	技術専門職員	松井理生				
庶務チーム	係長	横山和宏	主任	天山 学	事務補佐員	穴澤三恵子
会計チーム	係長	米田久和	一般職員	橋場 唯		
資産管理チーム	係長	岡田教和				
企画調整係主任	技術専門員	犬飼 浩(兼)	技術専門職員	大川あゆ子		
			技術専門職員	算用子麻未		
			(育児休業)2020/4/24まで			
調査資料係主任	技術専門員	井口和信	技術専門職員	小川 瞳	技能補佐員	犬飼雅子
			技術専門職員	犬飼慎也	技能補佐員	高島義和
					技能補佐員	櫻井美千恵
					2019/5/1から2019/10/31まで	
種苗造林係主任	技術専門職員	岡平 卓巳	技術職員(再)	岡村行治		
造林資料係主任	技術専門員	犬飼 浩(兼)	技術専門職員	宅間隆二		
生産販売係主任	技術専門職員	福土憲司			特任専門職員	片平可奈
土木生産係 (土木担当)主任	技術専門職員	及川 希	技術職員	遠國正樹		
土木生産係 (生産担当)主任	技術専門職員	井上 崇	技術専門職員	磯崎靖雄		
			技術専門職員	高橋功一		
			技術職員	木村恒太		
調査第一係主任	技術専門職員	松井理生(兼)	技術職員	江口由典		
			技術職員	平間睦樹		
			技術職員	佐藤晴樹		
			(代替職員)2020/4/24まで			
調査第二係主任	技術専門職員	小池征寛	技術専門職員	笠原久臣		
			技術職員	廣田善己		
			技術職員	小林徹行		
試験係			教授	鎌田直人		
			講師	広嶋卓也		
			助教	福井 大		
			助教	坂上大翼		
			助教	鈴木智之		
						2019/10/31まで
						2019/12/1から
山部樹木園主任	技術専門職員	福岡 哲	技術専門職員	木村徳志	技能補佐員	中坪優子
					技能補佐員	安藤佳子
					技能補佐員	安藤雅恵
					2019/4/1から2019/11/30まで	
セミナーハウス 施設長	教授	鎌田直人	一般職員	横山和宏(兼)	特任専門職員	杉原時子
					特任専門職員	望月 睦
					2019/4/1から2019/11/30・ 2020/2/1から2020/3/31まで	
					特任専門職員	松村裕美
					2019/5/1から2019/10/31まで	

### 3) 秩父演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
林長	教授	山田利博			特任研究員	梅林利弘
林長補佐	講師	平尾聡秀			学振特別研究員	執行宣彦
教育研究主任	講師	浅野友子				
試験係主任	助教	鈴木智之(2019/11/31まで)				
	助教	坂上大翼(2019/11/1から)				
事務室	専門員	大村 栄	係長	三宅順一	特任専門職員	浅見美津子
			一般職員	亀原弥生	事務補佐員	平沼かやの
技術主任	技術専門員	大村和也			特任専門職員	富沢貴志
森林管理 チーム	技術専門職員	高野充広	技術専門職員	中川雄治		
			技術専門職員	吉田弓子(2019/9/30まで)		
			技術専門職員	原口竜成(2019/10/1から)		
利用促進 チーム	技術専門職員	高德佳絵	技術専門職員	原口竜成	特任専門職員	島崎雅美
				(2019/9/30まで)	(2019/6/30まで)	
			技術専門職員	才木道雄	特任専門職員	内田理恵
				(2019/6/30まで)		
			技術専門職員	吉田弓子	技術補佐員	新井容子
				(2019/10/1から)	(2019/9/1から)	
					技術補佐員	濱田邦子
					(2019/9/1から)	
作業所 チーム	技術専門職員	千嶋武	技術専門職員	齋藤俊浩	特任専門職員	山中五郎
					特任専門職員	山中淑子
影森苗畑	技術専門員	大村和也(兼)				

### 4) 田無演習林

組織(主任職員)		配置職員(教職員)			配置職員(非常勤職員)	
林長	講師	安村直樹				
	(2019/7/15まで)					
	准教授	安村直樹				
	(2019/7/16から)					
林長補佐	助教	竹本周平				
教育研究主任	助教	竹本周平				
技術主任	技術専門職員	相川美絵子	技術専門員	栗田直明	特任専門職員	尾林文男
						特任専門職員



## 5) 生態水文学研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)
所長	教授	石橋整司		
所長補佐	助教	田中延亮		
教育研究主任 教育研究係主任	助教	水内佑輔	助教 田中延亮(兼) 特任助教 佐藤貴紀 技術専門職員 里見重成 技術職員 岸本光樹 技術職員 梁瀬桐子(兼)	特任専門職員 加藤敦美 学術支援職員 黒木里香(兼) 特任研究員 アナンナイナル
過去データ 管理室	助教	田中延亮	助教 水内佑輔(兼)	学術支援職員 加藤純子 学術支援職員 黒木里香 特任専門職員 加藤敦美(兼)
事務主任	事務室係長	平野圭二		特任専門職員 加藤正勝 学術支援職員 田中智子
技術主任	技術専門員	澤田晴雄		
技術副主任 研究林管理係主任	技術専門員	井上 淳	技術職員 梁瀬桐子 技術職員 岸本光樹(兼)	学術支援職員 渡辺平和 用務補佐員 橋本 聖 学術支援職員 高橋由佳
環境安全推進室	事務室係長	平野圭二	技術専門員 井上 淳(兼)	

## 6) 富士癒しの森研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)
所長	准教授	後藤 晋(兼) (2019/6/30まで)		
	講師	浅野友子(兼) (2019/7/1から)		
所長補佐	助教 (2019/11/15まで) 講師 (2019/11/16から)	齋藤暖生		
教育研究主任	助教	藤原章雄	助教 藤原章雄 助教 齋藤暖生 (2019/11/15まで) 講師 齋藤暖生 (2019/11/16から)	特任研究員 竹内啓恵
技術主任	技術専門職員	西山教雄	西山教雄(兼)	用務補佐員 高村史香
技術主任補佐	技術専門職員	辻 和明	技術専門職員 辻 和明(兼)	特任専門職員 齋藤純子

## 7) 樹芸研究所

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)
所長	准教授	鴨田重裕		
所長補佐	助教	井上広喜		
教育研究係 教育研究主任	助教	井上広喜		
技術係 技術主任	技術専門職員	村瀬一隆	技術専門職員 辻 良子	技能補佐員 大島浩子 技能補佐員 須田常仁
	教育研究支援チーム			
	森林管理チーム		技術専門員 渡邊良広 技術職員 千井野聡	
事務係			技術専門職員 辻 良子(兼)	事務補佐員 進士真理子

## 8) 企画部・教育研究センター

組織(主任職員)		配置職員(教職員)		配置職員(非常勤職員)	
演習林林長	教授	福田健二			
企画部					
部長	教授	蔵治光一郎		特任専門職員 柴田ゆう子	
統括技術長	技術専門職員	五十嵐勇治			
教育研究センター					
センター長	准教授	後藤 晋	准教授	鴨田重裕(兼)	事務補佐員 小林ひとみ
			助教	前原 忠	
			助教	三浦直子	
技術主任	技術専門職員	丹羽悠二	技術専門職員	近澤静恵	
農学系事務部					
事務部長	吉田雅彦	研究支援チーム			
総務課長	服部 斎	副課長	藤田英子		
経理課長	斉藤正己	係長	大溝真由美		
教務課長	瀧口昭江				
国際化推進 支援担当課長	青木一恵	他事務部各係			
学生等			氏名		
博士3年	サイフル・アムリ・サラギー				
博士3年	ペン・ヨン				
博士3年	アンネ・カロリナ				
博士3年	陳 元君				
博士2・3年	チョー・トゥー・モー				
博士2年	ヴィージェナイカ・パピトラ・ランガニー				
IPADS 博士1年	裴 慧卿				
修士2年	田中翔大				
修士2年	山崎 有				
修士2年	李 昕曄				
修士2年	韋 珉傑				
修士1年	谷川鴻介				
修士1年	陸 黎峻				
修士1年	レ 園園				
修士1年	野中佳祐				
修士1年	須谷未菜				
修士1年	劉 立航				
修士1年	林 子愷				
学部4年	塚本 宝				
学部4年	吉田拓矢				
学部4年	渡邊尚貴				
研究生	潘 濟楚				
研究生	徐 喬逸				
研究生	陳 淑芬				
研究生	ハイン エー ミヤツ ミヤツ				
研究生	崔 惟怡				
研究生	戴 健平				
研究生	陳 田				
研究生	劉 馨遥				

## 9. 人事

日付	異動	新所属・職名		氏名	旧所属・職名	
2019.4.1	命	千葉演習林	林長	尾張敏章	千葉演習林	林長補佐
2019.4.1	勤務換	生態水文学研究所	所長	石橋整司	千葉演習林	林長
2019.4.1	勤務換	千葉演習林	講師	楠本 大	田無演習林	講師
2019.4.1	採用	北海道演習林	技術職員	平間睦樹		
2019.4.1	勤務換	企画部	技術専門職員 (統括技術長)	五十嵐勇治	秩父演習林	技術専門職員
2019.4.1	勤務換	生態水文学研究所	技術専門員	澤田晴雄	企画部	技術専門員 (統括技術長)
2019.4.1	勤務換	秩父演習林	技術専門職員	千嶋 武	千葉演習林	技術専門職員
2019.4.1	勤務換	千葉演習林	技術専門職員	藤平晃司	秩父演習林	技術専門職員
2019.4.1	勤務換	秩父演習林	技術専門職員	中川雄治	北海道演習林	技術専門職員
2019.4.1	勤務換	北海道演習林	技術専門職員	高橋功一	生態水文学研究所	技術専門職員
2019.6.1	採用	千葉演習林	技術員	岡田康則	千葉演習林	特任専門職員
2019.6.30	配置換	教養学部		川辺幸一	北海道演習林	事務室主査
2019.7.1	配置換	北海道演習林	事務室主査	加藤康洋	ニューロインテリジェ ンス国際研究機構	
2019.7.16	昇任	田無演習林	准教授	安村直樹	田無演習林	講師
2019.11.1	勤務換	秩父演習林	助教	坂上大翼	北海道演習林	助教
2019.12.1	勤務換	北海道演習林	助教	鈴木智之	秩父演習林	助教
2019.11.16	昇任	富士癒しの森 研究所	講師	齋藤暖生	富士癒しの森 研究所	助教

## 10. 委員会・会議等

### 1) 演習林規則に則って開催された委員会・会議

---

運営委員会	演習林規則第5条により設置されている演習林の管理および運営に関する最高議決機関である。委員は演習林の教授・准教授のほか研究科長が推薦する研究科の教授または准教授(10名以内)と演習林統括技術長, 研究科事務部長であり, 演習林長が委員長を務める。今年度は2020年3月18日(水)に開催し, 地方演習林と常置委員会を軸とする演習林の管理および運営に関する重要事項の審議を行った。
-------	---

---

演習林会議	演習林規則第6条により設置されている演習林の管理および運営の実務に関する事項を審議決定する機関である。議員は演習林長, 演習林長補佐, 演習林所属の教授, 准教授, 講師, 演習林統括技術長のほか演習林長が必要と認めた者となる(今年度は研究科総務附属施設担当副課長が指名された)。演習林長が議長を務める。原則として毎月1回(8月をのぞく)教授会開催日の前日に開催する。今年度は11回開催した。
-------	--

### 2) その他委員会・会議

---

技術主任会議	統括技術長と地方演習林技術主任により, 森林管理・技術主任組織等に関する諸問題を検討する。今年度は7月25日(木)に開催し, 同日に事務担当者・技術主任合同会議を開催した。
--------	--

---

事務担当者連絡会議	大学院農学生命科学事務担当者による会議であり, 地方演習林事務担当者を含めて事務処理遂行上の問題点等について報告, 意見交換を行う。隔年(偶数年度)に開催され, 今年度は開催されなかった。
-----------	--

---

技術職員等試験研究・研修会議	技術職員等による研究報告と情報交換, 技術研修等を目的に年1回開催する。今年度は11月5日(火)から6日(水)にかけて田無演習林を会場に開催した。
----------------	---

---

演習林編集委員会	「東京大学農学部演習林報告」と「演習林」の編集発行を行っている。委員は演習林の教授・准教授のほか関連専攻から推薦された教授・准教授(7名)と編集委員長が指名する者となる。原則として奇数月に開催し, 今年度は6回開催した。
----------	--

---

科学の森ニュース編集委員会	広報誌「科学の森ニュース」の編集に当たっている。必要に応じて電子メールのやり取りを中心に編集作業を行ってきたが, 今年度は科学の森ニュースの編集のタイミングに合わせ3か月に1回合計4回のテレビ会議を実施した。
---------------	--

---

ネットワーク委員会	演習林内のネットワークに関する問題の対応, メールアドレス管理等のほか, 研究科マルチメディア委員会の対応等を行っている。
-----------	---

---

# 11. 利用状況

## 1) 千葉演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
1	4	21	鴨川市有害鳥獣対策協議会				36	36	有害鳥獣捕獲	日帰り	
2	4	1	首都大学東京 都市環境学物	1		1		2	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	日帰り	
3	4	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				12	12	千葉演習林「春の一般公開」サポート	日帰り	
4	4	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	「野鳥の巣箱をかけよう！（巣箱観察会）」サポート	日帰り	
5	4	2	千葉県環境生活部大気保全課				3	3	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り	
6	4	2	千葉県森林インストラクター会	4			33	37	平成31年度千葉県森林インストラクター会宿泊研修	日帰り	
7	4	1	千葉県立中央博物館 資料管理研究科	1			1	2	千葉演習林内に産する大型菌類(きのこ類)相の調査	日帰り	
8	4	1	東海大学付属相模高等学校	23			703	726	新入生ウォークラリー	日帰り	
9	4	1	東京大学				9	9	横浜住宅産業経営研究会 見学会(極相林、スギの挿し木品種の違い)	日帰り	
10	4	1	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	13		36	(13)	49	(13)	自然環境学野外総合実習	日帰り
11	4	4	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	4		4	(1)	8	(1)	シカの強度影響下における広葉樹二次林の修復可能性～土壌機能からの検証～	清澄宿泊施設2
12	4	4	東京大学 大学院新領域創成科学研究科			4		4		ニホンジカの増加に伴うマダニ媒介リケッチア症「日本紅斑熱」の感染拡大の分析	清澄宿泊施設2
13	4	2	東京大学 大学院農学生命科学研究科生物多様性科学研究室			2		2		異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
14	4	2	東京大学 大学院農学生命科学研究科生物多様性科学研究室	2				2		異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	清澄宿泊施設2
15	4	1	東京大学 大学院農学生命科学研究科附属演習林・生態水文学研究所	1				1		千葉演習林の見学	日帰り
16	4	2	東京大学 大学院農学生命科学研究科附属演習林 千葉演習林				271	271	春の一般公開	日帰り	
17	4	1	東京大学 大学院農学生命科学研究科附属千葉演習林				22	22	鴨川市・東京大学交流事業「野鳥の巣箱をかけよう！（巣箱観察会）」	日帰り	
18	4	2	東京大学森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2				2		新田・袋山沢における水文観測と測量	清澄宿泊施設2
19	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・農学国際専攻・国際森林環境学研究室			1		1		リモートセンシングによるナラ枯れの把握	日帰り
20	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1		温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
21	4	4	日本大学 生物資源科学部		16			16		異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
22	5	1	かながわ森林インストラクターの会				25	25		千葉演習林の見学	日帰り
23	5	22	鴨川市有害鳥獣対策協議会				44	44		有害鳥獣捕獲	日帰り
24	5	1	京都大学農学研究科・森林生態学分野			1		1		孟宗竹林の見学	日帰り
25	5	1	住化エンバイロメンタルサイエンス?				1	1		新規ヤマビル忌避剤(テープ型)の開発	日帰り
26	5	2	神奈川県立生命の星・地球博物館	10		2		12		地下生菌およびそれらに類縁な地上生きのこ類の分類的・系統地理学的研究	清澄宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
27	5	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
28	5	2	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	4				4	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性。	清澄宿泊施設2
29	5	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
30	5	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
31	5	1	千葉大学大学院 理学研究院		1	1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
32	5	2	東京大学森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2				2	新田・袋山沢における水文観測と測量	清澄宿泊施設2
33	5	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科	3	2	5	(1)	10	シカの強度影響下における広葉樹二次林の修復可能性～土壌機能からの検証～	清澄宿泊施設2
34	5	13	東京大学大学院新領域創成科学研究科				13	13	ニホンジカの増加に伴うマダニ媒介リケッチア症「日本紅斑熱」の感染拡大の分析	清澄宿泊施設2
35	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	2				2	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
36	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1				1	森林科学基礎実習1の下見(採集植物の検討)	日帰り
37	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	22			1	23	春の研修会	日帰り
38	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3	8			11	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	日帰り
39	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	26		1	16	43	利用者説明会	日帰り
40	5	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	2		1		3	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
41	5	2	日本大学生物資源科学部		6	4		10	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
42	6	1	Department of Agriculture and Water Resources	1	(1)			1	(1) 森林の生物被害研修	日帰り
43	6	2	宇都宮大学農学部森林科学科	4	70	2		76	樹木学実習	清澄宿泊施設
44	6	22	鴨川市有害鳥獣対策協議会				34	34	有害鳥獣捕獲	日帰り
45	6	1	鴨川市和泉財産区				16	16	和泉地区所有山林の視察	日帰り
46	6	2	慶応義塾大学生物学教室	4				4	森林性両生類のモニタリングおよび生態特性に関する調査	日帰り
47	6	1	森林総合研究所・きのこ・森林微生物研究領域微生物生態室	3				3	日本における樹木疫病菌被害の発生リスク評価	日帰り
48	6	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
49	6	1	千葉県森林インストラクター会				12	12	自然観察会	日帰り
50	6	2	千葉県立君津青葉高等学校	4			24	28	環境系列2年生 校外学習	清澄宿泊施設
51	6	1	千葉県立中央博物館 資料管理研究科	1			1	2	千葉演習林内に産する大型菌類(きのこ類)相の調査	日帰り
52	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
53	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
54	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
55	6	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
56	6	1	千葉大学大学院 理学研究院	1	1	1		3	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
57	6	1	東京大学 地震研究所技術部	1				1	地震観測機器点検, 設備撤去工事立会検査	日帰り
58	6	5	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林科学専攻	14	86	11	(1)	111(1)	森林科学基礎実習1	清澄宿泊施設
59	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	38			44	教養学部総合科目「森林環境資源学」現地実習	清澄宿泊施設
60	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6	4			10	教養学部全学ゼミナール「君はスギとヒノキのことを本当に知っているのか? (入門編)」	清澄宿泊施設
61	6	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	3				3	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
62	6	1	箱根植木株式会社				3	3	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
63	7	19	鴨川市有害鳥獣対策協議会				25	25	有害鳥獣捕獲	日帰り
64	7	1	慶応義塾大学・経済学部	1			1	2	アンドインタケの系統分類学的研究	日帰り
65	7	2	慶応義塾大学生物学教室	4				4	森林性両生類のモニタリングおよび生態特性に関する調査	日帰り
66	7	8	所属なし				8	8	写生のため	日帰り
67	7	1	森林総合研究所 林木育種センター遺伝資源部・探索収集課				4	4	ユリノキの成長・遺伝変異の解明、優良系統の選抜	日帰り
68	7	2	千葉演習林ボランティア会 Abies				2	2	高校生のための森と海のゼミナールのサポート	日帰り
69	7	9	千葉県環境生活部大気保全課				11	11	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
70	7	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
71	7	1	千葉県立中央博物館 資料管理研究科	1			1	2	千葉演習林内に産する大型菌類(きのこ類)相の調査	日帰り
72	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	3				3	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
73	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
74	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
75	7	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
76	7	1	千葉大学大学院 理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
77	7	7	筑波大学大学院 生命環境科学研究科				7	7	人工林景観におけるコウモリの保護に関する基礎研究	清澄宿泊施設2
78	7	6	東京大学 大学院農学生命科学研究科生物多様性科学研究室				6	6	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
79	7	4	東京大学 大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	32(3)	28(7)	24(5)	4(1)	88(16)	海南大学サマープログラム「東京大学演習林で学ぶ森林管理」	清澄宿泊施設
80	7	8	東京大学大学院新領域創成科学研究科				8	8	ニホンジカの増加に伴うマダニ媒介リケッチア症「日本紅斑熱」の感染拡大の分析	清澄宿泊施設2
81	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 国際森林環境学研究室			1(1)		1(1)	リモートセンシングによるナラ枯れの把握	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
82	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	10			21	31	高校生ゼミナール	清澄宿泊施設
83	7	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	2		1		3	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
84	7	10	日本大学生物資源科学部	3	35	30		68	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
85	7	1	箱根植木株式会社				3	3	種子の採取地調査・種子採取	日帰り
86	8	1	一般財団法人自然環境研究センター				6	6	千葉演習林での調査捕獲に向けた現地地下見	日帰り
87	8	1	茨城大学農学部食生命科学科	1	1	2		4	シバヤナギに形成される虫えい(ゴール)の形成機構の解明	日帰り
88	8	23	鴨川市有害鳥獣対策協議会				41	41	有害鳥獣捕獲	日帰り
89	8	6	京都大学理学部地質学鉱物学教室	18	66	12		96	課題演習E2(地質調査法実習)	清澄宿泊施設
90	8	1	所属なし				1	1	クスノキ林の見学	日帰り
91	8	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
92	8	2	千葉県昆虫談話会				16	16	千葉県における昆虫相の調査	札郷宿泊施設
93	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	3				3	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
94	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
95	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
96	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
97	8	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
98	8	1	千葉大学大学院 理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(メンテナンス)	日帰り
99	8	1	千葉大学大学院 理学研究院	4 (2)			1 (1)	5 (3)	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(観測点の視察)	日帰り
100	8	3	東京大学教育学部附属中等教育学校	12	3		79	94	中高生夏季生物教室	日帰り
101	8	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科	5		5		10	シカの強度影響下における広葉樹二次林の修復可能性～土壌機能からの検証～	清澄宿泊施設2
102	8	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科			3		3	カエデ属の繁殖戦略について	清澄宿泊施設2
103	8	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科			5		5	ニホンジカとイノシシの共存環境における環境への影響	清澄宿泊施設2
104	8	7	東京大学大学院新領域創成科学研究科			7		7	ニホンジカの増加に伴うマダニ媒介リケッチア症「日本紅斑熱」の感染拡大の分析	清澄宿泊施設2
105	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明(スギの枝の採取)	日帰り
106	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	1				1	人工二段林の成長予測に関する研究	日帰り
107	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1				1	新田・袋山沢における水文観測と測量	日帰り
108	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林		3			3	学生の体験活動プログラム「演習林の研究を支えよう～日本最初の大学演習林で体験する三つの縁の下～」	清澄宿泊施設2
109	8	7	東京大学理学研究科・地球惑星科学専攻	28	83	42		153	東京大学地球環境科学科野外調査実習(1)	清澄宿泊施設
110	8	6	日本地質学会関東支部清澄FC実行委員会	15	12			27	フィールド調査の継承・発展のための地質調査の基礎的訓練	清澄宿泊施設



No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
111	8	1	箱根植木株式会社				3	3	種子の採取地の調査・種子採取	日帰り
112	9	8	鴨川市有害鳥獣対策協議会				13	13	有害鳥獣捕獲	日帰り
113	9	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				7	7	どんぐり拾いと加工	日帰り
114	9	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
115	9	1	千葉県農林水産部森林課	2				2	ナラ枯れ対策の相談	日帰り
116	9	1	千葉県立中央博物館 資料管理研究科	1			1	2	千葉演習林内に産する大型菌類(きのこ類)相の調査	日帰り
117	9	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
118	9	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
119	9	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
120	9	6	千葉大学理学研究院地球科学	24	144	12		180	理学部地球科学科選択必修科目(地質学野外実験2、地殻構造学野外実験1)	清澄宿泊施設
121	9	5	東京大学大学院新領域創成科学研究科	5		8	(1)	13	シカの強度影響下における広葉樹二次林の修復可能性～土壌機能からの検証～	清澄宿泊施設2
122	9	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1		1		2	ニホンジカとイノシシの共存環境における環境への影響	清澄宿泊施設2
123	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1		1		2	スギこぶ病菌の生態の解明(スギの枝の採取)	日帰り
124	10	1	LLP法人日中百人委員会	18			(18)	18	森林植育、保護及び松材線虫病の被害と防除	日帰り
125	10	1	NHK千葉放送局				1	1	ニュースの取材	日帰り
126	10	1	一般財団法人自然環境研究センター				3	3	千葉演習林での調査捕獲に向けた現地見、自動撮影カメラ設置	清澄宿泊施設2
127	10	1	一般財団法人自然環境研究センター				4	4	千葉演習林におけるニホンジカ調査捕獲実施エリアの台風被害状況確認	日帰り
128	10	4	鴨川市有害鳥獣対策協議会				6	6	有害鳥獣捕獲	日帰り
129	10	1	住化エンバイロメンタルサイエンス?				1	1	新規ヤマビル忌避剤(テープ型)の開発	日帰り
130	10	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
131	10	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	3				3	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
132	10	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
133	10	1	千葉大学大学院理学研究院	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(観測点の視察)	日帰り
134	10	11	東京大学大学院新領域創成科学研究科	11		11		22	ニホンジカとイノシシの共存環境における環境への影響	清澄宿泊施設2
135	10	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科			3	(1)	3	シカの影響で劣化した広葉樹林生態系の機能回復実験	清澄宿泊施設2
136	10	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科			2		2	ニホンジカの増加に伴うマダニ媒介リケッチア症「日本紅斑熱」の感染拡大の分析	清澄宿泊施設2
137	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3		20	(3)	23	生圏システム学特論	清澄宿泊施設
138	10	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
139	10	2	東京農工大学農学部地域生態システム学科		2			2	イノシシが森林生態系に及ぼす影響の研究手伝い	清澄宿泊施設2
140	11	1	安房土木事務所鴨川出張所				2	2	本沢林道調査	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
141	11	30	一般財団法人自然環境研究センター				43	43	千葉演習林におけるニホンジカ調査捕獲	札郷宿泊施設
142	11	1	株式会社加瀬建設				1	1	伐木等業務特別教育補講	日帰り
143	11	6	鴨川市有害鳥獣対策協議会				6	6	有害鳥獣捕獲	日帰り
144	11	1	鴨川市立天津小湊小学校	2			27	29	5年生 総合的な学習での森林についての理解を深めるため	日帰り
145	11	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
146	11	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
147	11	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
148	11	1	草川原水利組合				2	2	草川原用水の被害調査	日帰り
149	11	1	草川原水利組合				5	5	草川原用水の現状確認	日帰り
150	11	3	大阪府立大学大学院理学系研究科	9			36	45	日本植物分類学会2019年度野外研修会	清澄宿泊施設
151	11	1	東京大学大学院農学科学部附属演習林千葉演習林	23				23	秋の研修会とチェンソー補講	日帰り
152	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	1	10	1		12	森圏管理学実習	日帰り
153	11	1	東京都市大学知識工学部自然科学科	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り
154	11	2	二羽林業				9	9	支障木の伐倒、払い下げ	日帰り
155	11	2	日本大学生物資源科学部	2	13	4		19	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札郷宿泊施設
156	12	1	安房土木事務所鴨川出張所				6	6	樹木の生長状況の観察	日帰り
157	12	1	一般財団法人自然環境研究センター				2	2	千葉演習林に於けるニホンジカ糞塊密度調査	日帰り
158	12	1	演習林教育研究センター	1		1	(1)	2	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	日帰り
159	12	8	鴨川市有害鳥獣対策協議会				9	9	有害鳥獣捕獲	日帰り
160	12	1	住化エンバイロメンタルサイエンス((株)) 研究開発本部				1	1	新規ヤマビル忌避剤(テープ型)の開発	日帰り
161	12	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
162	12	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
163	12	1	千葉大学大学院理学研究院	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(観測点の視察)	日帰り
164	12	1	千葉大学大学院理学研究院	1	2			3	ナチュラルヒストリー(カシノナガキクイムシの生態調査)	日帰り
165	12	1	草川原水利組合				7	7	台風豪雨災害による草川原用水設備の被害状況確認	日帰り
166	12	1	大日本コンサルタント株式会社関東支社国土保全技術部地盤防災室				3	3	急傾斜地崩壊危険区域の防空壕調査	日帰り
167	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	4		12		16	人工二段林の成長予測に関する研究	札郷宿泊施設
168	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林千葉演習林	12	8			20	全学体験ゼミ「フィールドで考える野生動物の保護管理」	清澄宿泊施設2
169	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林千葉演習林				17	17	鴨川市・東京大学交流事業「野鳥の巣箱をかけよう! (巣箱作り編)」	日帰り
170	12	1	東京都市大学知識工学部自然科学科生命科学研究室	1		1		2	酸性土壌における尿素処理によるアンモニア菌の発生	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
171	12	3	日本大学生物資源科学部	5	15	6		26	異質環境下におけるシカ・猪の個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札幌宿泊施設
172	12	1	農学生命科学研究科森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	1		2		3	森林伐採後の植生回復に伴う、河川流量・水質の長期的変化	日帰り
173	1	11	鴨川市有害鳥獣対策協議会				15	15	有害鳥獣捕獲	日帰り
174	1	1	慶応義塾大学・生物学教室	1				1	モミタケ発生地での植生・環境調査	日帰り
175	1	1	慶応義塾大学・生物学教室	1				1	森林性両生類の生息モニタリングおよび生態特性に関する調査	日帰り
176	1	1	森林総合研究所木育種センター遺伝資源部・探索収集課				2	2	コウヨウザン及びユリノキの成長・遺伝変異の解明、優良系統の選抜	日帰り
177	1	9	千葉県環境生活部大気保全課				10	10	ダイオキシン類に係る大気環境調査及び非汚染地域大気環境調査	日帰り
178	1	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
179	1	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
180	1	1	千葉大学大学院理学研究院	1				1	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(観測点の視察)	日帰り
181	1	1	草川原水利組合				7	7	草川原用水の台風豪雨被害箇所の確認	日帰り
182	1	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科			1		1	シカの強度影響下における広葉樹二次林の修復可能性～土壌機能からの検証～	日帰り
183	1	4	東京大学大学院農学生命科学研究科			4		4	博士論文にかかる研究打合せ	清澄宿泊施設2
184	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6				6	小物林産物活用研究の打合せ	清澄宿泊施設2
185	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1		1		2	研究利用の相談と下見(ナラ枯れが甲虫相、主にカミキリムシ類に及ぼす影響を明らかにするため、ナラ枯れの履歴の異なる3演習林(千葉・生水・樹芸)で比較研究)	日帰り
186	1	2	北海道大学・FSC	2		1		3	天然林・スギ造林地	日帰り
187	2	16	鴨川市有害鳥獣対策協議会				19	19	有害鳥獣捕獲	日帰り
188	2	2	慶応義塾大学・生物学教室	2				2	モミタケ発生地での植生・環境調査	日帰り
189	2	1	千葉演習林ボランティア会 Abies				8	8	森林博物資料館一般公開のサポート活動	日帰り
190	2	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特異性	日帰り
191	2	1	草川原水利組合				5	5	草川原用水の台風豪雨被害箇所の確認	日帰り
192	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科		3	3		6	異質環境下におけるシカ・イノシシの個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札幌宿泊施設
193	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物・環境工学専攻	1		1		2	研究のデータ測定の下見	日帰り
194	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				9	9	森林博物資料館一般公開	日帰り
195	2	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	15	76			91	全学体験ゼミ「房総の森と生業(なりわい)を学ぶ」現地実習	清澄宿泊施設
196	2	5	日本大学生物資源科学部		25	10		35	異質環境下におけるシカ・猪の個体推定モデルと持続可能な管理システムの開発	札幌宿泊施設
197	3	13	鴨川市有害鳥獣対策協議会				14	14	有害鳥獣捕獲	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
198	3	1	森林総合研究所・きのこ・森林微生物研究領域微生物生態室				3	3	造林樹種における腐朽菌の採取とキクイムシ類の採取	日帰り
199	3	1	千葉県環境生活部自然保護課				3	3	ニホンジカ調査捕獲の結果報告	日帰り
200	3	2	千葉県環境生活部大気保全課				2	2	化学物質大気環境調査	日帰り
201	3	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	1				1	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
202	3	1	千葉県立中央博物館生態学・環境研究科	2				2	カシノナガキクイムシの生態調査、房総丘陵における清澄山系の昆虫相の特性	日帰り
203	3	3	千葉大学大学院園芸学研究科	3		12		15	タブノキ、シロダモ等各種植物に寄生するタマバエ類の虫こぶの調査	清澄宿泊施設
204	3	1	千葉大学大学院理学研究院	1		1		2	地震に関連する電磁気現象の観測学的研究(観測点の視察)	日帰り
205	3	1	草川原水利組合				2	2	草川原用水の復旧作業に係る打合せおよび林道鍵の受け取り	日帰り
206	3	1	東京大学 地震研究所技術部	2				2	定常的地震観測設備の保守	日帰り
207	3	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	4	10	2	2	18	数年前に利用した札郷宿舎周辺の森林の変化を観察する(附属学校生物部OB合宿)	札郷宿泊施設
208	3	1	東京大学森林科学専攻森林理水及び砂防工学研究室	2		2		4	森林伐採後の植生回復に伴う、河川流量・水質の長期的変化	日帰り
209	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科		1			1	カエデ属の繁殖戦略について(カエデ類の花成遺伝子解析)	日帰り
210	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科		1			1	カエデ属の繁殖戦略について(カエデ類の花成遺伝子解析)	日帰り
211	3	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科		1			1	カエデ属の繁殖戦略について(カエデ類の花成遺伝子解析)	日帰り
212	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1				1	森林科学基礎実習1の実習候補地の検討	日帰り
213	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林植物学研究室	1				1	スギこぶ病菌の生態の解明(スギの枝の採取)	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 3500

利用件数 213

## 2) 北海道演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30	(1)	30	樹木に寄生するアブノミヤクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
2	4	30	東京大学農学部（マレーシア サバ大学）		60	(2)		120	研究インターン（科研費研究補助：マレーシアで採集したサンプルの解析）	山部国際宿泊施設
3	4	2	首都大学東京都市環境部	2	2			4	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
4	4	1	森林総合研究所北海道支所	2				2	マルチセンサを用いた天然林の持続的管理のためモニタリング手法の開発	日帰り
5	5	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31	(1)	31	樹木に寄生するアブノミヤクイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
6	5	31	東京大学農学部（マレーシア サバ大学）		62	(2)	62	124	研究インターン（科研費研究補助：マレーシアで採集したサンプルの解析）	山部国際宿泊施設
7	5	12	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			12	(1)	12	天然林における樹齢情報と生存時間解析に基づく伐採木の選定	山部宿泊施設
8	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防除に関する研究	日帰り
9	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				7	7	ぶらり東大の森さんぽ ～新緑の「カツラの谷」訪ねる～	日帰り
10	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			2		2	ブナの通水特性の産地間変異	山部宿泊施設
11	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物研究室	3		3		6	暗色雪腐病菌の伝播・繁殖様式の解明	山部宿泊施設
12	5	4	東京大学農学生命科学研究科	4	(1)	4		8	北海道演習林の樹木フェノロジーデータの解析に関する研究	山部国際宿泊施設
13	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	3				3	森林の物理空間構造とコウモリ類の関係に関する研究打合せ	山部宿泊施設
14	5	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	3	3		7	エゾモンカ・ヒメスズメ調査	日帰り
15	5	3	北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室			6		6	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
16	5	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	2	3		6	エゾモンカ・ヒメスズメ調査	日帰り
17	5	2	北海道大学大学院農学研究院森林生態系管理学研究室			2		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
18	5	4	東京農工大学		4			4	森林の物理空間構造とコウモリ類の関係に関する研究	山部宿泊施設
19	5	1	NPO法人富良野自然塾				6	6	東京大学の森育成資金 記念樹の見学	日帰り
20	5	3	基礎生物学研究所	6				6	鱗翅目昆虫における無核精子の機能	山部宿泊施設
21	5	1	株式会社ルラルエンジニア札幌支店				2	2	富良野地区における生息調査	日帰り
22	5	1	株式会社ルラルエンジニア札幌支店				2	2	富良野地区における生息調査	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
23	5	2	Australia Government Department of Agriculture and Water Resources	2 (2)				2 (2)	北海道演習林の林分施業法の見学	宿泊なし
24	5	2	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				6	6	富良野地区における生息調査	日帰り
25	6	2	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林教育研究センター	4		2 (2)		6	グイマツ雑種F1（クリーンラー チ）のゲノム選抜	山部宿泊施設
26	6	30	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林教育研究センター			30 (30)		30	樹木に寄生するアブノミヤクイムシ類の 攻撃性に関する研究	山部国際宿泊 施設
27	6	30	東京大学農学部（マ レーシア サバ大学）		60 (60)	60		120 (60)	研究インターン（科研費研究補 助：マレーシアで採集したサンプ ルの解析）	山部国際宿泊 施設
28	6	30	東京大学農学生命科学 研究科	30 (30)		30		60 (30)	北海道演習林の樹木フェノロジー データの解析に関する研究	山部国際宿泊 施設
29	6	5	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林北海道演習林	45				45	平成30年度 北海道東北地区大学 演習林等技術職員研修 テーマ： 森林におけるドローンの活用	セミナーハウ ス
30	6	1	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林北海道演習林				18	18	公開セミナー	日帰り
31	6	6	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林科学 専攻	4		6		10	Application of innovative remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan	山部宿泊施設
32	6	1	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林樹芸研究所	1				1	エゾマツの立ち枯れ病等の病害防 除に関する研究	日帰り
33	6	1	帯広畜産大学生命科学 研究部門	1	2	5		8	エゾモンガ・ヒメスミ調査	日帰り
34	6	1	北海道立総合研究所林 業試験場	3				3	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
35	6	2	北海道大学大学院農学 研究院森林生態系管理 学研究室			4		4	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	山部宿泊施設
36	6	1	帯広畜産大学環境生態 学分野保全生態学	1	1	1		3	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
37	6	5	東京農工大学		5			5	森林の物理空間構造とコウモリ類 の関係に関する研究	山部宿泊施設
38	6	2	帯広畜産大学環境生態 学分野保全生態学			4		4	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
39	6	10	静岡大学農学部フィー ルドセンター	4	16			20	ダケカンバの光合成・呼吸の温度 適応能力の評価	山部宿泊施設
40	6	2	北海道大学農学部生態 系管理学研究室			4		4	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	山部宿泊施設
41	6	3	北海道地方環境事務所			4		4	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛 禽類生息状況調査及び巣箱の状況 調査・保守	日帰り
42	6	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
43	6	1	NPO法人富良野自然塾				5	5	東京大学の森育成資金 記念樹の 見学	日帰り
44	6	3	基礎生物学研究所	6				6	鱗翅目昆虫における無核精子の機 能	山部宿泊施設
45	6	1	富良野市立富良野東小 学校	13				13	富良野市教育研究会理科班第2ブ ロック研究会	宿泊なし

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
46	6	2	富良野市生涯学習センター	15	2		119	136	森林学習プログラム推進事業	日帰り
47	6	1	富良野市生涯学習センター	4				4	森林学習プログラム推進事業 プログラム改善指導	日帰り
48	7	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			31 (31)		31 (31)	樹木に寄生するアブノミヤケイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
49	7	18	東京大学農学部 (マレーシア サバ大学)		36 (36)	36		72 (36)	研究インターン (科研費研究補助: マレーシアで採集したサンプルの解析)	山部国際宿泊施設
50	7	31	東京大学農学生命科学研究科	31 (31)		31		62 (31)	北海道演習林の樹木フェノロジーデータの解析に関する研究	山部国際宿泊施設
51	7	31	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			31		31	Application of innovative remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan	山部国際宿泊施設
52	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				28	28	大麓山ハイキング登山会	日帰り
53	7	10	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			10 (10)		10 (10)	天然林における樹齢情報と生存時間解析に基づく伐採木の選定	山部宿泊施設
54	7	4	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4			4 (4)	8 (4)	シバ属の菌根共生に関する研究	山部宿泊施設
55	7	3	静岡大学農学部フィールドセンター		6			6	ダケカンバの光合成・呼吸の温度適応能力の評価	山部宿泊施設
56	7	1	帯広畜産大学保全生態学研究室	1	1	1		3	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
57	7	3	三重大学大学院生物資源学研究科	3		3		6	森林に生息する真菌類の多様性調査	山部宿泊施設
58	7	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	4	4		9	エゾモモンガ・ヒメスズメ調査	日帰り
59	7	3	名古屋大学大学院生命農学研究科	3	3	3		9	ブナの表現形質に関するゲノムワイド関連解析	山部宿泊施設
60	7	4	新潟大学大学院自然研究科環境科学専攻			4		4	空知層群・蝦夷層群の層序と海洋プレートの復元	山部宿泊施設
61	7	1	帯広畜産大学保全生態学研究室	1	1	1		3	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
62	7	1	千葉大学園芸学部	1				1	第四紀後半の日本海側多雪気候への植物相・植生の適応過程の解明	日帰り
63	7	1	忠南大学校	4 (4)				4 (4)	韓国研究者による日本の天然林施業の見学	宿泊なし
64	7	1	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
65	7	4	東京農工大学		4			4	森林の物理空間構造とコウモリ類の関係に関する研究	山部宿泊施設
66	7	4	首都大学東京都市環境部	4		4		8	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
67	7	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	11				11	キクイムシの生息地見学及び糞や食痕の採集	山部宿泊施設
68	7	3	スリジャヤワルダナブラ大学	3 (3)				3 (3)	JSPS C2C事業による相手国コーディネイターの招聘に伴う打合せと森林見学	山部宿泊施設
69	7	2	北海道大学大学院農学研究科森林生態系管理学研究室			2		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設
70	7	3	北海道立総合研究所林業試験場	6	3	3		12	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
71	7	3	北海道大学大学院農学 研究院森林生態系管理 学研究室		3	3		6	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	宿泊なし
72	7	1	帯広畜産大学保全生態 学研究室	1	2			3	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
73	7	1	富良野市生涯学習セン ター	6	2		45	53	森林学習プログラム推進事業	日帰り
74	7	3	国立研究開発法人医薬 基盤・健康・栄養研究 所	12				12	創薬を指向した植物エキスライブ ラリーの基盤構築に関する研究	山部宿泊施設
75	7	1	NPO法人どんころ野外 学校				48	48	南富良野町町民登山	日帰り
76	7	5	東京環境工科専門学校	10	65			75	東京大学北海道演習林における実 習に準ずる活動	セミナーハウ ス
77	7	1	株式会社ルールエンジニア札 幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
78	7	1	北海道札幌啓成高等学 校	2			19	21	北海道札幌啓成高等学校 S S H道 内研修 B (自然環境)	セミナーハウ ス
79	8	31	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林教育研究センター			31	(31)	31	樹木に寄生するアブノミアキムシ類の 攻撃性に関する研究	山部国際宿泊 施設
80	8	22	東京大学農学生命科学 研究科	22		20	(22)	42	北海道演習林の樹木フェノロジー データの解析に関する研究	山部国際宿泊 施設
81	8	26	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林科学 専攻			26	(26)	26	Application of innovative remote sensing and growth modeling techniques for the single-tree management system of high-value hardwood species in northern Japan	山部国際宿泊 施設
82	8	2	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林科学 専攻			2	(2)	2	天然林における樹齢情報と生存時 間解析に基づく伐採木の選定	山部宿泊施設
83	8	4	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林樹芸研究所	8	36			44	全学体験ゼミ「森に学ぶ(ふら の)」	山部宿泊施設
84	8	5	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林教育研究センター	5	10		(10)	15	全国スケールでの相互移植による 気候変動に対する北方針葉樹ダケ カンバの応答解明	山部宿泊施設
85	8	1	東京大学大学院農学生 命科学研究科附属演習 林北海道演習林	14		18	4	36	国際シンポジウムのエクスカ ション	日帰り
86	8	1	帯広畜産大学学生生命科学 研究部門	1	2	3		6	キウキウの生息地見学及び糞や食痕 の採集	日帰り
87	8	6	静岡大学農学部フィー ルドセンター	6				6	ダケカンバの光合成・呼吸の温度 適応能力の評価	山部宿泊施設
88	8	2	北海道大学				4	4	研究に関する専門的知見からの助 言	日帰り
89	8	1	北海道大学大学院農学 院環境フロンティア コース			1		1	風倒攪乱とその後の施業が北方林 生態系の炭素収支に与える長期的 影響に関する研究	日帰り
90	8	1	横浜国立大学環境情報 研究室	4	2	1		7	冷温帯林における冬季の環境スト レスと雪腐病菌が樹木群集構造に 与える影響	日帰り
91	8	1	帯広畜産大学保全生態 学研究室		2			2	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
92	8	1	北海道大学農学院環境 フロンティアコース	1		2		3	冷温帯石灰岩の外生性菌根菌相	日帰り
93	8	2	宇都宮大学農学部森林 科学科		6			6	北海道演習林の林分施業法及び各 種試験研究地の見学	山部宿泊施設
94	8	1	帯広畜産大学保全生態 学研究室		2			2	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	山部宿泊施設



No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
95	8	5	山口大学大学院創成科学研究科	5	10			15	富良野地域に分布する珪長質火成岩類の地質学的・岩石学的研究	山部宿泊施設
96	8	1	北海道大学環境科学院			2	(2)	2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	山部長期宿泊施設
97	8	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	1	2		4	エゾモモンカ・ヒメネスミ調査	日帰り
98	8	4	神奈川大学外国語学部	44		12	16	72	富良野アメリカ研究セミナー	セミナーハウス
99	8	5	新潟大学大学院自然研究科環境科学専攻			5		5	空知層群・蝦夷層群の層序と海洋プレートの復元	山部宿泊施設
100	8	3	北海道大学地球環境科学院	1		9		10	河川環境が水族寄生虫相に及ぼす影響についての研究	山部宿泊施設
101	8	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
102	8	2	富良野市生涯学習センター	8		9		17	森林学習プログラム推進事業	日帰り
103	8	2	北海道札幌啓成高等学校	4		38		42	北海道札幌啓成高等学校SSH道内研修B(自然環境)	セミナーハウス
104	8	1	北海道水産林務部	5			(2)	5	フィンランド・リベリア林業専門学校招聘による林業教育プログラムの検討	
105	8	1	NHKエデュケーション・特集文化部			8		8	ETV特集「巨樹の声を聴く～千年の命」の撮影	日帰り
106	8	1	北海道帯広農業高等学校	1		40		41	森林科学科1年生宿泊研修	日帰り
107	8	2	株式会社三共コンサルタント			4		4	森林生態系多様性基礎調査に係わる森林内の調査	日帰り
108	8	1	JICA北海道研修業務課	2				2	林分施業法による持続的森林管理の経験とその普及展開の可能性	日帰り
109	9	30	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			30	(30)	30	樹木に寄生するアンブロンキウム類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
110	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	4	40	12		56	森林科学総合実習	セミナーハウス
111	9	12	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			12	(12)	12	天然林における樹齢情報と生存時間解析に基づく伐採木の選定	山部宿泊施設
112	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	丸山沢量水観測機器の更新作業	山部宿泊施設
113	9	3	東京大学空間情報科学研究センター	3				3	自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明	山部宿泊施設
114	9	3	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	3		15		18	新領域・自然科学専攻 領域景観学実習	セミナーハウス
115	9	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	3	2		6	エゾモモンカ・ヒメネスミ調査	日帰り
116	9	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		2			2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
117	9	4	筑波大学大学院生命環境系	8	36	40	4	88	筑波大学林政学分野大学生・大学院生実習	セミナーハウス
118	9	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		2			2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
119	9	7	首都大学東京都市環境部	7				7	モミ属を加害するキクイムシ類の調査	山部宿泊施設
120	9	2	富良野市生涯学習センター	20		35		55	森林学習プログラム推進事業	日帰り
121	9	1	北海道新聞社富良野支局			1	1	1	樹海小・山部小の森林学習の取材	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
122	9	2	北海道立総合研究機構 林業試験場	8				8	流域サイズの違いと地下水の寄与を考慮した窒素流出負荷評価方法の検討	山部宿泊施設
123	9	1	株式会社テレビ朝日				1	1	テレビ撮影 「やすらぎの刻〜道」	日帰り
124	9	1	NPO法人富良野自然塾				2	2	富良野自然塾 機関誌取材	日帰り
125	9	1	尾瀬ネイチャーガイドの会				7	7	北海道演習林の森林観察	日帰り
126	9	1	MIT総合法律事務所	11			5	16	1994年に植栽した樹木（記念樹）の生育状況についての視察	日帰り
127	10	31	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				31	31	樹木に寄生するアブノミアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
128	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林				14	14	神社山自然観察路一般公開	日帰り
129	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6	3			9	全国スケールでの相互移植による気候変動に対する北方針葉樹ダケカンバの応答解明	山部宿泊施設
130	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	3				3	残務整理	山部宿泊施設
131	10	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物研究室	4		4		8	暗色雪腐病菌の伝播・繁殖様式の解明	山部宿泊施設
132	10	1	帯広畜産大学生命科学研究部門	1	1	3		5	エゾモモンガ・ヒメズミ調査	日帰り
133	10	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
134	10	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
135	10	1	帯広畜産大学保全生態学研究室		2			2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
136	10	1	帯広畜産大学保全生態学研究室	1		1		2	気候変動下における河川生態系のレジリエンス	日帰り
137	10	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				3	3	富良野地区における生息調査	日帰り
138	10	1	一般社団法人ジョフカ	2			12	14	地域住民の参加による持続的な森林管理（JICA研修）	日帰り
139	10	1	酪農学園とわの森三愛高校	2			15	17	道内研修	日帰り
140	10	1	富良野保健所	8				8	保健所生活衛生課環境衛生業務連絡会議	日帰り
141	10	1	NPO法人 もりねっと北海道				20	20	もりねっと「森薪塾」天然林施業見学研修	日帰り
142	11	26	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				26	26	樹木に寄生するアブノミアキイムシ類の攻撃性に関する研究	山部国際宿泊施設
143	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	業務引継ぎのための打合せと教員会議への出席	山部宿泊施設
144	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	2				2	北海道演習林視察及び技術職員との懇談会	山部宿泊施設
145	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	18	3	(3)		21	グイマツ雑種F1（クリーンラーチ）のゲノム選抜	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
146	11	4	北海道大学大学院農学 研究院森林生態系管理 学研究室			8		8	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	山部宿泊施設
147	11	1	帯広畜産大学保全生態 学研究室		1	1		2	気候変動下における河川生態系の レジリエンス	日帰り
148	11	2	弘前大学農学生命科学 部附属白神自然環境セ ンター	2				2	豪雪地帯の雪の下で活動する昆虫 群集の解明	山部宿泊施設
149	11	1	富良野市生涯学習セン ター				12	12	森林学習プログラム推進事業	日帰り
150	11	1	北海道森林管理局上川 北部森林管理署				15	15	天然林の択伐施業について	日帰り
151	11	2	北海道立総合研究機構 林業試験場	12				12	水資源開発・管理のための支援シ ステム「水資源Navi」の開発	日帰り
152	11	1	株式会社ルーラルエンジニア 札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
153	12	5	東京大学大学院農学生 命科学研究科森林科学 専攻			5		5	天然林における樹齢情報と生存時 間解析に基づく伐採木の選定	山部宿泊施設
154	12	1	弘前大学農学生命科学 部附属白神自然環境セ ンター	1				1	豪雪地帯の雪の下で活動する昆虫 群集の解明	日帰り
155	12	1	富良野市生涯学習セン ター				10	10	森林学習プログラム推進事業	日帰り
156	12	1	森林総合研究所	1				1	カバノキ類の着花結実動態に関す る研究調査	日帰り
157	1	1	東東京大学大学院農学 生命科学研究科附属演 習林樹芸研究所	1				1	環境安全管理に関する意見交換	宿泊なし
158	1	23	チェンマイ大学	23 (23)				23 (23)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ 類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊 施設
159	1	4	東北林業大学	4 (4)				4 (4)	東京大学北海道演習林の組織・運 営・研究に関する情報収集	宿泊なし
160	1	4	北海道地方環境事務所				4	4	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛 禽類生息状況調査及び巣箱の状況 調査・保守	日帰り
161	1	1	株式会社ルーラルエンジニア 札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
162	1	1	有限会社谷口種苗農園				2	2	樹木園のグイ系F1見学	日帰り
163	1	1	北海道新聞社旭川報道 部				1	1	銘木市への出荷戦略の歴史と現状 について取材	日帰り
164	2	20	東京大学農学部（マ レーシア サバ大学）		40 (40)			40 (40)	研究インターン（科研費研究補 助：マレーシアで採集したサンプ ルの解析）	山部国際宿泊 施設
165	2	15	東京大学教育学部		15			15	東京大学体験活動プログラム「森 が社会に貢献するー持続可能な森 づくりへの挑戦ー」	山部宿泊施設
166	2	29	チェンマイ大学	29 (29)				29 (29)	タイ山岳地帯におけるキクイムシ 類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊 施設
167	2	3	東北林業大学	3 (3)				3 (3)	東京大学北海道演習林の組織・運 営・研究に関する情報収集	宿泊なし
168	2	2	弘前大学農学生命科学 部附属白神自然環境セ ンター	2				2	豪雪地帯の雪の下で活動する昆虫 群集の解明	山部宿泊施設
169	2	1	北海道地方環境事務所				1	1	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛 禽類生息状況調査及び巣箱の状況 調査・保守	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
170	2	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
171	2	1	光南日報（韓国）				2	2	韓国の新聞社の取材・見学	日帰り
172	2	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
173	3	31	東京大学農学部（マレーシア サバ大学）		62		(62)	62	研究インターン（科研費研究補助：マレーシアで採集したサンプルの解析）	山部国際宿泊施設
174	3	4	チェンマイ大学	4			(4)	4	タイ山岳地帯におけるキクイムシ類群集と樹木の関係の解析	山部国際宿泊施設
175	3	2	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境センター	2				2	豪雪地帯の雪の下で活動する昆虫群集の解明	宿泊なし
176	3	1	北海道地方環境事務所				2	2	猛禽類の保護増殖事業に関わる猛禽類生息状況調査及び巣箱の状況調査・保守	日帰り
177	3	1	株式会社ルーラルエンジニア札幌支店				4	4	富良野地区における生息調査	日帰り
178	3	1	南富良野町教育委員会				4	4	南富良野町千里大学 史跡めぐり（下見）	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 2722

利用件数 178

### 3) 秩父演習林

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	卒業研究のための調査地下見・実験準備	影森自炊宿舍
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
3	4	27	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			27		27	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	影森自炊宿舍
4	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	
5	4	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舍
6	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
7	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
8	4	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
9	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
10	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	卒業研究のための実験	影森自炊宿舍
11	4	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舍
12	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
13	4	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	4				4	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認	テント・幕営
14	4	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認/大プロ鉄塔機材確認撤去	
15	4	1	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	1				1	シオジの開花結実特性	
16	4	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				3	3	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
17	4	1	サントリーホールディングス(株)				4	4	ウイスキー仕込み水の探索	
18	4	1	埼玉県立川の博物館	1		1		2	ヒガシヒダサンショウウオHynobius fossigenusの生息調査	
19	4	1	埼玉県茶業研究所	3				3	茶の山間冷涼地育種	
20	4	2	埼玉昆虫談話会				6	6	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
21	4	1	なし				1	1	鳥類・生態系調査(温度ロガー調査、録音機設置)	
22	5	13	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			13		13	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	影森自炊宿舍
23	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
24	5	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
25	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科・森林科学専攻	1	2			3	微生物群集機能に基づく樹木の材腐朽進展プロセスの解明に関する試料採集	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
26	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1	1	1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	
27	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		10			10	全学体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)
28	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
29	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1	1			2	秩父山地におけるカエデ属Palmata節ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑の実態	
30	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
31	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温度モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
32	5	2	東京大学農学部森林生物学専修	4 (2)	2 (2)			6 (4)	オサムシ科昆虫の生態と溪流との関係	栃本自炊宿舎
33	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	1				1	不嗜好性植物の急速な個体数増加に関する調査地下見	
34	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	秩父山地と北上山地に隔離分布する石灰岩植物の遺伝的多様性	
35	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	
36	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	2	4		8	不嗜好性植物の急速な個体数増加に関する調査地下見	影森自炊宿舎
37	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
38	5	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	秩父山地と北上山地に隔離分布する石灰岩植物の遺伝的多様性	影森自炊宿舎
39	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				11	11	春のガイドツアー「新緑の大血川溪畔林を歩こう」	
40	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカ不嗜好性植物の遺伝的多様性に関する研究打ち合わせ・サンプル整理	
41	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2				2	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認	栃本自炊宿舎
42	5	3	東京大学新領域創成科学研究科	3		3 (3)		6 (3)	シナノキと共生する菌根菌の群集構造	川俣自炊宿舎
43	5	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター	1				1	シオジの開花結実特性	
44	5	1	職業能力開発短期大学校東京建築カレッジ	10			15	25	樹木園の見学	
45	5	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣自炊宿舎
46	5	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	川俣自炊宿舎
47	5	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
48	5	2	秩父農工科学高等学校	46			206	252	学校総合体育大会 登山の部 開催のため	テント・幕営
49	5	1	埼玉県立川の博物館	1				1	タゴガエルの生息調査	
50	5	1	秩父樹液生産共同組合	6			53	59	薬用林産資源の現地調査	
51	5	1	千葉県森林インストラクター会				8	8	森に親しむ野外講座(現地研修および安全研修)	
52	5	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査)	テント・幕営
53	5	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オープンデータの回収、ミヤマスカシユリの鉢の確認	
54	5	2	埼玉昆虫談話会				8	8	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣自炊宿舎

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
55	5	1	秩父宮記念三峯山博物館				2	2	野生動物調査(設置されているカメラのメンテナンス)		
56	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		10			10	全体体験ゼミナール「春の奥秩父を巡る」現地講義	川俣学生宿舎(食事あり)	
57	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	2				2	「森林科学基礎実習?」の調査地下見		
58	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			1		1	冷温帯原生林における成長量と樹種構成の長期的な変化		
59	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	3	21		27	ニホンジカの植食圧が樹木および萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎	
60	6	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	4	4	22		30	ニホンジカの植食圧が樹木および萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎	
61	6	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス		
62	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎	
63	6	2	東京大学農学部森林生物科学専修	4	2			6	オサムシ科昆虫の生活史特性と溪流からの距離の関係	栃本自炊宿舎	
64	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温量モデルのパラメータ推定のための恒温実験		
65	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1		2	倒木更新におけるコケ植物-シアノバクテリア-菌根菌共生系の窒素供給機構の解明		
66	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎	
67	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性		
68	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎	
69	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究課生態圏システム学専攻	2	2			4	秩父山地におけるカエデ属Palmata節ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑の実態	川俣学生宿舎(自炊泊)	
70	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎	
71	6	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認		
72	6	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト・山火事跡プロット杭確認		
73	6	1	東京大学空間情報科学研究センター小林研究室	4				4	画像・音声モニタリングによるフェノロジーの長期的変化の把握(代表:中村和彦)		
74	6	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性		
75	6	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立		
76	6	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究		
77	6	1	千葉県森林インストラクター会				42	42	森に親しむ野外講座(ガイド実践研修)		
78	6	1	Department of Agriculture and Water Resources (Australia)	1	(1)			1	(1)	森林の生物害研修	
79	6	2	グリーンスピリッツ協議会				18	18	秩父演習林見学	川俣学生宿舎(食事あり)	
80	6	1	NPO 秩父百年の森				2	2	秩父地域におけるミネカエデの分布状況に関する研究		

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
81	6	2	埼玉昆虫談話会				14	14	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
82	6	1	埼玉県立自然の博物館	1				1	秩父山地におけるミネカエデの分布に関する研究	
83	6	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オープンデータの回収、調査用アサガオ苗の植え付け、設置したミヤマスカシユリの確認	
84	6	1	埼玉県茶業研究所	5				5	茶の山間冷涼地育種	
85	6	1	奥秩父山塊イヌワシ調査グループ				1	1	奥秩父地域における大型猛禽類の生息実態調査	
86	6	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	ブナ実生の採取	
87	6	1	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所	3				3	日本の森林における樹木疫病菌被害の発生リスク評価	
88	7	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	
89	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				4	4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
90	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2 (1)				2 (1)	スリジャヤワルダナプーラ大学(スリランカ)Singhakumara先生の案内	
91	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
92	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林		1			1	秩父山地におけるカエデ属Palmata節ヒナウチワカエデとコハウチワカエデの交雑の実態	
93	7	2	東京大学農学部森林生物学専攻		2			2	オサムシ科昆虫の生活史特性と溪流からの距離の関係	栃本自炊宿舎
94	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
95	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				4	4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
96	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー:積算温度モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
97	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				4	4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
98	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	
99	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	4	2		8	シカ不嗜好性植物の遺伝的多様性に関する研究打ち合わせ・サンプル整理・分析	影森自炊宿舎
100	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				3	3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
101	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				3	3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
102	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	
103	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				28	28	公開講座「東大の森林で昆虫採集」	川俣学生宿舎(食事あり)
104	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻	14	40	14		68	森林科学基礎実習3の野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
105	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	4		2		6	画像・音声モニタリングによるフェノロジーの長期的変化の把握	栃本自炊宿舎



No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
106	7	2	東京大学農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	栃本自炊宿舎
107	7	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
108	7	1	東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科森林生態学研究室	1	1	1		3	本研究室の実習の一環である植物観察会の現場下見・相談	
109	7	1	千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野バイオリソース管理室	1	1			2	昆虫病原糸状菌の分類学的研究	
110	7	1	千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野バイオリソース管理室		2			2	昆虫病原糸状菌の分類学的研究	
111	7	1	埼玉県立秩父農工科学高等学校	2			41	43	樹木採集実習 50種の枝葉の採取	
112	7	1	埼玉県寄居林業事務所森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
113	7	1	特定非営利活動法人バードリサーチ	1				1	モニタリングサイト1000 鳥類調査	
114	7	1	秩父宮記念三峯博物館				2	2	野生動物調査(設置されているカメラのメンテナンス)	
115	7	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査)	テント・幕営
116	7	2	埼玉昆虫談話会				12	12	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
117	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	21	60	21		102	森林科学基礎実習3の野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
118	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻	6	51	6		63	バイオマス科学実習・森林科学実習	外部宿泊
119	8	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
120	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2				2	山地河川の水利特性解明に向けた研究	栃本自炊宿舎
121	8	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
122	8	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
123	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	シカ不嗜好性植物の遺伝的多様性に関する研究打ち合わせ・サンプル整理・分析	影森自炊宿舎
124	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
125	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
126	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
127	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
128	8	2	東京大学農学部森林生物学専修		2			2	オサムシ科昆虫の生活史特性と溪流からの距離の関係	栃本自炊宿舎
129	8	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナ木部の水分通導特性の解明	
130	8	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナ木部の水分通導特性の解明	
131	8	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナ木部の水分通導特性の解明	
132	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
133	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	秩父山地と北上山地に隔離分布する石灰植物チチブミネバリの遺伝的多様性	
134	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	
135	8	4	首都大学東京理学研究科生命科学専攻	4	64			68	動物系統学野外実習	川俣学生宿舎(食事あり)
136	8	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
137	8	1	筑波大学生命環境系山岳科学センター 菅平高原実験所				6	6	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
138	8	1	千葉大学真菌医学研究センター 微生物資源分野 パイロリクス管理室	1				1	昆虫病原糸状菌の分類学的研究	
139	8	1	千葉大学真菌医学研究センター 微生物資源分野 パイロリクス管理室	1		1	1	3	昆虫病原糸状菌の分類学的研究	
140	8	1	筑波大学生命環境系山岳科学センター 菅平高原実験所				5	5	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
141	8	1	埼玉県寄居林業事務所 森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
142	8	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータ回収、ミヤマスカシユリの確認、アサガオ被害調査	
143	8	1	埼玉県茶業研究所	4				4	茶の山間冷涼地育種	
144	8	2	なし				2	2	鳥類調査(標識調査)	テント・幕営
145	8	2	埼玉県立蕨高等学校	16			52	68	荒川流域の森林調査・水生生物調査を通して荒川流域の生態系と人間の関係を学ぶ	
146	8	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
147	8	2	埼玉昆虫談話会				16	16	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	川俣学生宿舎(自炊泊)
148	8	1	秩父宮記念三峯山博物館				2	2	野生動物調査(設置されているカメラのメンテナンス)	
149	8	3	秩父市立第二中学校				12	12	秩父市中学生社会体験チャレンジ事業	
150	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
151	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
152	9	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		9			9	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
153	9	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
154	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		6			6	シカ不嗜好性植物の遺伝的多様性に関する研究打ち合わせ・サンプル分析	影森自炊宿舎
155	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
156	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	3	3		9	シカ植食圧下における不嗜好性植物の急速な個体数増加が集団構造に及ぼす影響	栃本自炊宿舎
157	9	2	東京大学農学部森林植物学研究室			2		2	溪畔林樹種の通水特性調査	影森自炊宿舎
158	9	2	東京大学農学部森林植物学研究室			2		2	溪畔林樹種の通水特性調査	影森自炊宿舎
159	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
160	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	
161	9	8	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		8			8	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舍
162	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	3	8	9		20	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	栃本自炊宿舍
163	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	シカ不嗜好性植物の遺伝的多様性に関する研究打ち合わせ・サンプル分析	影森自炊宿舍
164	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1				1	樹木の開葉フェノロジー・積算温度モデルのパラメータ推定のための恒温実験	
165	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舍
166	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舍
167	9	1	東京農業大学 森林総合科学科 森林生態学研究室	2	34	5		41	研究室実習として植生調査を行う。	
168	9	1	筑波大学生命環境系 山岳科学センター 菅平高原実験所				4	4	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
169	9	1	筑波大学生命環境系 山岳科学センター 菅平高原実験所				4	4	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
170	9	1	筑波大学生命環境系 山岳科学センター 菅平高原実験所				3	3	スズタケに生じる菌類の分類・生態学的研究	
171	9	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
172	9	1	千葉大学真菌医学研究センター 微生物資源分野 バイオリソース管理室	1		1		2	昆虫病原糸状菌の分類学的研究	
173	9	1	Newcastle University				1 (1)	1 (1)	研究交流	
174	9	1	埼玉県寄居林業事務所 森林研究室	3				3	低コスト広葉樹林更新技術の確立	
175	9	1	秩父宮記念三峯山博物館				2	2	野生動物調査(設置されているカメラのメンテナンス)	
176	9	1	埼玉県立川の博物館				2	2	埼玉の森と林業(企画展示)の展示のため	
177	9	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オープンデータ回収、ミヤマスカシユリの確認	
178	9	1	なし				1	1	鳥類調査(標識調査)	
179	9	2	埼玉昆虫談話会				10	10	秩父演習林及びその周辺の昆虫相データベース構築(第4期)	日帰り
180	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	日帰り
181	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				2	2	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舍
182	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舍
183	10	2	東京大学農学部森林生物学専修		2			2	オサムシ科昆虫の生活史特性と溪流からの距離の関係	栃本自炊宿舍
184	10	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
185	10	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナ木部の水分通導特性の解明	
186	10	1	東京大学農学部森林植物学研究室				1	1	産地別ブナ木部の水分通導特性の解明	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
187	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林経理学研究室	2		10		12	人工林固定試験地測定	川俣学生宿舎(食事あり)
188	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が樹木萌芽の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
189	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	
190	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	1				1	画像・音声モニタリングによるフェノロジーの長期的変化の把握	
191	10	1	東京大学農学部森林植物学研究室			1		1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
192	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	
193	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	
194	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	全学体験ゼミナール「秋の奥秩父を巡る」現地講義	影森自炊宿舎
195	10	1	東京大学農学部森林植物学研究室			1		1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
196	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3	3		6	ニホンジカの植食圧が森林植生に及ぼす影響	影森自炊宿舎
197	10	2	東京大学空間情報科学研究センター	10		2		12	野生動物装着センサ網のための時間情報ネットワーク	栃本自炊宿舎
198	10	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科	1				1	サイバーフォレスト大プロ鉄塔機器撤去、機器移設	
199	10	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
200	10	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
201	10	1	埼玉県茶業研究所	3				3	茶の山間冷涼地育種	
202	11	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
203	11	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
204	11	1	東京大学農学部森林植物学研究室			1		1	産地別ブナの木部の水分通導特性の解明	
205	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	テント・幕営
206	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	テント・幕営
207	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3	2		5	ニホンジカの植食圧が森林植生に及ぼす影響	影森自炊宿舎
208	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	シカによる植生衰退がリター分解と栄養塩循環に及ぼす影響	
209	11	1	東京大学農学部生圏システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
210	11	2	東京大学農学部森林生物科学専修		2			2	オサムシ科昆虫の生活史特性と溪流からの距離の関係	栃本自炊宿舎
211	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
212	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チブミネバリの遺伝的多様性	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
213	11	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		5			5	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
214	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	
215	11	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		6			6	ニホンジカの植食圧が森林植生に及ぼす影響	影森自炊宿舎
216	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	ニホンジカの植食圧が森林植生に及ぼす影響	影森自炊宿舎
217	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	秩父山地と北上山地に隔離分布する石灰植物チチブミネバリの遺伝的多様性	
218	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			1		1	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	
219	11	2	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	2				2	シオジの開花結実特性	外部宿泊
220	11	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オンブデータ回収、ミヤマスカシユリの鉢の回収	
221	11	1	なし			1		1	ミズナラの結実実態調査	
222	11	1	なし			1		1	ミズナラの結実実態調査	
223	11	1	埼玉県茶業研究所	2				2	茶の山間冷涼地育種	
224	11	3	秩父第一中学校				12	12	中学生社会体験チャレンジ事業「仕事発見DAY」	
225	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	2	10			12	大学院講義 森林圏水循環機能学現地講義	影森自炊宿舎
226	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
227	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	日帰り
228	12	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
229	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
230	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
231	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
232	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	ニホンジカの植食圧が森林植生に及ぼす影響	影森自炊宿舎
233	12	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
234	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
235	12	1	東京大学農学部生圏システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
236	12	1	東京大学農学部附属演習林教育研究センター	2	3			5	山地河川の水利特性解明に向けた研究	
237	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	自動撮影カメラによる哺乳類の個体群動態と空間分布の解明	影森自炊宿舎
238	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
239	12	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
240	12	3	埼玉県秩父市立影森中学校				12	12	2年生社会体験事業(職場体験)	
241	12	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	
242	12	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	ミヤマスカシユリの鉢の設置	
243	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	温暖地域に移植した北方針葉樹の環境応答の解明	
244	1	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
245	1	1	東京大学農学部生圏システム学専攻森林圏生態学研究室				1	1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
246	1	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		4			4	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	日帰り
247	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		3			3	石灰岩植物チチブミネバリの遺伝的多様性	影森自炊宿舎
248	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
249	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		2			2	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	影森自炊宿舎
250	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	ニホンジカの植食圧が樹木および実生の動態に及ぼす影響	
251	1	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
252	1	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			5		5	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
253	1	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
254	1	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
255	1	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	栃本自炊宿舎
256	1	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	4				4	2020年10月開催予定「ブナ展(仮)」での展示用イヌブナ萌芽幹の採取	
257	1	1	埼玉県環境科学国際センター	2				2	オゾンデータの回収およびミヤマスカシユリの鉢の設置と確認	
258	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
259	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			3		3	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
260	2	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
261	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	気象データ解析研究会	
262	2	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
263	2	2	特定非営利活動法人バードリサーチ	2				2	モニタリングサイト1000 鳥類調査	栃本自炊宿舎
264	2	1	埼玉県環境科学国際センター	1				1	オゾン濃度計の回収およびミヤマスカシユリの鉢の確認	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
265	3	1	東京大学農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	自動撮影カメラのメディア交換、メンテナンス	
266	3	1	東京大学農学部生態システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
267	3	1	東京大学農学部生態システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
268	3	1	東京大学農学部生態システム学専攻森林圏生態学研究室			1		1	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	
269	3	2	東京大学農学部生態システム学専攻森林圏生態学研究室			2		2	地球温暖化がブナとゴール形成性タマバエのフェノロジカルミスマッチに及ぼす影響	影森自炊宿舎
270	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林		1			1	卒業研究に関する打ち合わせ	
271	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
272	3	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	6				6	業務のため	影森自炊宿舎
273	3	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
274	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			4		4	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
275	3	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林			2		2	シカによる植生衰退が森林の地上部-地下部相互作用に及ぼす影響	影森自炊宿舎
276	3	1	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	1				1	シオジの開花結実特性	
277	3	1	森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域 微生物生態研究室	3				3	造林樹種に被害を及ぼす腐朽菌種の特定と被害発生要因の解明	
278	3	1	埼玉県環境科学国際センター自然環境担当	1				1	ニホンジカによる森林植生への影響評価と植生回復に関する研究	

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1732

利用件数 278

#### 4) 田無演習林

No	月	日	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	環境地水学研究室	1		1		2	降雨による土壌呼吸と溶剤性物質の溶脱に関する研究(2019/4/26実験センサーの取り外しおよび片付けに来演)	
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	20			21	森林科学基礎実習?, 森林科学基礎実習?	
3	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1	5			6	森林土壌学実験	
4	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1				1	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
5	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター森林機能学研究室	1		1	(1)	2 (1)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響 Effects of ethylene and jasmonate on induction of gum/resin duct formation	
6	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	暗色雪腐病罹病苗の解剖学的研究	
7	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	2				2	北海道演習林新規採用職員の田無演習林見学	
8	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	1		1	(1)	2 (1)	スギとアーバスキュラー菌根菌の共生関係の解明	
9	4	4	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室			3	(3)	4 (3)	サクラ属における雑種不和合性に関する遺伝子の探索	
10	4	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	2				2	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスの植栽と利用	
11	4	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
12	4	3	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
13	4	1	グランジオ武蔵野グランジオクラブ				30	30	見学	
14	4	1	一般個人見学者				168	168	見学	
15	4	1	一般個人見学者				89	89	見学	
16	4	1	東久留米水辺の生きもの研究会				1	1	スギの葉の採集	
17	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室、森林動物学研究室	2	20			22	森林科学基礎実習1、森林科学基礎実習3	
18	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科国際植物材料科学研究室	4				4	幼竹バインダーレスマテリアルの開発	
19	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター森林機能学研究室	2		4	(4)	6 (4)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響 Effects of ethylene and jasmonate on induction of gum/resin duct formation	
20	5	3	東京大学農学部森林動物学研究室	1	3			4	卒業論文「局在する高価値資源を巡る昆虫の種内・種間競争」	
21	5	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				4	4	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生病リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
22	5	2	東京大学農学部森林植物学研究室		8			8	五月祭植木市で販売する苗木の下見と掘り取り	



No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
23	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	34	6			40	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子供に伝える自然体験ー」	
24	5	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター地域資源評価研究室	1	1			2	土壌生物相の評価	
25	5	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	2				2	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの植栽と利用	
26	5	1	早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻大谷淳研究室			4		4	環境モニタリングロボットの視覚機能に関する研究	
27	5	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
28	5	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
29	5	1	東京郵便局長OB会				40	40	見学	
30	5	1	実践学園中学校	5			84	89	校外授業	
31	5	1	一般個人見学者				110	110	見学	
32	5	2	西東京市立田無保育園	6			45	51	散策	
33	5	1	小金井市公民館緑分館				1	1	見学と見学の下見、相談	
34	5	1	多摩六都科学館	2			2	4	西東京市立本町小学校4年生を対象とした野外観察プログラムの実施6/21(下見5/30)	
35	5	1	一般個人見学者				167	167	見学	
36	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1				1	森林科学基礎実習?の実習材料準備	
37	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	4				4	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
38	6	11	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター森林機能学研究室	4		11 (11)		15 (11)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響 Effects of ethylene and jasmonate on induction of gum/resin duct formation	
39	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2				2	暗色雪腐病罹病苗の解剖学的研究	
40	6	7	東京大学農学部森林動物学研究室	2	7			9	卒業論文「局在する高価値資源を巡る昆虫の種内・種間競争」	
41	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			3		3	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
42	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	森林遺伝育種学の講義で使用する枝の採取	
43	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	6	3		62	71	第34回子ども樹木博士認定会	
44	6	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6				6	田無演習林におけるアカボシゴマダラの発生状況について	
45	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	1	3			4	全学体験ゼミナール「都市の緑のインタープリター養成ー子どもに伝える自然体験ー」	
46	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	11	3	2 (2)	3 (1)	19 (3)	2019年度田無演習林利用者交流会	
47	6	4	東京大学アジア生物資源環境研究センター地域資源評価研究室	4				4	土壌生物相の評価	
48	6	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
49	6	4	東大農場・演習林の存続を願う会					44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録
50	6	1	203ハイキングクラブ					15	15	見学(6/27雨天の場合は順延)
51	6	1	小金井市公民館緑分館					14	14	見学と見学の下見、相談
52	6	2	大気汚染測定運動西東京連絡会					2	2	二酸化窒素測定
53	6	1	一般個人見学者					40	40	見学
54	6	1	一般個人見学者					82	82	見学
55	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	5					5	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発
56	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	8					8	東京大学田無演習林に生息するコウモリ類の基礎研究
57	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター森林機能学研究室				4 (4)		4 (4)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響 Effects of ethylene and jasmonate on induction of gum/resin duct formation
58	7	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	2					2	暗色雪腐病罹病苗の解剖学的研究
59	7	8	東京大学農学部森林動物学研究室	2	8				10	卒業論文「局在する高価値資源を巡る昆虫の種内・種間競争」
60	7	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				6		6	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性
61	7	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	5					5	田無演習林におけるアカボシゴマダラの発生状況について
62	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2					2	JSPS事業による海外研究者の田無演習林見学
63	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1			2	森林遺伝育種学の講義で使用するポプラ葉の採取
64	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	1			1		2	田無演習林産材の見学
65	7	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	1		1	2		4	南京農業大学との交流
66	7	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	1					1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクヌギの植栽と利用
67	7	1	いであ株式会社				1		1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査
68	7	4	東大農場・演習林の存続を願う会					44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録
69	7	4	西東京市立青嵐中学校					12	12	職場体験(事前訪問7/2)
70	7	1	社会福祉法人てつなぎの会 田無ひまわり保育園	2				18	20	七夕飾り用の笹の分譲(7/1雨天時は7/2へ順延)
71	7	1	伝統野菜プロジェクト					20	20	見学
72	7	1	よりみち散歩					15	15	見学
73	7	2	東大農場・演習林アクティブスクール2019実行委員会					4	4	東大農場・演習林アクティブスクール2019演習林活動日打合せ会
74	7	1	学校法人自由学園、東久留米市環境政策課					8	8	8/25東久留米市森林環境税シンポジウム打合せ
75	7	1	東京大学教育学部附属中等教育学校					1	1	中等教育学校の卒業研究
76	7	1	一般個人見学者					70	70	見学

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
77	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	4		3		7	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
78	8	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター森林機能学研究室	6		7 (7)		13 (7)	サクラ類の樹脂生産に対するジャスモン酸およびエチレンの影響 Effects of ethylene and jasmonate on induction of gum/resin duct formation	
79	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	4				4	病害虫による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響の解明(分担)	
80	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	6				6	暗色雪腐病罹病苗の解剖学的研究	
81	8	4	東京大学農学部森林動物学研究室	4	4			8	卒業論文「局在する高価値資源を巡る昆虫の種内・種間競争」	
82	8	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			9 (9)		9 (9)	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
83	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
84	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4				4	田無演習林におけるアカボシゴマダラの発生状況について	
85	8	9	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	9				9	樹木の防御応答を誘導するシグナル物質の機能解明	
86	8	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			4 (4)		4 (4)	台湾亜熱帯林におけるキクイムシと寄主植物の群集構造	
87	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林動物学研究室	2	8			10	教養学部全学自由研究ゼミナール「昆虫と節足動物の生物学」に関連した昆虫の野外実習	
88	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	3	6 (5)	5 (3)		14 (8)	台湾大学サマースクールによる見学	
89	8	4	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	2 (1)		1 (1)	4	7 (2)	田無演習林に出現する菌類(キノコ)相の同定に関する研究	
90	8	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	1 (1)				1 (1)	ベニタケ属(Russulaceae, Russula)の菌根苗作成に関する研究	
91	8	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	4 (2)		4 (3)	4 (1)	12 (6)	林床のリターの有無が菌根菌子実体の出現に与える影響	
92	8	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
93	8	3	東大農場・演習林の存続を願う会				36	36	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
94	8	1	東大農場・演習林アクティブスクール2019実行委員会	2			2	4	東大農場・演習林アクティブスクール2019演習林活動日打合せ会	
95	8	1	一般個人見学者				33	33	見学	
96	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室、森林動物学研究室	2	20			22	森林科学基礎実習1、森林科学基礎実習3	
97	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1				1	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
98	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1	病害虫による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響の解明(分担)	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
99	9	2	東京大学農学部森林動物学研究室	1	2			3	卒業論文「局在する高価値資源を巡る昆虫の種内・種間競争」	
100	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				3 (3)	3 (3)	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
101	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				3 (3)	3 (3)	台湾亜熱帯林におけるキクイムシと寄主植物の群集構造	
102	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林				1	1	サワラ腐朽材内における菌類の分布特性	
103	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構		3			3	体験活動プログラム「都内でも農林作業フィールドワーク体験」	
104	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科		4			4	令和元年度推薦入学者の田無演習林見学	
105	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		1		2	ダケカンパ葉の乾燥重量測定 (Paingさんの研究)	
106	9	2	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	3		2 (2)	2	7 (2)	田無演習林に出現する菌類(キノコ)相の同定に関する研究	
107	9	4	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	3		2	4	9	林床のリターの有無が菌根菌子実体の出現に与える影響	
108	9	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの植栽と利用	
109	9	1	青山学院女子短期大学	2				2	講義「現代社会と環境」のテーマ「森林の生態系サービス」	
110	9	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
111	9	1	東大農場・演習林アクティブスクール2019実行委員会	4			2	6	東大農場・演習林アクティブスクール2019演習林活動日打合せ会	
112	9	1	西東京市立住吉小学校	4				4	生活科見学(下見、打合せ、見学)	
113	9	1	LLP法人日中百人委員会				18 (18)	18 (18)	広西自治区林業科学研究院松材線虫病の防除事情に関する公務研修視察	
114	9	1	一般個人見学者				41	41	見学	
115	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				2 (2)	2 (2)	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
116	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	2				2	ピットホールトラップを使った地表徘徊性甲虫相の調査	
117	10	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター				6 (6)	6 (6)	台湾亜熱帯林におけるキクイムシと寄主植物の群集構造	
118	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	7			79	86	第35回子ども樹木博士認定会	
119	10	1	東京大学農学部事務部経理課	4			2	6	田無演習林フェンス設置工事公開見積り合わせ	
120	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	4			1	5	西東京キャンパス整備の視察	
121	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	2				2	トドマツ葉の乾燥重量測定	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
122	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	業務協力	
123	10	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	1		1 (1)	1	3 (1)	林床のリターの有無が菌根菌子実体の出現に与える影響	
124	10	1	いであ株式会社				1	1	猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査	
125	10	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
126	10	1	多摩六都科学館				104	104	西東京市立けやき小学校5年生を対象とした自然観察会の実施	
127	10	1	西東京市立中原小学校	6			133	139	生活科の学習	
128	10	1	新かさね俳句会				10	10	吟行	
129	10	1	ところ会				14	14	散策	
130	10	4	西東京市立ひばりが丘中学校	1			20	21	職場体験(事前訪問10/18、体験10/23~25、お礼報告10/31→11/1変更)	
131	10	2	東大農場・演習林アクティブスクール2019実行委員会		1		29	30	東大農場・演習林アクティブスクール2019活動(10/18打合せ、10/20本番)	
132	10	1	自由学園初等部	1				1	生活科見学(10/10下見)、10/29雨天延期、11/6見学	
133	10	1	一般個人見学者				14	14	見学	
134	10	1	一般個人見学者				102	102	見学	
135	10	1	社会福祉法人てつなぎの会 田無ひまわり保育園	2			14	16	散策	
136	10	1	(株)自由が丘フラワーズ				2	2	市場出荷物の下見と林内見学	
137	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1				1	コンテナ苗の伸長成長抑制技術開発	
138	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2 (2)		2 (2)	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
139	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	55				55	令和元年度東京大学技術職員等試験研究・研修会議	
140	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター地域資源評価研究室	8 (5)		8 (8)		16 (13)	環境調和特別演習 持続可能な農林畜水産業 1.環境負荷	
141	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター森林共生生物学研究室	1 (1)			24 (24)	25 (25)	土地改良及び土地再利用技術について	
142	11	3	早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻大谷淳研究室			12		12	環境モニタリングロボットの視覚機能に関する研究	
143	11	1	筑波大学生命環境系	2				2	日本ペドロロジー学会ペドロジスト・トレーニングコース(下見)	
144	11	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
145	11	1	西東京市立田無保育園	3			20	23	散策	
146	11	1	西東京市立ひばりが丘中学校				5	5	職場体験(事前訪問10/18、体験10/23~25、お礼報告10/31→11/1変更)	
147	11	1	自由学園初等部	4			29	33	生活科見学(10/10下見)、10/29雨天延期、11/6見学	
148	11	1	一般個人見学者				109	109	見学	
149	11	1	NPO市民の図書館・公民館 こがねい図書館貫井北分室				1	1	材料の分譲 図書館子どものイベント用	
150	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1	病害虫による大量枯死が森林生態系のCO2放出におよぼす影響の解明(分担)	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
151	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			1	(1)	1	AMBROSIA AND BARK BEETLES, AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性	
152	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1	田無演習林におけるアカボシゴマダラの発生状況について	
153	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2	(2)	2	台湾亜熱帯林におけるキクイムシと寄主植物の群集構造	
154	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	29			6	35	2019年度教職員リースつくり体験会	
155	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	5	3			8	全学体験ゼミナール「森のエネギーを使いこなす」	
156	12	1	東京大学焼き芋サークル		8			8	薪ストーブを使った焼き芋の品種比較の実施と試食	
157	12	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	1				1	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの植栽と利用	
158	12	5	早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻大谷淳研究室			40		40	環境モニタリングロボットの視覚機能に関する研究	
159	12	4	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
160	12	1	練馬区立関町リサイクルセンター				30	30	散策	
161	12	1	(株)自由が丘フラワーズ				2	2	市場出荷物の下見と林内見学	
162	12	1	AAネットワーク(ウmanoszukusa・ジャコウアゲハホゼンネットワーク)				1	1	北側万年堀改修工事に伴う被害が想定されるウmanoszukusaの対応作業	
163	12	1	個人				3	3	シリブカガシ里親、シリブカガシのドングリ採集	
164	12	1	一般個人見学者				143	143	見学	
165	12	1	一般個人見学者				83	83	見学	
166	12	1	国際木文化学会(IWCS)	4	(1)			4	(1)	植樹の打合せと下見
167	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構	3	6			9	緑地環境実地実習	
168	1	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	7				7	千葉で育成したドマツの乾燥重量測定	
169	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	千葉演習林で選抜した抵抗性クロマツ候補木の抵抗性評価	
170	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	3				3	シカ非嗜好性植物の生理生態学的特性の解明	
171	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科製紙科学研究室	1		1		2	樹木における二酸化炭素同化産物の輸送と材形成に関する研究	
172	1	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	2	2			4	天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの植栽と利用	
173	1	1	筑波大学生命環境系	4				4	日本ペドロロジー学会ペドロジスト・トレーニングコース(下見、予備調査)	
174	1	5	東大農場・演習林の存続を願う会				44	44	演習林内生物(動植物)観察・調査・記録	
175	1	1	木材コーディネーター				7	7	講義(安村林長)と見学	
176	1	1	株式会社総合環境計画				1	1	東京都カラス生息状況調査	
177	1	1	西東京市 市小研理科部	30				30	西東京市 市小研理科部 教員研修(竹本助教による解説)	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
178	1	1	一般個人見学者					66	66	見学
179	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林植物学研究室	1 (1)				1 (1)		スギとアーバスキュラー菌根菌の共生関係の解明
180	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター			2 (2)		2 (2)		AMBROSIA AND BARK BEETLES,AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性
181	2	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	6				6		千葉で育成したトドマツの乾燥重量測定
182	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1		高所作業車による田無演習林内危険枝除去作業の協力
183	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	1				1		針葉樹苗の熱傷害に関する研究
184	2	1	東京大学施設部計画課建設チーム	2			4	6		総合研究実験棟新営工事に伴う木材現場の確認
185	2	1	学習院大学理学部生命科学科生物遺伝資源学研究室	3	2			5		天蚕・柞蚕の飼料樹としてのクスギの植栽と利用
186	2	1	いであ株式会社				1	1		猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査
187	2	2	東大農場・演習林の存続を願う会				28	28		演習林内生物(動植物)観察・調査・記録
188	2	1	一般個人見学者					88	88	見学
189	3	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1		4 (4)		5 (4)		AMBROSIA AND BARK BEETLES,AND THEIR ISOLATED FUNGI ON MAPLE IN RELATION TO TREE WEAKENING 養菌性キクイムシが媒介する樹木萎凋病の発生リスクに影響する環境要因と系統的制約性
190	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	1				1		田無演習林におけるアカボシゴマダラの発生状況について
191	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林田無演習林	5				5		針葉樹苗の熱傷害に関する研究
192	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属技術基盤センター	1				1		杉玉製作用スギ材についての情報収集・スギ枝剪定実習・田無演習林の技術職員との情報交流
193	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科造林学研究室	1						クロマツ苗の湛水ストレス応答
194	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林本部	1						田無演習林視察と教職員との交流
195	3	1	北海道演習林	1						「ボランティア会」についての説明
196	3	1	東京大学施設部計画課建設チーム	2			4	6		総合研究実験棟新営工事に伴う木材現場の確認
197	3	1	いであ株式会社				1	1		猛禽類の繁殖状況のモニタリング調査
198	3	1	一般個人見学者					195	195	見学
199	3	1	ビーフェア田無保育園	2			6	8		散策

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 3806

利用件数 199

## 5) 生態水文学研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設	
1	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り	
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	4				4	サマスタ2019打ち合わせ	日帰り	
3	4	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り	
4	4	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り	
5	4	1	NPO法人犬山里山学研究所	1				1	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り	
6	4	1	豊田市自然観察の森ボランティアグループ自然調査の会	2			2	4	巣箱調査	日帰り	
7	4	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り	
8	4	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り	
9	4	1	犬山研究林利用者協議会				13	13	春のふれあい自然観察会	日帰り	
10	4	1	犬山市経済環境部環境課	1			15	16	春のふれあい自然観察会	日帰り	
11	4	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動	日帰り	
12	4	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動	日帰り	
13	4	1	名古屋経済大学市邨高等学校中学校	5			23	28	森の観察と木の測定実習	日帰り	
14	4	1	シデコブシの会				16	16	シデコブシの会 講演と総会	日帰り	
15	4	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り	
16	4	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例自主活動	日帰り	
17	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	4	10	3	23	40	利用者研究集会・尾張東部丘陵自然環境研究者の会	赤津宿泊施設	
18	5	24	National school for water and environmental engineering(engces)strasbourg			24	(24)	24	(24)	インターン	赤津宿泊施設
19	5	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	ギフチョウとヒメカンアオイの生態観察	日帰り	
20	5	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り	
21	5	1	犬山研究林利用者協議会				4	4	定例自主活動	日帰り	
22	5	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り	
23	5	1	早稲田大学高等学院	2			12	14	校外活動 自然科学コースによる施設・研究見学	日帰り	
24	5	2	シデコブシの会				47	47	演習林ボランティア団体交流会	赤津宿泊施設	
25	5	1	国立研究開発法人防災科学技術研究所	2				2	雨量観測機器の撤収	日帰り	
26	5	1	NPO法人犬山里山学研究所				2	2	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り	
27	5	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	定例自主活動	日帰り	
28	6	4	東京大学森林理水及び砂防工学研究室	4		8		12	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設	
29	6	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	2	15			17	教養学部前期課程総合科目「森林環境資源学」フィールドワーク(森とダム)	赤津宿泊施設	
30	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	2				2	水源涵養機能モニタリング研究委託	五位塚宿泊施設	



No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
31	6	4	東京大学大学院農学生命科学研究科	3	23			26	生物環境物理学実習	赤津宿泊施設
32	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	5	20			25	全学体験ゼミナール「人の手で作り管理する森林」	赤津宿泊施設
33	6	30	National school for water and environmental engineering(engees)strasbourg			30		30	インターン	長期滞在用者用 宿舎
34	6	4	神戸大学海事科学部砂防研究室	4	8	16		28	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
35	6	3	筑波大学生命環境系	3				3	白坂流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
36	6	1	愛知県芸術大学美術学部デザイン専攻	1	4			5	デザイン実技3 人と自然をつなぐデザイン	日帰り
37	6	1	シデコブシの会			4		4	とよた森林学校森林セミナー見学	日帰り
38	6	1	豊田森林組合総務課企画営業グループ			44		44	とよた森林学校森林セミナー	日帰り
39	6	1	シデコブシの会			7		7	シデコブシの会 定例会	日帰り
40	6	1	犬山研究林利用者協議会			3		3	定例自主活動	日帰り
41	6	1	犬山研究林利用者協議会			11		11	定例自主活動	日帰り
42	6	1	シデコブシの会			16		16	シデコブシの会 キノコ調査会	日帰り
43	6	1	NPO法人犬山里山学研究所			2		2	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り
44	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	12				12	令和元年度基盤GIS技術指導者養成研修	赤津宿泊施設
45	7	31	National school for water and environmental engineering(engees)strasbourg			31	(31)	31	インターン	長期滞在用者用 宿舎
46	7	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
47	7	1	NPO法人犬山里山学研究所			2		2	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り
48	7	1	シデコブシの会			7		7	シデコブシの会 定例会	日帰り
49	7	1	シデコブシの会			3		3	シデコブシの会 水生生物観察会下見	日帰り
50	7	1	犬山研究林利用者協議会			6		6	定例自主活動	日帰り
51	7	1	犬山研究林利用者協議会			4		4	蝶モニター活動	日帰り
52	7	1	犬山研究林利用者協議会			5		5	定例自主活動	日帰り
53	7	1	犬山研究林利用者協議会			1		1	定例自主活動	日帰り
54	7	1	シデコブシの会			17		17	シデコブシの会 コケ観察会	日帰り
55	7	1	グリーンシティケーブルテレビ株式会社			5		5	瀬戸市行政情報番組せとまちテレビ8/15号の撮影	日帰り
56	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
57	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
58	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
59	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	22	16	16	8	62	造園学会中部支部サマースタジオ2019	赤津宿泊施設

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
60	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	5	75	10		90	2019年度森林科学基礎学実習	赤津宿泊施設
61	8	7	National school for water and environmental engineering(engces)strasbourg			7		7	インターン	長期滞在者用宿舎
62	8	3	学校法人三重高等学校	6			39	45	三重高等学校・中学校科学技術部の見学及び実習	赤津宿泊施設
63	8	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
64	8	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例自主活動	日帰り
65	8	1	NPO法人犬山里山学研究所	2			2	4	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り
66	8	1	矢田・庄内川をきれいにする会	2			22	24	矢田川源流の森林の歴史・保全と河川への恵みについての学習	日帰り
67	8	1	シデコブシの会				6	6	シデコブシの会 矢田・庄内川をきれいにする会サポート	日帰り
68	8	1	シデコブシの会				3	3	親子水生生物観察会下見	日帰り
69	8	1	犬山研究林利用者協議会				44	44	定例自主活動	日帰り
70	8	1	シデコブシの会				44	44	親子水生生物観察会	日帰り
71	8	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例自主活動	日帰り
72	8	1	犬山研究林利用者協議会				1	1	定例自主活動	日帰り
73	8	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
74	8	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
75	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所		4			4	体験活動プログラム	赤津宿泊施設
76	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	水源涵養機能モニタリング研究委託	日帰り
77	9	1	京都大学農学部森林科学科森林生態学研究室		2	1		3	日本の森林生態系における窒素純無機化速度に影響を及ぼす要因	日帰り
78	9	1	瀬戸市市民生活部環境課				29	29	せと環境塾サイエンスキャンプ2019	日帰り
79	9	1	シデコブシの会				14	14	シデコブシの会 きのご観察会 巣箱 巣材調査	日帰り
80	9	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例活動	日帰り
81	9	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	蝶モニター活動	日帰り
82	9	1	猿投の森づくりの会				12	12	間伐調査	日帰り
83	9	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
84	9	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例活動	日帰り
85	9	3	NPO法人犬山里山学研究所				6	6	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り
86	9	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
87	10	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
88	10	1	NPO法人犬山里山学研究所				2	2	犬山市の演習林内魚類・両生類・爬虫類相の調査	日帰り
89	10	2	日本山岳会東海支部				62	62	第10回日本山岳会森づくり連絡協議会の開催	赤津宿泊施設
90	10	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
91	10	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例活動	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
92	10	1	名古屋山岳同志会自然保護部				4	4	秋の自然観察会下見	日帰り
93	10	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	蝶モニター活動	日帰り
94	10	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐	日帰り
95	10	1	犬山研究林利用者協議会				9	9	定例活動	日帰り
96	10	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
97	10	1	犬山市経済環境部環境課	2			11	13	おさかなレスキュー 落洞池の在来種保護と外来種駆除	日帰り
98	11	2	東京大学大学院森林理水及び砂防工学研究室			4	(2)	4	山地森林流域への土壌侵食モデルの適用	赤津宿泊施設
99	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	6	(3)		3	(6)	調査地の見学及び相談	赤津宿泊施設
100	11	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
101	11	1	犬山研究林利用者協議会				5	5	定例活動	日帰り
102	11	1	名古屋山岳同志会自然保護部				9	9	秋の自然観察会	日帰り
103	11	1	犬山研究林利用者協議会				3	3	蝶モニター活動	日帰り
104	11	1	岐阜県森林研究所森林環境部	4				4	森林立地学会現地研究会下見	日帰り
105	11	1	愛知県環境局環境政策部自然環境課				35	35	あいち自然再生カレッジ オープン講座における野外活動	日帰り
106	11	1	犬山研究林利用者協議会				11	11	秋のふれあい自然観察会	日帰り
107	11	1	犬山市経済環境部環境課	2			28	30	秋のふれあい自然観察会	日帰り
108	11	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐	日帰り
109	11	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
110	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3		10	(4)	13	森林圏水循環機能学	赤津宿泊施設
111	12	1	京都大学防災研究所地盤災害研究部門山地災害環境研究分野	6				6	断層の活動度評価手法の開発に関する現地調査	日帰り
112	12	1	シデコブシの会				11	11	シデコブシの会 標石ツアー	日帰り
113	12	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
114	12	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
115	12	1	犬山研究林利用者協議会				6	6	定例活動	日帰り
116	12	1	猿投の森づくりの会				4	4	間伐	日帰り
117	12	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
118	12	1	犬山研究林利用者協議会				8	8	定例活動	日帰り
119	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	1	1			2	修士論文研究打ち合わせ	日帰り
120	1	3	京都大学防災研究所地盤災害研究部門山地災害環境研究分野	24				24	断層の活動度評価手法の開発に関する現地調査	日帰り
121	1	1	ソウル大学農学生命科学部森林科学科	1	(1)			1	ソウル大学と東京大学の教育研究パートナーシップ強化	日帰り
122	1	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
123	1	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例活動	日帰り
124	1	1	NPO法人北信濃トレイルフリークス				3	3	犬山八首トレイルランニング大会試走会	日帰り
125	1	1	シデコブシの会				10	10	シデコブシの会 巣箱作り	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
126	1	1	猿投の森づくりの会				7	7	間伐	日帰り
127	1	1	猿投の森づくりの会				18	18	なごや環境大学共育講座「蛇口の向こう～水源の森へ！」	日帰り
128	1	1	犬山研究林利用者協議会				11	11	定例活動	日帰り
129	1	1	(株)東京建設コンサルタント	1				1	林業遺産に指定された土堰堤群見学	日帰り
130	1	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1	2			3	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
131	2	2	東京大学教養学部	2	24			26	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	赤津宿泊施設
132	2	18	ソウル大学農学生命科学部森林科学科	18				18	ソウル大学と東京大学の教育研究パートナーシップ強化	日帰り
133	2	1	NPO法人北信濃トレイルフリークス				21	21	犬山八曾トレイルランニングレース試走会	日帰り
134	2	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
135	2	1	犬山研究林利用者協議会				10	10	定例活動	日帰り
136	2	1	猿投の森づくりの会				12	12	間伐	日帰り
137	2	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
138	2	1	犬山研究林利用者協議会				7	7	定例活動	日帰り
139	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム生物多様性科学研究室	1					ため池の生ずつ群集調査の下見	日帰り
140	3	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林				4	(4)	科研調査補助と修士論文計画の相談	五位塚宿泊施設
141	3	1	東京大学教養学部	1	17			18	全学体験ゼミナール「ダムと土砂と海」	日帰り
142	3	15	マレーシアサバ大学天然資源科学部	38				38	JSPS C2C共同研究の推進と野外観測技術の移転	日帰り
143	3	1	シデコブシの会				7	7	シデコブシの会 定例会	日帰り
144	3	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	2				2	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り
145	3	1	猿投の森づくりの会				6	6	間伐	日帰り
146	3	1	豊田工業高等専門学校環境都市工学科	1				1	森林流域における生元素流出負荷量の変動要因解析	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1624

利用件数 146

## 6) 富士癒しの森研究所

No	月	日	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	10			8	18	東京大学富士癒しの森研究所特別ガイド「春の彩りを訪ねて」	日帰り
2	4	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			3	4	森林散策カウンセリングの調査	日帰り
3	4	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2			4	6	森林散策カウンセリングの調査 林分調査	日帰り
4	4	1	八幡幼稚園	5				5	夏季宿泊保育で利用させて頂く湖畔広場の下見	日帰り
5	4	1	(五合目自然解説員等ガイド)				1	1	観察会の下見	日帰り
6	4	1	癒しの森の会	4			8	12	林内散策	日帰り
7	4	1	箱根を守る会				2	2	5月14日実施予定の観察会の下見	日帰り
8	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属千葉演習林	1		12 (7)		13 (7)	森林生態圏管理学特論	日帰り
9	5	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属千葉演習林	10		16		26	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(春編)」	山中寮内藤セミナーハウス
10	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリングの調査	日帰り
11	5	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	モニタリング1000準コアサイト 鳥類調査のため(NPO法人バードリサーチより依頼)	日帰り
12	5	2	東京大学大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	2				2	サイバーフォレスト・ライブモニタリングのマイク交換	富士山中宿泊施設
13	5	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館				2	2	野生のサクラ10種類の形態比較	日帰り
14	5	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
15	5	1	癒しの森の会	3			7	10	活動打ち合わせ、散策	日帰り
16	5	2	山中湖村役場				11303	11303	第39回スポニチ山中湖ロードレース大会に伴う参加者の利用スペースとして	日帰り
17	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリングの調査	日帰り
18	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1		2	千葉県柏市こんぶくろ池周辺におけるズミ個体群の低い結果率の原因の解明	日帰り
19	6	4	東京大学農学部フィールド科学専修	4	30	4		38	森圏管理学実習準備、および実習	山中寮内藤セミナーハウス
20	6	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	モニタリング1000準コアサイト 鳥類調査のため(NPO法人バードリサーチより依頼)	日帰り
21	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	4	18	2		24	環境設計演習	山中寮内藤セミナーハウス
22	6	2	東京大学大学院農学生命科学研究科	8	14			22	総合科目D「森林環境資源学」フィールドワーク3「森と癒し」	山中寮内藤セミナーハウス
23	6	1	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻		1	3		4	見学	日帰り
24	6	1	癒しの森の会	3			6	9	ウッドデッキ作成用板の運搬作業	日帰り
25	6	1	NPO法人アースバウンダー	10			128	138	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のため	日帰り
26	6	1	ガールスカウト東京都第217団				3	3	8/19利用の為 下見と打ち合わせ	日帰り
27	6	1	(五合目自然解説員等ガイド)				5	5	樹木と植生について学習	日帰り
28	6	1	癒しの森の会				6	6	散策	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
29	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林	8				8	東京大学富士癒しの森研究所における森林環境とコウモリ類生息分布の関連性およびコウモリ類の遺伝的多様性の解明	山中寮内藤セミナーハウス
30	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科	2			10	12	見学	日帰り
31	7	3	東京大学大学院農学生命科学研究科	15	18			33	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(夏)」	山中寮内藤セミナーハウス
32	7	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林	36 (3)	28 (7)	32 (8)		96 (18)	中国海南大学サマープログラム	山中寮内藤セミナーハウス
33	7	1	東京大学教養学部文科一類		4			4	部活(馬術部)の夏季合宿の準備	日帰り
34	7	3	京都大学理学研究科			6		6	哺乳類調査の実習	山中寮内藤セミナーハウス
35	7	1	聖ヨゼフ学園小学校	7			77	84	体験学習グループ活動	日帰り
36	7	2	八幡幼稚園	34			110	144	夏の宿泊保育に伴い湖畔の自然に触れる体験をさせたい	日帰り
37	7	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館				4	4	野生のサクラ10種類の形態比較	日帰り
38	7	1	(株)土手影建設				2	2	見学	日帰り
39	7	2	リゾートアメニティ				50	50	関東ヨット協会の研修	日帰り
40	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	4		8		12	アルバイト・ゼンストの実施	日帰り
41	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリング実施	日帰り
42	8	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2	2			4	東京農業大学造林学研究室 収穫祭展示物の採集のため	日帰り
43	8	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	4			1	5	「森からみえる」(竜王小学校)実践授業のための現地見	日帰り
44	8	2	林政学研究室	8	30	2		40	森林科学基礎実習IVの実習	外部宿泊施設
45	8	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	21 (3)	30 (30)	9		60 (33)	国立台湾大学サマースクール	山中寮内藤セミナーハウス
46	8	2	東京大学教育学部附属中等教育学校	2			8	10	卒業研究	富士山中宿泊施設
47	8	16	東京大学教養学部文科一類		416	16	48	480	馬術部の夏季合宿	山中寮内藤セミナーハウス
48	8	1	東京大学cPAS	1			1	2	見学	日帰り
49	8	1	個人				3	3	見学	日帰り
50	8	3	ボーイスカウト横浜第61団				108	108	ボーイスカウト活動による青少年の育成のため	日帰り
51	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリング実施	日帰り
52	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	散策ルートの照度測定	日帰り
53	9	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	4	14			18	森林風景計画実習	山中寮内藤セミナーハウス
54	9	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	16		21		37	特別ガイド「キノコにしたしむ」	日帰り
55	9	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	6		15 (15)		21 (15)	森林圏生態社会学演習	山中寮内藤セミナーハウス
56	9	4	東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻	52	212 (4)			264 (4)	工学部社会基盤学科・学部3年生対象フィールド演習	山中寮内藤セミナーハウス
57	9	3	兵庫県立大学経済学部	3	33			36	森林についての実習(炭焼き・間伐等)	山中寮内藤セミナーハウス

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
58	9	1	京大大学生態学センター	4	8			12	京都大学理学部 野外実習第1部、第2部	青少年福祉センター山中湖林間寮
59	9	1	聖ヨゼフ学園小学校	7			65	72	体験学習の活動	日帰り
60	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリング実施	日帰り
61	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻森林風致計画学研究室	7	2		84	93	森林教育研究の一環としての竜王小学校5年生による森林体験学習の実施	日帰り
62	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	12	24			36	全学体験ゼミナール「危険生物の知識(秋編)」	山中寮内藤セミナーハウス
63	10	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	9	9			18	全学体験ゼミ「森のエネルギーを使いこなす」現地講義	山中寮内藤セミナーハウス
64	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林教育センター	1		3 (2)		4 (2)	森林圏生態学演習(ゼミ合宿)	日帰り
65	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	7			8	15	山中湖村役場と東京大学富士癒しの森研究所共同プロジェクト「森活で健康」イベント	日帰り
66	10	1	東大病院精神神経科	35	1	9	36	81	東大こころのリトリート	日帰り
67	10	1	東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻			1	1	2	富士五湖における炭素リザーバー効果のメカニズムの検証(修士論文)	日帰り
68	10	1	NPO法人アースバウンダー				4	4	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のための下見	日帰り
69	10	1	NPO法人アースバウンダー	10			70	80	山中湖村宿泊施設に滞在する小学生を対象とした環境教育プログラム実施のため	日帰り
70	10	2	全国地蜂連合会	2	6		18 (2)	26 (2)	クロスズメバチのサンプル採捕	富士山中宿泊施設
71	10	1	山梨県富士山科学研究所	7				7	山梨県富士山科学研究所 環境教育部門野外研修	日帰り
72	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	12	9			21	全学体験ゼミナール「森の魅力をマッピング〜GPSを使ったオリジナル地図づくり」	山中寮内藤セミナーハウス
73	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリング実施	日帰り
74	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	1		1	1	3	自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明	日帰り
75	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	26 (12)				26 (12)	SNU演習林メンバーによる演習林見学	山中寮内藤セミナーハウス
76	11	3	林政学研究室	15	12	3		30	森林政策学演習	山中寮内藤セミナーハウス
77	11	1	東京大学アジア生物資源環境研究センター	16 (4)		15 (5)	4 (3)	35 (12)	国際短期プログラム「生物資源環境学の展開」および環境調和特別演習「農林畜水産業と環境負荷」及び「農林水畜産業と生態系攪乱」での見学	日帰り
78	11	4	茨城大学理学部	8	96	8		112	茨城大学地球環境科学コース特別野外実習	山中寮内藤セミナーハウス
79	11	1	第一測量株式会社				2	2	東京電力による樹木伐採申請に伴う調査測量業務	日帰り
80	11	1	長池フットパス協会				2	2	ベンチ製作用材受取	日帰り
81	11	1	山梨県富士・東部林務環境事務所				5	5	ミズナラの枯れ木の原因究明のための調査	日帰り
82	11	1	山梨県富士・東部林務環境事務所				3	3	ミズナラの枯れ木の伐倒処理のための事前調査	日帰り
83	11	1	山梨県富士・東部林務環境事務所(県有林課)				8	8	松くい虫等被害森林景観対策事業(政令指定病害虫被害の恐れがあるナラ枯死木の伐倒くん蒸)の実施	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
84	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリングの調査	日帰り
85	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	2				2	カラマツ品種試験地成長調査	山中寮内藤セミナーハウス
86	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	12	24			36	全学体験ゼミナール「癒しの森と地域社会(冬)」	山中寮内藤セミナーハウス
87	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	モニタリング1000準コアサイト 鳥類調査のため(NPO法人バードリサーチより依頼)	日帰り
88	12	2	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻	2		2	2	6	自然体験と気候変動学習を定点連続写真・録音で繋ぐ省察プロセスの解明	山中寮内藤セミナーハウス
89	12	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	11			7	18	落葉焚き体験	日帰り
90	12	1	東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻			1	1	2	富士五湖における炭素リザーバー効果のメカニズムの検証(修士論文)	日帰り
91	12	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	3 (1)		1		4 (1)	サイバーフォレスト・ライブモニタリング見学	日帰り
92	12	1	山梨県富士・東部林務環境事務所(県有林課)				3	3	県事業の実施(森林病害虫駆除)	日帰り
93	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	3			2	5	山中湖村役場健康福祉課の職員を案内	日帰り
94	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1				1	モニタリング1000準コアサイト 鳥類調査のため(NPO法人バードリサーチより依頼)	日帰り
95	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリング実施	日帰り
96	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリング実施	日帰り
97	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	7			10	17	特別ガイド「冬の散歩みち」	日帰り
98	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			1	2	森林散策カウンセリング実施	日帰り
99	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1		1		2	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
100	2	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	1				1	カラマツ系統別試験地調査	日帰り
101	2	1	東京大学大学院新領域創成科学研究科・自然環境学専攻	1			1	2	次世代森林情報基盤サイバーフォレストのための現地情報記録転送システムの開発と運用試験	日帰り
102	2	1	第一測量株式会社				2	2	東京電力電柱移設工事の申請書類作成業務測量現地作業	日帰り
103	3	2	大学院農学生命科学研究科附属演習林教育研究センター	4			2	6	バックバックレーザー計測	外部宿泊施設
104	3	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	1			2	3	森林散策カウンセリング実施	日帰り
105	3	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	4			4	8	林業経済学会定期総会ウェブ中継	外部宿泊施設

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 14046

利用件数 105



## 7) 樹芸研究所

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
1	5	1	Australian Government of Agriculture and Water Resources				1 (1)	1 (1)	日本におけるユーカリ造林地の視察	日帰り
2	5	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り
3	6	1	農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター環境情報基盤研究領域土壌資源評価ユニット	3				3	土壌断面調査および土壌試料の採取	日帰り
4	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	14			1	15	交歓会青野研究林、温室見学	日帰り
5	7	1	東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻材料・住科学講座木材物理学研究室	1		1		2	繊維飽和点以上における木材中の水分移動様式のモデル化	日帰り
6	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		18			18	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
7	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		70			70	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏1)」	スポーティア下賀茂
8	8	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		21			21	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
9	8	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		60			60	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏3)」	スポーティア下賀茂
10	8	1	静岡県自然環境保護調査委員会菌類部	2			5	7	静岡県生物多様性地域戦略に基づく現地調査	日帰り
11	9	4	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	19	88			107	森林実習	スポーティア下賀茂
12	9	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所			18		18	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
13	9	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		80			80	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ(夏2)」	スポーティア下賀茂
14	9	1	農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター環境情報基盤研究領域土壌資源評価ユニット	2				2	土壌断面の作成	日帰り
15	9	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
16	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	2	1		32	35	公開講座「チョコレートづくりを体験しよう」	日帰り
17	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属千葉演習林	1				1	シカと共存する植物の生化学・生態学的特性に関する研究	日帰り
18	10	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林企画部	1				1	樹芸研究所視察、技術職員懇談会	日帰り
19	10	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		12			12	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設
20	10	1	東京大学農学系総務課総務チーム	48				48	専攻長・附属施設長会議	日帰り
21	10	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
22	10	1	インターナショナル映画(株)				1	1	2020年度小学校使用教科書の補助教材(映像)撮影のため	日帰り
23	10	1	株式会社ディレクションズ				1	1	NHK Eテレ「シャキーン！」の撮影打ち合わせ	日帰り

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
24	10	1	株式会社ディレクションズ				11	11	NHK Eテレ「シャキーン！」の撮影	日帰り
25	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	3			11	14	公開講座「林業遺産・岩樟園クスノキ林見学会」	日帰り
26	11	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		11			11	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	加納事務所休憩施設
27	11	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所	2				2	白炭窯築造現場の見学	日帰り
28	11	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所	18				18	東京大学教室系技術職員研修	外部施設泊
29	11	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
30	11	1	エコウッド景観協同組合				8	8	ユーカリ樹木(材料)の原木見学	日帰り
31	11	9	一般				45	45	狩猟	日帰り
32	11	15	伝統工芸木炭生産技術保存会	4			130	134	白炭窯製作研修会	スポーティア下賀茂
33	12	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	26				26	機械の点検整備と作業安全に関する研修	外部施設泊
34	12	9	一般				45	45	狩猟	日帰り
35	12	1	日本野鳥の会				2	2	野鳥観察	日帰り
36	12	1	静岡県賀茂農林事務所森林整備課	1			7	8	施設見学	日帰り
37	1	1	東京大学大学院農学生命科学研究科附属北海道演習林	1	1			2	研究利用の相談と下見	日帰り
38	1	4	東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻			4		4	ユーカリ材のサンプル採取、比重測定	加納事務所休憩施設
39	1	1	株式会社ディレクションズ				7	7	NHK Eテレ「シャキーン！」の撮影	日帰り
40	1	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
41	1	10	一般				50	50	狩猟	日帰り
42	2	2	東京大学大学院農学生命科学研究科附属秩父演習林	12 (2)				12 (2)	山地河道の水理特性解明、基盤データ水文水質打ち合わせ、C2C RG1打ち合わせおよび現地見学	外部施設泊
43	2	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所	3				3	4-5林班長期生態系プロットにおけるカシナガ穿入調査と毎木調査	外部施設泊
44	2	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		18			18	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
45	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		50			50	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶー熱帯植物編ー」	スポーティア下賀茂
46	2	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		17			17	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	加納事務所休憩施設
47	2	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		35			35	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ2」	スポーティア下賀茂
48	2	3	東京大学本部広報課	6 (3)				6 (3)	全学体験ゼミナール取材	外部施設泊
49	2	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
50	2	9	一般				45	45	狩猟	日帰り
51	2	1	一般				13	13	温室植物見学	日帰り
52	3	6	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		24			24	全学自由研究ゼミナール「伊豆に学ぶプラス」	
53	3	5	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		5			5	全学体験ゼミナール「伊豆に学ぶ3」	

No	月	日数	利用者所属	教職員	学生	院生	その他	計	利用目的	宿泊施設
54	3	3	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林樹芸研究所		9			9	体験活動プログラム「南伊豆という地域との連携に学ぶ」	
55	3	3	一般				15	15	狩猟	日帰り
56	3	2	日本野鳥の会				4	4	野鳥観察	日帰り
57	3	1	株式会社きんばら				15	15	白炭窯、クスノキ林、温室見学	日帰り
58	3	1	一般				3	3	温室植物見学	日帰り

※カッコ内の数値は外国人利用数を示す

利用者数合計 1187

利用件数 58

## 12. 各演習林所在地および連絡先

演習林名 作業所名	郵便番号	住所	電話	FAX
企画部・ 教育研究センター	113-8657	東京都文京区弥生1-1-1 農学部1号館116号室	03-5841-5497	03-5841-5494
千葉演習林	299-5503	千葉県鴨川市天津770	04-7094-0621	04-7094-2321
清澄作業所	299-5505	千葉県鴨川市清澄135	04-7094-0585	
札郷作業所	292-0537	千葉県君津市黄和田畑字前沢1442-1	0439-39-3122	
郷台作業所	292-0533	千葉県君津市折木沢字相ノ沢1542-1		
北海道演習林	079-1563	北海道富良野市山部東町9番61号	0167-42-2111	0167-42-2689
山部樹木園	079-1582	北海道富良野市字山部第一苗圃	0167-39-6017	
セミナーハウス	076-0161	北海道富良野市字麓郷市街地1	0167-42-2111	
秩父演習林	368-0034	埼玉県秩父市日野田町1-1-49	0494-22-0272	0494-23-9620
栃本作業所	369-1901	埼玉県秩父市大滝3450-2	0494-55-0355	0494-55-0355
大血川作業所	369-1901	埼玉県秩父市大滝5198	0494-54-1220	
影森苗畑	369-1871	埼玉県秩父市下影森764	0494-23-9768	
田無演習林	188-0002	東京都西東京市緑町1-1-8	042-461-1528	042-461-2302
生態水文学研究所	489-0031	愛知県瀬戸市五位塚町11-44	0561-82-2371	0561-85-2838
赤津作業所	489-0014	愛知県瀬戸市北白坂町1-1	0561-21-1185	
犬山作業所	484-0094	愛知県犬山市塔野地字大畔178-2		
富士癒しの森研究所	401-0501	山梨県南都留郡山中湖村山中341-2	0555-62-0012	0555-62-4798
樹芸研究所	415-0304	静岡県賀茂郡南伊豆町加納457	0558-62-0021	0558-62-3170
青野作業所	415-0327	静岡県賀茂郡南伊豆町青野851	0558-62-0254	